# MICROLINE 8480SU　ユーザーズマニュアル

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

水平インサータプリンタ
MICROLINE 8480SU

○このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
　プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
○本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

# はじめに

このたびは､沖データのMICROLINE 8480SUをお買い求めいただきまして､誠にありがとうございます。
このユーザーズマニュアルは、MICROLINE 8480SUの操作方法について述べたものです。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しい使用方法をご理解いただきますようお願いいたします。

このユーザーズマニュアルは、必ず保管してください。万一、ご使用中にわからないことが起きたとき、きっとお役に立ちます。

## 安全上の注意表示

**⚠警告**　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

**⚠注意**　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

△記号は警告、注意を促す事項があることを告げるものです。
△の中に具体的な警告内容が描かれています。
(左図の場合は、「感電注意」を表します。)

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。
(左図の場合は、「分解禁止」を表します。)

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
(左図の場合は、「アースを接続してください。」を表します。)

## 電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

この装置にオプションを使用した場合の適合レベルは、以下のとおりです。

オプション　カットシートフィーダ　　クラスB　　正規

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

## 高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

## 使用許諾契約

プリンタに付属のソフトウェアおよびドキュメンテーションは、株式会社 沖データが提供するものです。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は、株式会社 沖データ（以下、沖データという）との間で契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有している場合のみ、ソフトウェアを使用することが出来ます。
2. 本ソフトウェアおよびドキュメンテーション、そしてそれらのコピーの著作権、版権、所有権は、沖データまたは沖データに使用許諾を与えたライセンサーにあります。本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションの一部または全部を複製したり、他人に複製を作らせたり、複製を許可したり、商行為をすることはできません。お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。また、本契約で認められた項目を除き、本ソフトウェアとドキュメンテーションに関するいかなる知的所有権の権利も付与しません。
3. お客様は以下の条件すべてを満足することにより本ソフトウェアを第三者に譲渡できます。
   （1）本ソフトウェアに対応する沖データプリンタと一緒に譲渡する。
   （2）本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのコピー全てを当該第三者に譲渡し、または譲渡しなかったコピーを全て破棄する。
   （3）当該第三者が事前に本契約の拘束に同意する。
   また、本ソフトウェアを賃貸、貸与、リース、配布、転載、移転することはできません。お客様は、本ソフトウェアを日本国外に出荷、移転、輸出、再輸出できないこと、違法な方法で使用しないことに同意します。
4. お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様の本ソフトウェアおよびドキュメンテーションの使用中止およびライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのオリジナルおよび全てのコピーを破棄し、商標の使用を中止するものとします。

5. 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションに関して、以下のことを含む一切の保証をしません。
   （1） 本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
   （2） 本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションに瑕疵がないこと。
   （3） 第三者の権利を侵害していないこと。
   （4） 特定の目的に適合していること。
   またソフトウェアまたはドキュメンテーションは、予告なく改良、変更することがあります。
6. 沖データおよび沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、一切責任を負わないものとします。

## ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一記載もれなどお気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

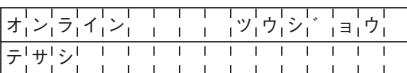
## 商標について

各会社名, 製品名は各社の登録商標または商品名です。
ESC/Pは、セイコーエプソン（株）の登録商標です。
Microsoft、Windows、MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

## 本文中の略語について

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 8480SU → ML8480SU
- Microsoft® Windows Vista™ operating system 日本語版 → Windows Vista
- Microsoft® Windows Server™ 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003(x64版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → WindowsXP(x64版) ※
- Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP ※
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- Windows Vista、Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows 95、Windows2000、WindowsNT4.0 の総称→ Windows

※ 特に記載がない場合は、Windows Vista、Windows Server 2003、WindowsXP には 64bit 版も含みます。

## マニュアルの版権について

# 本書の見方

本書の内容は、大きく分けて次の8つの構成になっています。

**第1章** ご使用前に必ずお読みください
ご使用時の注意事項について説明しています。

**第2章** プリンタの準備
プリンタを箱から取り出して、設置からテスト印刷するまでの手順を説明しています。

**第3章** ホストコンピュータに接続する
ホストコンピュータに接続するための手順と設定について説明しています。

**第4章** 用紙の取り扱い
いろいろな用紙の取り扱い方法と印刷のしかたについて説明しています。

**第5章** プリンタをより活用するために
プリンタの操作パネルの使い方からプリンタのメニュー設定についての説明と、その設定の変更のしかたについて説明しています。

**第6章** オプション品
オプション品の取り付けから操作方法, 使用方法について説明しています。

**第7章** こんなときには
インクリボンの交換方法, 困ったときの処置方法について説明しています。

**付　録** このプリンタの仕様、文字コード表、制御コードの一覧表、アフターサービスについて説明しています。

## 図の表記のしかた

| | | |
|---|---|---|
| 操作パネルスイッチ | 印字可 | 「印字可」スイッチを押します。 |
| | 機能切替 用紙カット ＋ 印字可 | 「機能切替/用紙カット」スイッチを押しながら「印字可」スイッチを押します。 |
| 表示パネル | オンライン　ツウシ゛ョウ<br>テサシ | オンライン, 通常印字モード, 単票手差しモードであることを示しています。 |

## 本書での説明のマーク

| | |
|---|---|
|  | プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。<br>誤った操作をしないため、必ずお読みください。 |
|  | プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。<br>お読みになることをおすすめします。 |

安全上の注意, 表示の説明が別途3ページに記載してありますので、お読みください。

# 目　次

# 1　ご使用前に必ずお読みください

1
章

# MICROLINE 8480SUの特長

◎連続紙が1枚目から無駄なく印刷できます

印字範囲がとても広く（用紙の端から6.35mm）、連続紙でも1枚目から印刷できます。

◎用紙を自動的にセットします

オートロードにより、連続紙や単票を自動的に印字位置にセットします。

◎いろいろな用紙に印刷できます

連続紙や単票をはじめ、はがき, 封筒, 複写紙, その他いろいろな用紙に印刷できます。

◎単票, はがきおよび複写紙を自動給紙します

オプションのカットシートフィーダを装着すると、単票, はがきおよび複写紙を自動給紙します。

◎自動紙厚調整機能で最適な印字を行います。

用紙をセットすると、用紙の厚さを自動的に測定し、最適な印字圧に調整します。

◎単票の排出方向が選べます

単票を前へ排出したり、後へ排出したり、スイッチ1つで切り替えできます。

◎バーコードを印刷できます

JAN, NW7, カスタマバーコードなど、7種類のバーコードが印刷できます。

◎2種類の連続紙をセットできます

オプションのリアピントラクタを装着すると、連続紙をプリンタ後方からも給紙できます。
標準装備のピントラクタと合わせて、2種類の連続紙を使い分けられます。
※ リアピントラクタを取り付けているときは、カットシートフィーダをプリンタ後方に取り付けられません。

◎2種類の単票を自動給紙できます

オプションのカットシートフィーダを、プリンタの前後に2台装着できます。
メニュー設定もしくは、ホストコンピュータからのコントロールコマンドにより、切り替えて使用できます。
※ カットシートフィーダをプリンタ後方に取り付けているときは、リアピントラクタを取り付けられません。

◎2種類のインタフェースを自動切り替えできます

パラレルインタフェースとUSBインタフェースに対応しており、メニュー設定により、自動切り替えおよび、各インタフェースに固定することが出来ます。

# 各部の名称と機能

〔前面〕

トップカバー
リボンカートリッジを交換する際などに開閉します。

リボンカートリッジ
印字に必要なインクリボンが入っています。

シートガイド
単票の左端位置を決める支えです。

シートスタッカ
排出した単票を一時的にためておきます。

表示パネル
プリンタの状態を表示します。

テーブル
単票を手差しでセットする台です。

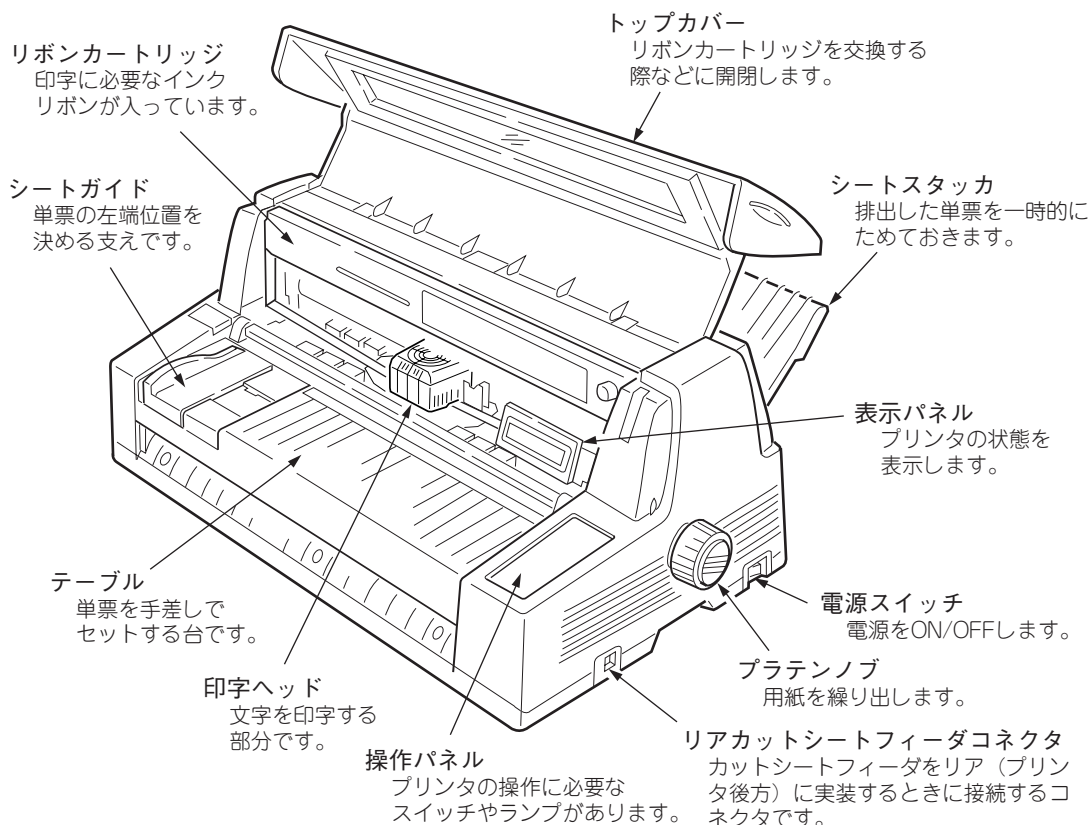
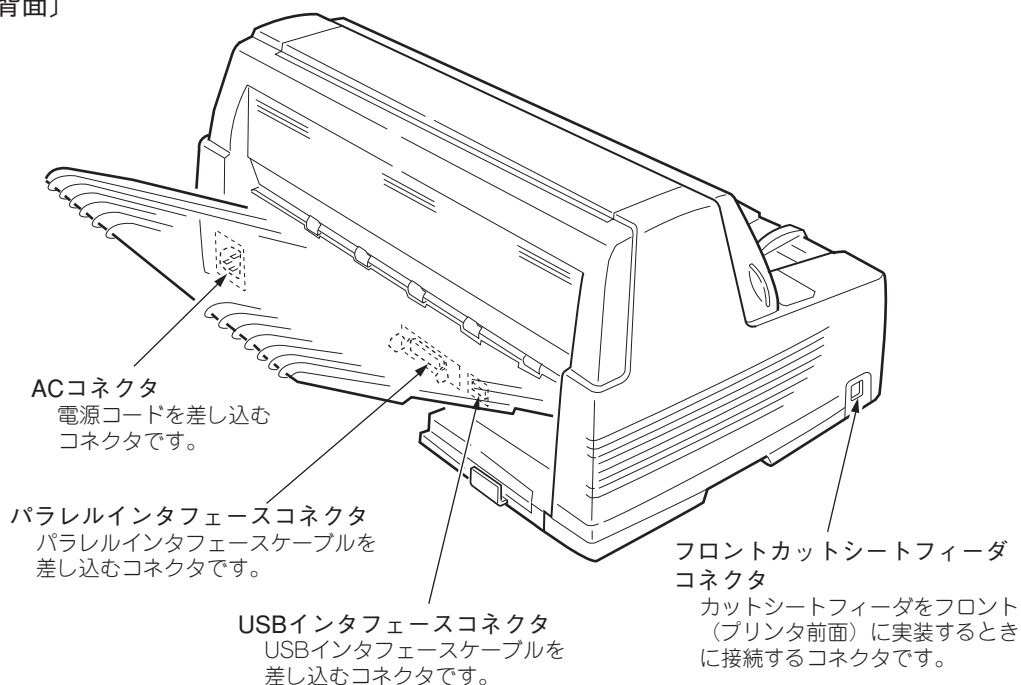
電源スイッチ
電源をON/OFFします。

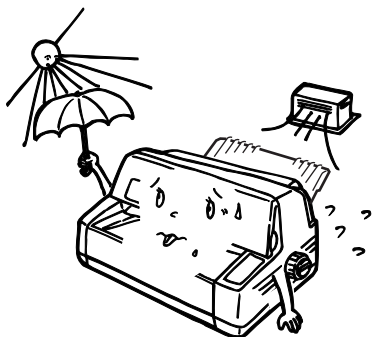
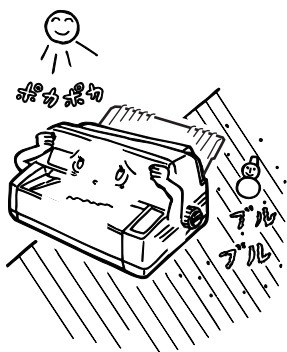
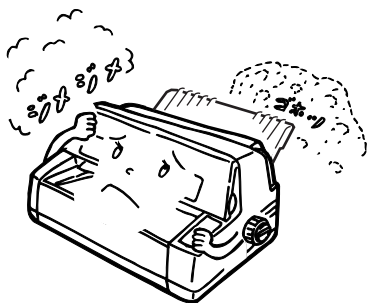
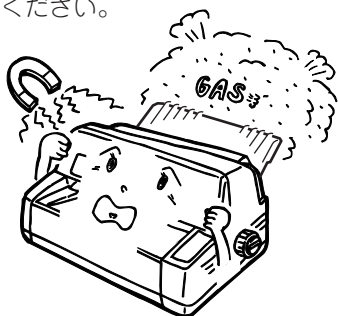
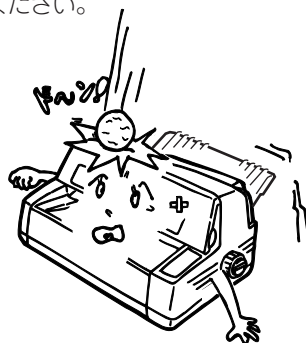
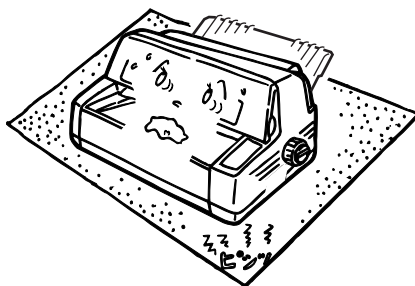
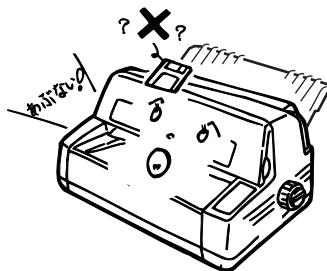
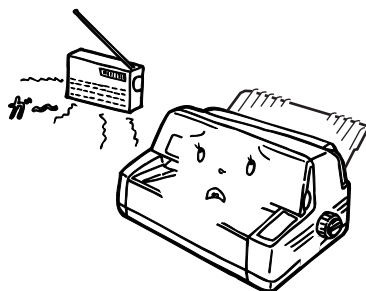
プラテンノブ
用紙を繰り出します。

印字ヘッド
文字を印字する部分です。

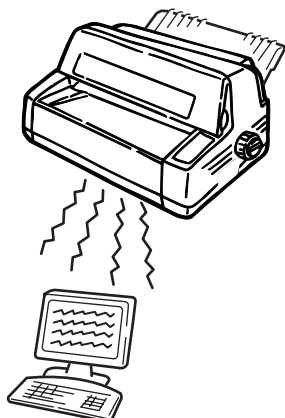
リアカットシートフィーダコネクタ
カットシートフィーダをリア（プリンタ後方）に実装するときに接続するコネクタです。

操作パネル
プリンタの操作に必要なスイッチやランプがあります。

〔背面〕

# 設置場所について

◎直射日光のあたる場所やヒータなどの熱器具の近くは避けてください。

◎急激な温度変化のある場所は避けてください。

◎湿気やほこりの多い場所は避けてください。

◎強い電磁界，腐食性ガスの発生する場所は避けてください。

◎衝撃を与えたり、衝撃や振動の加わる場所は避けてください。

◎じゅうたんを敷いた場所は避けてください。静電気障害の原因になります。

◎フロッピーディスクを乗せると、フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。

◎近くでラジオを聞く場合、周波数によっては雑音が入ることがあります。

◎プリンタの通風口をふさいだり、風通しの悪い場所は避けてください。

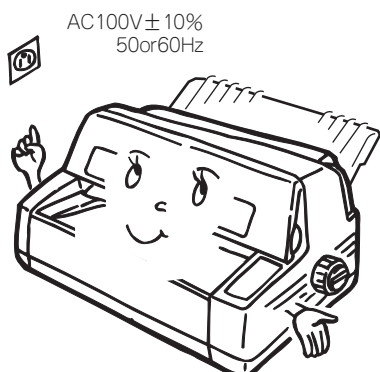
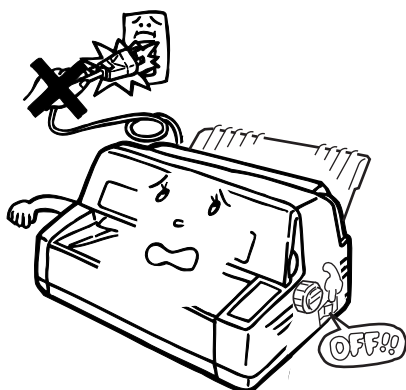
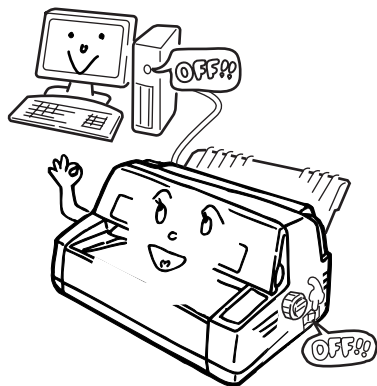
◎CRTの近くは避けてください。
電磁界の影響により、画面に歪みが発生することがあります。

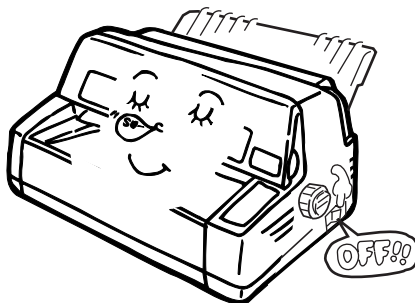
◎プリンタを設置する台，机は、プリンタの振動で動く場合がありますので、キャスター付きのものは避けてください。

1
章

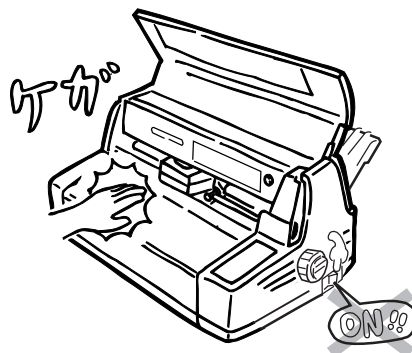
# 電源について

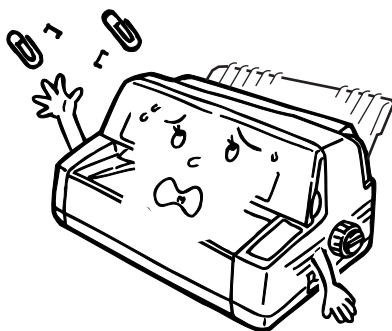
◎電源は必ずAC100V（50Hzまたは60Hz）を使用してください。

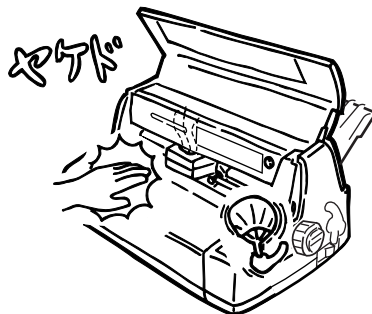
◎電源コードの抜き差しは、必ず電源スイッチを「OFF」にし､電源プラグを持って行ってください。
絶対に電源コードを引っ張らないでください。

◎プリンタとホストコンピュータを接続するときは、両方の電源スイッチを「OFF」にしてください。

◎オプションを取り付けるときは、電源スイッチを「OFF」にしてください。

◎雷が鳴っているときは電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜いてください。

◎長時間プリンタを使用しないときは、電源スイッチを「OFF」にしてください。

1章

# ご使用時の注意

| ⚠注意 | ケガをする恐れがあります。 |  |
|---|---|---|

電源をいれたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換などをしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

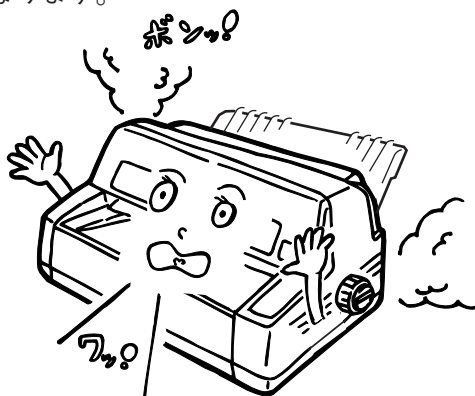
| ⚠注意 | 装置が壊れる恐れがあります。 |   |
|---|---|---|

プリンタ内部にクリップなどの異物を落とさないでください。もし、落ちてしまったときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターにご連絡ください。
ご自分で分解しないでください。故障の原因になります。

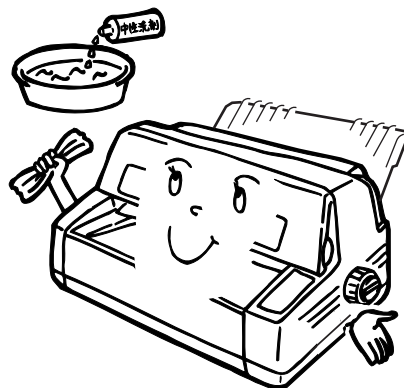
| ⚠注意 | やけどの恐れがあります。 |  |
|---|---|---|

印字直後は印字ヘッドやその周辺が高温になっていますので、印字ヘッドにはさわらないでください。

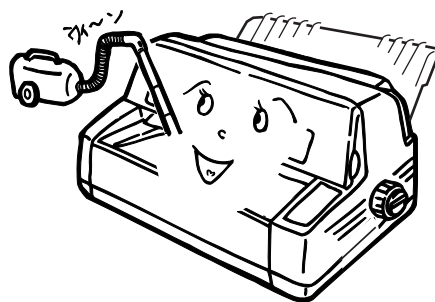
- 用紙やリボンカートリッジが無い状態では、絶対に印字させないでください。また、用紙幅以上の領域にも印字させないでください。
  印字ヘッドの寿命低下や、破損の原因になります。
- インクリボンとリボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- 印字が薄くなったり、インクリボンがほつれたりした場合には交換してください。包装を解いたリボンカートリッジは長時間放置すると寿命が短くなります。
- リボンカートリッジ交換後は、インクリボンがたるんでいないことを確認してください。たるんでいる場合は、つまみを矢印方向に回してたるみをとってから動作させてください。
  詳細は、「リボンカートリッジを取り付ける」（27ページ）を参照してください。
- 用紙は、仕様に合ったものを使用してください。用紙詰まりや印字精度低下等の原因となります。詳細は、「付録　用紙規格および印字範囲」（237ページ）を参照してください。

## 故障や異常のときは

| ⚠警告 | 故障や感電の原因になります。 |   |
|---|---|---|

故障や異常（においがしたり、煙が出たり、熱くなった）に気付いたときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターにご連絡ください。ご自分で分解したり、修理したりしないでください。故障や感電の原因になります。

# プリンタのお手入れ

◎プリンタカバーの汚れは、中性洗剤を薄めた液にひたした布を、堅くしぼってふき取ってください。

注 堅い布やシンナー，ベンジンなどでふかないでください。

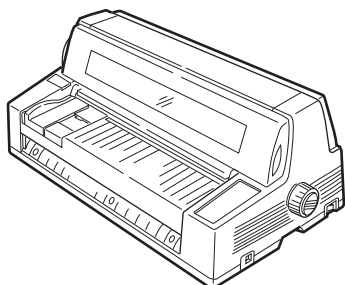
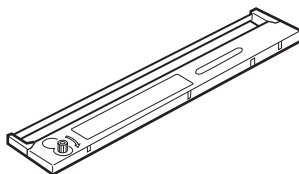
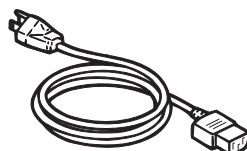
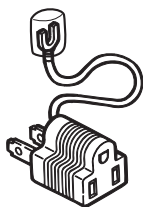
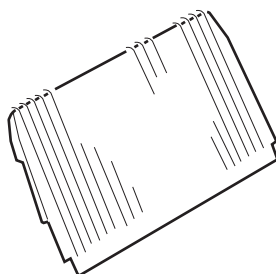
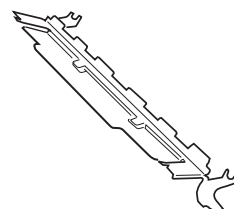
◎プリンタ内部にごみやほこり・紙紛が目立つ場合は、掃除機などを使用して取り除いてください。(220ページ参照)

注 ごみやほこり・紙紛がたまるとセンサーの誤動作や用紙送り不良、印字乱れなどの原因になります。

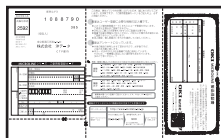
# 2 プリンタの準備

～箱を開けてからテスト印刷するまで～

# 梱包を開く

2章

プリンタの梱包を開いて、以下の付属品が揃っていることを確認してください。
もし、足りない場合は、プリンタをお買い求めの販売店にご連絡ください。

プリンタ

リボンカートリッジ

電源コード

電源用プラグ

シートスタッカ

スタッカサポート

ユーザーズマニュアル
（本書）

保証書/ご愛用者登録カード

キャリッジ固定
注意文

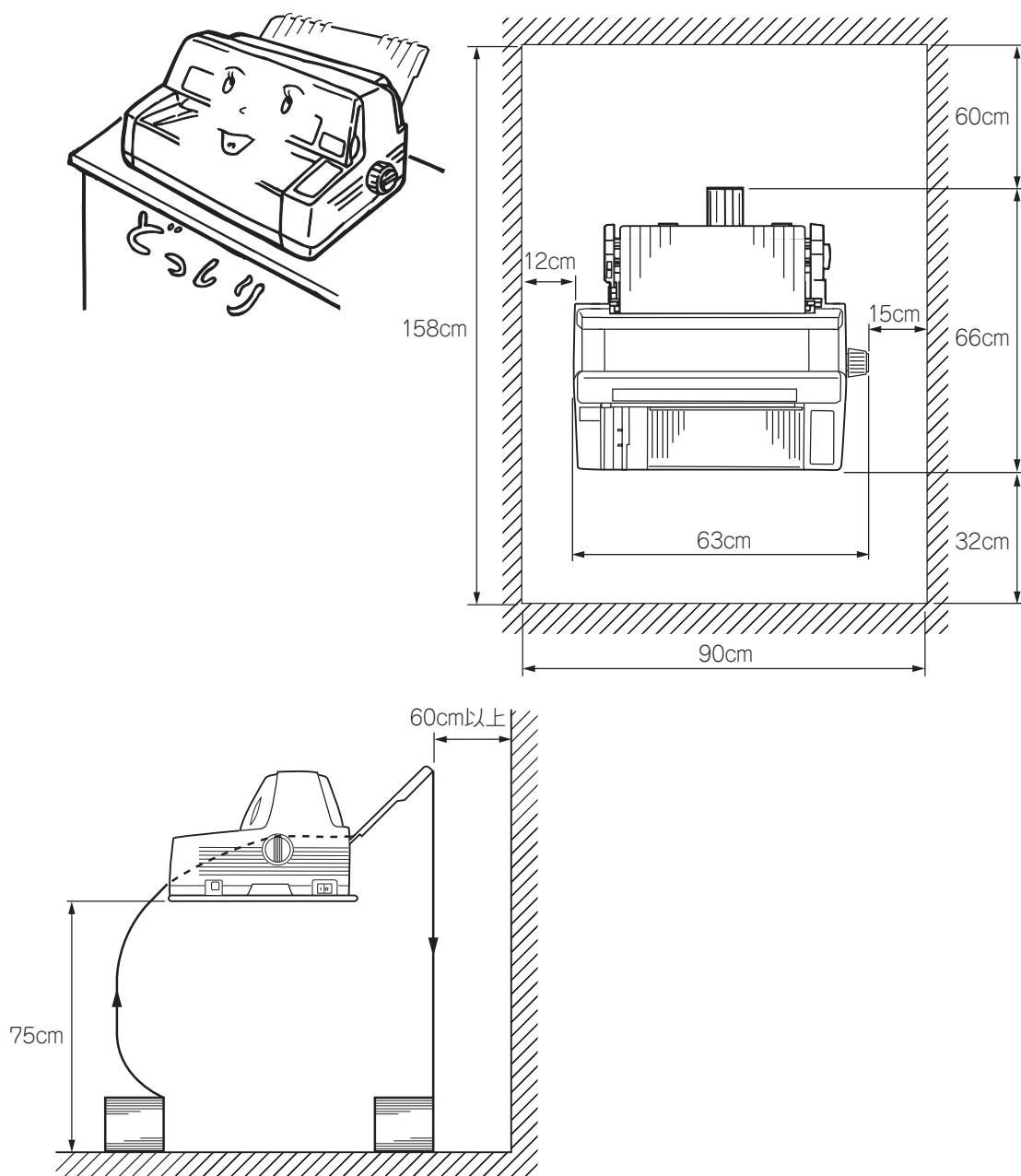
プリンタソフトウェアCD-ROM

- 保証書に必要事項が記入されているか確認してください。
  正しく記入されていない保証書は無効になり、無償保証を受けられない場合があります。もし、記入内容が不十分でしたら、販売店にお問い合わせください。
- 保証書は大切に保管してください。
- 梱包箱, 梱包材は保管しておき、再輸送の際に必ず使用してください。

# プリンタを設置する



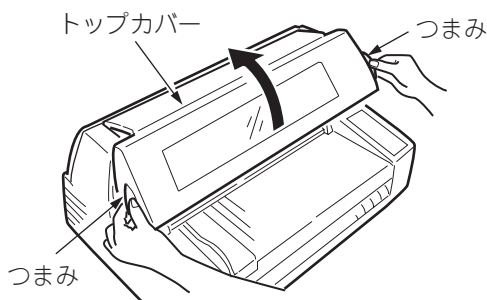
プリンタは、水平で安定した台の上に設置してください。また、操作, 日常の点検および消耗品の交換など、プリンタの性能を維持する作業を行うために下記の設置スペースを確保してください。

2章

# 固定具を取り除く

輸送時の振動などによる破損を防ぐため、キャリッジを固定具で固定してあります。ご使用になる前に、この固定具を外してください。

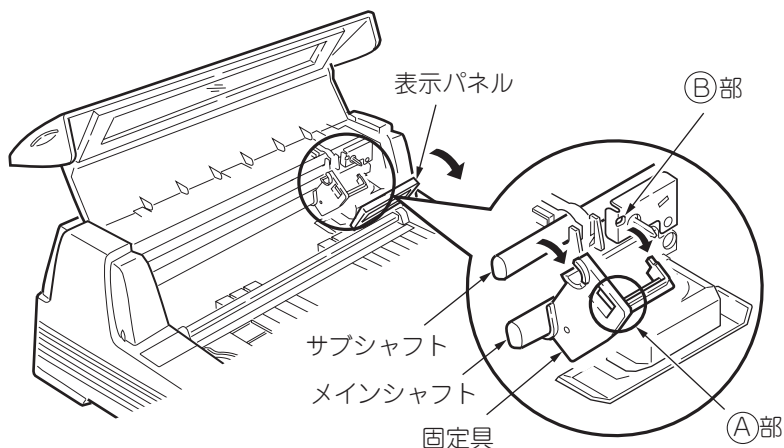
- 輸送時にはこの固定具で再度キャリッジを固定してください。
- 固定具を固定する際は、電源スイッチを「ON」にしてキャリッジが止まった後、電源スイッチを「OFF」にしてから固定してください。（キャリッジが上昇します）

**1** トップカバーを開きます。

トップカバーの左右のつまみを両手で持って開きます。

**2** 固定具を取り外します。

① 表示パネルを手前に倒します。

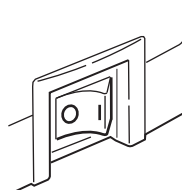
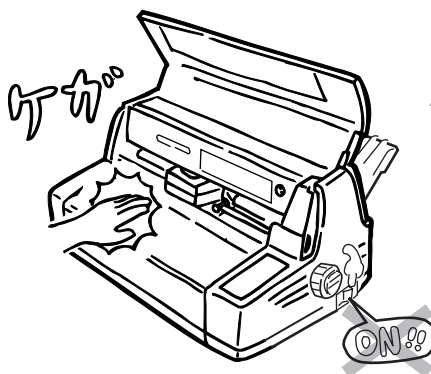
② Ⓐ部を持って矢印部を引き抜いて固定具を外してください。

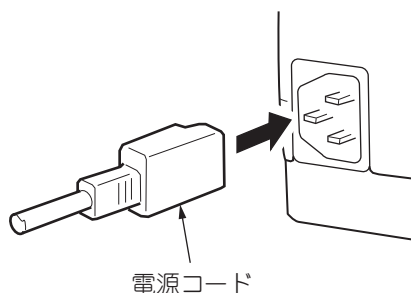
固定具を取り付ける際は、取り外しの逆の操作でキャリッジを右端に寄せて下のメインシャフトにはさみ、上のサブシャフトとⒷ部の孔にはまりこむまで押し込んでください。

**3** トップカバーを閉じます。

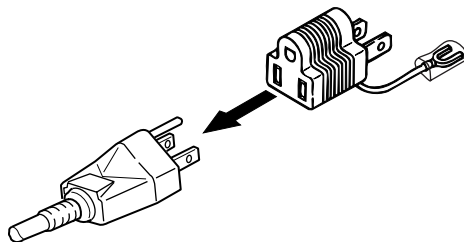
表示パネルを元の位置に戻して、両手で左右のつまみを持ってトップカバーがロックされるまで閉じます。

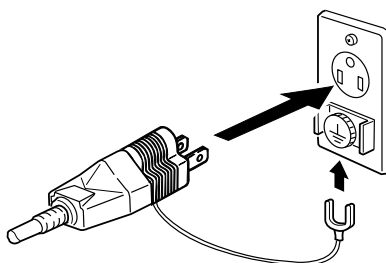
# 電源コードを取り付ける

電源コードとアース線を接続します。

**1** 電源スイッチが「**OFF**」（○側）になっていることを確認します。

| ⚠注意 | ケガをする恐れがあります。 |  |
|---|---|---|

プリンタが突然動作することがあります。
必ず、電源スイッチを「OFF」にしてください。

**2** 電源コードをプリンタのACコネクタに接続します。

**3** 電源コードに電源用プラグを差し込みます。

コンセントが3極の場合は、電源用プラグは不要です。

**4** 電源プラグをコンセントに差し込み、アース線をアース端子に接続します。

| ⚠警告 | 感電の恐れがあります。 |  |
|---|---|---|

万一の危険防止のため、アースは必ず接続してください。ガス管には絶対に接続しないでください。電源プラグのアースが接続できない場合は、電気工事店へご相談ください。

注

- アース線をコンセントに一緒に差し込まないでください。
- 電源は必ずAC100V（50Hzまたは60Hz）を使用してください。
- 電源を入れたとき、一瞬大きな電流が流れます。
  電圧低下を避けるため、空調機や電動機器など、大電流を使う系統との電源共用は避けてください。
- このプリンタは、ドット密度の高い印字（黒ベタ印字など）を行うと、最大4.5Aの電流が流れます。パソコンなどのサービスコンセントには接続しないでください。タコ足配線は、絶対しないでください。
- 電源コードは、添付されているものを使用してください。
- 電源コードの抜き差しは、必ず電源スイッチを「OFF」にしてから、電源プラグを持って行ってください。絶対に電源コードを引っ張らないでください。

# リボンカートリッジを取り付ける

最初にリボンカートリッジを取り付けます。

リボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

## ●リボンカートリッジの取り付け

**1** 電源スイッチを「**ON**」にします。印字ヘッドが上昇し左へ移動後、リボンセット位置（中央）に停止したことを確認して、電源スイッチを「**OFF**」にします。

印字ヘッドが上昇することで、リボンがセットし易くなります。

印字ヘッドがリボンセット位置にない場合は、手順3で印字ヘッドを手動でリボンセット位置に移動します。

| ⚠注意 | ケガをする恐れがあります。 |  |
|---|---|---|

電源を入れたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換をしないでください。プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

**2** トップカバーを開きます。

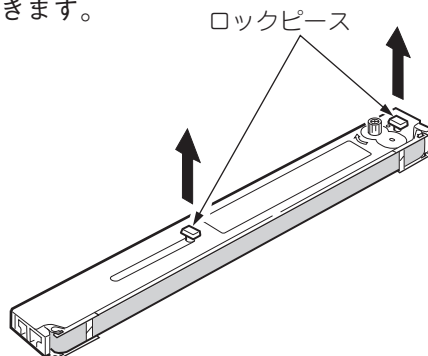
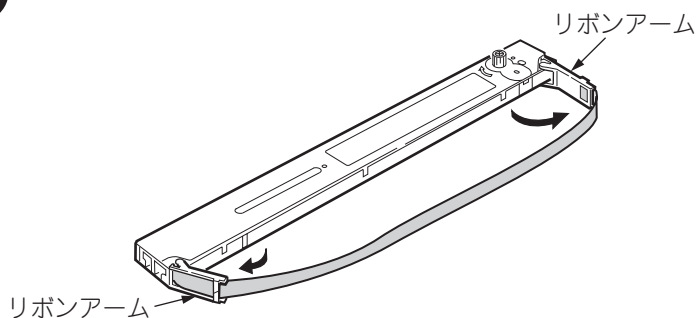
トップカバーの左右のつまみを両手で持って開きます。

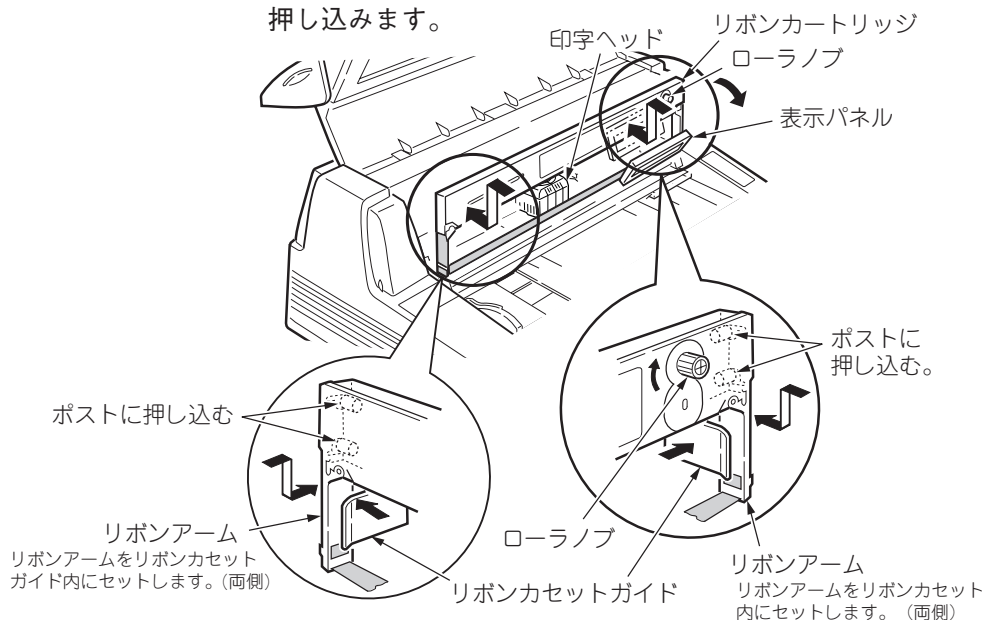
2章

**3** キャリッジが「リボン▲セット位置」にあることを確認します。「リボン▲セット位置」にない場合はキャリッジを、「リボン▲セット位置」へ移動させます。

| ⚠注意 | やけどの恐れがあります。 |  |
|---|---|---|

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドやその周辺にさわらないでください。
リボンカートリッジの取り付けは、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

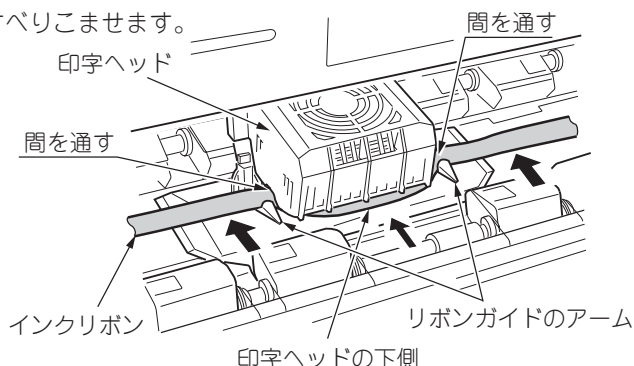
**4** リボンカートリッジの包装紙を取り除き、ロックピースを引き抜きます。

**5** 左右のリボンアームを止まるまで開きます。

## 6

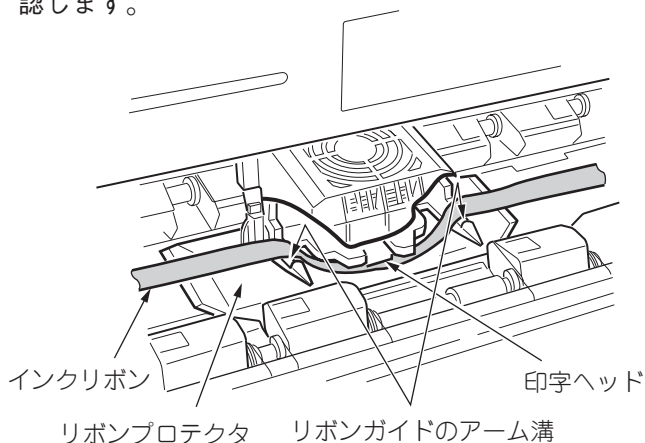
表示パネルを手前に倒して上方よりリボンカートリッジを入れて、キャリッジの上側にリボンカートリッジをセットし、リボンカートリッジのローラノブを時計方向（矢印方向）に回しながらリボンカートリッジの両端を止まるまで押し込みます。

リボンカートリッジをリボンカセットガイドの上方（矢印部）に突き当てて押し込むと容易にセットできます。

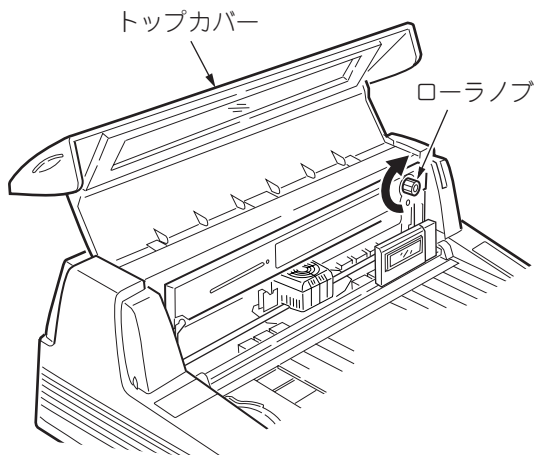
- 左右のリボンアームがリボンカセットガイド内に確実にセットされているか確認してください。
- ローラノブを矢印の反対方向に回さないでください。リボンジャムの原因になります。

## 7

印字ヘッドの下側にインクリボンを通します。

カセットの左側からインクリボンを引き出し、リボンガイドのアーム先端にインクリボンを乗せ、印字ヘッドの下側にリボンがセットされるように、リボンの左右を指で押さえながら奥のほうにすべりこませます。

ペンなどを使用する場合、リボンカートリッジのローラノブを矢印方向に回しながら、インクリボンが印字ヘッドの下側へすべり込むようにペンなどでインクリボンの左右を押します。

**8** リボンガイドのアーム溝にインクリボンが通ったことを確認します。

**9** 最後にもう一度ローラノブを時計方向（矢印方向）に回してインクリボンのたるみを取ります。

注 ローラノブを矢印の反対方向に回さないでください。リボンジャムの原因になります。

注 印字ヘッドとリボンプロテクタのすき間にインクリボンを通した際、よじれや折れ、カートリッジ左右のアームから外れがないことを確認してください。

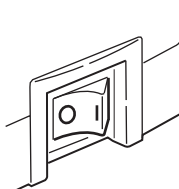
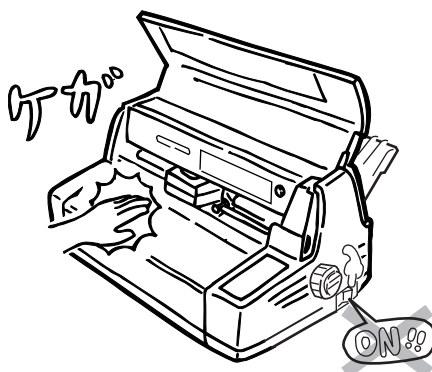
**10** 表示パネルを元に戻します。

**11** トップカバーを閉じます。

## ●リボンカートリッジの取り外し

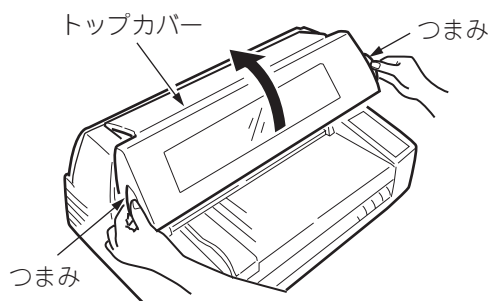
**1** 電源スイッチを「ON」にします。印字ヘッドが上昇し左へ移動後、リボンセット位置（中央）に停止したことを確認して、電源スイッチを「OFF」にします。

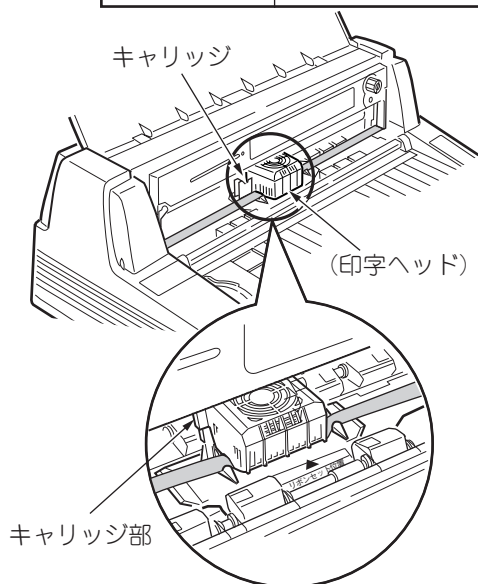
印字ヘッドが上昇することで、リボンがセットし易くなります。

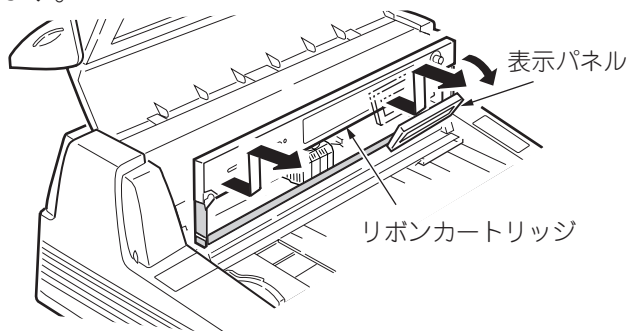
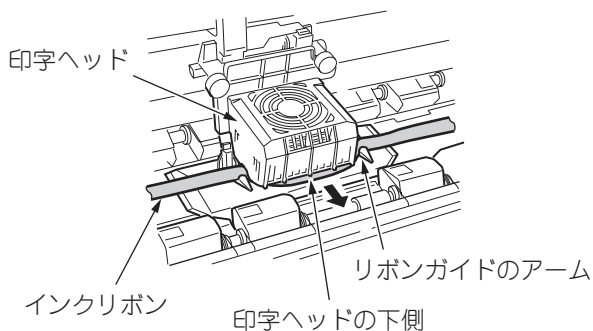
注 印字ヘッドがリボンセット位置にない場合は、手順3で印字ヘッドを手動でリボンセット位置に移動します。

| ⚠注意 | ケガをする恐れがあります。 |  |
|---|---|---|

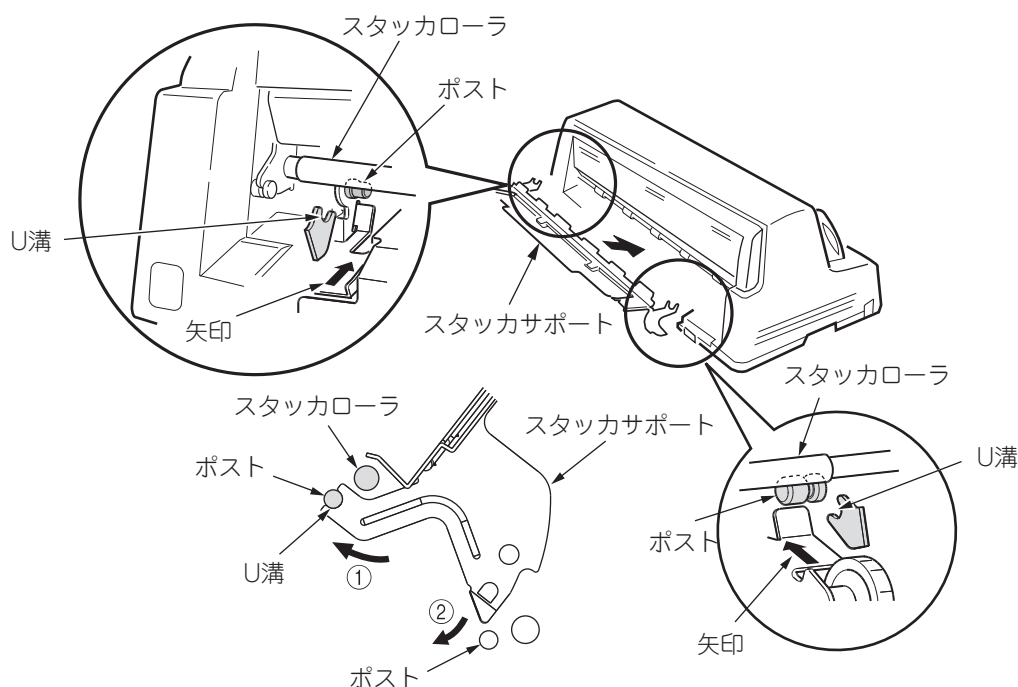
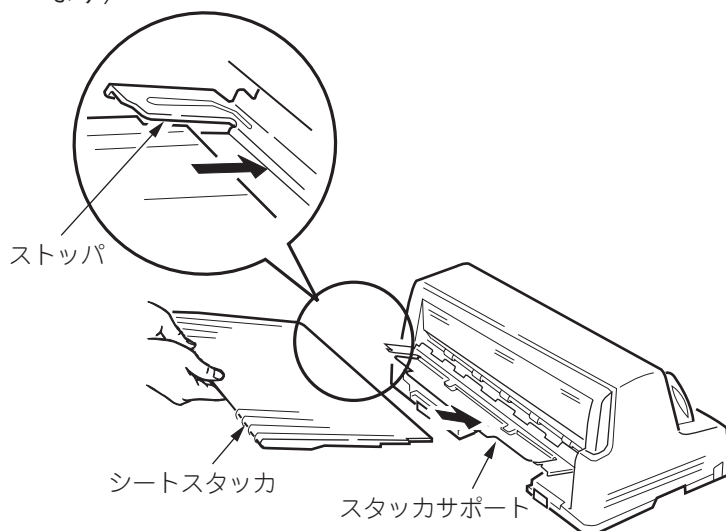
電源を入れたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

**2** トップカバーを開きます。

トップカバーの左右のつまみを両手で持って開きます。

**3** キャリッジが「リボン▲セット位置」にあることを確認します。「リボン▲セット位置」にない場合はキャリッジを、「リボン▲セット位置」へ移動させます。

| ⚠注意 | やけどの恐れがあります。 |  |
|---|---|---|

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドやその周辺にさわらないでください。
リボンカートリッジの取り外しは、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

**4** 表示パネルを手前に倒し、リボンカートリッジの両側を手前に引いてロックを外し、そのまま全体を矢印のように外します。

**5** リボンガイドからインクリボンを外します。

# シートスタッカ, スタッカサポートを取り付ける

**1** スタッカサポートを取り付けます。
スタッカサポート先端のU溝をプリンタ後方の矢印を目安に
① スタッカローラの奥にあるポストに差し込みます。
② そのまま回転させるように下方に押し込みます。

**2** シートスタッカをスタッカサポートの中央に差し込みます。(左右にストッパがありますのでこの内側に差し込みます)

# テスト印字をする

プリンタが正確に動くことを確かめるために、テスト印字を行います。テスト印字には、A4サイズ以上の単票の縦置、または381mm（15インチ）幅の連続紙を使用します。
ここでは、A4サイズの単票を使う場合を例にとって、テスト印字の手順を説明します。

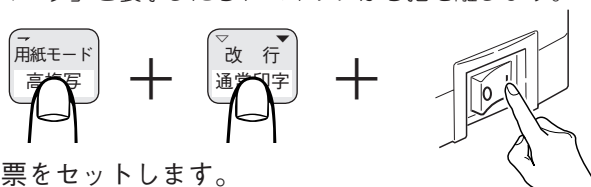
**1** 電源スイッチを「**ON**」にします。

**2** 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。オフライン状態で「**用紙モード/高複写**」スイッチを押して "テサシ" にします。

用紙モード
高複写

| オ | ン | ラ | イ | ン | | | | | ツ | ウ | シ | ゛ | ョ | ウ | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| テ | サ | シ | | | | | | | | | | | | | |

**3** 約2秒位で切り換え動作を行いますので、その後電源スイッチを「**OFF**」にします。

**4** 「**用紙モード/高複写**」＋「**改行/通常印字**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」にします。
（連続紙の場合も同じスイッチを押します。）
表示パネルに「イニシャルショリチュウ／スイッチヲ　ニンシキシマシタ」と表示したら、スイッチから指を離します。

**5** 単票をセットします。

単票の左端をシートガイドに合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。
約2秒後、単票が自動的に吸入されます。

**6** プリンタが印字を開始します。

「印字可」スイッチを押すと、印字を中断します。
もう一度「印字可」スイッチを押すと、印字を再開します。

**7** 「**印字可**」スイッチを押して印字を中断して「**改頁/高速印字**」スイッチを押すと単票を排出します。またはテスト印字が終了すると単票を排出します。

**8** 電源スイッチを「**OFF**」にします。

連続紙の場合は、115ページを参照して用紙をセットしてください。

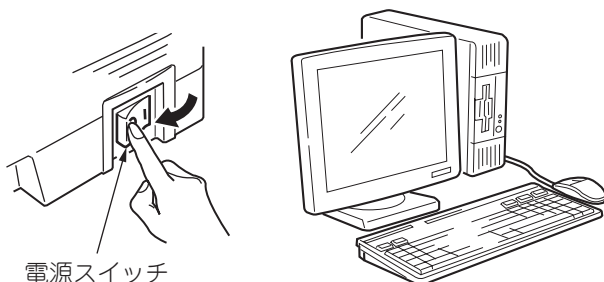
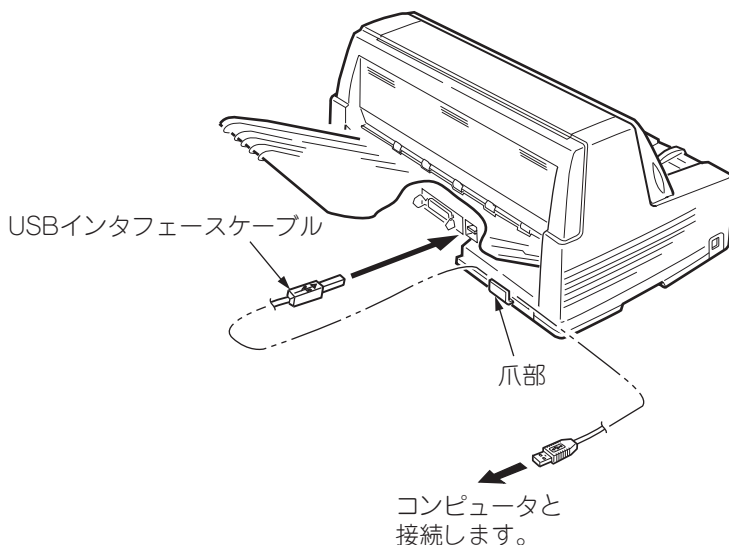
注 テスト印字を行ってみて、動作が異常な場合には、「こんなときには」(212ページ）を参照してください。

# 3　ホストコンピュータに接続する

# USBインタフェースでホストコンピュータに接続する

USBインタフェースケーブルは、USB2.0仕様のインタフェースケーブルをご用意ください。USBインタフェースのケーブル詳細および信号線ピン配列は、「USBインタフェース」（234ページ）をご覧ください。
※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。



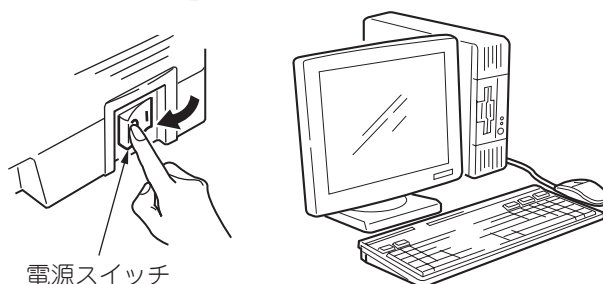
**1** 電源スイッチを「**OFF**」にします。コンピュータ側の電源スイッチも「**OFF**」にします。

**2** USBインタフェースケーブルを接続します。

USBインタフェースケーブルが邪魔にならないよう、リアカバーの爪部にケーブルを通します。

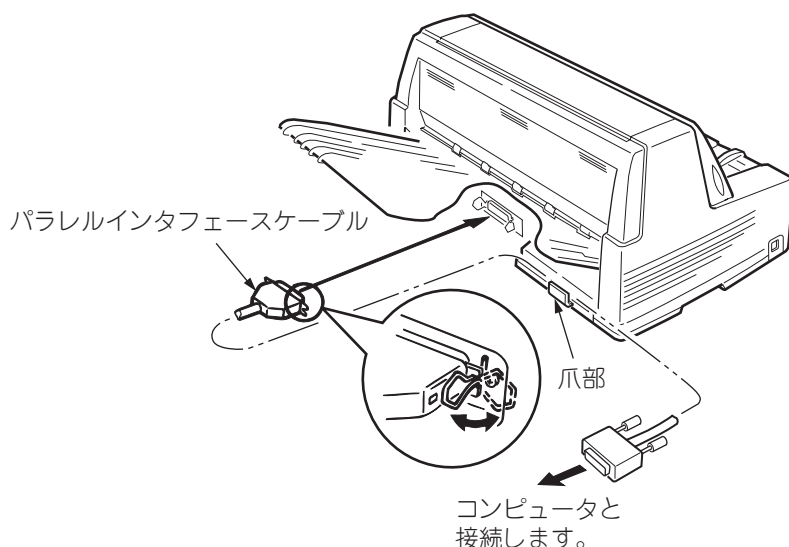
**3** コンピュータにUSBインタフェースケーブルを接続します。

詳しくは、コンピュータのマニュアルをご覧ください。

# パラレルインタフェースでホストコンピュータに接続する

パラレルインタフェースケーブルは、ホストコンピュータによって異なります。それぞれのホストコンピュータに合わせてIEEE std1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルをご用意ください。
パラレルインタフェースの信号線ピン配列は、「パラレルインタフェース」(229ページ)をご覧ください。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

**1** 電源スイッチを「OFF」にします。コンピュータ側の電源スイッチも「OFF」にします。

**2** パラレルインタフェースケーブルを接続します。

ケーブルが外れないようにプリンタ側の止め金具で固定します。

パラレルインタフェースケーブルが邪魔にならないよう、リアカバーの爪部にケーブルを差し込みます。

**3** コンピュータにパラレルインタフェースケーブルを接続します。

詳しくは、コンピュータのマニュアルをご覧ください。

# Windows Vista 環境で使用する

## ●プリンタの設定

Windows Vista から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（156 ページ）を参照してください。

## ●プリンタドライバの動作環境

Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェース/双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

日本語版以外の OS には対応していません。

## ●プリンタドライバのセットアップ

- ご使用のインタフェースケーブルでのセットアップ手順に従ってセットアップしてください。
- Administrator の権限（コンピュータの管理者の権限）が必要です。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

なお、説明の中ではCD-ROMのドライブ名はD：を例にしています。

［USB インタフェースケーブルを使用します］

- 『プリンタ』フォルダ内の『プリンタのインストール』からはセットアップできません。
- セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。

**1** プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

**2** USB ケーブルを接続します。

**3** プリンタの電源を「ON」にします。

**4** Windows Vista を起動します。
すでに Windows Vista が起動している場合は、再起動してください。

プラグアンドプレイで、自動的にプリンタドライバがセットアップされます。



［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。

**1** プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

**2** パラレルケーブルを接続します。

**3** プリンタの電源を「ON」にします。

**4** Windows Vista を起動します。
すでに Windows Vista が起動している場合は、再起動してください。

プラグアンドプレイで、自動的にプリンタドライバがセットアップされます。

## ●印刷条件の設定

### デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

**給紙方法と用紙の割り当て**

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

### 用紙 / 品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

**給紙方法**

給紙方法を選択します。

- 手差し
- 前カットシートフィーダ
- 後カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

### 詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙 / 品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

#### 用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

#### 出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

#### 印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

注

- 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

| | | 印字データの種類 | プリンタ本体の設定 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 通常印字 | 高速印字 |
| 印刷品質 | 高密度 | 内蔵フォント | 通常印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |
| | 高速 | 内蔵フォント | 高速印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

### カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

**1**　『スタート』-『コントロールパネル』-『プリンタ』を開き、画面上で右クリック後、さらに、『管理者として実行』-『サーバのプロパティ』を選択します。

**2**　『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。

「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。

●高さは 1/6 インチ単位で設定してください。

OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思いどおりの印刷結果が得られない場合があります。

**3**　作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

## ●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は、〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角（〔明朝〕の縦横 2 倍）の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

# WindowsServer2003環境で使用する

## ●プリンタの設定

WindowsServer2003から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（156ページ）を参照してください。

## ●プリンタドライバの動作環境

WindowsServer2003日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェース/双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

日本語版以外のOSには対応していません。

## ●プリンタドライバのセットアップ

- ご使用のインタフェースケーブルでのセットアップ手順に従ってセットアップしてください。
- Administratorの権限（コンピュータの管理者の権限）が必要です。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

なお、説明の中ではCD-ROMのドライブ名はD：を例にしています。

［USBインタフェースケーブルを使用します］

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。『プリンタとFAX』フォルダ内の『プリンタのインストール』からはセットアップできません。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでにOKI MICROLINE SUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。



**1** プリンタの電源を「ON」にします。
※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

**2** WindowsServer2003を起動します。
すでにWindowsServer2003が起動している場合は、再起動してください。

**3** 『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されるので、『一覧または特定の場所からインストールする（詳細）』をチェックして、『次へ』をクリックします。
※『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』が表示されない場合は、USBインタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、8へ進みます。

**4** プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『次の場所を含める』のみをチェックして「D:¥Driver¥SU¥WinS2003」と入力し、『次へ』をクリックします。

**5** 『ハードウェアのインストール』画面で、「Windowsロゴテストに合格していません」と表示されますが、そのまま『続行』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

**6** 『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で『完了』をクリックします。

**7** 『プリンタとFAX』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

## 『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されない場合

**8** 『スタート』ー『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。

**9** 『ハードウェア』タブの『デバイスマネージャ』をクリックします。

**10** 『その他のデバイス』の『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 8480SU』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

**11** 『その他のデバイス』が表示されない場合は、『表示』メニューの『非表示のデバイスの表示』を選択し、『プリンタ』の『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 8480SU』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

**12** 『デバイスの削除の確認』画面で『OK』をクリックし、『デバイスマネージャ』を閉じます。

**13** 『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

**14** Windowsを再起動し、『新しいハードウェアの検出ウィザード』開始画面から再セットアップします。

[パラレルインタフェースケーブルを使用します]

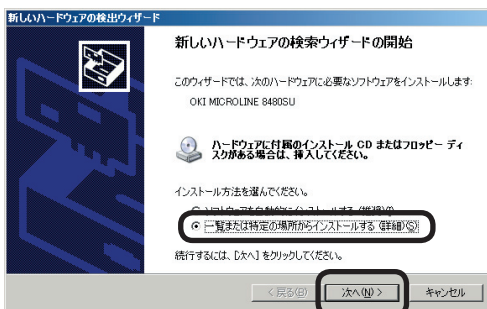
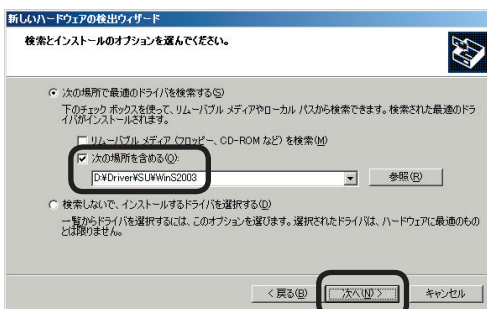
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。パラレルインタフェースでWindowsServer2003と接続する場合、『プリンタのインストール』では正しくセットアップできません。プリンタのインストールでセットアップすると、WindowsServer2003を起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面（新しいハードウェアの検出ウィザード）が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでにOKI MICROLINE SUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

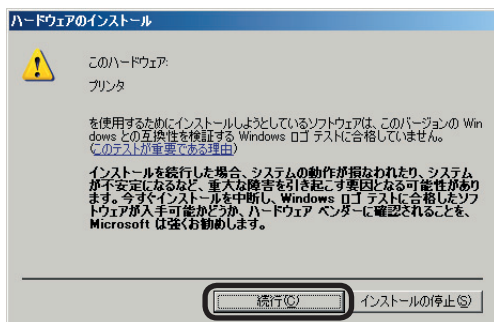
3
章

**1** プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

**2** パラレルケーブルを接続します。

**3** プリンタの電源を「ON」にします。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

**4** WindowsServer2003を起動します。
すでにWindowsServer2003が起動している場合は、再起動してください。
『新しいハードウェアの検出ウィザード』が起動するので、『一覧または特定の場所からインストールする』を選択し、『次へ』をクリックします。

**5** 『次の場所で最適のドライバを検索する』を選択し、『リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索』のチェックを外します。

『次の場所を含める』にチェックを付け、プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、「D:¥Driver¥SU¥WinS2003」と入力して『次へ』をクリックします。

3章

**6**　『ハードウェアのインストール』画面で「Windowsロゴテストに合格していません」と表示されますが、そのまま『続行』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

**7**　『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で、『完了』をクリックします。

**8**　『プリンタとFAX』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

## ●印刷条件の設定

### デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

**給紙方法と用紙の割り当て**

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

### 用紙/品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

**給紙方法**

給紙方法を選択します。

- 手差し
- 前カットシートフィーダ
- 後カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

## 詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙/品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

### 用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

### 出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

### 印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

- 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

| | | 印字データの種類 | プリンタ本体の設定 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 通常印字 | 高速印字 |
| 印刷品質 | 高密度 | 内蔵フォント | 通常印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |
| | 高速 | 内蔵フォント | 高速印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

### カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

**1** 『マイコンピュータ』-『プリンタとFAX』-『ファイル』-『サーバのプロパティ』を選択します。

**2** 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。
●高さは1/6インチ単位で設定してください。

OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思いどおりの印刷結果が得られない場合があります。

**3** 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

## ●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角(〔明朝〕の縦横 2 倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

# WindowsXP環境で使用する

## ●プリンタの設定

WindowsXPから印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（156ページ）を参照してください。

## ●プリンタドライバの動作環境

WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェース/双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

日本語版以外のOSには対応していません。

## ●プリンタドライバのセットアップ

- ご使用のインタフェースケーブルでのセットアップ手順に従ってセットアップしてください。
- Administratorの権限（コンピュータの管理者の権限）が必要です。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

なお、説明の中ではCD-ROMのドライブ名はD：を例にしています。

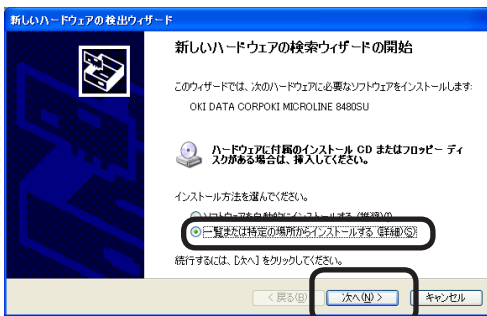
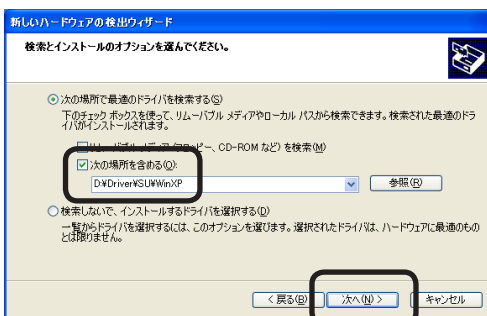
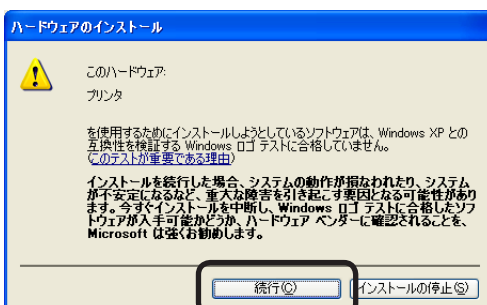
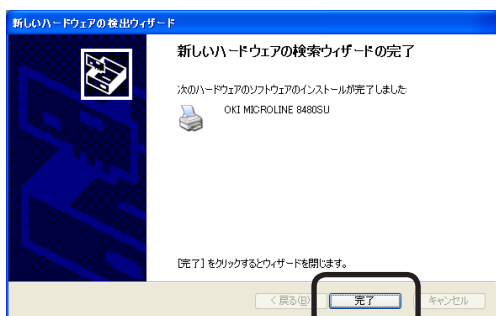
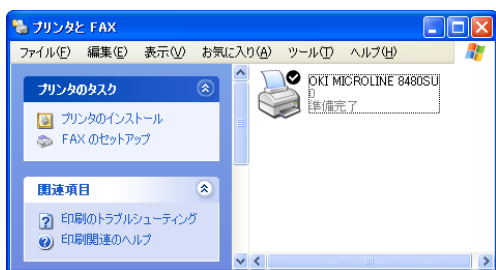
［USBインタフェースケーブルを使用します］

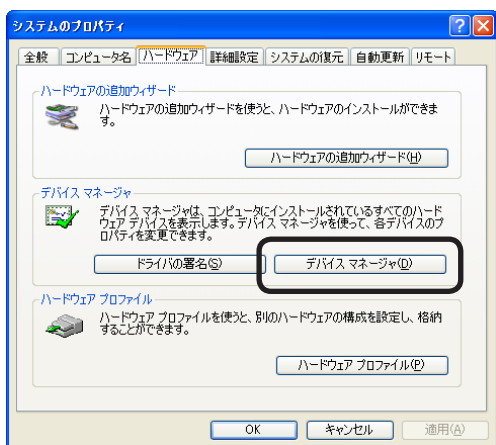
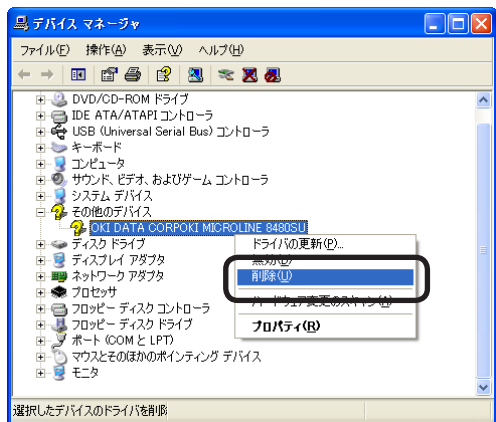
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。『プリンタとFAX』フォルダ内の『プリンタのインストール』からはセットアップできません。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでにOKI MICROLINE SUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

3章

**1** プリンタの電源を「ON」にします。
※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

**2** WindowsXPを起動します。
すでにWindowsXPが起動している場合は、再起動してください。

**3** 『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されるので、『一覧または特定の場所からインストールする（詳細）』をチェックして、『次へ』をクリックします。
※『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』が表示されない場合は、USBインタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、8へ進みます。

**4** プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『次の場所を含める』のみをチェックして「D:¥Driver¥SU¥WinXP」と入力し、『次へ』をクリックします。

**5** 『ハードウェアのインストール』画面で、「WindowsXPとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません」と表示されますが、そのまま『続行』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

**6** 『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で『完了』をクリックします。

**7** 『プリンタとFAX』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

## 『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されない場合

**8** 『スタート』－『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。

**9** 『ハードウェア』タブの『デバイスマネージャ』をクリックします。

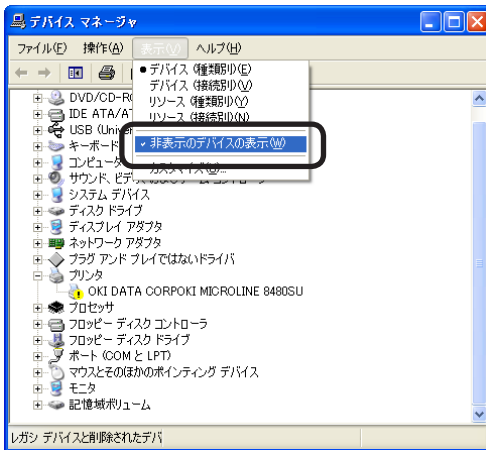
**10** 『その他のデバイス』の『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 8480SU』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

**11** 『その他のデバイス』が表示されない場合は、『表示』メニューの『非表示のデバイスの表示』を選択し、『プリンタ』の『OKI DATA CORPOKI MICROLINE 8480SU』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

**12** 『デバイスの削除の確認』画面で『OK』をクリックし、『デバイスマネージャ』を閉じます。

**13** 『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

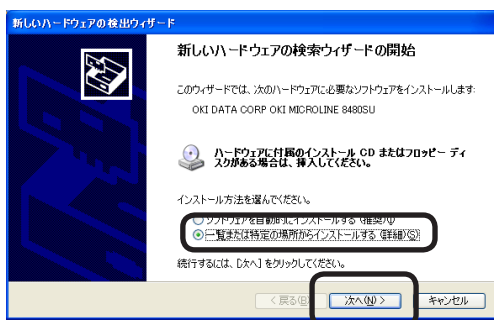
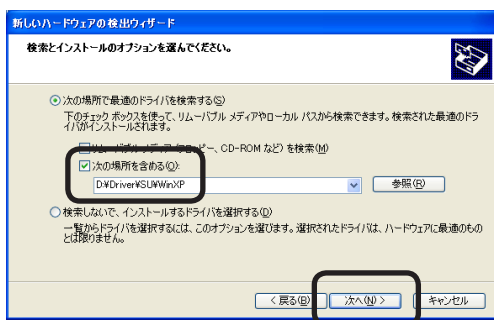
**14** Windowsを再起動し、『新しいハードウェアの検出ウィザード』開始画面から再セットアップします。

［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。パラレルインタフェースでWindowsXPと接続する場合、『プリンタのインストール』では正しくセットアップできません。プリンタのインストールでセットアップすると、WindowsXPを起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面（新しいハードウェアの検出ウィザード）が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでにOKI MICROLINE SUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

**1** プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

**2** パラレルケーブルを接続します。

**3** プリンタの電源を「ON」にします。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

**4** WindowsXPを起動します。
すでにWindowsXPが起動している場合は、再起動してください。
『新しいハードウェアの検出ウィザード』が起動するので、『一覧または特定の場所からインストールする』を選択し、『次へ』をクリックします。

**5** 『次の場所で最適のドライバを検索する』を選択し、『リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索』のチェックを外します。

『次の場所を含める』にチェックを付け、プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、「D:¥Driver¥SU¥WinXP」と入力して『次へ』をクリックします。

**6**　『ハードウェアのインストール』画面で「WindowsXPとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません」と表示されますが、そのまま『続行』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

3
章

**7**　『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で、『完了』をクリックします。

**8**　『プリンタとFAX』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

## ●印刷条件の設定

### デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

**給紙方法と用紙の割り当て**

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

### 用紙/品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

**給紙方法**

給紙方法を選択します。

- 手差し
- 前カットシートフィーダ
- 後カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

### 詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙/品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

**用紙サイズ**

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

**出力トレイ**

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

**印刷品質**

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

- 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

| | | 印字データの種類 | プリンタ本体の設定 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 通常印字 | 高速印字 |
| 印刷品質 | 高密度 | 内蔵フォント | 通常印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |
| | 高速 | 内蔵フォント | 高速印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

1 『マイコンピュータ』-『プリンタとFAX』-『ファイル』-『サーバのプロパティ』を選択します。

2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。

●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注　OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思いどおりの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

## ●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の８種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は、〔明朝〕の横２倍となります。４倍角（〔明朝〕の縦横２倍）の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

# Windows2000環境で使用する

## ●プリンタの設定

Windows2000から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（156ページ）を参照してください。



## ●プリンタドライバの動作環境

Windows2000日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC9821シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェースを搭載している機種

日本語版以外のOSには対応していません。

## ●プリンタドライバのセットアップ

- ご使用のインタフェースケーブルでのセットアップ手順に従ってセットアップしてください。
- Administratorの権限（コンピュータの管理者の権限）が必要です。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

なお、説明の中ではCD-ROMのドライブ名はD：を例にしています。

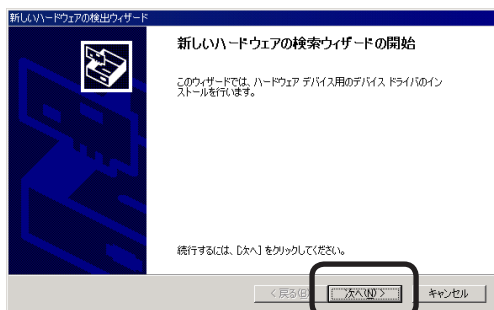
［USBインタフェースケーブルを使用します］

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。初めてプリンタドライバをセットアップするときは、『プリンタ』フォルダ内の『プリンタの追加』からはセットアップできません。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでにOKI MICROLINE SUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

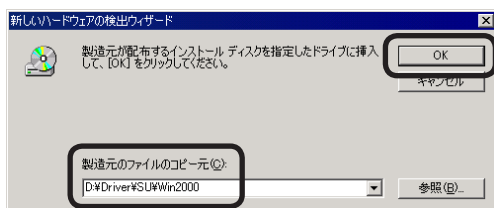
3章

**1** プリンタの電源を「ON」にします。
※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

**2** Windows2000を起動します。
すでにWindows2000が起動している場合は、再起動してください。

**3** 『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されるので、『次へ』をクリックします。
※『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されない場合は、USBインタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、11へ進みます。

**4** 『デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。

**5** 『場所を指定』のみをチェックして、『次へ』をクリックします。

**6** プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、「製造元のファイルのコピー元:」に「D:¥Driver¥SU¥Win2000」と入力して、『OK』をクリックします。

**7** 『ドライバファイルの検索』画面で『次へ』をクリックします。

**8**　『デジタル著名が見つかりませんでした』画面で、『はい』をクリックします。

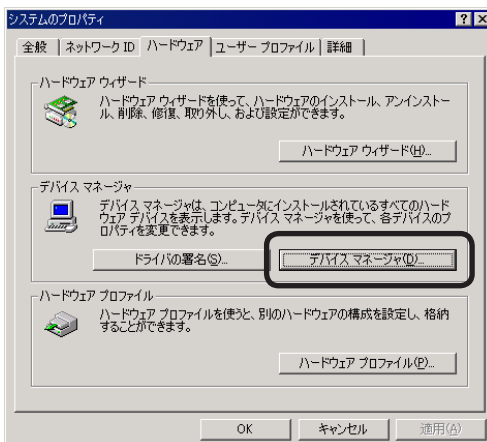
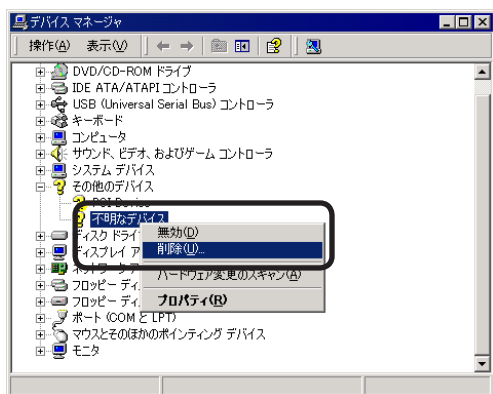
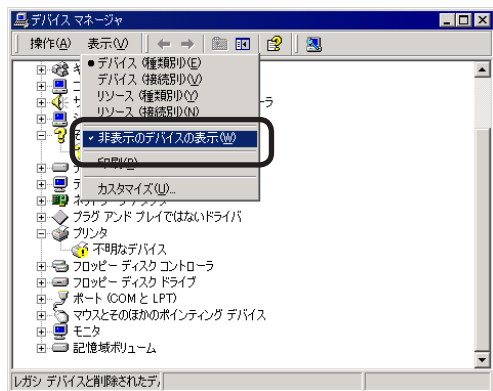
ファイルのコピーが開始されます。

**9**　『新しいハードウェアの検索ウィザードの完了』画面で、『完了』をクリックします。

**10**　『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

## 『新しいハードウェアの検索ウィザードの開始』画面が表示されない場合

**11**　『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。

**12**　『ハードウェア』タブの『デバイスマネージャ』をクリックします。

**13** 『その他のデバイス』の『不明なデバイス』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

**14** 『その他のデバイス』に『不明なデバイス』が表示されない場合は、『表示』メニューの『非表示のデバイスの表示』を選択し、『プリンタ』の『不明なデバイス』をマウスの右ボタンでクリックして、『削除』を選択します。

**15** 『デバイスの削除の確認』画面で『OK』をクリックし、『デバイスマネージャ』を閉じます。

**16** 『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

**17** Windowsを再起動し、『新しいハードウェアの検出ウィザード』画面から再セットアップします。

［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

- プリンタドライバのセットアップは『プリンタの追加』から行います。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでにOKI MICROLINE SUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

3章

**1** プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

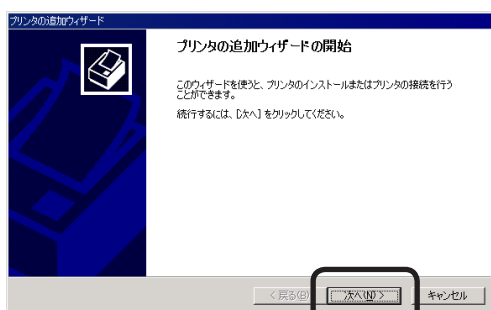
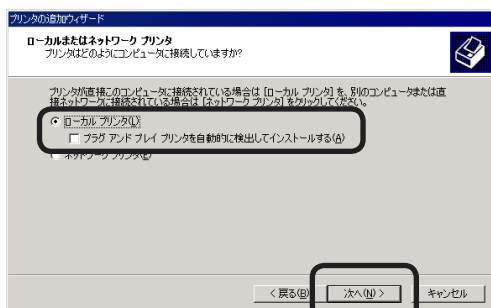
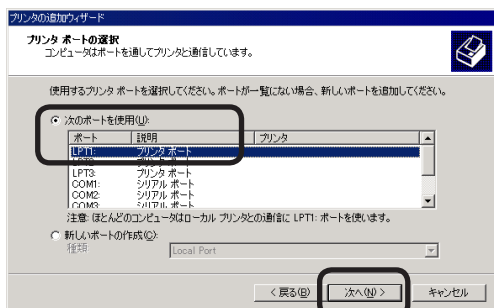
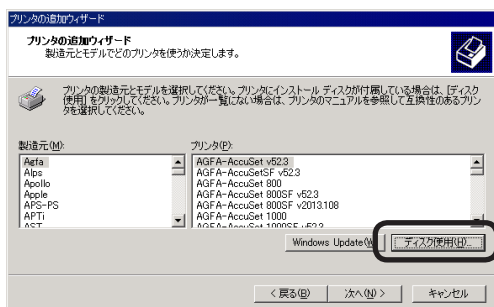
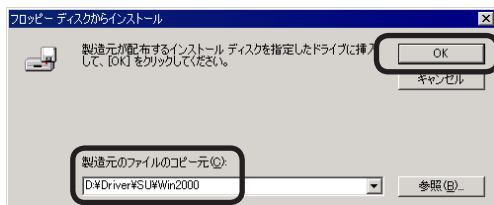
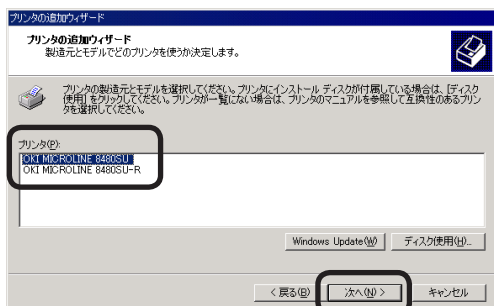
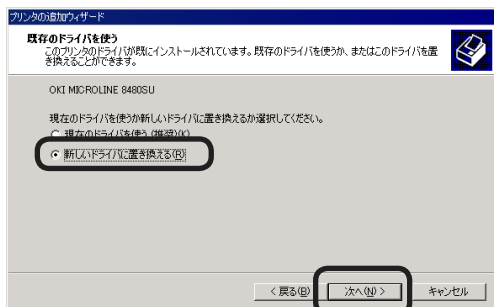
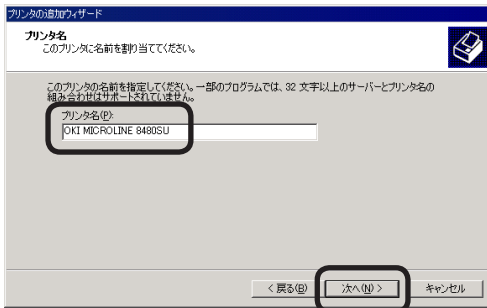
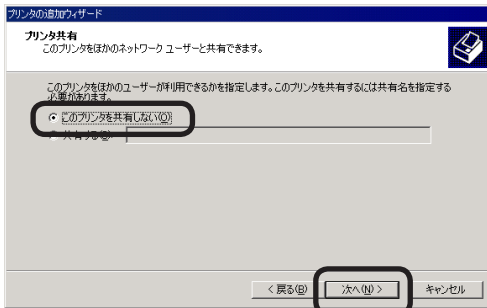
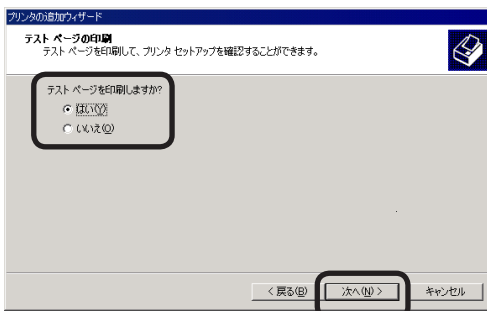
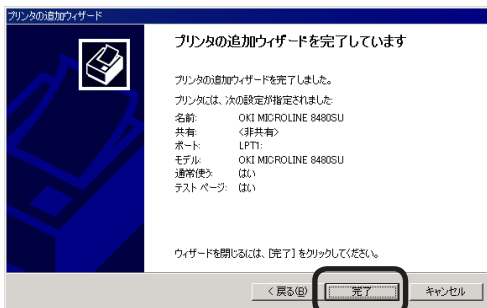
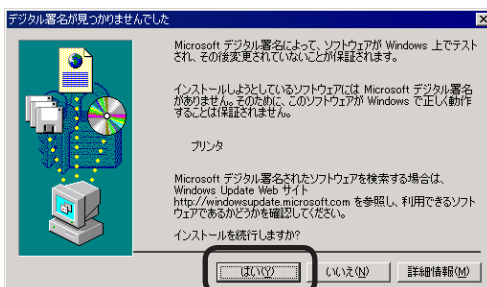
**2** パラレルケーブルを接続します。

**3** Windows2000を起動します。

**4** プリンタの電源を「ON」にします。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。
『新しいハードウェアの検出ウィザード』画面が表示された場合は、『キャンセル』をクリックします。

**5** 『スタート』→『設定』→『プリンタ』を選択します。
『プリンタ』フォルダ内のプリンタアイコンを確認し、セットアップしようとしているプリンタアイコンがすでにある場合は、右ボタンでクリックし､『削除』を選択します。

**6** 『プリンタの追加』をダブルクリックします。

**7** 『プリンタの追加ウィザードの開始』画面で、『次へ』をクリックします。

**8** 『ローカルプリンタ』を選択し、『プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする』のチェックを外して、『次へ』をクリックします。

必ず『プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする』のチェックを外してください。

**9** 『次のポートを使用』を選択して、『LPT1: プリンタポート』を選択し、『次へ』をクリックします。

**10** 『ディスク使用』をクリックします。

**11** 『インストール』画面が表示されたら、プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、「製造元のファイルのコピー元：」に「D:¥Driver¥SU¥Win2000」と入力して『OK』をクリックします。

**12** 『プリンタ』でプリンタの機種名を選択し、『次へ』をクリックします。

**13** 『既存のドライバを使う』画面が表示された場合は、『新しいドライバに置き換える』を選択し、『次へ』をクリックします。

**14** 『プリンタ名』を確認し、『通常使うプリンタ』で『はい』を選択し、『次へ』をクリックします。

**15** 『このプリンタを共有しない』を選択し、『次へ』をクリックします。

**16** テストページを印刷する場合は『はい』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『次へ』をクリックします。

**17** 『プリンタの追加ウィザードを完了しています』画面で、『完了』をクリックします。

**18** 『デジタル署名が見つかりませんでした』画面で、『はい』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

3章

**19** 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

## ●印刷条件の設定

### デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

**給紙方法と用紙の割り当て**

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

### 用紙/品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

**給紙方法**

給紙方法を選択します。

- 手差し
- 前カットシートフィーダ
- 後カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

## 詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタのプロパティで表示される「用紙/品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

### 用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

### 出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

### 印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

- 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

| | | 印字データの種類 | プリンタ本体の設定 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 通常印字 | 高速印字 |
| 印刷品質 | 高密度 | 内蔵フォント | 通常印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |
| | 高速 | 内蔵フォント | 高速印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

3
章

### カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

**1** 『マイコンピュータ』-『プリンタ』-『ファイル』-『サーバーのプロパティ』を選択します。

**2** 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。

●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注　OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思いどおりの印刷結果が得られない場合があります。

**3** 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

## ●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の８種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横２倍となります。４倍角(〔明朝〕の縦横２倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

# WindowsMe環境で使用する

## ●プリンタの設定

WindowsMeから印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、初期値に戻してください。
他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（156ページ）を参照してください。



## ●プリンタドライバの動作環境

WindowsMe日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC9821シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェースを搭載している機種

日本語版以外のOSには対応していません。

## ●プリンタドライバのセットアップ

- ご使用のインタフェースケーブルでのセットアップ手順に従ってセットアップしてください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

なお、説明の中ではCD-ROMのドライブ名はD：を例にしています。

［USBインタフェースケーブルを使用します］

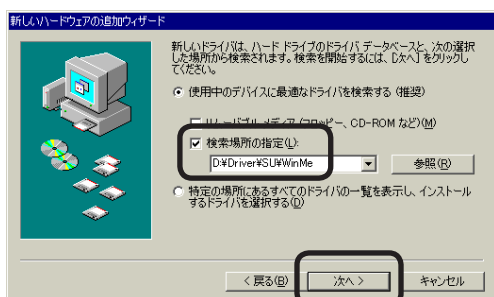
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの追加ウィザード』から行います。初めてプリンタドライバをセットアップするときは、『プリンタ』フォルダ内の『プリンタの追加』からはセットアップできません。
- すでにOKI MICROLINE SUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

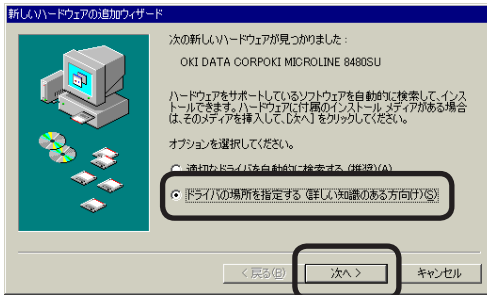
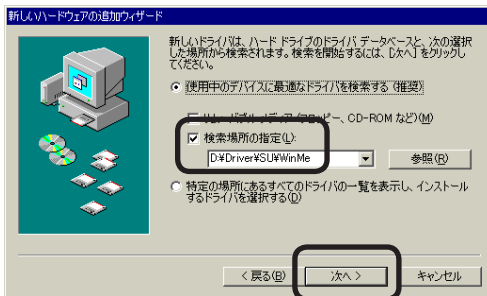


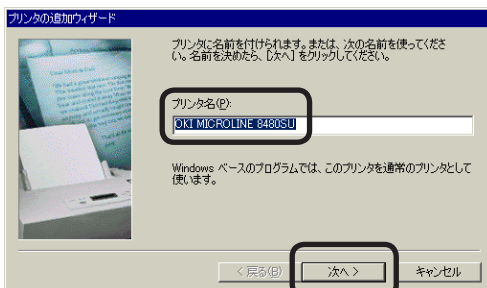
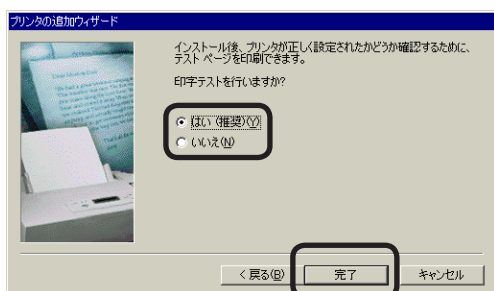
**1** プリンタの電源を「ON」にします。
※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

**2** WindowsMeを起動します。
すでにWindowsMeが起動している場合は、再起動してください。

**3** 『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択して、『次へ』をクリックします。
※『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されない場合は、USBインタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、14へ進みます。

**4** プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『検索場所の指定』にチェックし、「D:¥Driver¥SU¥WinMe」と入力して、『次へ』をクリックします。

**5** USBドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

**6** 『インストールが完了しました』で、『完了』をクリックします。

**7** 再度『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されるので、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択して、『次へ』をクリックします。

**8** プリンタドライバCD-ROMがCD-ROMドライブへセットされていることを確認し、『検索場所の指定』にチェックし、「D:¥Driver¥SU¥WinMe」と入力して、『次へ』をクリックします。

**9** 『デバイス用のドライバファイルの検索』と表示されたら、『次へ』をクリックします。

**10** 『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

**11** テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

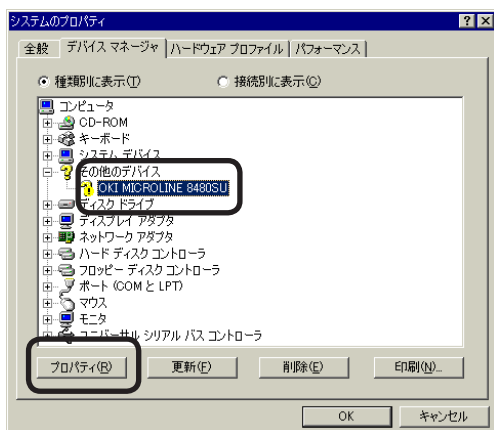
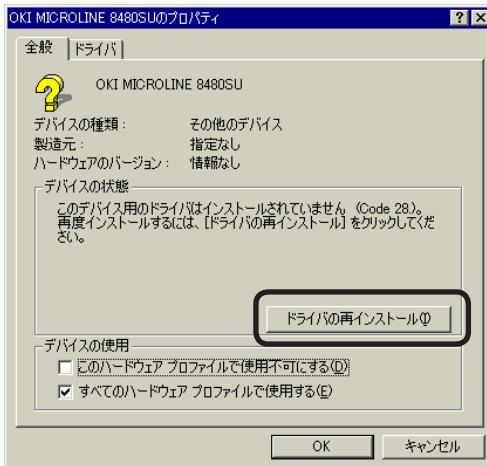
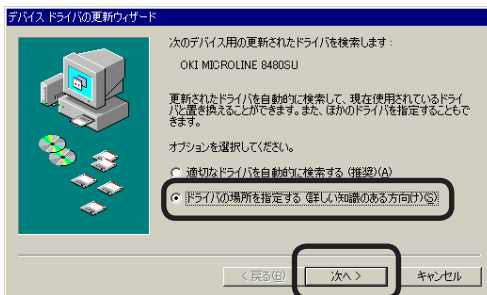
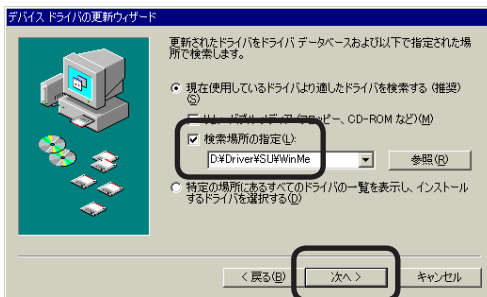
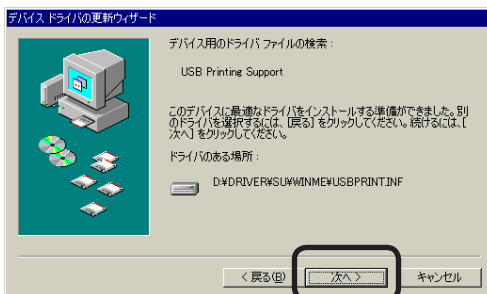
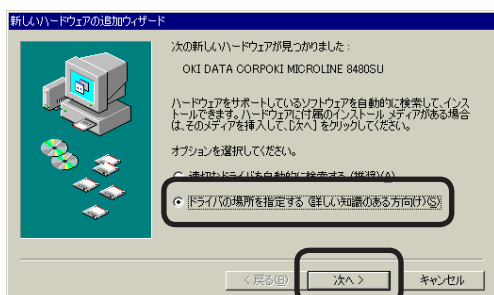
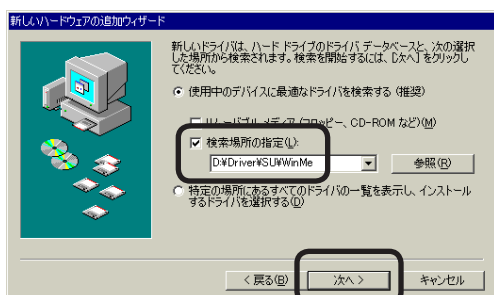
**12**『完了』をクリックします。

**13**『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されない場合

**14**『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。

**15**『デバイスマネージャ』タブを開きます。

**16**『その他のデバイス』で『OKI MICROLINE 8480SU』を選択し、『プロパティ』をクリックします。

**17** 『ドライバの再インストール』をクリックします。

**18** 『デバイスドライバの更新ウィザード』画面が表示されたら、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択し、『次へ』をクリックします。

**19** プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『検索場所の指定』にチェックし、『D:¥Driver¥SU¥WinMe』と入力して、『次へ』をクリックします。

**20** USBドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

**21** 『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されたら、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択し、『次へ』をクリックします。

**22** プリンタドライバCD-ROMがCD-ROMドライブへセットされていることを確認し、『検索場所の指定』にチェックし、『D:¥Driver¥SU¥WinMe』と入力して、『次へ』をクリックします。

**23** 『デバイス用のドライバファイルの検索』と表示されたら、『次へ』をクリックします。

**24** 『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

**25** テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

**26** 『完了』をクリックします。

**27** ドライバがインストールされたことを確認し、『完了』をクリックします。

**28** 『USB Printing Supportのプロパティ』画面で『閉じる』をクリックします。

**29** 『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

これでセットアップは終了です。

［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの追加ウィザード』から行います。『新しいハードウェア』が検出されない場合は、『プリンタの追加』からセットアップしてください。
- すでにOKI MICROLINE SUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

3
章

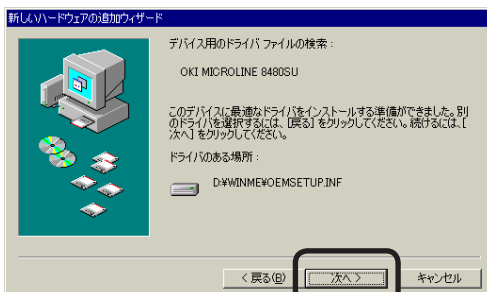
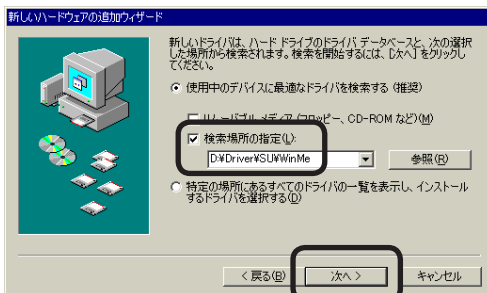
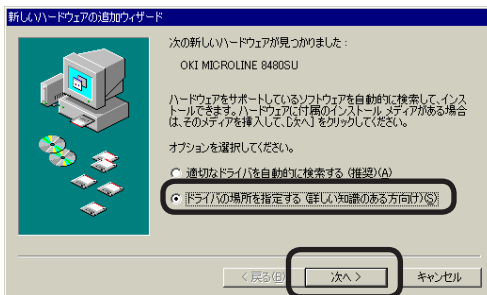
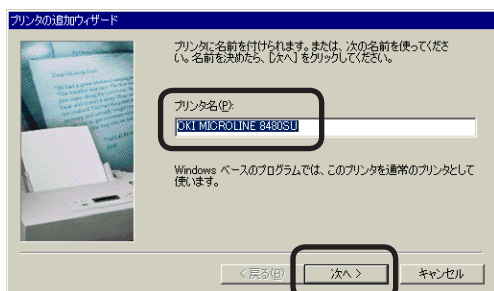
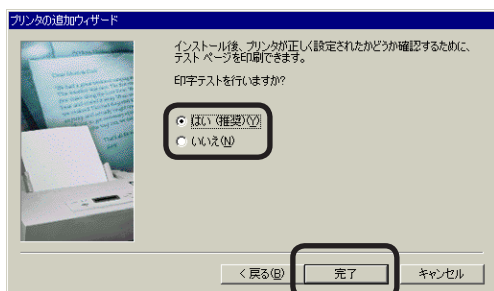
『新しいハードウェアの追加ウィザード』からのセットアップ

**1** プリンタの電源を「ON」にします。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

**2** WindowsMeを起動します。
すでにWindowsMeが起動している場合は、再起動してください。

**3** 『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択して『次へ』をクリックします。

**4** プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択し、『検索場所の指定』にチェックし、『D:¥Driver¥SU¥WinMe』と入力して、『次へ』をクリックします。

**5** プリンタドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

**6**　『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

**7**　テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

**8**　『完了』をクリックします。

**9**　『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

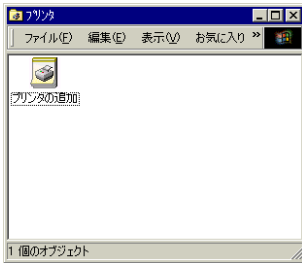
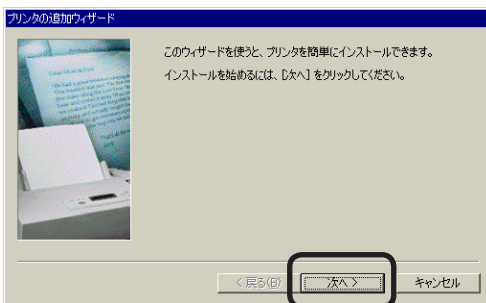
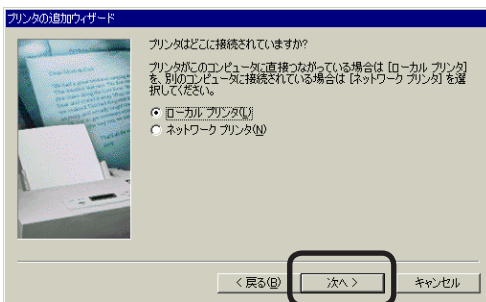
## 『プリンタの追加』からのセットアップ

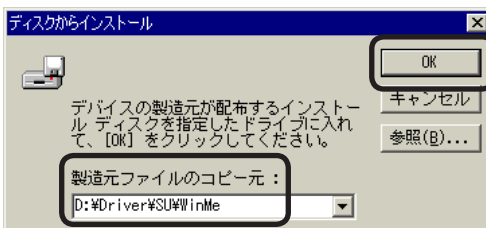
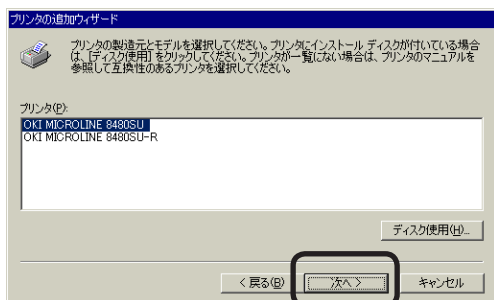
**1**　プリンタとコンピュータを接続し、プリンタの電源を入れます。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

**2**　コンピュータの電源をONにして、WindowsMeを起動します。

**3**　『スタート』－『設定』－『プリンタ』を選択します。

**4**　『プリンタの追加』をダブルクリックします。

3章

**5**　『プリンタの追加ウィザード』画面が表示されますので、『次へ』をクリックします。

**6**　『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします。

**7**　製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

**8**　プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『製造元ファイルのコピー元』に『D:¥Driver¥SU¥WinMe』と入力し、『OK』をクリックします。

**9** 『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

**10** 『利用できるポート』から『LPT1:』を選択し、『次へ』をクリックします。

**11** 『プリンタ名:』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

**12** テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

**13** 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

## ●印刷条件の設定

使用する用紙サイズなどの設定は、『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

3章

### 用紙タブでの設定

**用紙サイズ**

用紙サイズを選択します。

●特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。

●用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。

OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思いどおりの印刷結果が得られない場合があります。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

●複数のユーザ定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザ定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。

**給紙方法**

給紙方法を選択します。

- 手差し
- 前カットシートフィーダ
- 後カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ

● 給紙方法を切り替えるときは印刷済みの用紙を排出してください。

【詳細オプションダイアログ】

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

## デバイスオプションタブでの設定

### 印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字） ：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字） ：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

- 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

| | | 印字データの種類 | プリンタ本体の設定 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 通常印字 | 高速印字 |
| 印刷品質 | 高密度 | 内蔵フォント | 通常印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |
| | 高速 | 内蔵フォント | 高速印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

## ●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の8種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果がWindows画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は、〔明朝〕の横2倍となります。4倍角（〔明朝〕の縦横2倍）の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントはTrueType等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめTrueType等のフォントを指定することをお勧めします。

# Windows98環境で使用する

## ●プリンタの設定

Windows98から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、初期値に戻してください。
他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（156ページ）を参照してください。



## ●プリンタドライバの動作環境

Windows98日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC9821シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）でUSBインタフェースを搭載している機種

日本語版以外のOSには対応していません。

## ●プリンタドライバのセットアップ

- ご使用のインタフェースケーブルでのセットアップ手順に従ってセットアップしてください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）
　Windows98日本語版オペレーティングシステム（CD-ROM）

なお、説明の中ではCD-ROMのドライブ名はD：を例にしています。

［USBインタフェースケーブルを使用します］

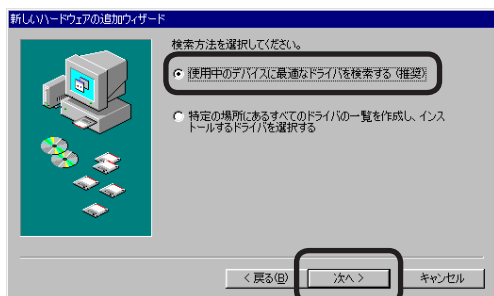
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの追加ウィザード』から行います。初めてプリンタドライバをセットアップするときは、『プリンタ』フォルダ内の『プリンタの追加』からはセットアップできません。
- すでにOKI MICROLINE SUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

3
章

**1** プリンタの電源を「ON」にします。
※パラレルインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

**2** Windows98を起動します。
すでにWindows98が起動している場合は、再起動してください。

**3** 『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『次へ』をクリックします。
※『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されない場合は、USBインタフェースケーブルを接続し直してください。接続し直しても画面が表示されない場合は、16へ進みます。

**4** 『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。

**5** プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『検索場所の指定』のみにチェックして、「D:¥Driver¥SU¥Win98」と入力し、『次へ』をクリックします。

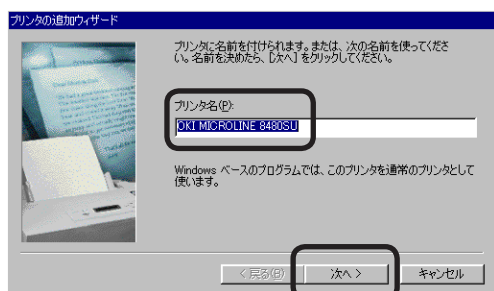
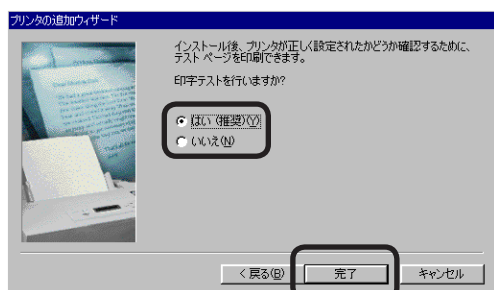
**6**　USBドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

**7**　『必要なソフトウェアがインストールされました』で、『完了』をクリックします。

**8**　再度『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されるので、『次へ』をクリックします。

**9**　『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。

**10**　プリンタドライバCD-ROMがCD-ROMドライブへセットされていることを確認し、『検索場所の指定』のみにチェックして、「D:¥Driver¥SU¥Win98」と入力し、『次へ』をクリックします。

**11** 『次へ』をクリックします。

**12** 『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

**13** テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」と入力し、『OK』をクリックします。（Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、『OK』をクリックします。）

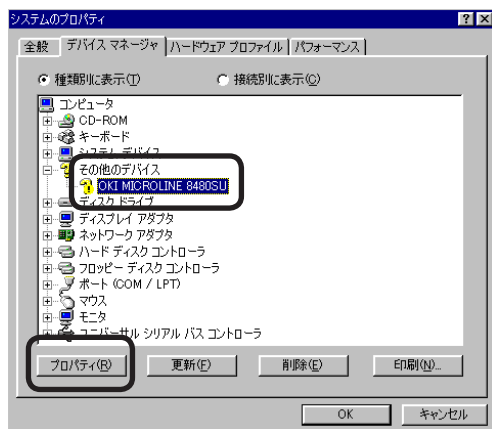
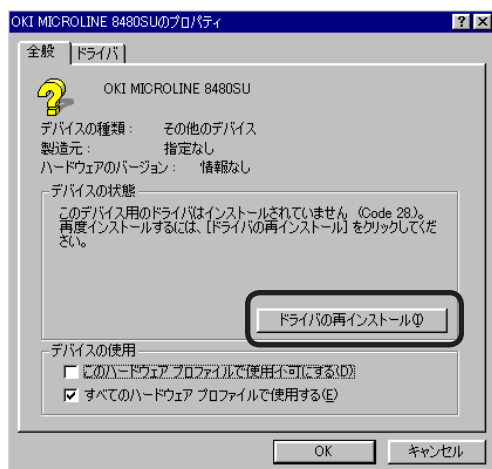
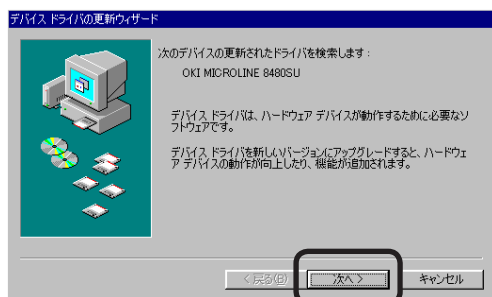
**14** 『完了』をクリックします。

**15** 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

## 『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されない場合

**16** 『マイコンピュータ』をマウスの右ボタンでクリックし、『プロパティ』を選択します。

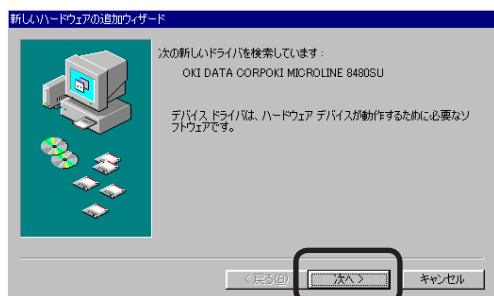
**17** 『デバイスマネージャ』タブを開きます。

**18** 『その他のデバイス』で『OKI MICROLINE 8480SU』を選択し、『プロパティ』をクリックします。

**19** 『ドライバの再インストール』をクリックします。

**20** 『デバイスドライバの更新ウィザード』画面が表示されたら、『次へ』をクリックします。

**21** 『現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。

**22** プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『検索場所の指定』にチェックし、『D:¥Driver¥SU¥Win98』と入力して、『次へ』をクリックします。

**23** USBドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

**24** 『インストールが完了しました』で、『完了』をクリックします。

**25** 『USB Printing Supportプロパティ』画面で『閉じる』をクリックします。

**26** 『新しいハードウェアの追加ウィザード』画面が表示されたら、『次へ』をクリックします。

**27**『使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）』を選択し、『次へ』をクリックします。

**3章**

**28** プリンタドライバCD-ROMがCD-ROMドライブへセットされていることを確認し、『検索場所の指定』にチェックし、『D:¥Driver¥SU¥Win98』と入力して、『次へ』をクリックします。

**29**『次のデバイス用のドライバファイルを検索します』と表示されたら、『次へ』をクリックします。

**30**『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

**31** テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」と入力し、『OK』をクリックします。（Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、『OK』をクリックします。）

**32**『完了』をクリックします。

**33**『システムのプロパティ』画面で『OK』をクリックします。

これでセットアップは終了です。

［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの追加ウィザード』から行います。『新しいハードウェア』が検出されない場合は、『プリンタの追加』からセットアップしてください。
- すでにOKI MICROLINE SUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

『新しいハードウェアの追加ウィザード』からのセットアップ

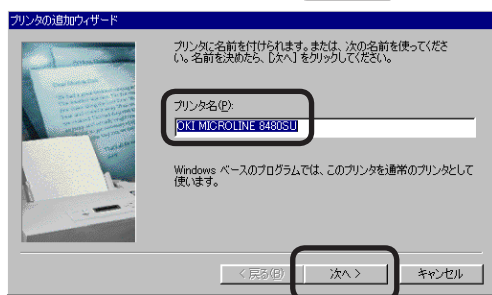
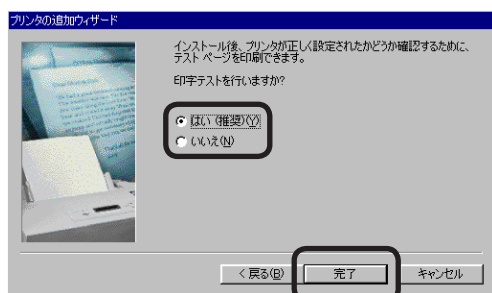
**1** プリンタの電源を「ON」にします。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

**2** Windows98を起動します。
すでにWindows98が起動している場合は、再起動してください。

**3** 『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『次へ』をクリックします。

**4** 『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択して『次へ』をクリックします。

**5** プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『検索場所の指定』にチェックし、『D: ¥Driver¥SU¥Win98』と入力して、『次へ』をクリックします。

**6**　プリンタドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

**7**　『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

**8**　テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注　途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」と入力し、『OK』をクリックします。（Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、『OK』をクリックします。）

**9**　『完了』をクリックします。

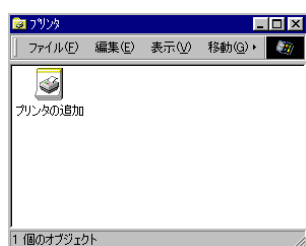
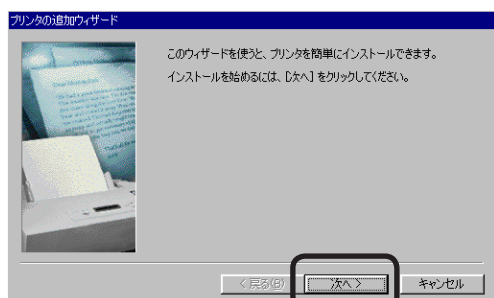
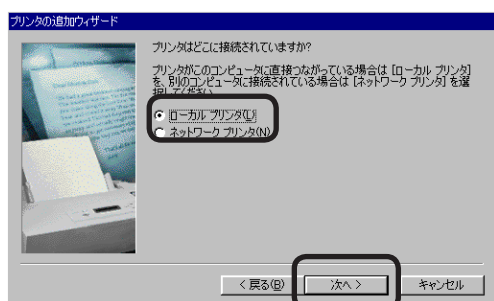
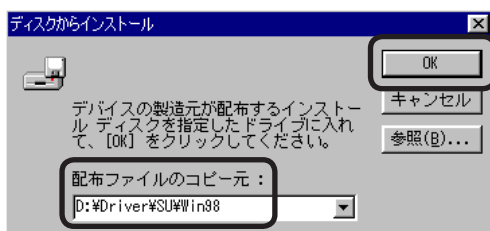
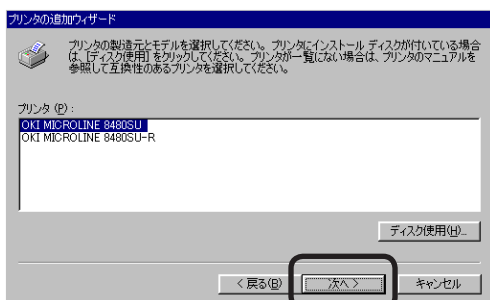
**10**　『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

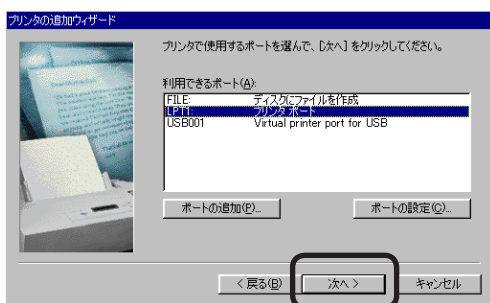
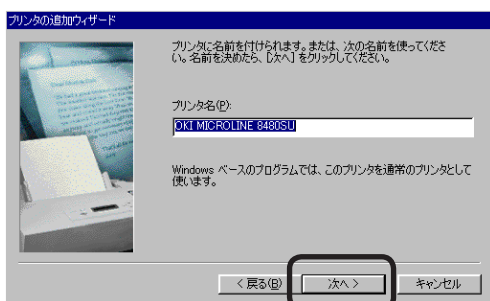
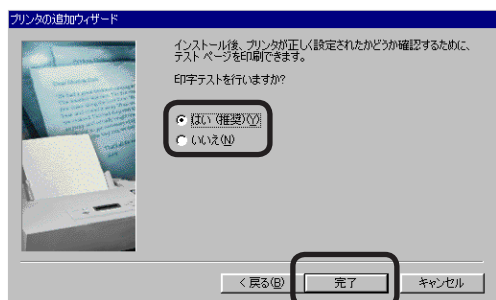
## 『プリンタの追加』からのセットアップ

**1** プリンタとコンピュータを接続し、プリンタの電源を入れます。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

**2** コンピュータの電源をONにして、Windows98を起動します。

**3** 『スタート』ー『設定』ー『プリンタ』を選択します。

**4** 『プリンタの追加』をダブルクリックします。

**5** 『プリンタの追加ウィザード』画面が表示されたら、『次へ』をクリックします。

**6** 『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします。

**7** 製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

**8** プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『製造元ファイルのコピー元』に『D:¥Driver¥SU¥Win98』（CD-ROMドライブがD:の場合）と入力し、『OK』をクリックします。

**9** 『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

注 途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」と入力し、『OK』をクリックします。（Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、『OK』をクリックします。）

**10** 『利用できるポート』から『LPT1:』を選択し、『次へ』をクリックします。

**11** 『プリンタ名:』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

**12** テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」と入力し、『OK』をクリックします。（Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、『OK』をクリックします。）

**13** 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

## ●印刷条件の設定

使用する用紙サイズなどの設定は、『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

### 用紙タブでの設定

**用紙サイズ**

用紙サイズを選択します。

●特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
●用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。

OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思いどおりの印刷結果が得られない場合があります。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

●複数のユーザ定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザ定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。

**給紙方法**

給紙方法を選択します。

- 手差し
- 前カットシートフィーダ
- 後カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ

●給紙方法を切り替えるときは印刷済みの用紙を排出してください。

【詳細オプションダイアログ】

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

デバイスオプションタブでの設定

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）　：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）　：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

- 印字速度はプリンタ本体(操作パネル)の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

| | | 印字データの種類 | プリンタ本体の設定 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 通常印字 | 高速印字 |
| 印刷品質 | 高密度 | 内蔵フォント | 通常印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |
| | 高速 | 内蔵フォント | 高速印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字(通常印字)に比べ、文字が薄く見えます。

## ●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の8種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果がWindows画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横2倍となります。4倍角(〔明朝〕の縦横2倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントはTrueType等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめTrueType等のフォントを指定することをお勧めします。

# Windows95環境で使用する

## ●プリンタの設定

Windows95から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（156ページ）を参照してください。



## ●プリンタドライバの動作環境

Windows 95日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC9821シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

日本語版以外のOSには対応していません。

## ●プリンタドライバのセットアップ

- Windows95では、USBインタフェースをサポートしておりません。従って、USBインタフェースケーブルでのご使用はできませんので、［パラレルインタフェースケーブルをご使用の場合］に従ってセットアップしてください。
- Windows95のバージョンによってセットアップ手順、画面表示などが異なります。Windows95のバージョンは「マイコンピュータ」アイコンを右ボタンでクリックし、「プロパティ」を選択すると表示されます。バージョンを確認の上、セットアップを行ってください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）
　Windows95日本語版オペレーティングシステム（CD-ROMもしくはフロッピーディスク）

なお、説明の中ではフロッピーディスクのドライブ名はA:\、CD-ROMのドライブ名はD:\を例にしています。

[パラレルインタフェースケーブルを使用します]

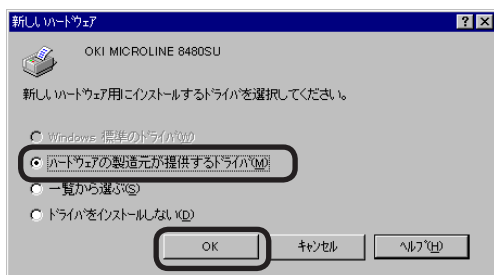
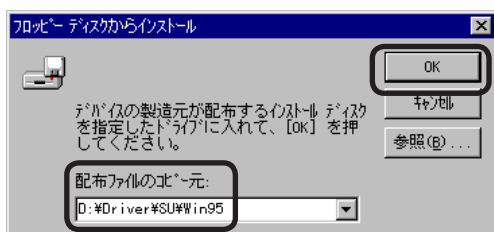
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェア』から行います。『新しいハードウェア』が検出されない場合は、『プリンタの追加』からセットアップしてください。
- すでにOKI MICROLINE SUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

Windows95のバージョンが4.00.950または4.00.950 aの場合

**1** プリンタの電源を「ON」にします。
※USBインタフェースケーブルが同時接続されていないことをご確認ください。

**2** Windows95を起動します。
すでにWindows95が起動している場合は、再起動してください。

**3** 『新しいハードウェア』画面が表示されたら、『ハードウェアの製造元が提供するドライバ』を選択し、『OK』をクリックします。

注 『デバイスドライバウィザード』が表示された場合は「4.00.950Bまたは4.00.950Cの場合」(99ページ）の手順にしたがってください。

**4** プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、「配布ファイルのコピー元：」に「D：¥Driver¥SU¥Win95」と入力し、『OK』をクリックします。

**5** 『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

**6** テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROMドライブにWindows95のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win95」と入力し、『OK』をクリックします。（オペレーティングシステムがフロッピーディスクの場合は、指定されたディスク（Disk XX）をフロッピーディスクドライブへセットし、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し、『OK』をクリックします。）

**7** 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

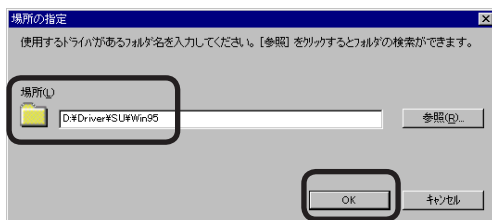
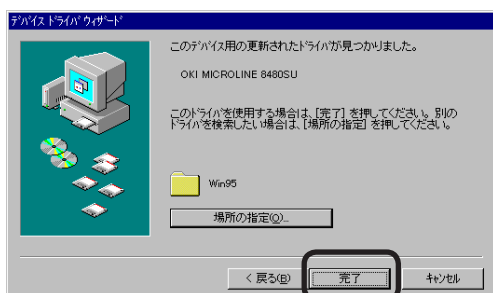


Windows95のバージョンが4.00.950Bまたは4.00.950Cの場合

**1** プリンタの電源を『ON』にします。

**2** Windows95を起動します。
すでにWindows95が起動している場合は、再起動してください。

**3** 『デバイスドライバウィザード』が表示されたら、『次へ』をクリックします。

**4** 『場所の指定』をクリックします。

**5** プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、「場所」に「D:¥Driver¥SU¥Win95」と入力して、『OK』をクリックします。

**6**　プリンタドライバが見つかったことを確認し、『完了』をクリックします。

**7**　『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

**8**　テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注

途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、プリンタドライバCD-ROMがCD-ROMドライブへセットされていることを確認し、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Driver¥SU¥Win95」と入力し、『OK』をクリックします。
さらに『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROMドライブにWindows95のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win95」と入力し、『OK』をクリックします。（オペレーティングシステムがフロッピーディスクの場合は、指定されたディスク(Disk XX)をフロッピーディスクドライブへセットし、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し、『OK』をクリックします。）

**9**　『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

## ●印刷条件の設定

使用する用紙サイズなどの設定は『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

### 用紙タブでの設定

### 用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

●特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。

●用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。

OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思いどおりの印刷結果が得られない場合があります。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

●複数のユーザ定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザ定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。

### 給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- 前カットシートフィーダ
- 後カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ

● 給紙方法を切り替えるときは印刷済みの用紙を排出してください。

【詳細設定ダイアログ】

単票用紙の排出方法を指定します。

指定なし ：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。

テーブル ：テーブル側に排出します。

スタッカ ：シートスタッカ側に排出します。

3
章

デバイスオプションタブでの設定

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）　：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）　：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

- 印字速度はプリンタ本体(操作パネル)の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

| | | 印字データの種類 | プリンタ本体の設定 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 通常印字 | 高速印字 |
| 印刷品質 | 高密度 | 内蔵フォント | 通常印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |
| | 高速 | 内蔵フォント | 高速印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字(通常印字)に比べ、文字が薄く見えます。

## ●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角(〔明朝〕の縦横 2 倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

# WindowsNT4.0環境で使用する

## ●プリンタの設定

WindowsNT4.0から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（156ページ）を参照してください。



## ●プリンタドライバの動作環境

Windows NT Server4.0日本語版もしくはWindowsNT Workstation4.0日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX、PC9821シリーズで双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

日本語版以外のOSには対応していません。

## ●プリンタドライバのセットアップ

- WindowsNT4.0では、USBインタフェースをサポートしておりません。従って、USBインタフェースケーブルでのご使用はできませんので、［パラレルインタフェースケーブルをご使用の場合］に従ってセットアップしてください。
- Administratorの権限（コンピュータの管理者の権限）が必要です。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには、次のものをご用意ください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）
　WindowsNT Server 4.0日本語版もしくはWindowsNT Workstation4.0日本語版オペレーティングシステム（CD-ROM）

なお、説明の中では、DOS/V PCでWindowsNT Workstation4.0日本語版を使用し、CD-ROMのドライブ名をD:　とします。

［パラレルインタフェースケーブルを使用します］

- プリンタドライバのセットアップは『プリンタの追加』から行います。
  セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでにOKI MICROLINE SUプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。

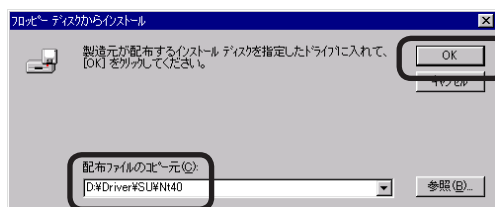
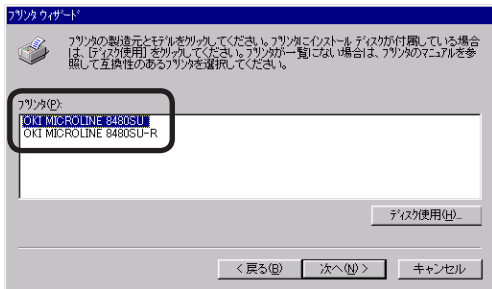
3章

**1** プリンタウィザードを起動させます。
『マイコンピュータ』→『プリンタ』→『プリンタの追加』で起動します。

**2** 『このコンピュータ』をチェックし、『次へ』をクリックします

**3** 接続ポートを選び、『次へ』をクリックします。

**4** 『ディスク使用』をクリックします。

**5** プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『配布ファイルのコピー元』を「D:¥Driver¥SU¥Nt40」と入力し、『OK』をクリックします。

**6** プリンタの機種名を選びます。

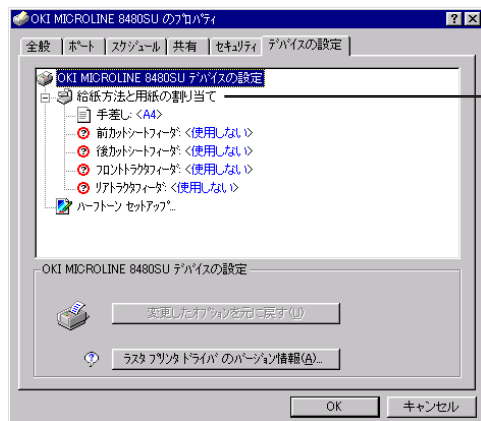
**7** 引き続き、画面に表示される指示にしたがって、適切な項目を選びます。
ファイルのコピーが開始されます。

注 途中で、『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROMドライブにWindowsNT4.0のCD-ROMをセットし、「コピー元」に、「D:¥i386」と入力し、『OK』をクリックします。

**8** 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

## ●印刷条件の設定

### デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

**給紙方法と用紙の割り当て**

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

### ページ設定タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。
アプリケーションによっては、「ページ設定」タブでの設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

**用紙サイズ**

用紙サイズを選択します。

**給紙方法**

給紙方法を選択します。

- 手差し
- 前カットシートフィーダ
- 後カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。
●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

## 詳細タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタのプロパティで表示されます。

### 用紙/出力

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

### 印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

- 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

| | | 印字データの種類 | プリンタ本体の設定 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 通常印字 | 高速印字 |
| 印刷品質 | 高密度 | 内蔵フォント | 通常印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |
| | 高速 | 内蔵フォント | 高速印字 | 高速印字 |
| | | イメージデータ | 通常印字 | 高速印字 |

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

3章

## カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

**1** 『マイコンピュータ』-『プリンタ』-『ファイル』-『サーバーのプロパティ』を選択します。

**2** 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。

●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思いどおりの印刷結果が得られない場合があります。

**3** 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

## ●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の8種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果がWindows画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横2倍となります。4倍角(〔明朝〕の縦横2倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントはTrueType等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめTrueType等のフォントを指定することをお勧めします。

# DOS環境で使用する

市販のアプリケーションソフトウェアのほとんどのものに、使用するプリンタを選択する項目があります。
印刷する前に、以下の優先順位に従って選択します。

| 優先順位 | プリンタ名 |
|---|---|
| 1 | MICROLINE 8480SU |
| 2 | ESC/P 24-J84 |
| 3 | VP-1000/3000 |
| 4 | ESC/P 24-J83 |
| 5 | VP135K/130K |

- プリンタの選択方法は、それぞれのアプリケーションソフトウェアにより異なります。具体的な選択方法は、アプリケーションソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- アプリケーションソフトウェアによっては、正常に印字が行えない場合や、印字結果が異なる場合があります。
- アプリケーションソフトウェアによっては、本プリンタの機能の一部がサポートされていない場合があります。

# 封筒角形 2 号横のご使用について

封筒角形 2 号横はカットシートフィーダに対応しておりません。そのため、カットシートフィーダを使用して封筒角形 2 号横を印刷させることはできません。
プリンタドライバにおいても封筒角形 2 号横とカットシートフィーダの組み合わせは指定できないように開発を行っておりますが、各 OS の仕様により以下の動作となります。

- Windows95/98/Me のプリンタドライバ設定においては、カットシートフィーダと封筒角形 2 号横を組み合わせて設定すると仕様外である旨の警告画面が表示されますので、封筒角形 2 号横で印刷する場合は手差しに設定し直してください。
  警告を無視してカットシートフィーダと封筒角形 2 号横を組み合わせて設定することも可能ですが、プリンタの仕様範囲外の印刷となりますので正常な印刷は保証できません。
- WindowsNT4.0 のプリンタドライバ設定においては、カットシートフィーダと封筒角形 2 号横を組み合わせて指定することが可能ですが、プリンタの仕様範囲外の印刷となりますので正常な印刷は保証できません。
- Windows2000/XP/Server2003/Vista のプリンタドライバ設定においては、カットシートフィーダと封筒角形 2 号横を組み合わせて指定することはできません。

# 4 用紙の取り扱い

～いろいろな用紙をプリンタにセットします～

# 単票をセットする

## ●単票のセット

**1** 電源スイッチを「**ON**」にします。

連続紙がセットされているときは、印字済みの用紙を切り取って退避させるか、排出してください。
詳細は､「連続紙の排出方法」（119ページ）を参照してください。

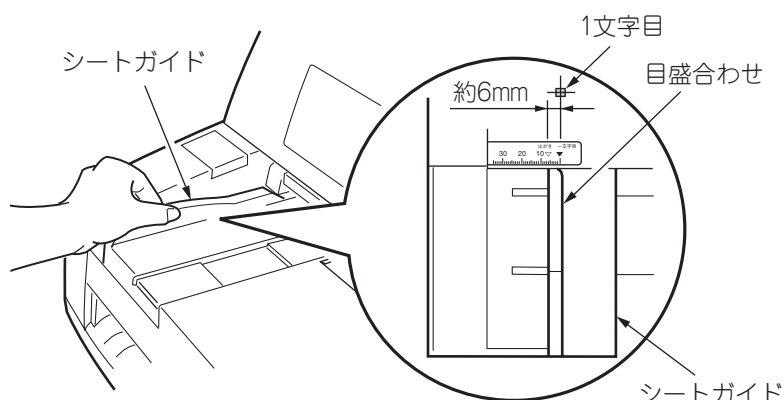
**2** 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。オフライン状態で「**用紙モード/高複写**」スイッチを押して、"テサシ"にします。

約2秒後に用紙モードを切り替えます。

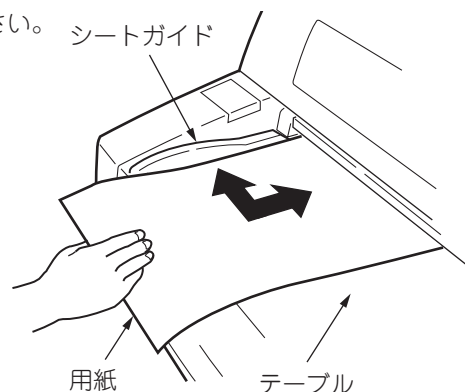
| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| オ | ン | ラ | イ | ン | | | | | ツ | ウ | シ | ゛ | ョ | ウ | |
| テ | サ | シ | | | | | | | | | | | | | |

**3** シートガイドを単票の左端位置にセットします。

- 目盛の「一文字目」の位置が1文字目の中心になります。
- 目盛上の「▽」の位置にすれば、用紙左端より約6mmの位置から印字を開始します。はがき，名刺サイズはこの位置で使用してください。
- 封筒を使用する場合、封筒のフラップ（のり付け部）への印字を避けるため、フラップの大きさに合わせてシートガイドを調整してください。
- 書式の印刷をする場合は、シートガイドを右に突き当てて固定してください。

はがきおよび名刺サイズを使用するとき､「▽」マークより左へ移動して使用すると、斜めに吸入される場合があります。

注 封筒を使用する場合、用紙厚の調整は必ずマニュアルギャップ調整で行ってください。「用紙の厚さに応じた調整方法」（123ページ）を参照してください。

**4** 用紙は印字する面を表にして、左端をシートガイドに合わせて、そのまま奥に軽く突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

約2秒後に単票が自動的に吸入されます。（メニューに設定された待ち時間に従って吸入されます）
用紙がセットしにくい場合は用紙の後端を持ってまっすぐ差し込んでください。

- 用紙を斜めにセットするとそのまま斜めに吸入されますので、シートガイドに沿わせてまっすぐ差し込んでください。
- 複写紙など厚い紙の場合は、自動的に吸入されるまで奥に軽く突き当ててください。
  複写紙のテーブル排出も可能ですが、印字により用紙下端がカールし、排出時、折れやジャムが発生する場合があります。このような場合はシートスタッカに排出してください。
- 封筒はフラップ部を折り返さずに使用してください。
- プリンタ後部のシートスタッカ容量は用紙厚にして8mm程度（連量55kg紙で100枚程度）です。印刷済みの用紙をシートスタッカにためすぎないでください。総紙厚が8mm程度になったら、たまった用紙を取り除いてください。用紙ジャムの原因になります。

## ●単票の排出方法

単票がプリンタ内部に残っている場合は、次の手順で単票を排出します。

**1**　「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

**2**　「**改頁/高速印字**」スイッチまたは「**用紙ロード/排出方向**」スイッチを押します。

用紙が設定された方向に自動的に排出されます。

## ●単票排出方向の切り替え

単票の排出方向を、テーブル側またはシートスタッカ側に切り替えられます。
単票手差しモード, 自動給紙モードで別々に指定できます。

**1**　「印字可」ランプが点灯していることを確認します。

**2**　「**用紙ロード/排出方向**」スイッチを押します。

「排出方向」ランプが点灯している場合はテーブル側へ、消灯している場合はシートスタッカ側へ排出します。

- 電源スイッチを「OFF」にするとメニュー設定の排出方向に戻ります。恒久的に設定する場合は、メニュー設定を変更してください。
- 用紙の長さが297mm（A4サイズ縦方向）を超える用紙の場合、テーブル排出時は用紙が落ちることがあります。排出方向をシートスタッカ側に設定することをお奨めします。

# 連続紙をセットする

## ●連続紙のセット

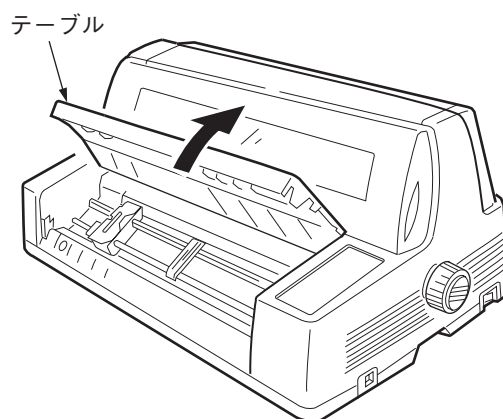
**1** 電源スイッチを「**ON**」にします。

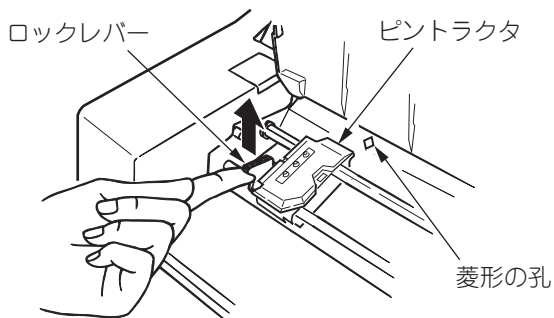
シートスタッカ上に単票が残っているときは、取り除きます。
連続紙送りの妨げになります。

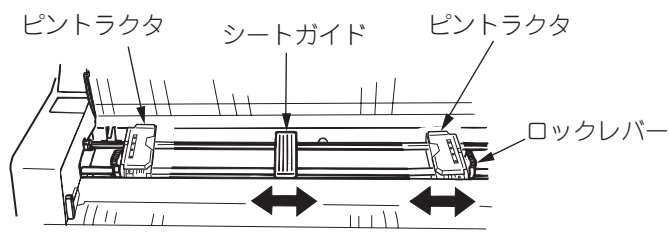
**2** 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。オフライン状態で「**用紙モード/高複写**」スイッチを押して"フロントトラクタ"を選択します。

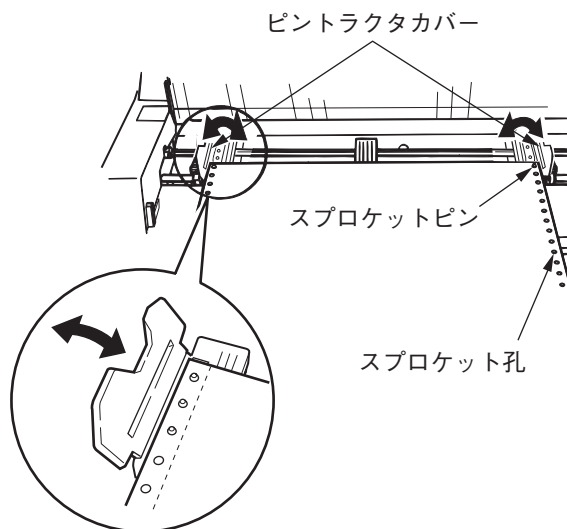
約2秒後に用紙モードを切り替えます。

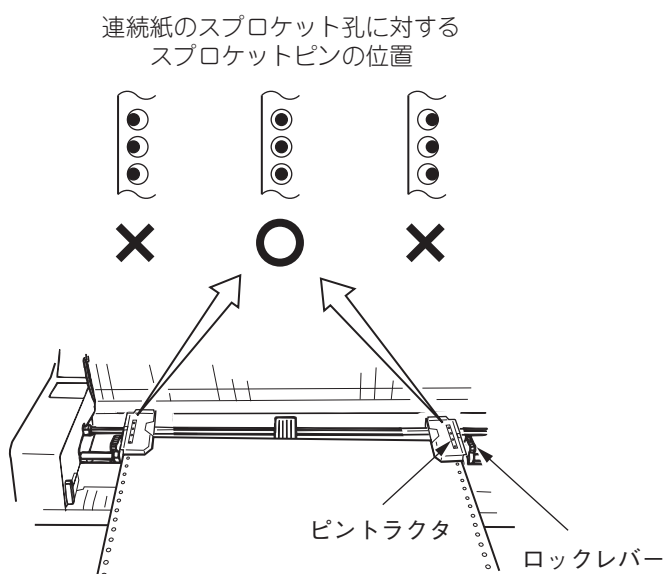
| ヨ | ウ | シ |  | ナ | シ |  | フ | ロ | ン | ト | ト | ラ | ク | タ |  |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ヨ | ウ | シ | ヲ |  | セ | ッ | ト | シ | テ | ク | タ | ゛ | サ | イ |  |

**3** テーブルを開きます。

左側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印字位置を合わせます。位置を合わせたら、ロックレバーを下げて固定します。

- 目盛上の「▼」および菱形の孔の中心が、横方向の1文字目の中心になります。
- 書式の印刷をする場合、右端に突き当てます。

**5** 右側のピントラクタのロックレバーを開放し、連続紙の幅に合わせて移動します。

シートガイドは左右のピントラクタの中央に移動します。

## 6 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

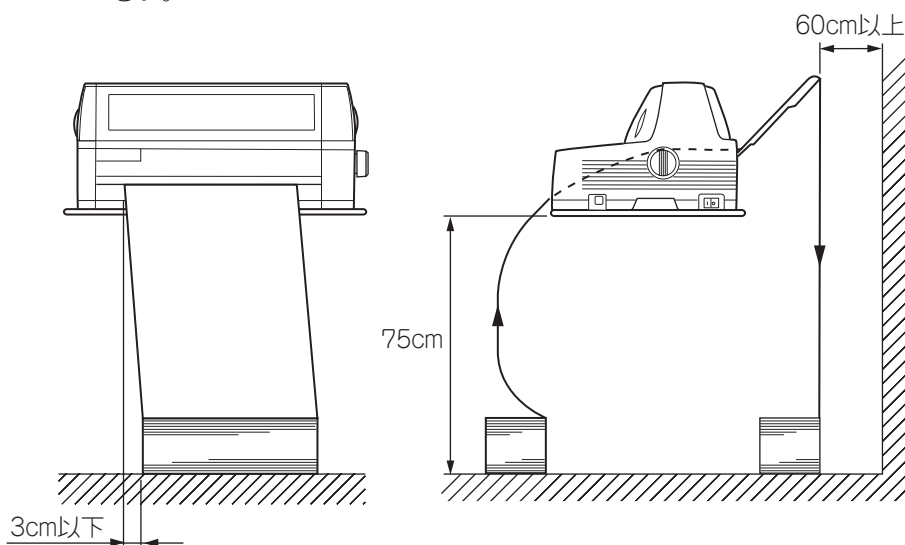
注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないように注意してください。

## 7 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを押し下げて固定します。

注 連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。

**8** テーブルを閉じ、「**用紙ロード/排出方向**」スイッチを押します。

1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られ、「印字可」ランプが点灯します。

注 連続紙が途中でつまってしまったときは、つまった連続紙を取り除き、再度セットし直してください。

連続紙の置きかた

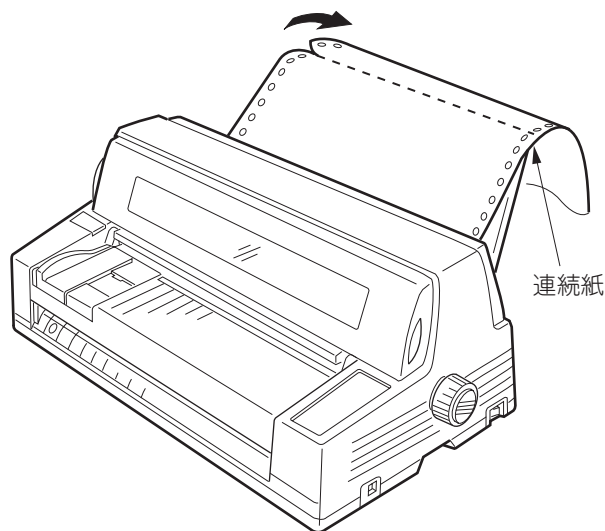
- プリンタを置く机の高さは、75cmを目安にしてください。
- 連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンタと平行に置いてください。左右方向のずれは、3cm以下にしてください。
- プリンタの前部と机の縁を合わせてください。
- プリンタの後部は印字後の用紙スペース確保のため、壁から60cm以上離してください。
- インタフェースケーブルや電源コードが用紙と干渉しないようにしてください。

## ●連続紙の排出方法

印刷が終わった連続紙は、次の手順で排出します。

### ◆印刷済の連続紙を切り取るとき

**1** 「印字可」ランプが点灯している状態で、「**機能切替/用紙カット**」スイッチを押します。（フロントカットモード）

連続紙がシートスタッカ側に繰り出されます。

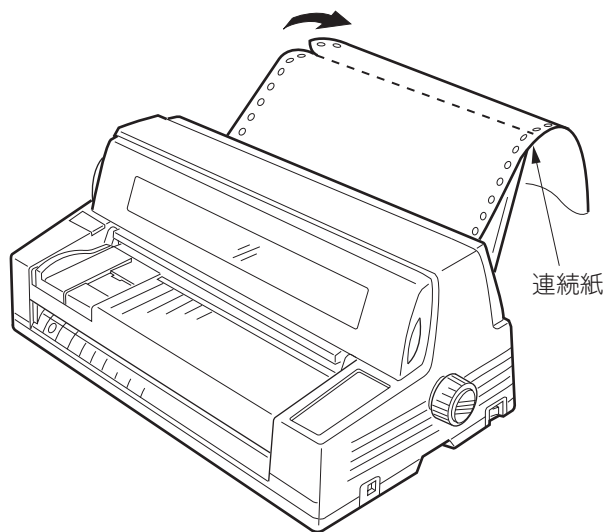
**2** 連続紙をミシン目から切り取ります。

**3** もう一度「**機能切替/用紙カット**」スイッチを押します。

連続紙が元の位置に戻ります。

◆連続紙を外すとき

**1** 「印字可」ランプが点灯している状態で、「**機能切替/用紙カット**」スイッチを押します。

連続紙がシートスタッカ側に繰り出されます。

**2** 連続紙をミシン目から切り取ります。

**3** もう一度「**機能切替/用紙カット**」スイッチを押します。

連続紙が元の位置に戻ります。

**4** 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

印字可ランプが消灯します。

## 5 「**用紙ロード/排出方向**」スイッチを押します。

連続紙の先端がピントラクタまで後退します。

- 連続紙の後退量は最高558.8mm（22インチ）です。558.8mm（22インチ）後退しても連続紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
- 連続紙の後退動作は、2回［1117.4mm（44インチ）］以上連続して行うとジャムが発生する場合があります。



## 6 テーブルを開きます。

## 7 ピントラクタカバーを開き、連続紙を外します。

## 8 ピントラクタカバーおよびテーブルを元に戻します。

参考　ピントラクタの手前で連続紙のミシン目を切り取った場合は、残りの連続紙はオフライン状態で「改頁/高速印字」スイッチを押して排出してください。

4章

# 単票と連続紙の切り替え

## ●単票から連続紙への切り替え

**1** 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

**2** 「**用紙モード/高複写**」スイッチを押し、切り替えたい用紙モードを表示させます。

約2秒後に用紙モードを切り替えます。

単票がセットされている場合は、自動的にシートスタッカ側に排出します。
連続紙がピントラクタにセットされている場合は、1行目印字位置まで自動的に送られます。

## ●連続紙から単票への切り替え

**1** 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

**2** 「**用紙モード/高複写**」スイッチを押し、切り替えたい用紙モードを表示させます。

約2秒後に用紙モードを切り替えます。

連続紙がセットされている場合は、自動的にピントラクタまで後退します。
プリンタハードウェア設定モードの「バイタイ　キリカエドウサ」を「カットオクリ　アリ」にすると、印刷済みの連続紙がプリンタに残っている場合は連続紙をカット位置まで送ります。連続紙をミシン目から切り取ったあと「用紙ロード」スイッチを押して、連続紙をピントラクタまで後退させます。

# 用紙の厚さに応じた調整方法

このプリンタは、セットされた用紙の厚さを自動的に測定して最適な印字圧に調整するオートギャップ調整機能（自動紙厚調整）を備えています。封筒などの用紙の厚さが一様でない用紙を使用する場合、この機能が十分働きません。
特殊な用紙を使用する場合は、マニュアルギャップ調整（手動紙厚調整）で行ってください。マニュアルギャップ調整は、操作パネルでレンジの設定をする他、用紙モード（単票手差しモード, フロントCSFモード, リアCSFモード, フロントトラクタモード, リアトラクタモード）で別々にメニューで設定できます。

注 マニュアルギャップ調整は、プリンタの電源スイッチを「OFF」にするとメニュー設定の値に戻ります。恒久的に設定する場合はメニュー設定を変更してください。



**1** 「**印字可**」スイッチを押してオフラインにします。

**2** オフライン状態で「**用紙モード/高複写**」スイッチを押して、マニュアルギャップ調整を行う用紙モードを選択します。

**3** 次の表から使用する用紙の厚い部分の「レンジ値」を選びます。

| 用紙種類 | | | レンジ値 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | A | B | C | D | E |
| 単紙 | 連量 45～70kg (52～81g/$m^2$) | | ○ | | | | | | | | | | | | |
| | 連量 70～110kg (81～128g/$m^2$) | | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | 連量 110～135kg (128～156g/$m^2$) | | | | ○ | | | | | | | | | | |
| | はがき | | | | | ○ | | | | | | | | | |
| 複写紙 | 連量 34kg (40g/$m^2$)の感圧紙 | 2枚 | | ○ | | | | | | | | | | | |
| | | 3枚 | | | ○ | | | | | | | | | | |
| | | 4枚 | | | | ○ | | | | | | | | | |
| | | 5枚 | | | | | ○ | | | | | | | | |
| | | 6枚 | | | | | | ○ | | | | | | | |
| | | 7枚 | | | | | | | ○ | | | | | | |
| | | 8枚 | | | | | | | | ○ | | | | | |
| 用紙全体の厚さ(mm) | | | 0.06～0.10 | 0.10～0.15 | 0.15～0.20 | 0.20～0.25 | 0.25～0.30 | 0.30～0.35 | 0.35～0.40 | 0.40～0.45 | 0.45～0.50 | 0.50～0.55 | 0.55～0.60 | 0.60～0.65 | 0.65～0.70 |

参考

一般的なコピー紙（連量55kgの場合）の用紙厚さは約0.08mmです。官製はがき（連量163kg相当の場合）の用紙厚さは約0.23mmです。

- 用紙の厚さと異なったレンジ値で使用した場合、用紙送りおよび印字ヘッドに不具合を生じるおそれがあります。
- 通常印字モードではレンジ6（用紙厚さ0.36mm）まで、高複写印字モードではレンジ8（用紙厚さ0.48mm）まで設定できます。
- レンジA～Eも設定できますが、複写紙の印字品位が低下し、文字が判読できない場合があります。

## 4 「**機能切替/用紙カット**」スイッチを押しながら「**用紙ロード/排出方向**」スイッチを押し、設定したいレンジ値を表示します。

「用紙ロード/排出方向」スイッチを押すたびにレンジ値が変わります。

| キ | ゛ | ャ | ッ | フ | ゜ |  | セ | ッ | テ | イ |  |  |  |  |  |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| マ | ニ | ュ | ア | ル |  | 3 | レ | ン | ジ |  |  |  |  |  |  |

設定が終了すると表示パネルにレンジ値が表示されます。

| オ | フ | ラ | イ | ン |  |  |  |  | ツ | ウ | シ | ゛ | ョ | ウ |  |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| テ | サ | シ |  |  |  |  |  |  |  |  | レ | ン | シ | ゛ | 3 |

参考

「機能切替/用紙カット」スイッチを押しながら「用紙ロード/排出方向」スイッチを押したときのレンジ値の変更は、以下のようになります。

1回目　　パネル表示「マニュアルギャップ　○レンジ」
　　　　（○は現在の設定レンジ）

ここでスイッチを離した場合、設定の変更はしません。

2回目　　「オート」（自動紙厚調整）
3回目　　メニュー○○（○○はメニューの設定値）
4回目　　現在の設定レンジに1レンジ追加されます。

以下、レンジ値は昇順します。レンジ値は順送りのみです。
1→2→3・・・D→E→オート→1→2

- マニュアルギャップの設定は、プリンタの電源スイッチを「OFF」にした場合や、IPRIME信号の受信, メニュー設定終了時にメニュー設定の値に戻ります。恒久的に設定する場合はメニュー設定を変更してください。
- セットされた用紙の厚さに対してマニュアルギャップの設定が狭い場合は、

| M | G | セ | ッ | テ | イ |  | ア | ラ | ー | ム |  |  |  |  |  |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| サ | イ | セ | ッ | ト |  | シ | テ | ク | タ | ゛ | サ | イ |  |  |  |

と表示する場合があります。もう一度設定をやり直してください。

# 5 プリンタをより活用するために

～便利な機能及びプリンタ設定の変更方法～

# 操作パネルの使い方

各スイッチの記号は、メニューモード中のスイッチ機能を表しています。
表示パネルの左側にも表示されます。

| スイッチ | 機能 |
|---|---|
| 機能切替/用紙カット ＋ 改頁/高速印字 , 改行/通常印字 | 機能設定メニューの切り替え |
| 改頁/高速印字　改行/通常印字 | 項目の切り替え |
| 印字可　用紙モード/高複写 | 設定値の切り替え |

## ●スイッチの機能

### 印字可スイッチ

◆オンラインのとき

- オフラインにします。
- カットシートフィーダ（オプション）で再給紙を行います。

◆オフラインのとき

- オンラインにします。
- 復旧可能アラームを解除します。

### 改頁/高速印字スイッチ

◆オンラインのとき

- 高速印字モードに設定します。

高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、通常印字に比べ、文字が薄く見えます。

◆オフラインのとき

- 連続紙モードのとき
  次のページの1行目まで連続紙を送ります。
- 単票モードのとき
  単票を排出します。

### 改行/通常印字スイッチ

改　行
通常印字

◆オンラインのとき

- 通常印字モードに設定します。

◆オフラインのとき

- 1行改行します。押し続けると連続で改行します。

5
章

## 用紙ロード/排出方向スイッチ

◆オンラインのとき

- 単票モードのときの排出方向を切り替えます。
  排出方向は、単票手差しモードと自動給紙（前側）モード、自動給紙（後側）モードで別々に設定できます。

◆オフラインのとき

- フロントトラクタモード, リアトラクタモードのとき
  ピントラクタに連続紙をセットしてから押すと、1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。
  連続紙がセットされているときは、ピントラクタの位置まで連続紙を後退させます。

**連続紙の後退量は、最大558.8mm（22インチ）です。558.8mm(22インチ)後退しても用紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。**
**連続紙の後退動作は、2回[1117.6mm(44インチ)]以上連続で行うと用紙ジャムになる場合があります。**

- 単票手差しモードのとき
  単票がセットされていないときに押すと、無効です。
  単票がセットされているときに押すと､用紙を排出します。テーブル側排出設定の場合は、単票抜き取り待ち状態になります。
- 自動給紙（前側）モード､自動給紙（後側）モードのとき[カットシートフィーダ(オプション)実装時]
  単票がセットされていないときに押すと、自動的に次の用紙がセットされます。
  単票がセットされているときに押すと、単票が排出されます。
  テーブル側排出設定の場合は単票抜き取り待ち状態になります。

## 用紙モード/高複写スイッチ

◆オンラインのとき

- 高複写印字モードに設定します。

◆オフラインのとき

- 単票手差しモード, フロントトラクタモード, リアトラクタモード, カットシートフィーダ（オプション）実装時は自動給紙（前側）モード、自動給紙（後側）モードに切り替えます。

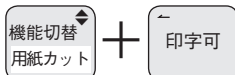
## 機能切替/用紙カットスイッチ

◆オンラインのとき

- フロントトラクタモード, リアトラクタモードのとき
  連続紙を用紙カット位置まで送ります。再押下またはデータを受信すると、もとの位置に戻ります。
- 単票手差しモード, 自動給紙（前側）モード, 自動給紙（後側）モードのとき
  無効です。

◆オフラインのとき

- このスイッチを押しながら他のスイッチを押すことにより、スイッチの機能を変えることができます。

## 機能切替/用紙カット　＋　印字可スイッチ

〔用紙位置設定〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされていないときに押すと、1文字目印字位置設定モードになります。

書式モード中は無効です。

## 機能切替/用紙カット　＋　改頁/高速印字スイッチ

〔微少送り〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされているときに、順方向に微少送りを行います。

5
章

## 機能切替/用紙カット　＋　改行/通常印字スイッチ

〔微少逆送り〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされているときに、逆方向に微少送りを行います。

用紙の逆送り量は累計で8.47mm（1/3インチ）以内にしてください。印字ズレの原因になります。

微少送り, 微少逆送りのピッチは、0.14mm（1/180インチ）です。また、スイッチを押し続けると、連続的に送ります。

## 機能切替/用紙カット　＋　用紙モード/高複写スイッチ

〔メニュー〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 機能設定メニューモードに入ります。

注
設定終了後、プリンタはイニシャル動作を行います。
イニシャル動作中は電源OFFしないでください。

## 機能切替/用紙カット　＋　用紙ロード/排出方向スイッチ

〔ギャップ設定〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- マニュアルギャップ調整モードに入ります。
  スイッチを押下し続けるとオートギャップ，マニュアルギャップの選択値が変化していきます。設定はスイッチから手をはなした時点で選択していたギャップ設定となります。

## ●ランプの表示機能

| ランプ | 状態 | 内容 |
|---|---|---|
| ■電　源（緑） | 点灯 | 電源が入っている |
| | 消灯 | 電源が切れている |
| ■用　紙（赤） | 点灯 | • ペーパエンド状態<br>• 用紙ジャムアラーム状態<br>• 用紙カット位置の補正の限界状態時<br>• 用紙頭出し位置の補正の限界状態時 |
| | 消灯 | 給紙済み状態 |
| | 点滅 | • 単票抜き取り待ち状態<br>• 復旧不可能アラーム状態（「書式」ランプと共に点滅）<br>• カバーオープンアラーム（「印字可」ランプと共に点滅）<br>• 用紙カット位置補正中<br>• 用紙頭出し位置補正中 |
| ■書　式（緑） | 点灯 | 書式モード |
| | 消灯 | 書式モード解除 |
| | 点滅 | 復旧不可能アラーム状態（「用紙」ランプと共に点滅） |
| ■高　速（緑） | 点灯 | 高速印字モード |
| | 消灯 | 通常印字モードまたは高複写印字モード |
| ▼排出方向（緑） | 点灯 | テーブルへ単票を排出する |
| | 消灯 | スタッカへ単票を排出する |
| ■印字可（緑） | 点灯 | オンライン（印字可） |
| | 消灯 | オフライン（印字不可） |
| | 点滅 | • メニュー設定中<br>• カバーオープンアラーム（「用紙」ランプと共に点滅）<br>• データ/動作保持アラーム |
| ■ｵｰﾄｷﾞｬｯﾌﾟ（緑） | 点灯 | オートギャップモード |
| | 消灯 | マニュアルギャップモード |
| | 点滅 | マニュアルギャップ設定アラーム状態 |
| ■高複写（緑） | 点灯 | 高複写印字モード |
| | 消灯 | 通常印字モードまたは高速印字モード |

5章

## ●表示パネル

表示パネルには、プリンタの状態やアラームの表示およびプリンタのメニュー設定の内容が表示されます。
アラームの表示については「アラーム表示がでたときは」（210ページ）で、その他の表示については、プリンタの操作説明の中で必要に応じて説明しています。

## ●ブザー

ブザーはプリンタがアラーム状態のときに鳴ります。
ブザーが鳴ったときは、操作パネルのスイッチをどれか押すと止まります。

# プリンタのメニュー設定

プリンタで設定できる内容と変更方法について説明します。

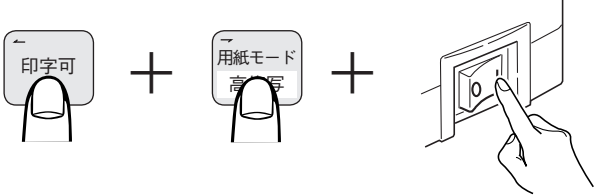
## ●現在の設定を確認する

メニュー設定内容の印字には、A4サイズ以上の単票の縦置き1枚、または10インチ幅以上の連続紙を使用します。
ここでは、A4サイズの単票を使用する場合を例にとって、現在の設定の確認方法を説明します。プリンタはあらかじめ単票手差しモードにしておきます。詳細は「単票から連続紙の切り替え」（122ページ）を参照してください。



**1** 電源スイッチを「**OFF**」にします。

**2** 「**印字可**」＋「**用紙モード/高複写**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」にします。

表示パネルに「イニシャル　ショリチュウ／スイッチヲニンシキシマシタ」と表示したらスイッチから指を離します。

**3** テーブルに単票をセットします。

単票を自動的に吸入し、プリンタのメニューで設定されている全ての項目と設定値が印字されます。

メニューの機能設定メニューには以下の11モードがあります。

1. コマンド機能設定
2. 印字モード設定
3. プリンタハードウェア設定
4. 用紙選択モード
5. 単票手差しモード設定
6. フロントCSFモード設定
7. リアCSFモード設定
8. フロントトラクタモード設定
9. リアトラクタモード設定
10. 書式メニュー設定
11. 調整モード設定

※ 受信バッファ使用時において、受信バッファにデータが残っているときは、メニューの起動はできません。
表示パネルに以下のように表示されます。

| イ | ン | シ | ゛ | テ | ゛ | ー | タ |  | カ | ゛ |  | ア | リ | マ | ス |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| オ | ン | ラ | イ | ン |  | ニ |  | シ | テ | ク | タ | ゛ | サ | イ |  |

## ●コマンド機能設定

コントロールコマンドの機能や対応コード表などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. [印字可] を押し、オフラインにします。
2. [機能切替/用紙カット] と [用紙モード/高複写] を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. [改頁/高速印字] または [改行/通常印字] を押して、項目を選びます。
4. [印字可] または [用紙モード/高複写] を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は 3. へ、別のモードをセットする場合は [機能切替/用紙カット] と [改頁/高速印字]、または [機能切替/用紙カット] と [改行/通常印字] を押します。
5. 設定を終了する場合は、[用紙ロード/排出方向] を押します。
   現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 1 | ANK　コードヒョウ | グラフィック　コード<br>カタカナ　コード | ANK文字コード表の拡張グラフィックス/カタカナコードを設定します。 |
| 2 | ANK　モジヒンイ | LQ　ANK<br>ドラフト　ANK | ANK文字の文字品位を選択します。 |
| 3 | CR　キノウ | フッキ　ノミ<br>フッキ＋カイギョウ | CRコードの機能を、復帰のみか復帰改行するか選択します。 |
| 4 | ゼロフォント | 0<br>Ø | 30H ANKコード受信時の印字フォントパターンを選択します。 |
| 5 | ANKフォント | クーリエ<br>ローマン<br>サンセリフ<br>OCR-B | ANK書体を選択します。 |
| 6 | DC1/DC3 | ムコウ<br>ユウコウ | DC1とDC3コードの有効／無効を選択します。 |
| 7 | FF　キノウ | ハイシュツ<br>カイページ | 単票手差しモード時のFFコード機能を選択します。 |
| 8 | タンピョウ　ボトム | ジドウ　ハイシュツ<br>FFコード | 単票手差しモードおよび自動給紙モードでのボトム検出時の排出条件を選択します。 |
| 9 | カタホウコウ　インジ | ユウコウ<br>ムコウ | 片方向印字設定コマンドの有効／無効を選択します。 |

5章

## ●印字モード設定

プリンタの印字動作を選択できます。
以下の手順で設定します。

1. [印字可] を押し、オフラインにします。
2. [機能切替/用紙カット] と [用紙モード/高複写] を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. [機能切替/用紙カット] と [改頁/高速印字]、または [機能切替/用紙カット] と [改行/通常印字] を押して、「インジ　モード　セッテイ」を表示させます。
4. [改頁/高速印字] または [改行/通常印字] を押して、項目を選びます。
5. [印字可] または [用紙モード/高複写] を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、[用紙ロード/排出方向] を押します。
   現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 1 | タテカクダイ　インジ | リョウホウコウ　インジ（網かけ）<br>カタホウコウ　インジ | 縦拡大印字時の印字方向を選択します。 |
| 2 | イメージ　インジ　ホウコウ ✎ | リョウホウコウ　インジ（網かけ）<br>カタホウコウ　インジ | イメージ印字時の印字方向を選択します。 |
| 3 | テイシンドウ　モード | ムコウ（網かけ）<br>ユウコウ | 印字の振動を抑える低振動モードの有効／無効を選択します。 |
| 4 | PowOnカンジモード | セッテイ<br>カイジョ（網かけ） | 電源投入時の漢字モード設定／解除を選択します。 |
| 5 | コウフクシャ　インジ | ムコウ（網かけ）<br>ユウコウ | 電源投入時の高複写印字モードの有効／無効を選択します。 |

✎ 両方向印字の場合、縦罫線のずれが0.3mm程度発生することがあります。

## ●プリンタハードウェア設定

インタフェースなどが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. [印字可] を押し、オフラインにします。
2. [機能切替/用紙カット] と [用紙モード/高複写] を押します。
表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. [機能切替/用紙カット] と [改頁/高速印字]、または [機能切替/用紙カット] と [改行/通常印字] を押して、「ハードウェア　セッテイ」を表示させます。
4. [改頁/高速印字] または [改行/通常印字] を押して、項目を選びます。
5. [印字可] または [用紙モード/高複写] を押して、設定値を選びます。
引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、[用紙ロード/排出方向] を押します。
現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

5
章

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 1 | ジュシン　バッファ | シヨウ　スル<br>シヨウ　シナイ | 受信バッファ(128K)を使用するか、しないか選択します。 |
| 2 | バイタイ　キリカエドウサ | カットオクリ　ナシ<br>カットオクリ　アリ | フロント／リアトラクタで連続紙がセットされているときに用紙モードを切り替えた場合、連続紙をカット位置まで送る動作(カットオクリ)を行うか、行わないか選択します。 |
| 3 | カール　ナラシドウサ | ムコウ<br>ユウコウ | 単票吸入時、または改行時の単票先端ならし動作の実行を選択します。 |
| 4 | リボンマスク　ホゴ | ムコウ<br>ユウコウ | リボンプロテクタの孔が改行時に損傷するのを保護する機能の有効／無効を選択します。有効が選択されると、帳票改頁時センタリング動作を行います。 |
| 5 | CSF　マエ／ウシロ　センタク | CSFマエ　ユウセン<br>CSFウシロ　ユウセン | CSFの装置前後装着時のどちらが優先かを選択します。 |
| 6 | I／F　センタク | ジドウ<br>パラレル<br>USB | 使用するインタフェースを選択します。「ジドウ」の場合は、データを受信するインタフェースを自動的に選択します。 |

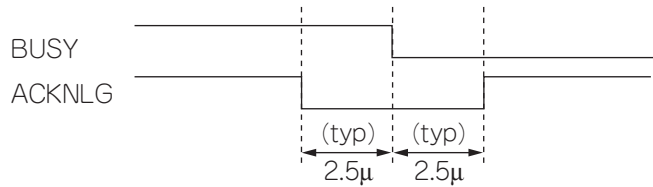
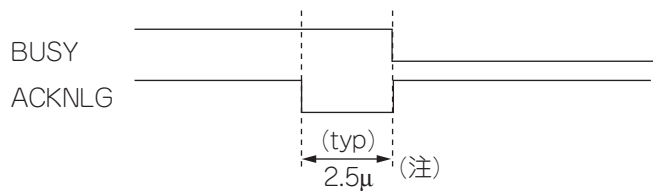
網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 7 | I／F　タイムアウト | 15　s<br>30　s<br>45　s<br>1　min<br>2　min<br>3　min<br>4　min<br>5　min | 「I／F　センタク」が「ジドウ」の場合に、データ受信により受信したインタフェース選択状態となった後、データ受信が途切れてからインタフェース選択状態を解除するまでの時間を選択します。 |
| 8 | ソウホウコウI／F | ムコウ<br>ユウコウ | 双方向インタフェースの有効／無効を選択します。 |
| 9 | AUTO　FEED　XT | ムコウ<br>ユウコウ | AUTO FEED XT信号の有効／無効を設定します。 |
| 10 | I／Fタイミング | A-B-A<br>A-B | インタフェースのACK/BUSY信号のタイミングを選択します。 |
| 11 | I-Primeシンゴウ | ユウコウ<br>ムコウ | I-Primeの有効／無効を選択します。 |
| 12 | ブザー | ユウコウ<br>ムコウ | ブザー鳴動の有効/無効を設定します。 |
| 13 | ブザーオンリョウ | ショウ<br>チュウ<br>ダイ | ブザーの音量を設定します。 |
| 14 | パワーセーブモード | ユウコウ<br>ムコウ | パワーセーブ機能の有効／無効を選択します。 |
| 15 | パワーセーブジカン | 5　min<br>10　min<br>15　min<br>30　min<br>60　min | パワーセーブ状態へ移行するまでの時間を選択します。 |
| 16 | レンゾク　I-PRIME | ユウコウ<br>ムコウ | I-PRIME信号をデータ受信やスイッチ操作がない状態で連続的に受信した場合の処理を選択します。<br>ユウコウ：I-PRIME信号を連続で受信した場合、プリンタが認識する毎に初期化動作を行います。<br>ムコウ：I-PRIME信号を連続で受信した場合、プリンタの初期化動作は一度のみ行います。 |

5章

✎ CSFが前後に搭載されている場合のみ表示され設定することが可能となります。装置未搭載の場合でも設定値は保持され、再び搭載されたときに設定値が有効になります。ただし、メニューデフォルトセットが行われた場合は、この限りではありません。

✎✎ I／Fタイミングの“A-B-A”と“A-B”の意味は、下図によります。

「A-B-A」の場合、I/F信号ACKNLG, BUSYの関係は以下のとおりです。

「A-B」の場合、I/F信号ACKNLG, BUSYの関係は以下のとおりです。

(注）BUSY OFFとACK OFFのタイミングの差はMIN 0secです。

## ●用紙選択モード

使用する用紙サイズや印字幅などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. [印字可] を押し、オフラインにします。
2. [機能切替/用紙カット] と [用紙モード/高複写] を押します。
 表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. [機能切替/用紙カット] と [改頁/高速印字]、または [機能切替/用紙カット] と [改行/通常印字] を押して、「ヨウシ　センタク　モード」を表示させます。
4. [改頁/高速印字] または [改行/通常印字] を押して、項目を選びます。
5. [印字可] または [用紙モード/高複写] を押して、設定値を選びます。
 引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、[用紙ロード/排出方向] を押します。
 現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 1 | ページチョウ　モード | センタク　モード<br>ギョウスウ　モード | ページ長を設定するモードを選択します。 |
| 2 | ページチョウ　センタク | 279.4mm　(11")<br>304.8mm　(12")<br>55.9mm　(2 1/5")<br>69.9mm　(2 3/4")<br>82.6mm　(3 1/4")<br>101.6mm　(4")<br>209.6mm　(8 1/4") | ページ長を選択します。<br>項番1「ページチョウ　モード」で「センタク　モード」を選択した場合に本設定が有効となります。 |
| 3 | ページチョウ　ギョウスウ ✎✎ | 1　(4.2mm)<br>2　(8.5mm)<br>:<br>66　(279.4mm)<br>:<br>399　(1689.1mm)<br>400　(1693.3mm) | ページ長を行数単位で選択します。行数は4.23mm(6LPI)単位です。1〜400行まで設定可能です。<br>項番1「ページチョウ　モード」で「ギョウスウ　モード」を選択した場合に本設定が有効となります。 |
| 4 | ミシンメ　スキップ ✎✎✎ | ナシ<br>25.4mm　(1") | 連続紙のミシン目スキップ長を選択します。 |
| 5 | ジドウハイシュツ　イチ | 3.18mm　(1/8") ✎<br>6.35mm　(1/4") | 単票の排出検出位置(用紙下端から文字中心までの距離)を選択します。 |

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 6 | インジ　ハバ | 80ケタ<br>106ケタ<br>132ケタ<br>136ケタ | 1行の最大印字桁を選択します。 |

✐ 3.18mm(1/8")に設定はできますが、印字品質は保証されません。

✐✐ 「ページチョウ　ギョウスウ」選択中は、印字可または用紙モードスイッチを押下し続けると、連続的に設定値が更新されます。そのまま押下し続けると設定値の更新速度が上がります。また機能切替＋印字可スイッチを押下すると、設定値が50の倍数で更新されます。

✐✐✐ ページ長を25.4mm以下に設定した場合、「ミシンメ　スキップ」を「25.4mm(1")」に設定しても、ミシン目スキップは0mmが設定されます。

## ●単票手差しモード設定

単票手差しモードでの用紙の頭出し位置や紙厚などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. [印字可] を押し、オフラインにします。
2. [機能切替/用紙カット] と [用紙モード/高複写] を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. [機能切替/用紙カット] と [改頁/高速印字]、または [機能切替/用紙カット] と [改行/通常印字] を押して、「テサシモード　セッテイ」を表示させます。
4. [改頁/高速印字] または [改行/通常印字] を押して、項目を選びます。
5. [印字可] または [用紙モード/高複写] を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、[用紙ロード/排出方向] を押します。
   現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 1 | テサシ　TOF　イチ（注） | 2.12mm（1/12"）<br>3.18mm（1/8"）<br>6.35mm（1/4"）<br>7.62mm（3/10"）<br>8.47mm（1/3"）<br>10.58mm（5/12"）<br>23.28mm（11/12"）<br>25.4mm（1"）<br>27.52mm（13/12"）<br>ユーザーシテイ　イチ | 単票手差しモード時の頭出し基準位置を選択します。(第1行目の文字中心まで。ただし、8.47mmは第1行目文字の先端まで。)「ユーザーシテイ　イチ」は1文字目印字位置の設定を行った場合に表示されます。 |
| 2 | キュウシ　WAIT　TIME | 2.0 s<br>1.5 s<br>1.0 s<br>0.5 s | 単票をテーブルにセットしてから吸入するまでの時間を選択します。 |
| 3 | テサシ　キュウシ　ソクド | ツウジョウ<br>テイソク | 単票手差しモード時の給紙速度を選択します。 |
| 4 | テサシ　ハイシュツ　ホウコウ | テーブル<br>スタッカ | 単票手差しモード時の用紙排出方向を選択します。 |
| 5 | テサシ　PAPER　END | PE　シュツリョク　ナシ<br>PE　シュツリョク　アリ | 単票手差しモードで用紙終了を検出した場合のペーパーエンド(未給紙状態)出力を選択します。 |

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 6 | テサシ　カミアツセンタク | オート<br>マニュアル　1レンジ<br>マニュアル　2レンジ<br>マニュアル　3レンジ<br>マニュアル　4レンジ<br>マニュアル　5レンジ<br>マニュアル　6レンジ<br>マニュアル　7レンジ<br>マニュアル　8レンジ<br>マニュアル　Aレンジ<br>マニュアル　Bレンジ<br>マニュアル　Cレンジ<br>マニュアル　Dレンジ<br>マニュアル　Eレンジ | 単票手差しモード時の紙厚調整方法およびレンジを選択します。 |
| 7 | テサシ　カミアツイチ | 50.8mm　(2")<br>101.6mm (4") | 単票手差しモード時のオートギャップ動作を行う位置を選択します。(左端からの位置) |

2.12mm(1/12"), 3.18mm(1/8")に設定はできますが、印字品質は保証されません。また、用紙幅全域に印字した場合、用紙の角めくれ, 折れや紙づまりが発生する場合があります。

- 頭出し位置は用紙の種類によって±2mm程度の誤差が生じることがあります。設定値[初期値6.35mm(1/4インチ)]に合わせる場合は、頭出し位置補正（調整モード設定）で修正してください。
- 頭出し位置補正については工場出荷時に55kg紙媒体にて適正値に調整してあります。

## ●フロントCSFモード設定

自動給紙（前側）モードでの用紙の頭出し位置や紙厚などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. [印字可]を押し、オフラインにします。
2. [機能切替/用紙カット]と[用紙モード/高複写]を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. [機能切替/用紙カット]と[改頁/高速印字]、または[機能切替/用紙カット]と[改行/通常印字]を押して、「F-CSF　モード　セッテイ」を表示させます。
4. [改頁/高速印字]または[改行/通常印字]を押して、項目を選びます。
5. [印字可]または[用紙モード/高複写]を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、[用紙ロード/排出方向]を押します。
   現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 1 | F-CSF　TOF　イチ（注） | 2.12mm (1/12")<br>3.18mm (1/8")<br>**6.35mm (1/4")**<br>7.62mm (3/10")<br>8.47mm (1/3")<br>10.58mm (5/12")<br>23.28mm (11/12")<br>25.4mm (1")<br>27.52mm (13/12")<br>ユーザーシテイ　イチ | 自動給紙（前側）モード時の頭出し基準位置を選択します。(第1行目の文字中心まで。ただし、8.47mmは第1行目文字の先端まで。)<br>「ユーザーシテイ　イチ」は1文字目印字位置の設定を行った場合に表示されます。 |
| 2 | F-CSF　ハイシュツ　ホウコウ | **スタッカ**<br>テーブル | 自動給紙（前側）モード時の用紙排出方向を選択します。 |
| 3 | F-CSF　ギャップドウサ | マイカイ<br>**ツウジョウ** | 自動給紙（前側）モード時の用紙吸入時のオートギャップ動作を選択します。「ツウジョウ」は用紙吸入1回のみ行います。 |

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 4 | F-CSF　カミアツセンタク | オート<br>マニュアル　1レンジ<br>マニュアル　2レンジ<br>マニュアル　3レンジ<br>マニュアル　4レンジ<br>マニュアル　5レンジ<br>マニュアル　6レンジ<br>マニュアル　7レンジ<br>マニュアル　8レンジ<br>マニュアル　Aレンジ<br>マニュアル　Bレンジ<br>マニュアル　Cレンジ<br>マニュアル　Dレンジ<br>マニュアル　Eレンジ | 自動給紙（前側）モードの紙厚調整方法およびレンジを選択します。 |
| 5 | F-CSF　カミアツイチ | 50.8mm　(2")<br>101.6mm (4") | 自動給紙（前側）モード時のオートギャップ動作を行う位置を選択します。(左端からの位置) |

✐ 2.12mm(1/12"), 3.18mm(1/8")に設定はできますが、印字品質は保証されません。また、用紙幅全域に印字した場合、用紙の角めくれ, 折れや紙づまりが発生する場合があります。

- 頭出し位置は用紙の種類によって±2mm程度の誤差が生じることがあります。設定値[初期値6.35mm(1/4インチ)]に合わせる場合は、頭出し位置補正（調整モード設定）で修正してください。
- 頭出し位置補正については工場出荷時に55kg紙媒体にて適正値に調整してあります。
- 自動給紙（前側）モード時に手差しで給紙した場合は、自動給紙（前側）モードの設定に従います。

5
章

## ●リアCSFモード設定

自動給紙（後側）モードでの用紙の頭出し位置や紙厚などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. [印字可] を押し、オフラインにします。
2. [機能切替/用紙カット] と [用紙モード/高複写] を押します。
表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. [機能切替/用紙カット] と [改頁/高速印字]、または [機能切替/用紙カット] と [改行/通常印字] を押して、「R-CSF　モード　セッテイ」を表示させます。
4. [改頁/高速印字] または [改行/通常印字] を押して、項目を選びます。
5. [印字可] または [用紙モード/高複写] を押して、設定値を選びます。
引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、[用紙ロード/排出方向] を押します。
現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 1 | R-CSF　TOF　イチ（注） | 2.12mm (1/12")<br>3.18mm (1/8")<br>6.35mm (1/4")<br>7.62mm (3/10")<br>8.47mm (1/3")<br>10.58mm (5/12")<br>23.28mm (11/12")<br>25.4mm (1")<br>27.52mm (13/12")<br>ユーザーシテイ　イチ | 自動給紙（後側）モード時の頭出し基準位置を選択します。(第1行目の文字中心まで。ただし、8.47mmは第1行目文字の先端まで。)<br>「ユーザーシテイ　イチ」は1文字目印字位置の設定を行った場合に表示されます。 |
| 2 | R-CSF　ハイシュツ　ホウコウ | スタッカ<br>テーブル | 自動給紙（後側）モード時の用紙排出方向を選択します。 |
| 3 | R-CSF　ギャップドウサ | マイカイ<br>ツウジョウ | 自動給紙（後側）モード時の用紙吸入時のオートギャップ動作を選択します。「ツウジョウ」は用紙吸入1回のみ行います。 |

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 4 | R-CSF　カミアツセンタク | オート<br>マニュアル　1レンジ<br>マニュアル　2レンジ<br>マニュアル　3レンジ<br>マニュアル　4レンジ<br>マニュアル　5レンジ<br>マニュアル　6レンジ<br>マニュアル　7レンジ<br>マニュアル　8レンジ<br>マニュアル　Aレンジ<br>マニュアル　Bレンジ<br>マニュアル　Cレンジ<br>マニュアル　Dレンジ<br>マニュアル　Eレンジ | 自動給紙（後側）モードの紙厚調整方法およびレンジを選択します。 |
| 5 | R-CSF　カミアツイチ | 50.8mm　(2")<br>101.6mm (4") | 自動給紙（後側）モード時のオートギャップ動作を行う位置を選択します。(左端からの位置) |

✎ 2.12mm(1/12"), 3.18mm(1/8")に設定はできますが、印字品質は保証されません。また、用紙幅全域に印字した場合、用紙の角めくれ, 折れや紙づまりが発生する場合があります。

- 頭出し位置は用紙の種類によって±2mm程度の誤差が生じることがあります。設定値[初期値6.35mm(1/4インチ)]に合わせる場合は、頭出し位置補正（調整モード設定）で修正してください。
- 頭出し位置補正については工場出荷時に55kg紙媒体にて適正値に調整してあります。
- 自動給紙（後側）モード時に手差しで給紙した場合は､自動給紙（後側）モードの設定に従います。

5章

## ●フロントトラクタモード設定

フロントトラクタモードでの用紙の頭出し位置や紙厚などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. [印字可] を押し、オフラインにします。
2. [機能切替/用紙カット] と [用紙モード/高複写] を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. [機能切替/用紙カット] と [改頁/高速印字]、または [機能切替/用紙カット] と [改行/通常印字] を押して、「フロント　モード　セッテイ」を表示させます。
4. [改頁/高速印字] または [改行/通常印字] を押して、項目を選びます。
5. [印字可] または [用紙モード/高複写] を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、[用紙ロード/排出方向] を押します。
   現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 1 | フロント　オートロード　イチ (注) | 2.12mm (1/12") ✎<br>3.18mm (1/8")<br>6.35mm (1/4")<br>8.47mm (1/3")<br>10.58mm (5/12")<br>19.05mm (9/12")<br>23.28mm (11/12")<br>25.4mm (1")<br>27.52mm (13/12")<br>ユーザーシテイ　イチ | フロントトラクタモード時の頭出し基準位置を選択します。(第1行目の文字中心まで。ただし、8.47mmは第1行目文字の先端まで。)<br>「ユーザーシテイ　イチ」は1文字目印字位置の設定を行った場合に表示されます。 |
| 2 | フロント　カットモード | シュドウ<br>ジドウ | フロントトラクタモード時のミシン目カット位置への移動方法を選択します。 |
| 3 | フロント　PowOn　ヨウシイチ | インジイチ<br>カットイチ | フロントトラクタモード時の電源投入時に用紙がある場合の用紙位置を選択します。 |
| 4 | フロント　PE　イチ | 3.18mm (1/8")<br>6.35mm (1/4") | フロントトラクタモード時のペーパーエンド位置を選択します。(用紙下端から文字中心までの距離) |

✎ 2.12mm(1/12"), 3.18mm(1/8")に設定はできますが、印字品質は保証されません。また、用紙幅全域に印字した場合、用紙の角めくれ, 折れや紙づまりが発生する場合があります。

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 5 | フロント　カミアツセンタク | オート<br>マニュアル　1レンジ<br>マニュアル　2レンジ<br>マニュアル　3レンジ<br>マニュアル　4レンジ<br>マニュアル　5レンジ<br>マニュアル　6レンジ<br>マニュアル　7レンジ<br>マニュアル　8レンジ<br>マニュアル　Aレンジ<br>マニュアル　Bレンジ<br>マニュアル　Cレンジ<br>マニュアル　Dレンジ<br>マニュアル　Eレンジ | フロントトラクタモード時の紙厚測定方法およびレンジを選択します。 |
| 6 | フロント　カミアツイチ | 50.8mm (2")<br>101.6mm (4") | フロントトラクタモード時のオートギャップ動作を行う位置を選択します。(第1文字目の中心からの位置) |

- 頭出し位置は用紙の種類によって±2mm程度の誤差が生じることがあります。設定値[初期値6.35mm(1/4インチ)]に合わせる場合は、頭出し位置補正（調整モード設定）で修正してください。
- 頭出し位置補正については工場出荷時に55kg紙媒体にて適正値に調整してあります。

## ●リアトラクタモード設定

リアトラクタモードでの用紙の頭出し位置や紙厚などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. [印字可] を押し、オフラインにします。
2. [機能切替/用紙カット] と [用紙モード/高複写] を押します。
表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. [機能切替/用紙カット] と [改頁/高速印字]、または [機能切替/用紙カット] と [改行/通常印字] を押して、「リア　モード　セッテイ」を表示させます。
4. [改頁/高速印字] または [改行/通常印字] を押して、項目を選びます。
5. [印字可] または [用紙モード/高複写] を押して、設定値を選びます。
引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、[用紙ロード/排出方向] を押します。
現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

5章

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 1 | リア　オートロード　イチ | 2.12mm (1/12") ✎<br>3.18mm (1/8")<br>6.35mm (1/4")（初期値）<br>8.47mm (1/3")<br>10.58mm (5/12")<br>19.05mm (9/12")<br>23.28mm (11/12")<br>25.4mm (1")<br>27.52mm (13/12")<br>ユーザーシテイ　イチ | リアトラクタモード時の頭出し基準位置を選択します。(第1行目の文字中心まで。ただし、8.47mmは第1行目文字の先端まで。)「ユーザーシテイ　イチ」は1文字目印字位置の設定を行った場合に表示されます。 |
| 2 | リア　カットモード | シュドウ（初期値）<br>ジドウ | リアトラクタモード時のミシン目カット位置への移動方法を選択します。 |
| 3 | リア　PowOn　ヨウシイチ | インジイチ（初期値）<br>カットイチ | リアトラクタモード時の電源投入時に用紙がある場合の用紙位置を選択します。 |
| 4 | リア　PE　イチ | 3.18mm (1/8")<br>6.35mm (1/4")（初期値） | リアトラクタモード時のペーパーエンド位置を選択します。(用紙下端から文字中心までの距離) |

✎ 2.12mm(1/12"), 3.18mm(1/8")に設定はできますが、印字品質は保証されません。また、用紙幅全域に印字した場合、用紙の角めくれ, 折れや紙づまりが発生する場合があります。

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 5 | リア　カミアツセンタク | オート<br>マニュアル　1レンジ<br>マニュアル　2レンジ<br>マニュアル　3レンジ<br>マニュアル　4レンジ<br>マニュアル　5レンジ<br>マニュアル　6レンジ<br>マニュアル　7レンジ<br>マニュアル　8レンジ<br>マニュアル　Aレンジ<br>マニュアル　Bレンジ<br>マニュアル　Cレンジ<br>マニュアル　Dレンジ<br>マニュアル　Eレンジ | リアトラクタモード時の紙厚調整方法およびレンジを選択します。 |
| 6 | リア　カミアツイチ | 50.8mm　(2")<br>101.6mm (4") | リアトラクタモード時のオートギャップ動作を行う位置を選択します。(第1文字目の中心からの位置) |

- 頭出し位置は用紙の種類によって±2mm程度の誤差が生じることがあります。設定値[初期値6.35mm(1/4インチ)]に合わせる場合は、頭出し位置補正（調整モード設定）で修正してください。
- 頭出し位置補正については工場出荷時に55kg紙媒体にて適正値に調整してあります。

## ●書式メニュー設定

不揮発性メモリに登録した書式などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. [印字可] を押し、オフラインにします。
2. [機能切替/用紙カット] と [用紙モード/高複写] を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. [機能切替/用紙カット] と [改頁/高速印字]、または [機能切替/用紙カット] と [改行/通常印字] を押して、「ショシキ　セッテイ　モード」を表示させます。
4. [改頁/高速印字] または [改行/通常印字] を押して、項目を選びます。
5. [印字可] または [用紙モード/高複写] を押して、設定値を選び、[機能切替/用紙カット] と [用紙ロード/排出方向] を押して、設定値をメモリに記憶します。

   引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、[用紙ロード/排出方向] を押します。

   現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

網かけ部は初期値

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 1 | カヘン　ショシキ　センタク | トウロク　ショシキ　ナシ<br>ショシキ　ナシ<br>デバイス名：書式名 | 不揮発性メモリに登録されている書式から使用する書式を選択します。✎ |
| 2 | カヘン　ショシキ　サクジョ | トウロク　ショシキ　ナシ<br>デバイス名：書式名 | 登録済の可変書式を削除します。✎ |
| 3 | ページ　クギリ　モジ | ナシ<br>?, @ | 書式中のページを区切る文字を指定します。 |
| 4 | ギョウ　クギリ　ケイシキ | data　LF<br>"data"<br>!data!<br>&data&<br>;data; | 書式中の一つの印字位置に指定する文字データの区切りかたを指定します。 |
| 5 | ショシキ　インジ　イチ | 5320Sモード<br>8340Sモード | 可変書式での水平印字位置を選択します。 |

✎ 登録された書式がない場合、「トウロク　ショシキ　ナシ」固定となります。

## ●調整モード設定

プリンタの頭出し位置，ペーパエンドの検出位置，水平印字位置および単票LF精度を補正する値が選択できます。
以下の手順で設定します。

1. 印字可 を押し、オフラインにします。
2. 機能切替/用紙カット と 用紙モード/高複写 を押します。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
3. 機能切替/用紙カット と 改頁/高速印字、または 機能切替/用紙カット と 改行/通常印字 を押して、「チョウセイ　モード」を表示させます。
4. 改頁/高速印字 または 改行/通常印字 を押して、項目を選びます。
5. 印字可 または 用紙モード/高複写 を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は 4. へ、別のモードをセットする場合は 3. に戻ります。
6. 設定を終了する場合は、用紙ロード/排出方向 を押します。
   現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。



工場出荷時、適正値に設定

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 1 | テサシ　TOF　ホセイ | −40<br>−39<br>≀<br>0<br>≀<br>39<br>40 | 単票手差しモード時の頭出し基準位置に対する補正値を選択します。✎ |
| 2 | F-CSF　TOF　ホセイ | −40<br>−39<br>≀<br>0<br>≀<br>39<br>40 | 単票自動給紙（前側）モード時の頭出し基準位置に対する補正値を選択します。✎ |
| 3 | R-CSF　TOF　ホセイ | −40<br>−39<br>≀<br>0<br>≀<br>39<br>40 | 単票自動給紙（後側）モード時の頭出し基準位置に対する補正値を選択します。✎ |

✎ 設定値は1ステップあたり0.21mm（1/120インチ）単位で、＋側は用紙下端方向へ、－側は用紙上端方向へ移動します。

工場出荷時、適正値に設定

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 4 | フロント　ロード　ホセイ | −40<br>−39<br>≀<br>0<br>≀<br>39<br>40 | フロントトラクタモード時の頭出し基準位置に対する補正値を選択します。✎ |
| 5 | リア　ロード　ホセイ | −40<br>−39<br>≀<br>0<br>≀<br>39<br>40 | リアトラクタモード時の頭出し基準位置に対する補正値を選択します。✎ |
| 6 | テサシ　PEイチ　ホセイ | −15<br>−14<br>≀<br>0<br>≀<br>14<br>15 | 単票手差しモード時のジドウハイシュツイチに対する補正値を選択します。✎ |
| 7 | F-CSF　PEイチ　ホセイ | −15<br>−14<br>≀<br>0<br>≀<br>14<br>15 | 自動給紙（前側）モード時のジドウハイシュツイチに対する補正値を選択します。✎ |
| 8 | R-CSF　PEイチ　ホセイ | −15<br>−14<br>≀<br>0<br>≀<br>14<br>15 | 自動給紙（後側）モード時のジドウハイシュツイチに対する補正値を選択します。✎ |
| 9 | フロント　PEイチ　ホセイ | −15<br>−14<br>≀<br>0<br>≀<br>14<br>15 | フロントトラクタモード時のジドウハイシュツイチに対する補正値を選択します。✎ |
| 10 | リア　PEイチ　ホセイ | −15<br>−14<br>≀<br>0<br>≀<br>14<br>15 | リアトラクタモード時のジドウハイシュツイチに対する補正値を選択します。✎ |

✎ 設定値は1ステップあたり0.21mm（1/120インチ）単位で、＋側は用紙下端方向へ、−側は用紙上端方向へ移動します。

工場出荷時、適正値に設定

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 11 | PRINT　REG　LOW | −5　PRREG=−5<br>−4　PRREG=−4<br>≀　≀<br>0<br>≀　≀<br>4　PRREG=4<br>5　PRREG=5 | 両方向印字時の低速印字速度の左右方向のズレの補正値を選択します。<br>リバース方向の印字ドット位置を調整します。<br>✎✎<br>✎✎✎ |
| 12 | PRINT　REG　NORM | −5　PRREG=−5<br>−4　PRREG=−4<br>≀　≀<br>0<br>≀　≀<br>4　PRREG=4<br>5　PRREG=5 | 通常印字速度の左右方向のズレの補正値を選択します。<br>リバース方向の印字ドット位置を調整します。<br>✎✎<br>✎✎✎ |
| 13 | PRINT　REG　HIGH1 | −5　PRREG=−5<br>−4　PRREG=−4<br>≀　≀<br>0<br>≀　≀<br>4　PRREG=4<br>5　PRREG=5 | 高速印字速度の左右方向のズレの補正値を選択します。<br>リバース方向の印字ドット位置を調整します。<br>✎✎<br>✎✎✎ |
| 14 | PRINT　REG　HIGH2 | −5　PRREG=−5<br>−4　PRREG=−4<br>≀　≀<br>0<br>≀　≀<br>4　PRREG=4<br>5　PRREG=5 | 高速印字速度の左右方向のズレの補正値を選択します。<br>リバース方向の印字ドット位置を調整します。<br>✎✎<br>✎✎✎ |
| 15 | テサシ　LF　ピッチ | −10　TLFP=−10<br>−9　TLFP=−9<br>≀　≀<br>0<br>≀　≀<br>9　TLFP=9<br>10　TLFP=10 | 手差しからの単票給紙後の改行量の補正値を選択します。<br>✎✎✎✎ |
| 16 | F-CSF　LF　ピッチ | −10　TLFP=−10<br>−9　TLFP=−9<br>≀　≀<br>0<br>≀　≀<br>9　TLFP=9<br>10　TLFP=10 | フロントCSFからの単票給紙後の改行量の補正値を選択します。<br>✎✎✎✎ |
| 17 | R-CSF　LF　ピッチ | −10　TLFP=−10<br>−9　TLFP=−9<br>≀　≀<br>0<br>≀　≀<br>9　TLFP=9<br>10　TLFP=10 | リアCSFからの単票給紙後の改行量の補正値を選択します。<br>✎✎✎✎ |

✎✎　本メニューモードではレジストレーション確認パターンの印字は行いません。

✎✎✎　レジストレーション設定値は、1ステップあたり0.07mm単位で、＋側は用紙印刷面の左端方向へ、−側は用紙印刷面の右端方向へ移動します。

✎✎✎✎　LFピッチ補正は、あらかじめ枠線等がプレプリント印刷されている単票を使用するときに、改行ピッチが合わない場合に補正する機能です。設定値に対する補正量は158ページのとおりです。

5章

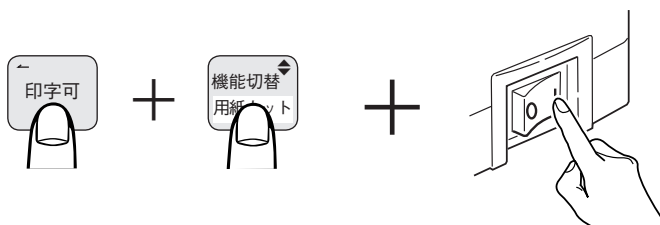
## ●設定を初期化する

全てのメニューの設定値を、初期の状態に戻すことができます。

- 調整メニュー（157ページ）の調整値は初期化されません。
- 登録した書式は消えません。

**1** 電源スイッチを「**OFF**」にします。

**2** 「**印字可**」＋「**機能切替/用紙カット**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」にします。

表示パネルに「イニシャルショリチュウ／スイッチヲニンシキシマシタ」と表示されたら、スイッチから指を離します。

# プリンタの調整項目

## ●調整メニュー

プリンタの機械的なずれを調整します。

注 調整メニューの設定値は、工場出荷時に適正な値に調整してあります。むやみに変更しないでください。

調整メニューではA4サイズ以上の単票の縦置きまたは381mm（15インチ）幅の連続紙を使用してください。
ここでは、A4サイズの単票を使用する場合を例にとって、現在の設定の確認と変更方法を説明します。プリンタはあらかじめ単票手差しモードにしておきます。



1. 電源スイッチを「OFF」にします。
2. [印字可], [改頁 高速印字], [改行 通常印字]を同時に押しながら、電源スイッチを「ON」にします。
   表示パネルに「イニシャルショリチュウ／スイッチヲニンシキシマシタ」と表示されたらスイッチから指を離します。
3. テーブルに単票をセットします。
   単票を自動的に吸入し、「PRINT REG***」の設定値が印字されます。
4. [改頁 高速印字]または[改行 通常印字]を押して、項目を選びます。
5. [印字可]または[用紙モード 高複写]を押して、調整値を選びます。
6. 設定を終了する場合は、[用紙ロード 排出方向]を押します。
   現在の設定値をメモリに記憶し、調整メニューを終了します。

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 1<br>〜<br>3 | *****　TOF　ホセイ<br>（*****はテサシ, F-CSFまたはR-CSF） | ±40まで補正可能<br>出荷時、適正値に調整されます。✎ | 頭出し基準位置に対する調整をします。 |
| 4<br>5 | ****　ロード　ホセイ<br>（****はフロントまたはリア） | ±40まで補正可能<br>出荷時、適正値に調整されます。✎ | 頭出し基準位置に対する調整をします。 |
| 6<br>〜<br>10 | *****　PEイチ　ホセイ<br>（*****はテサシ, F-CSF, R-CSF, フロントまたはリア） | ±15まで補正可能<br>出荷時、適正値に調整されます。✎ | 自動排出位置に対する調整をします。 |

✎ 設定値は1ステップあたり0.21mm（1/120インチ）単位で、＋側は用紙下端方向へ、－側は用紙上端方向へ移動します。

| 項番 | 項　目 | 設定値 | 機　能 |
|---|---|---|---|
| 11<br>～<br>14 | PRINT REG ****<br>（****は速度表示であり、LOWまたはNORMまたはHIGH1またはHIGH2） | （PRREG=**）<br>**は±5まで補正可能<br>出荷時、適正値に調整されます。<br>設定値は1ステップあたり0.07mm補正されます。 | 低速印字速度（LOW），通常印字速度（NORM），高速印字速度（HIGH1, HIGH2）の、横方向の印字ずれを調整します。<br>（例）<br>（0）<br>（1）<br>（2） |
| 15<br>～<br>17 | *****　LF　ピッチ<br>（*****はテサシ，F-CSFまたはR-CSF）<br>✐✐ | （TLFP=***）<br>***は±10まで補正可能<br>出荷時、適正値に調整されます。 | 単票給紙後の改行量を0.07mm単位で改行量を可変させて補正します。 |

✐✐ LFピッチ補正は、あらかじめ枠線等がプレプリント印刷されている単票を使用するときに、改行ピッチが合わない場合に補正する機能です。設定値に対する補正量は以下のとおりです。

| 設定値 | 100mmあたりの補正量 |
|---|---|
| ±1 | ±0.07mm |
| ±2 | ±0.21mm |
| ±3 | ±0.35mm |
| ±4 | ±0.42mm |
| ±5 | ±0.56mm |
| ±6 | ±0.70mm |
| ±7 | ±0.84mm |
| ±8 | ±0.92mm |
| ±9 | ±1.06mm |
| ±10 | ±1.20mm |

## ●用紙の頭出し位置を補正する

用紙の頭出し位置を基準位置[6.35mm（1/4インチ）]に合わせることができます。
基準位置とは、用紙の先頭行のことで、用紙が自動給紙されて停止する位置です。

- 補正する場合は、6.35mm（1/4インチ）に合わせてください。
- 用紙の頭出し位置を任意の位置に設定する場合は、「1文字目の印字位置を設定する」（163ページ）を参照してください。

頭出し位置の補正は､用紙モード（単票手差しモード, 自動給紙（前側）モード, 自動給紙（後側）モード, フロントトラクタモード, リアトラクタモード）でそれぞれ別々に設定できます。



**1** プリンタのメニュー設定印刷を行い、補正を行う用紙モードの「TOF　イチ」または「オートロード　イチ」が「6.35mm（1/4″）」になっていることを確認します。

詳細は「現在の設定を確認する」（134ページ）を参照してください。

**2** オフライン状態で「**用紙モード/高複写**」スイッチを押し、補正を行う用紙モードを選択します。

**3** カットシートフィーダの場合は用紙ガイドに、連続紙の場合はピントラクタに用紙をセットします。

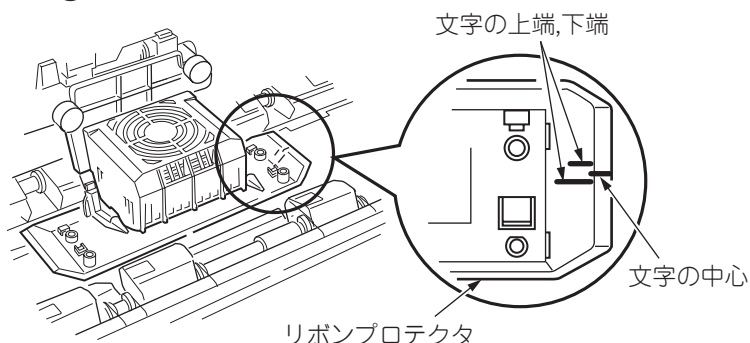
注　単票手差しの場合は、まだ用紙をセットしないでください。

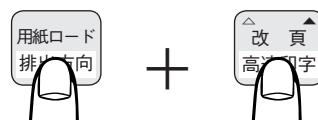
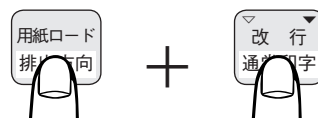
**4** 「**用紙ロード/排出方向**」スイッチを押します。単票手差しの場合は、スイッチを押したままテーブルに用紙をセットします。

注　用紙吸入後も「用紙ロード/排出方向」スイッチを押したままにしてください。

用紙上端より6.35mm（1/4インチ）の位置まで用紙を吸入し、表示パネルに「*****　ＴＯＦ　ホセイ」(*****はテサシ, F-CSFまたはR-CSF）または「*****　ロード　ホセイ」（*****はフロントまたはリア）と表示されます。

**5** 縦方向の1文字目印字位置を合わせます。

①1文字目の中心位置がどこになるか確認します。

②以下のスイッチを操作して、1文字目を合わせます。

順方向に微少送り：「用紙ロード/排出方向」スイッチを押したまま、「改頁/高速印字」スイッチを押します。

逆方向に微少送り：「用紙ロード/排出方向」スイッチを押したまま、「改行/通常印字」スイッチを押します。

参考　順方向, 逆方向の微少送りピッチは0.21mm（1/120インチ）です。

注　カバーオープン状態ではスイッチ操作できません。

**6** 用紙頭出し位置が基準位置［1文字目の中心で6.35mm（1/4インチ)］になったら、スイッチから指を離します。

表示パネルに

| × | × | × |  | T | O | F |  | ホ | セ | イ |  |  |  |  |  |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ホ | セ | イ | チ |  | カ | キ | コ | ミ | チ | ュ | ウ |  |  |  |  |

と表示され、新しい頭出し位置補正として記憶されます。

- プリンタに電源が投入されていて、用紙がセットされているときにプラテンノブを手で回すと、縦方向の印字の位置がずれますので回さないようにしてください。
- 微少逆送りで調整する場合は、印字ずれが発生することがありますので、必ず2～3mm余分に用紙を戻し、順方向に送って印字位置を合わせてください。

# プリンタの便利な機能

## ●通常印字／高速印字／高複写印字の設定

このプリンタには、通常印字モードと高速印字モードと高複写印字モードがあります。
通常印字は、文章を清書するときに使用します。
高速印字は、テスト印字やプログラムリストなど印字を速く行うのに便利です。
高複写印字は、宅配伝票など、複写枚数が多い用紙に印字するときに使います。
電源投入時は、通常印字になります。

◆通常印字の設定

**1** 「印字可」ランプが点灯していることを確認します。

**2** **「改行/通常印字」**スイッチを押します。

「高速」ランプまたは「高複写」ランプが消灯します。

印字中に「改行/通常印字」スイッチを押すと、高速印字または高複写印字から通常印字となります。

◆高速印字の設定

**1** 「印字可」ランプが点灯していることを確認します。

**2** **「改頁/高速印字」**スイッチを押します。

「高速」ランプが点灯します。

印字中に「改頁/高速印字」スイッチを押すと、通常印字または高複写印字から高速印字となります。

注 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、通常印字に比べ文字が薄く見えます。

5章

◆高複写印字の設定

**1** 「印字可」ランプが点灯していることを確認します。

**2** 「**用紙モード/高複写**」スイッチを押します。

「高複写」ランプが点灯します。

参考　印字中に「用紙モード/高複写」スイッチを押すと、通常印字または高速印字から高複写印字となります。



注

- 1枚目が厚く2枚目に複写できないような場合に高複写印字に設定してください。
- 高複写印字では2度打ちを行います。
- 用紙の厚さは、「用紙規格および印字範囲」（237ページ）を参照してください。
- リボン寿命は、約半分になります。
- 薄紙で横罫線印字をすると用紙が破れる場合がありますので、高複写印字にしないでください。
- インクリボンが新しいときに印字密度の高い文字やグラフィックを印字すると、汚れが発生する場合があります。

## ●1文字目の印字位置を設定する

1文字目の印字位置を、任意の位置に設定することができます。
1文字目印字位置とは、用紙の先頭行のことで、用紙が自動給紙されて停止する位置です。メニュー設定値以外の値を使いたいときに使用します。
用紙の種類によっては、1文字目印字位置が異なる場合がありますので、本機能で設定してください。

1文字目印字位置には、次のものがあります。
- プリンタが本来から持っている値（初期値）
- 電源を投入している間のみ記憶している値（一時的な設定）
- 新たに設定され、電源を切ってもメモリ内に記憶し続ける値（恒久的な設定）

参考　1文字目印字位置の設定は、各用紙モード［単票手差しモード, 自動給紙（前側）モード, 自動給紙（後側）モード, フロントトラクタモード, リアトラクタモード］で、それぞれ別々に設定できます。



**1**　プリンタの電源スイッチを「**ON**」にします。

用紙が給紙されていた場合は、排出させます。

**2**　「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。オフライン状態で「**用紙モード/高複写**」スイッチを押し、設定を行う用紙モードを選択します。

**3**　横方向の1文字目の位置を合わせます。

単票手差しの場合は、シートガイドを調整します。
カットシートフィーダの場合は、用紙ガイドを調整します。
連続紙の場合は、ピントラクタを調整します。

**4**　カットシートフィーダの場合は用紙ガイドに、連続紙の場合はピントラクタに用紙をセットします。

注　単票手差しの場合は、まだ用紙をセットしないでください。

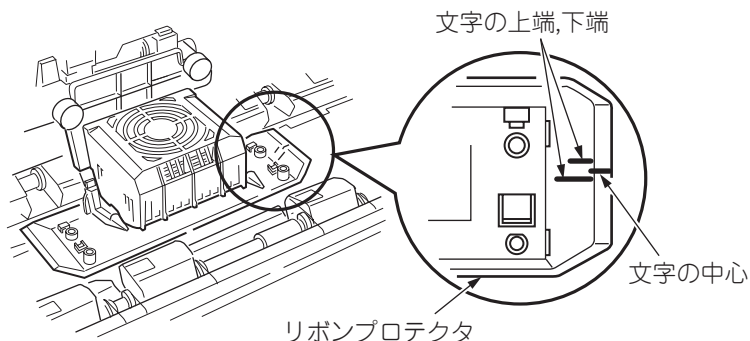
**5**　「**機能切替/用紙カット**」スイッチを押しながら「**印字可**」スイッチを押します。

1文字目印字位置設定モードになります。

- 単票手差しの場合
  単票をプリンタにセットしてください。自動的に用紙上端より6.35mm（1/4インチ）の位置に用紙を送ります。
- カットシートフィーダ、連続紙の場合
  用紙上端より6.35mm（1/4インチ）の位置に用紙を送ります。

縦方向の1文字目印字位置を合わせます。

①1文字目の中心位置がどこになるか確認します。

5章

②以下のスイッチを操作して、1文字目を合わせます。

順方向に1改行　　：「改行/通常印字」スイッチを押します。

順方向に微少送り：「機能切替/用紙カット」スイッチを押しながら、「改頁/高速印字」スイッチを押します。

逆方向に微少送り：「機能切替/用紙カット」スイッチを押しながら、「改行/通常印字」スイッチを押します。

順方向, 逆方向の微少送りピッチは0.14mm（1/180インチ）です。

カバーオープン状態ではスイッチ操作はできません。

**7** 1文字目印字位置が決まったら、恒久的な設定または、一時的な設定をします。

〔恒久的に設定する場合〕

「**印字可**」スイッチを押します。

スイッチを押した時点の位置がメモリに記憶されます。以後この位置が1文字目印字位置になります。
設定した値は、次に変更するまで継続されます。

| イ | ン | シ | ゛ | カ | イ | シ | イ | チ |  | セ | ッ | テ | イ |  |  |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| セ | ッ | テ | イ | サ | レ | マ | シ | タ | （ | コ | ウ | キ | ュ | ウ | ） |

（約2秒間表示）

〔一時的に設定する場合〕

「**用紙ロード/排出方向**」スイッチを押します。

スイッチを押した時点の位置が一時的に記憶されます。
設定した値は、電源を投入している間と、I-PRIME受信まで継続されます。

| イ | ン | シ | ゛ | カ | イ | シ | イ | チ |  | セ | ッ | テ | イ |  |  |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| セ | ッ | テ | イ | サ | レ | マ | シ | タ | （ | イ | チ | シ | ゛ | ） |  |

（約2秒間表示）

- プリンタに電源が投入されていて、用紙がセットされているときにプラテンノブを手で回すと、縦方向の印字の位置がずれますので回さないようにしてください。
- 微少逆送りで調整する場合は、印字ずれが発生することがありますので、必ず2～3mm余分に用紙を戻し、順方向に送って印字位置を合わせてください。

5章

## ●1文字目印字位置をリセットする

### 〔恒久的な設定のリセット〕

「恒久的な設定」でセットした、1文字目印字位置をリセットします。
リセット後は、6.35mm（1/4インチ）（初期値）になります。

参考

メニュー設定内容を初期化した場合も、リセットされます。（156ページ）

**1** 163, 164ページの1〜6の手順を行い、1文字目印字位置設定モードにします。

**2** 「**機能切替/用紙カット**」スイッチを押しながら、「**用紙ロード/排出方向**」スイッチを押します。

| イ | ン | シ | ゛ | カ | イ | シ | イ | チ |  | セ | ッ | テ | イ |  |  |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| セ | ッ | テ | イ | サ | レ | マ | シ | タ | （ | シ | ョ | キ | チ | ） |  |

（約2秒間表示）

### 〔一時的な設定のリセット〕

「一時的な設定」でセットした、1文字目印字位置をリセットします。
リセット後は、メニューで現在セットされている値になります。

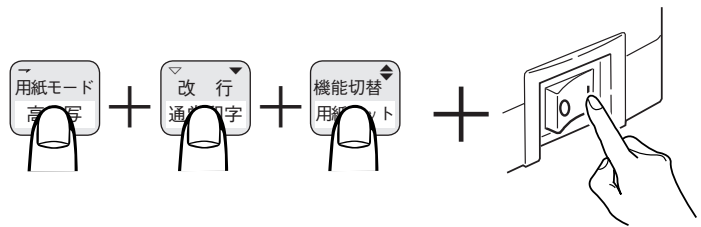
**1** 電源を入れ直します。

## ●HEXダンプをとる

HEXダンプモードでは、受信したデータをすべて16進数で印字します。
ホストコンピュータからプリンタに正しいデータが送られているか、確認できます。

**1** 電源スイッチを「**OFF**」にします。

**2** 「**用紙モード/高複写**」＋「**改行/通常印字**」＋「**機能切替/用紙カット**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」にします。

表示パネルに「イニシャルショリチュウ／スイッチヲニンシキシマシタ」と表示されたら、スイッチから指を離します。

**3** プリンタに用紙をセットして、印字データを送ります。

用紙を吸入した後、「Hex Dump Mode」と印字されます。
受信したデータが全て16進数で印字されます。
USBインタフェースから受信したデータはイタリック（斜体）モードで印字し、パラレルインタフェースから受信したデータは通常モード（イタリック解除）で印字されます。

プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にすると、HEXダンプモードは解除されます。

注 HEXダンプ印字を行う場合には、A4サイズ以上の単票の縦置き、または10インチ幅以上の連続紙を使用してください。

5章

## ●バーコードの印字

このプリンタには、バーコードを印字する機能があります。
ここでは概要を説明します。コントロールコマンドについては、プリンタソフトウェアCD-ROM内にPDFファイルで「拡張コントロールコマンドの仕様」が格納されております。
詳しくは、プリンタソフトウェアCD-ROM内の「Readme」をご覧ください。

Windows環境では使用できません。

### ◆バーコードの種類

このプリンタで印字できるバーコードの種類は、下表のとおりです。

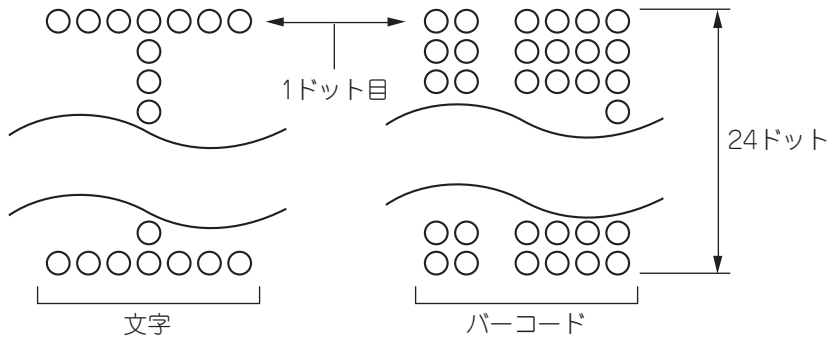
| バーコードの名称 | 文字種 | 桁数 |
|---|---|---|
| NW-7 | データ　：　数字0～9<br>記号 - ＄ . / : + ￥<br>スタート/ストップ<br>：　a b c d e t n * | 可変(20)<br>：180DPIのとき<br>可変(30)<br>：360DPIのとき |
| JAN標準 | データ　：　数字0～9 | 12+CD(13) |
| JAN短縮 | データ　：　数字0～9 | 7+CD(8) |
| Code 39 | データ　：　数字0～9<br>英字A～Z<br>記号 - ＄ . / + % (SP)<br>スタート/ストップ<br>：　* | 可変(20) |
| Interleaved 2 of 5 | データ　：　数字0～9 | 可変(20) |
| カスタマバーコード | データ　：　数字0～9, 英字A～Z<br>記号ー | 可変<br>(Min 7, Max 23) |
| Code 128 | データ　：　Set A 00H～66H<br>Set B 19H～7FH<br>Set C 30H～3CH | 可変(40)<br>：360DPIのとき |

- CD : チェックディジットを示します。
- 桁数の（　）内は最大桁数を示します。

カスタマバーコードとは
平成10年2月2日より実施された「新郵便番号制」により、あらかじめ郵便物に印刷することで一定条件の下に料金割引を受けることができる、郵便物処理の機械化に対応したバーコードです。
カスタマバーコードの詳細については、郵政省発行の「新郵便番号制マニュアル」をお読みください。

## 〔NW-7, JAN標準/ 短縮, Code 39, Interleaved 2 of 5, Code 128〕

### ◆バーコードの印字位置

バーコードの印字位置は、文字およびイメージデータと同様に、縦1ドット目をバーコードの1ドット目とし、縦24ドットで印字します。

- バーコードと文字が同一行に混在する次のような場合、改行量を調整しながら印字させる必要があります。

【文字の改行ピッチが4.23mm(1/6インチ)の場合】

① バーコード前の文字データ（亜, 唖）とスペース, バーコード印字コマンド（バーエレメント指定）および、バーコード後のスペースと文字データ（亜, 唖）を送信。
（バーコード印字コマンド受信後、印字起動となる。）
② 印字復帰コマンド、および24/180インチの改行コマンドを送信。
③ 手順①～②を繰り返します。

### ◆バーコードご使用時のご注意

- バーコード印字コマンドで印字するバーコードは、ドットを組み合わせて印字するため、本来の規格と多少異なる場合があります。このプリンタで印字されたバーコードの読み取りに関しては、お客様が読み取り確認された上で、ご使用ください。
- 印字が薄くなったインクリボンでバーコードを印字すると、読み取れない場合があります。バーコードを印字する場合は、新しいインクリボンを使用してください。

## 〔カスタマバーコード〕

### ◆カスタマバーコードの生成

カスタマバーコードに必要な文字情報は、新郵便番号と住所表示番号です。

新郵便番号..................町域名までの住所に設定された新郵便番号です。
住所表示番号...............町域名以降の住所からバーコードに必要な文字情報を ハイフンで結んだものです。
ビル,マンション等の棟・室番号も含みます。

例）東京都千代田区霞が関1丁目3番2号　郵便プラザ503室
↓ 100-0013（新郵便番号）
↓ 1-3-2-503（住所表示番号）

① 住所：〒100-0013
東京都千代田区霞が関1丁目3番2号　郵便プラザ503室
② 新郵便番号＋住所表示番号変換：100-0013　1-3-2-503
③ 新郵便番号の3〜4数桁目のﾊｲﾌﾝを省く：10000131-3-2-503
④ カスタマバコード桁調整：10000131-3-2-503　CC4 CC4 CC4 CC4
⑤ ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ(CD) 算出：1+0+0+0+0+1+3+1+10+3+10+2+10+5+0+3+14+14+14+14
=105+CD=19の倍数
→CD=114(19の倍数)-105=9
⑥ ｽﾀｰﾄｺｰﾄﾞ,ｽﾄｯﾌﾟｺｰﾄﾞ,ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄを付加：STC 1 0 0 0 0 1 3 1 - 3 - 2 - 5 0 3 CC4 CC4 CC4 CC4 9 SPC
⑦ ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字ｺﾏﾝﾄﾞ送信

注　スタートコード,ストップコードおよびチェックディジットはプリンタが付加します。
送信するバーコードデータは"1 0 0 0 0 1 3 1 - 3 - 2 - 5 0 3"となります。

参考　スタートコード, ストップコードおよびCC1〜CC8を付加する場合は、下表（表1）の数字に置き換えて送信してください。
本コードは本プリンタで独自に割り当てたもので、郵政省の制定するカスタマバーコードの仕様にはありません。また、本コードはバーコード印字コマンド（カスタマバーコード指定）のときのみ有効です。

［表1］

| ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ用ｷｬﾗｸﾀ | STC | SPC | CC1 | CC2 | CC3 | CC4 | CC5 | CC6 | CC7 | CC8 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾃﾞｰﾀ送信用数字 | 02 | 03 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |

（16進）

### ◆チェックディジットの計算方法

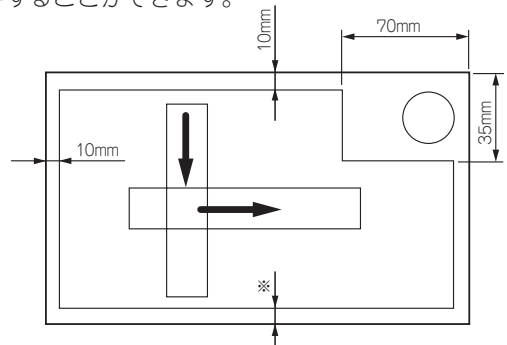
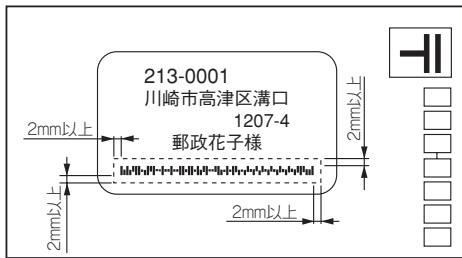
チェックディジットは、新郵便番号と住所表示番号の各バーコード用キャラクタをチェックディジット計算対応表(表2)からチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数となるように生成します。

［表2］

| ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ用ｷｬﾗｸﾀ | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾁｪｯｸ用数字 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |

| ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ用ｷｬﾗｸﾀ | - | CC1 | CC2 | CC3 | CC4 | CC5 | CC6 | CC7 | CC8 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ﾁｪｯｸ用数字 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |

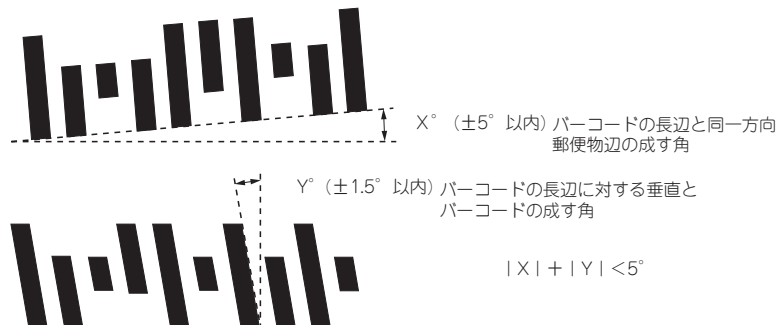
◆カスタマバーコードの印字位置

カスタマバーコードの上下左右には、2mm以上の空白を設けるものとします。ただし、窓枠とカスタマバーコードの間の空白は、封筒と内容物のズレにかかわらず、常に上下左右とも2mm以上を確保するものとします。
宛名を横書きする場合は、最下行(宛名氏名の直下)にカスタマバーコードを単独で印字することとし、宛名を縦書きするには、左右または下部に単独で印字することとします。
なお、カスタマバーコードは、下図のように郵便物の表面の縁から10mmおよび消印領域である70mm×35mmを除いた範囲内に印字することができます。

※部は、できる限り縁から15mm以上

◆カスタマバーコードが印字される下地

カスタマバーコードが印字される下地は、白色または地模様のない淡い色とします。

◆カスタマバーコードの傾き

カスタマバーコードの傾きは、バーコードの長辺と同一方向の郵便物辺が成す角が5度以内になるようにします。またバーコードの長辺に対する垂線とバーコードとの成す角は1.5度以内になるようにするものとし、上記2つが混在する場合には、2つの傾きの絶対値を加えたものが5度以内になるようにします。

◆使用するインクリボン

黒色のインクリボンを使用してください。印字が薄くなったインクリボンを使用すると、読み取りができなくなる場合があります。

◆印字品質

カスタマバーコード印字面には、反射率50%以上の紙を使用し、印字面とカスタマバーコードとの反射率PCS(Print Contrast Signal)は、0.6以上とします。
また、カスタマバーコードには、インクのにじみやかすれなどが極力ないものとします。
インクリボンが新品の場合、インクのにじみが生じることがあります。

## ●書式を使って印刷する

このプリンタには、書式を利用した印刷方法があります。
書式とは、いろいろな伝票やオリジナル用紙などのフォーマット形式に合わせて、印字開始位置や文字間、字形情報をあらかじめプリンタのメモリに登録しておくものです。書式を利用すれば、コンピュータからテキスト形式のファイルを送るだけで、用紙のフォーマット形式に合った印刷が可能です。

Windows環境では使用できません。

書式で印刷する手順は、次のようになります。
1. 書式の作成と登録
2. 印刷データの作成
3. 使用する書式の指定
4. 用紙のセット
5. 印刷



各手順について、説明します。

### ◆書式の作成と登録

印刷するフォーマットに合わせて、コントロールコマンドで書式を作成します。

詳細は、拡張コントロールコマンドの仕様の「STX D（書式フォーマット転送）」を参照してください。コントロールコマンドについては、プリンタソフトウェアCD-ROM内にPDFファイルで「拡張コントロールコマンドの仕様」が格納されております。
詳しくは、プリンタソフトウェアCD-ROM内の「Readme」をご覧ください。

### ◆印刷データの作成

印刷するデータは、印字開始位置ごとに、LFコードで区切って作成します。また、書式で指定した印字開始位置数と同じ数の印字データの集まりを1ブロックとし、1ページは1ブロックで印字されます。印字データ中にFFコードがあると、ブロックの終わりとみなします。

〈データ作成上の注意点〉
- 印字データは、文字コードと文字指定コマンドで作成してください。
- 文字の拡大, 縮小は書式の字形で指定してください。
  印字データ中には文字の拡大, 縮小コマンドを含めないでください。
- 1行の文字数に制限はありませんが、プリンタの最大印字桁（メニューの設定値）を超えないようにしてください。
- 空白行をデータにするときは、LFコードのみ送ります。
- 文字の間隔は、パイカ文字（1/10インチ）を基準として文字間スペースを登録していますが、文字の大きさを変えると文字間隔も変わります。

〈データの区切り文字について〉

印字データの中に余分なLFコードが含まれていると、印字データが誤って区切られ、印字位置がずれてしまいます。このような場合、印字データに区切り文字をつけることにより、正しく印字することができます。

区切り文字には、次の種類があります。

| ページ区切り文字 | ?、@ | 1ブロックの印字データの始まりを示します。この文字に続く、書式で指定した印字開始位置数と同じ数の印字データの集まりを1ブロックのデータとします。<br>ページ区切り文字は、必ずブロックの先頭につけてください。 |
|---|---|---|
| 行区切り文字 | !、″、&、; | 1つの印字開始位置分のデータの始まりと終わりを示します。行区切り文字に囲まれた印字データのみが有効になります。<br>4種類の中から1種類だけ選択できます。<br>行区切り文字を使用する場合は、LF コードはすべて無効になります。 |

印字データの区切り文字の指定は、書式メニュー設定で行います。詳細は、「書式メニュー設定」（152ページ）を参照してください。

- 印字データ中にFFコードがあると、ブロックの終わりとみなします。

## ◆使用する書式の指定

使用する書式をコントロールコマンドか、プリンタの操作パネルで指定します。

コントロールコマンドの詳細は、拡張コントロールコマンド仕様の「STX Q（書式指定）」を参照してください。
コントロールコマンドについては､プリンタソフトウェアCD-ROM内にPDFファイルで「拡張コントロールコマンドの仕様」が格納されております。
詳しくは、プリンタソフトウェアCD-ROM内の「Readme」をご覧ください。
プリンタの操作パネルでの指定方法は､「書式メニュー設定」（152ページ）を参照してください。

## ◆用紙のセット

単票手差しの場合は、シートガイドを右端に突き当てます。
連続紙の場合は、左側のピントラクタを右端に突き当てます。
カットシートフィーダ（オプション）の場合は、用紙ガイド（左）を右端に突き当てます。
詳細は､「4　用紙の取り扱い」（111ページ）を参照してください。

◆印刷

コンピュータから印刷データを送ると、指定した書式に従い印刷を開始します。書式モード中は、「書式」ランプが点灯します。

ML8340SE用に作成した書式を、このプリンタで印刷した場合、印字位置が異なる場合があります。

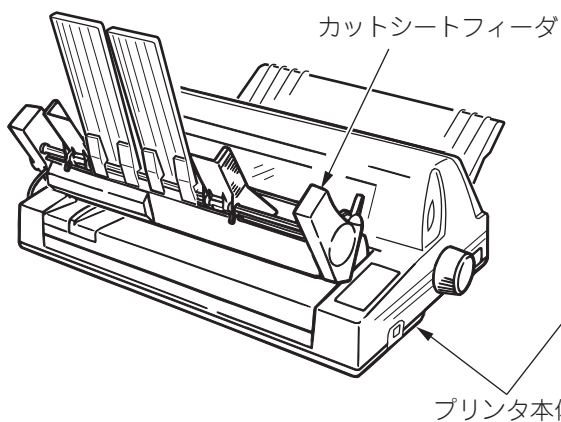
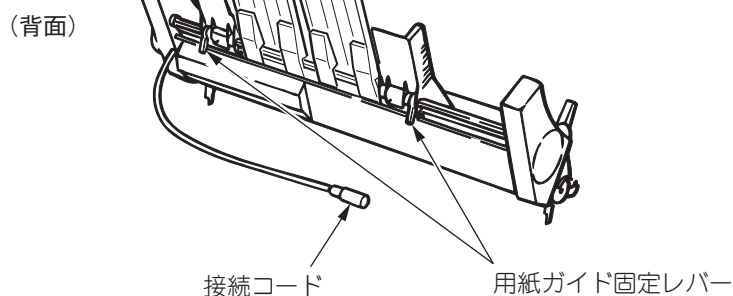
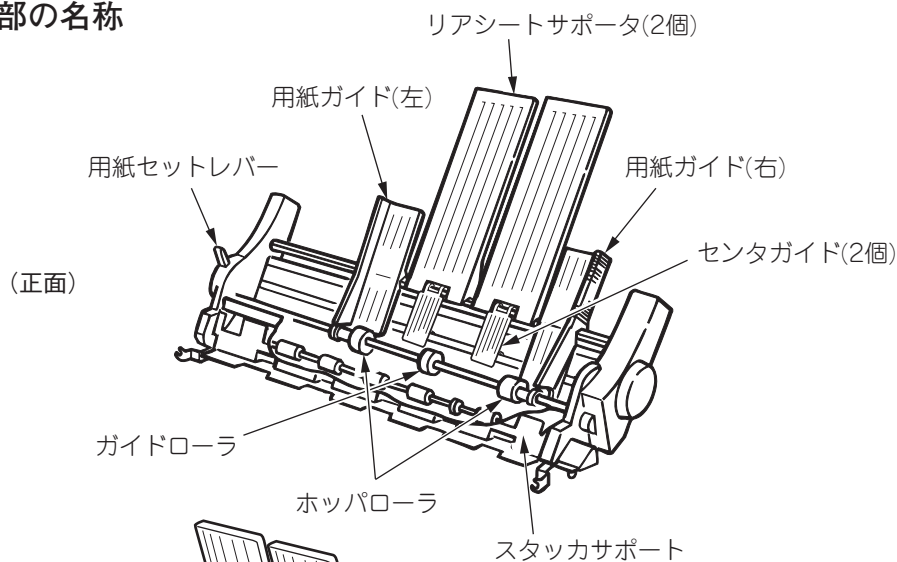
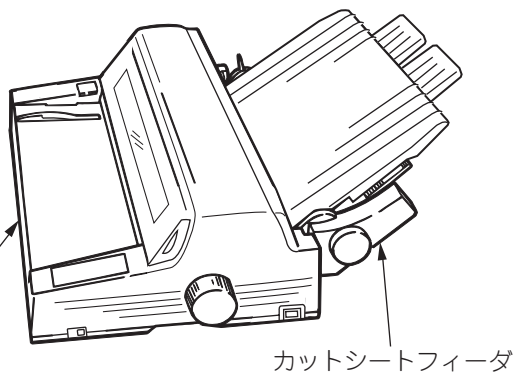
書式モードを解除するには、コントロールコマンドで指定するか、書式メニューで「カヘンショシキセンタク」の設定値を「ショシキ　ナシ」にします。
コントロールコマンドの詳細は、拡張コントロールコマンドの仕様の「STX Q（書式指定）」を参照してください。
コントロールコマンドについては、プリンタソフトウェアCD-ROM内にPDFファイルで「拡張コントロールコマンドの仕様」が格納されております。
詳しくは、プリンタソフトウェアCD-ROM内の「Readme」をご覧ください。
プリンタの操作パネルの操作方法は、「書式メニュー設定」（152ページ）を参照してください。

# 6 オプション

～取り付けから使い方まで～

# カットシートフィーダ

プリンタにカットシートフィーダ（CSF）を取り付けることにより、単票，はがき，封筒および複写紙を自動的に連続給紙できます。
カットシートフィーダは、プリンタの前方と後方に取り付けることができます。

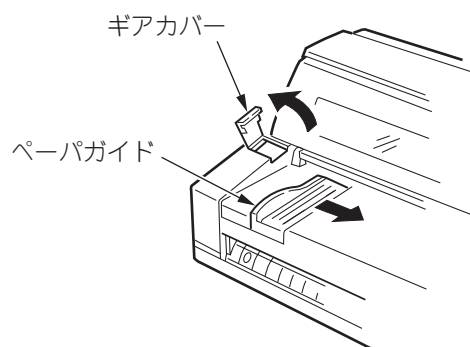
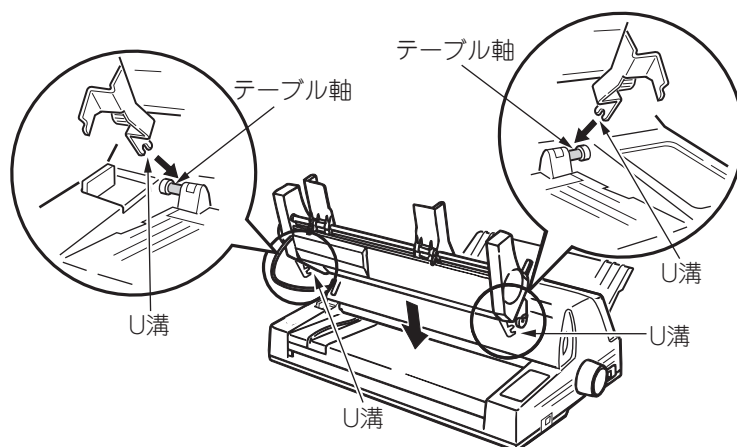
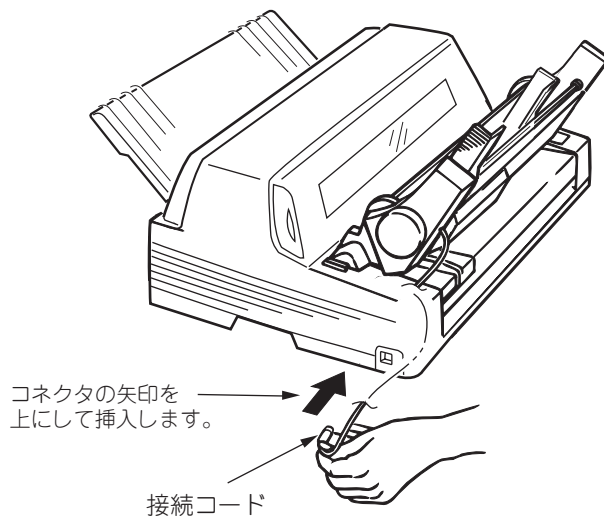
## ●外観と各部の名称

プリンタ前方に取り付けた図

プリンタ後方に取り付けた図

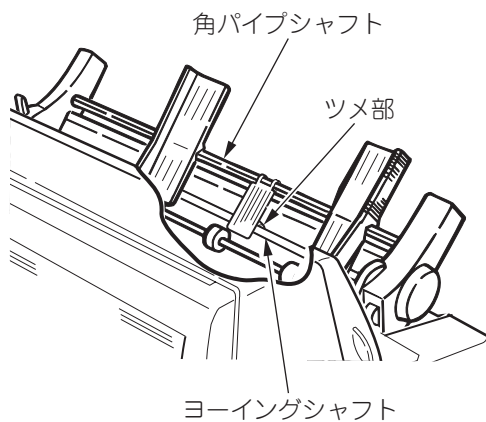
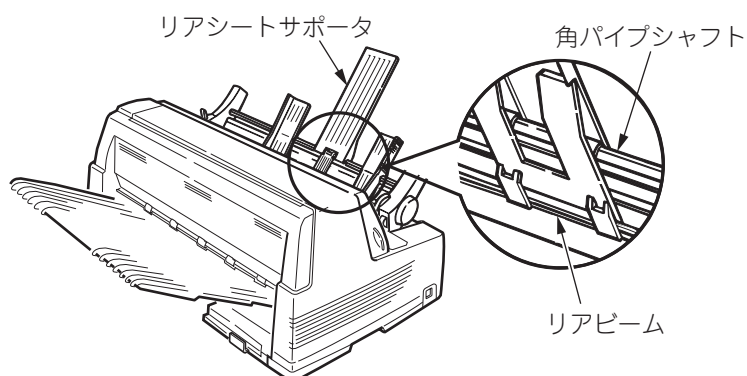
## ●カットシートフィーダの取り付け，取り外し

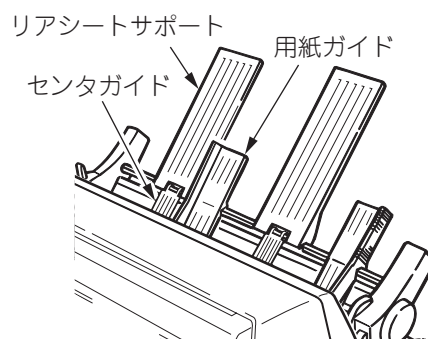
- カットシートフィーダの接続コードは、必ずプリンタの電源スイッチを「OFF」にしてから、抜き差しを行ってください。
- オプションのリアピントラクタを取り付けているときは、カットシートフィーダをプリンタの後方に取り付けられません。

### ◆プリンタの前方に取り付ける場合

**1** プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にします。

**2** プリンタのギアカバーを開き、ペーパガイドを右側に寄せます。

**3** カットシートフィーダの両側を持ち、両側のU溝をプリンタのテーブル軸に差し込みます。そのまま、カットシートフィーダ全体を静かに下におろします。

**4** カットシートフィーダの接続コードをプリンタ左側のコネクタに接続します。

**5** センタガイドを取り付けます。

ヨーイングシャフトに引っ掛け、ツメ部を角パイプシャフトに差し込みます。

## 6 リアシートサポータを取り付けます。

角パイプシャフトに引っ掛けるのと同時に、リアシートサポータの下端をリアビームにしっかり差し込みます。

注 センタガイドとリアシートサポートは各2個添付されています。用紙幅に合わせて中央に2個、1個または全て取り外してください。取り外した場合は、紛失防止のため、用紙ガイドの外側に差し込んで置いてください。

## 7 プリンタの電源スイッチを「ON」にします。

## 8 プリンタをオフライン状態にして、「**用紙モード/高複写**」スイッチを押してフロントCSF（F-CSF）を選択します。

## 9 表示パネルに「F-CSF」と表示されます。

カットシートフィーダの接続コードを接続していない場合は表示されません。

カットシートフィーダおよびセンタガイド、リアシートサポートの取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。

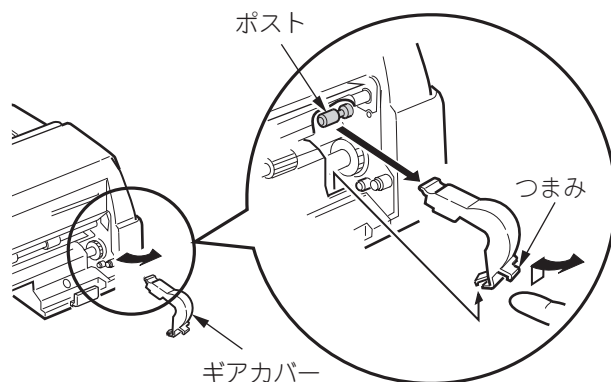
| ⚠注意 | ケガをする恐れがあります。 |  |
|---|---|---|

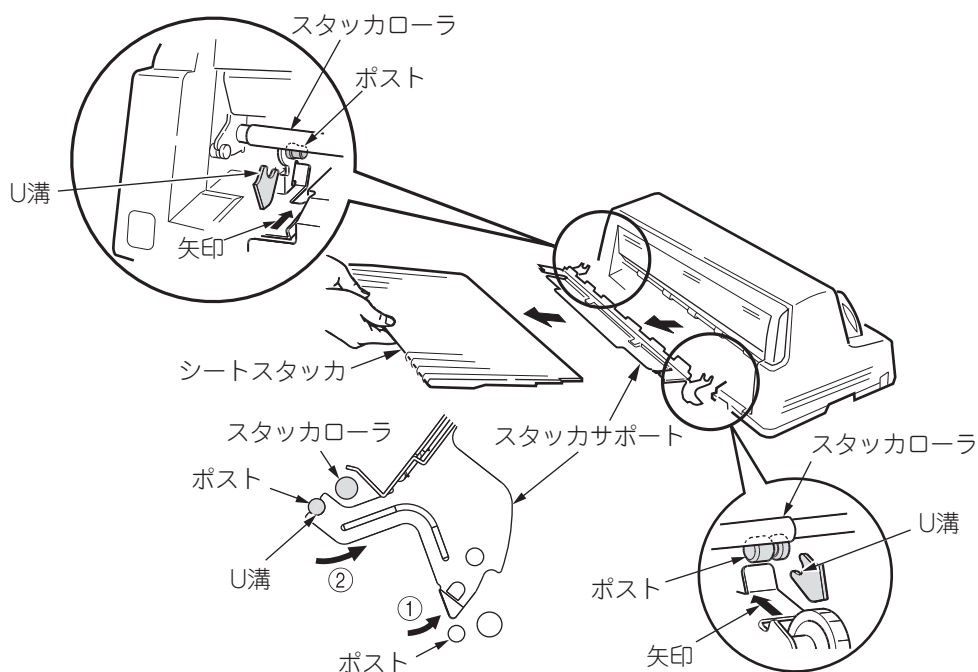
カットシートフィーダを外したときは必ずプリンタのギアカバーを閉じてください。動作中、誤って指等を入れけがをする恐れがあります。

◆プリンタの後方に取り付ける場合

**1** プリンタの電源スイッチを「OFF」にします。

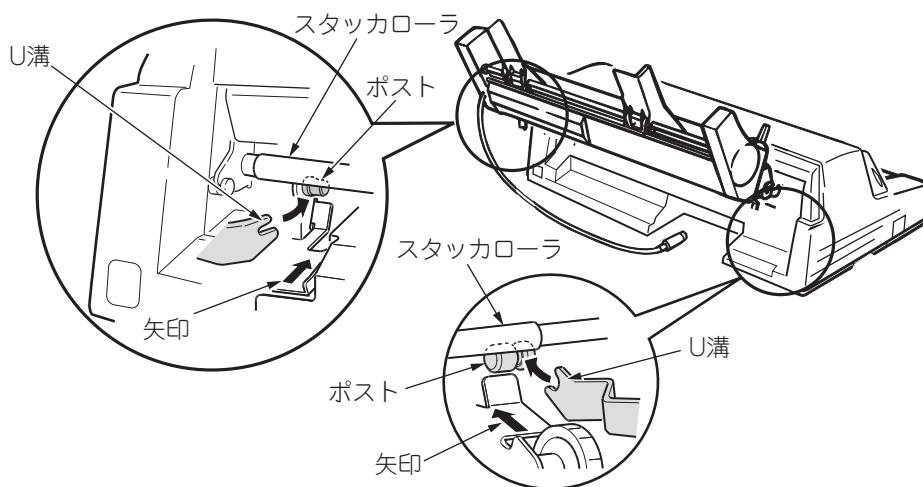
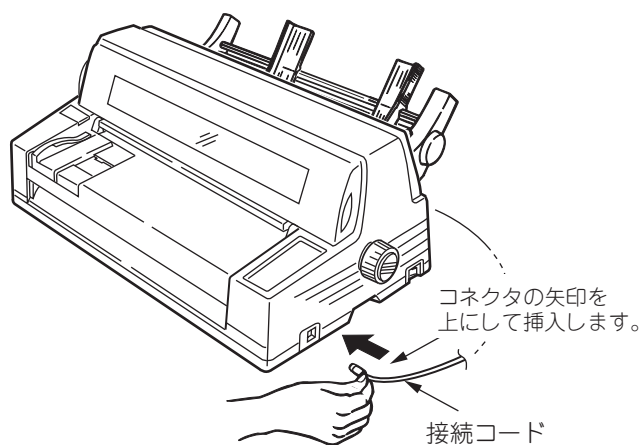
**2** プリンタ後方のギアカバーを外します。

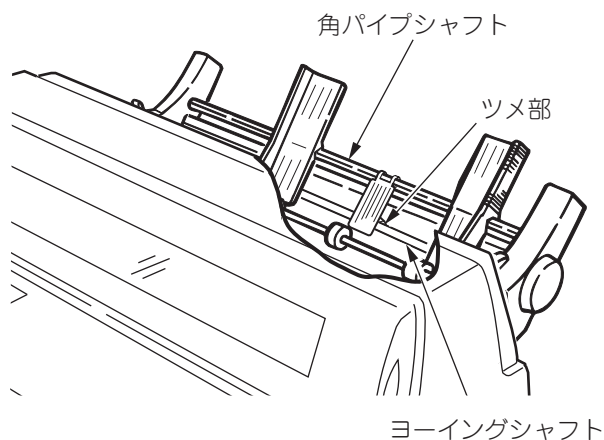
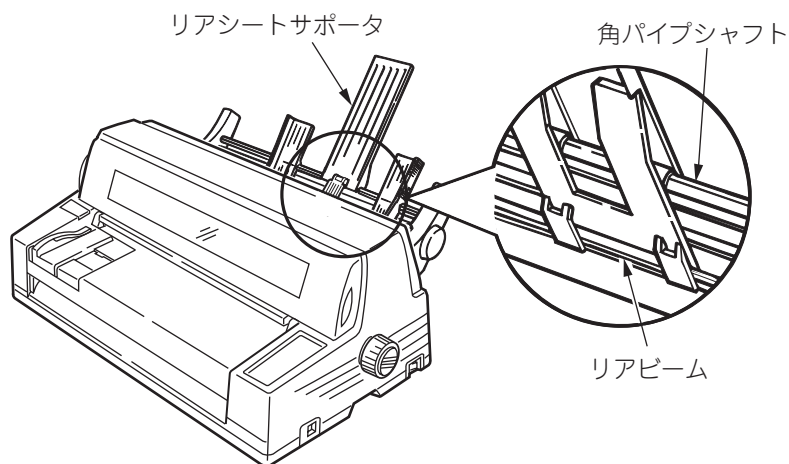
つまみを押し上げて回転させて外します。

注 ギアカバーは、手がギアに触れないためのカバーです。オプションを使用しないで外したときは、再度逆の手順で取り付けてください。

**3** シートスタッカおよびスタッカサポートを外します。

取り外したスタッカサポートは使用しませんので、大切に保管してください。

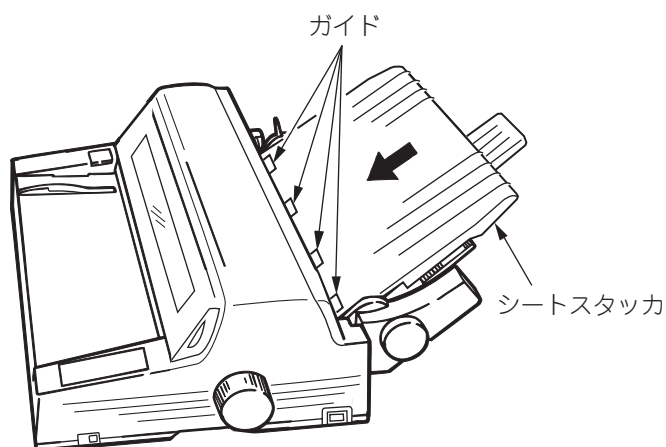
シートスタッカはカットシートフィーダに取り付けます。

**4** カットシートフィーダを持ち、両側のU溝をプリンタの奥のポストに差し込みます。そのまま、カットシートフィーダ全体を静かに下におろします。

カットシートフィーダが確実にセットされているか確認してください。

**5** カットシートフィーダの接続コードをプリンタ右側のコネクタに接続します。

## 6 センタガイドを取り付けます。

ヨーイングシャフトに引っ掛け、つめ部を角パイプシャフトに差し込みます。

## 7 リアシートサポータを取り付けます。

角パイプシャフトに引っ掛けるのと同時に、リアシートサポータの下端をリアビームにしっかり差し込みます。

注 センタガイドとリアシートサポートは各2個添付されています。用紙幅に合わせて中央に2個、1個または全て取り外してください。取り外した場合は、紛失防止のため、用紙ガイドの外側に差し込んで置いてください。

**8** プリンタから外したシートスタッカを、カットシートフィーダ上にある4ケ所のガイドにしっかり差し込みます。

**9** プリンタの電源スイッチを「ON」にします。

**10** プリンタをオフライン状態にして、「**用紙モード/高複写**」スイッチを押してリアCSF（R-CSF）を選択します。

**11** 表示パネルに「R-CSF」と表示されます。

カットシートフィーダの接続コードを接続していない場合は表示されません。

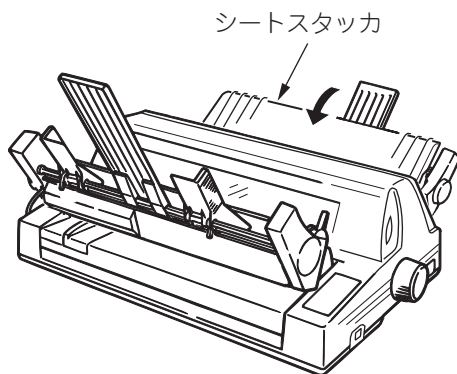
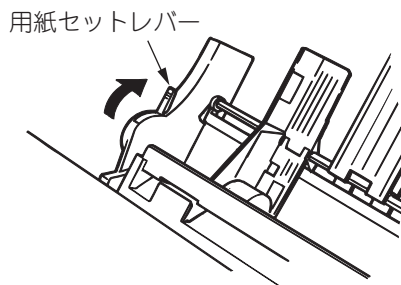
カットシートフィーダおよびセンタガイド、リアシートサポータの取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。

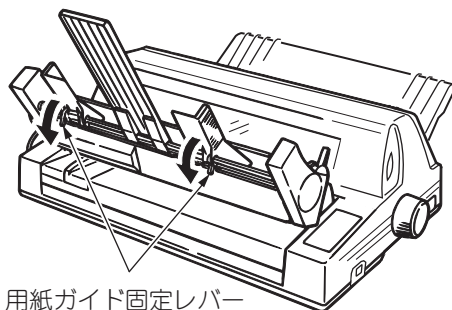
## ●単票のセット

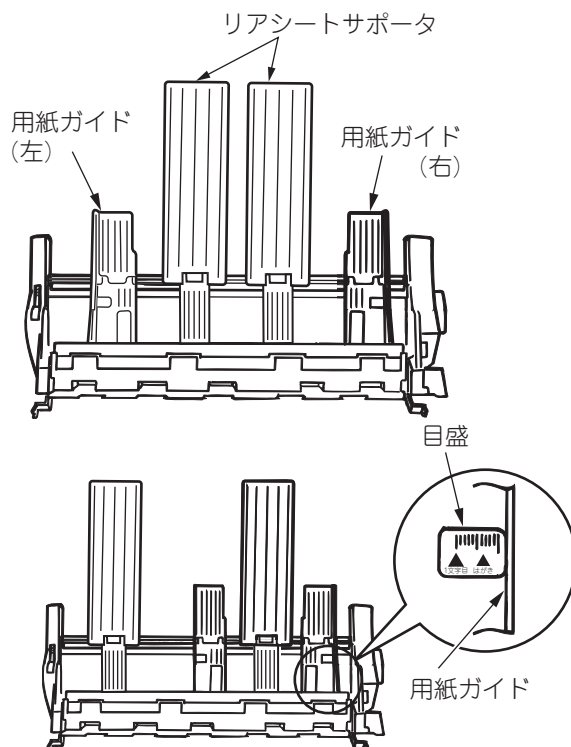
用紙をまとめてカットシートフィーダにセットします。
次の手順に従って、用紙をセットしてください。

- 使用できる用紙は、単票, はがき, 封筒および複写紙です。
  用紙の挿入方向, 用紙の規格については、「用紙規格および印字範囲」(237ページ) を参照してください。
- シートスタッカの容量は、8mm程度（連量55kg紙で約100枚）です。容量を超えて使用すると用紙ジャムの原因になります。

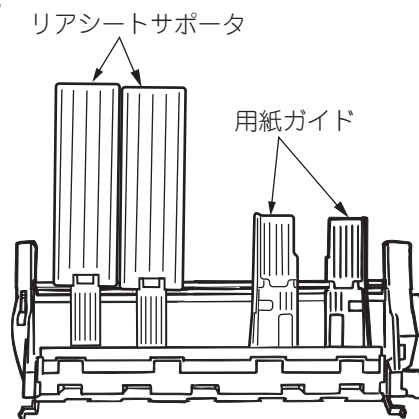
※ 説明ではカットシートフィーダを前方に取り付けています。
また、センタガイド、リアシートサポータを一部1個としています。

**1** プリンタの後方にカットシートフィーダを取り付けた場合のみ、シートスタッカを前に起こします。

**2** 用紙セットレバーを「RESET」にします。

**3** 左右の用紙ガイド固定レバーを下げます。

用紙ガイドの固定を解除します。

**4** 用紙ガイド上の目盛の「1文字目▲」マークが1文字目の中心になるように用紙ガイド（右）の位置を決め、用紙ガイド固定レバーを上げて固定します。

注 カットシートフィーダを前方に取り付け、用紙をテーブルに排出する場合、テーブルのシートガイドに用紙があたり、ジャムの発生の可能性がありますので、用紙ガイド（右）は、はがきの位置にしてください。

用紙幅に合わせてリアシートサポータ、センタガイドを外し、用紙ガイドの外側にセットしてください。

参考

はがきをセットする場合には、リアシートサポータ、センタガイド2個とも外し、用紙ガイドの外側にセットしてください。

はがきの場合

**5** 用紙の左端を用紙ガイド（右）に合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

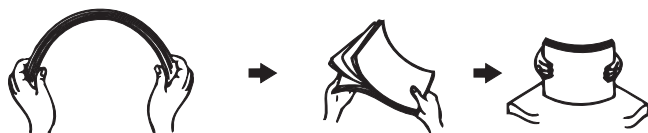
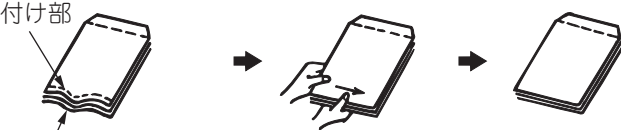
印刷する面を表にします。

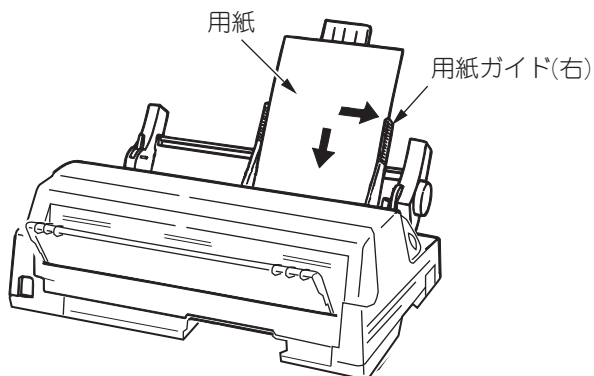
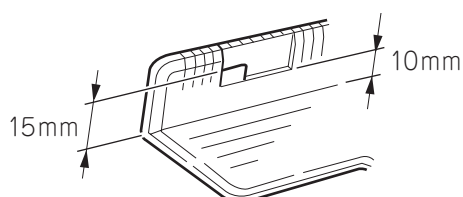
普通紙の場合

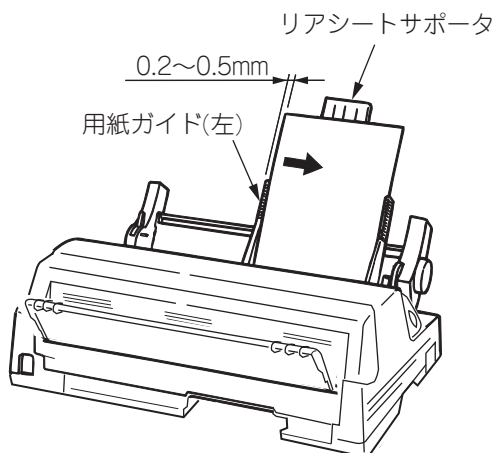
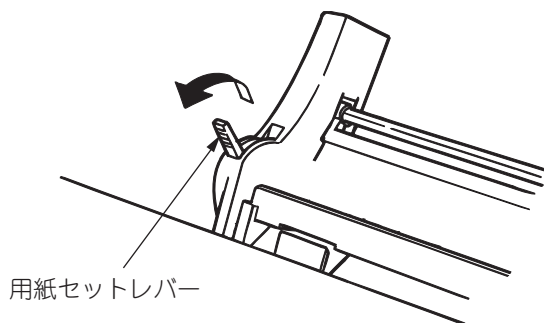
折り曲げて用紙の端をずらす　解きほぐし　そろえる

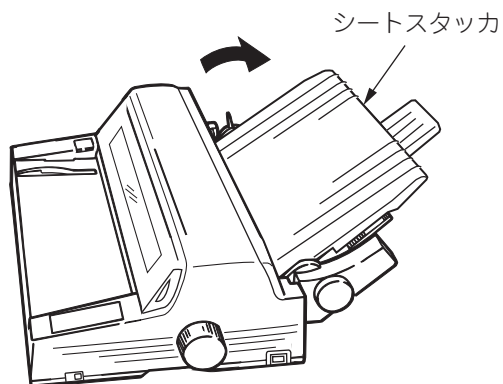
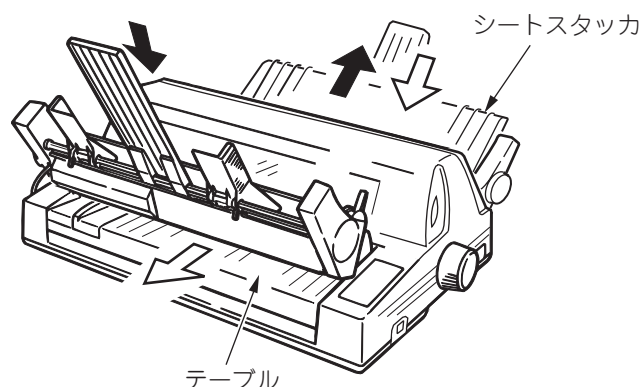
封筒の場合

のり付け部　ならす　そろえる

うねり

複写紙の場合

のり付けの部分を下にセットしてください。（天のり）

- 用紙は、よくさばき、上下左右をそろえてください。特に複写紙の場合、のり付けの部分が次の用紙と貼り付いていることがあります。
- 用紙ガイドの上段の線を超えないよう、用紙をセットしてください。
  一般紙の場合、連量55Kg用紙で約180枚です。
  はがきの場合、官製はがきで約30枚です。
  封筒の場合、原紙坪量85g/m$^2$で約20枚です。

- B4のような大きなサイズや複写紙の場合は、総紙厚10mm以下にしてください。
- 折り目, しわ, 傷, 反りがあるもの, 用紙の角が特殊な形状のものは使用しないでください。
- 紙質, 厚さ, 大きさの異なる用紙を、混ぜて使用しないでください。
- 官製はがきの両面に印字する場合は、片面の印字後、反りをなくしてから反対側の面を印字してください。ただし、片面の印字が印刷禁止領域（255ページ参照）にかかる場合、反対面の印字時、センサの検出により正常に印刷できない場合があります。

**6** 用紙ガイド（左）を用紙幅に合わせ、用紙ガイド固定レバーを上げて、固定します。

**7** 用紙セットレバーを、静かに「**SET**」にします。

いきおいよくセットすると、用紙が乱れ、斜めに吸入される原因になります。

**8** プリンタの後方にカットシートフィーダを取り付けた場合のみ、シートスタッカを後に倒します。

- 使用中、用紙の端が不揃いになりましたら、印刷を中止し、もう一度セットし直してください。
- 用紙を長時間カットシートフィーダに放置しないでください。
  用紙がカールする原因になります。
- カットシートフィーダの給紙の場合、用紙の逆改行量は1回の吸入に対して累計で8.47mm（1/3インチ）以内です。
- 複写紙を使用する場合
  ① 前方取り付け時　　シートスタッカ側へ排出
  ② 後方取り付け時　　テーブル側へ排出
  してください。逆の場合、用紙の種類によってはジャムの可能性があります。

- カットシートフィーダを前後に2つ取り付けた場合、メニュー設定の「CSF前／後の選択」で、どちらのカットシートフィーダから給紙するか設定します。
- 用紙の種類によっては、セットした最後の用紙が印字規格から外れる場合があります。
- オプションのカットシートフィーダご使用時には、最後の用紙の給紙が不安定となることがありますので、最後の用紙は使用しないようにしてください。また、用紙残量が少なくなった場合には、用紙を補充してください。

## ●自動給紙モードと単票手差しモードの切り替え

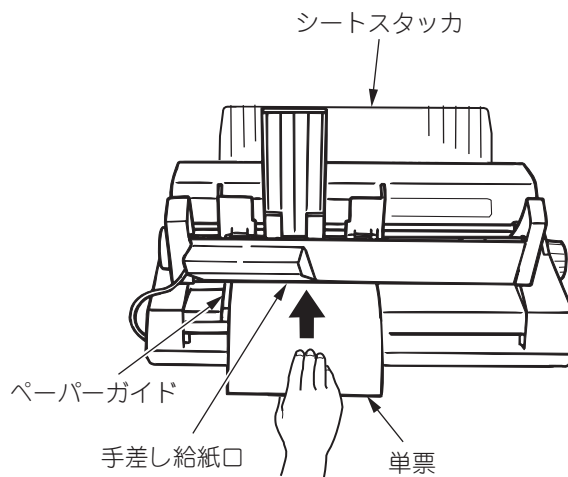
カットシートフィーダを取り付けたまま、単票を手差しで給紙できます。
手差し給紙から自動給紙に切り替えることもできます。

**1** オフライン状態で「**用紙モード/高複写**」スイッチを押して“テサシ”を選択します。

**2** 自動給紙モードに戻す場合は、再度「**用紙モード/高複写**」スイッチを押します。

参考

- 単票手差し給紙の場合は、テーブルから単票を入れます。
- プリンタ前方にカットシートフィーダを取り付けた場合、カットシートフィーダの下から単票を入れます。
  ただし、ペーパガイドは移動できません。右端突き当てか“▽”の位置にしてください。
- 自動給紙モードでもテーブルに単票をセットするとテーブルから自動給紙します。

6
章

## ●自動給紙モードと連続紙モードの切り替え

プリンタ後方にカットシートフィーダを取り付けた場合、カットシートフィーダを取り付けたまま、フロントトラクタでの連続紙を使用できます。

注 プリンタ後方にカットシートフィーダを取り付けた場合は、リアピントラクタは実装できません。
プリンタドライバの給紙方法の選択により切り替えることもできます。

### ◆連続紙モードへの切り替え

**1** オフライン状態で「**用紙モード/高複写**」スイッチを押して“フロントトラクタ”を選択します。

**2** 連続紙をプリンタにセットします。

給紙方法は「連続紙をセットする」（115ページ）を参照してください。

連続紙がセットされている場合は、自動的に1文字目印字位置まで送られ、「印字可」ランプが点灯します。

注 フロントトラクタの連続紙を断続的に使用する場合は、カットシートフィーダのリアシートサポータを外してください。連続紙の種類によっては、リアシートサポータの先端で用紙が引っ掛かる場合があります。

### ◆自動給紙モードへの切り替え

**1** オフライン状態で「**用紙モード/高複写**」スイッチを押して“R-CSF”を選択します。

**2** 自動的に連続紙がピントラクタまで後退します。

手動で後退させるには、「連続紙を外すとき」（120ページ）を参照してください。

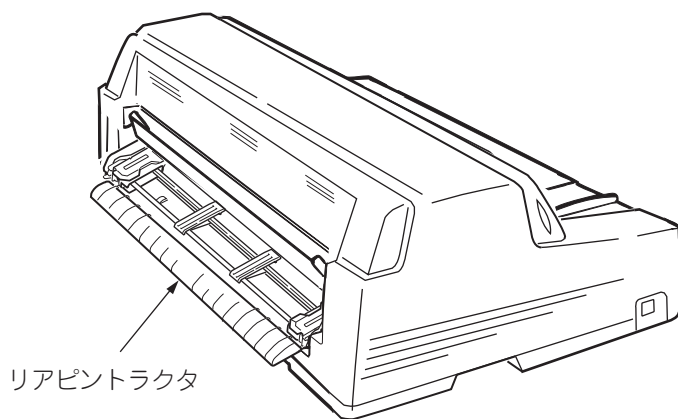
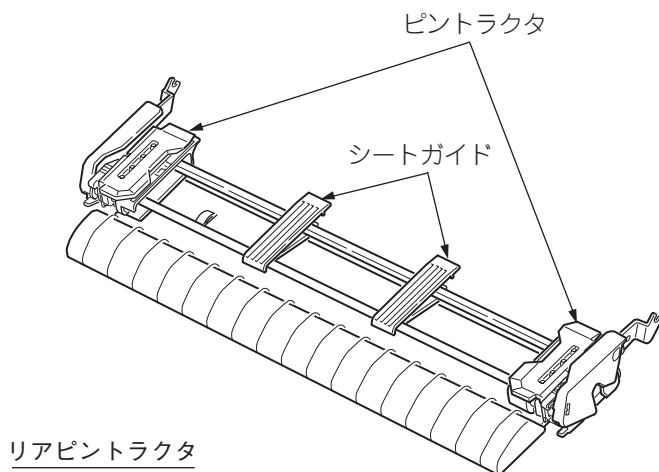
# リアピントラクタ

リアピントラクタを取り付けることにより、プリンタ後方より連続紙が給紙できます。

## ●外観と各部の名称

リアピントラクタ

プリンタ本体に取り付けた図

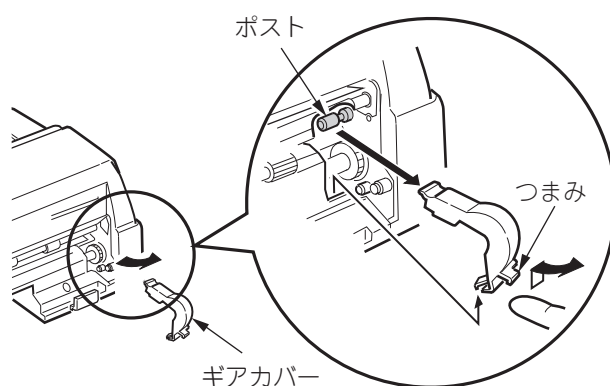
6章

## ●リアピントラクタの取り付け, 取り外し

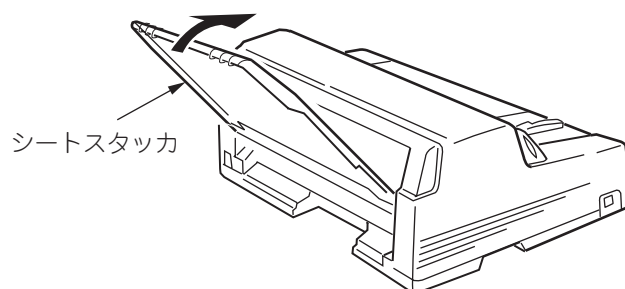
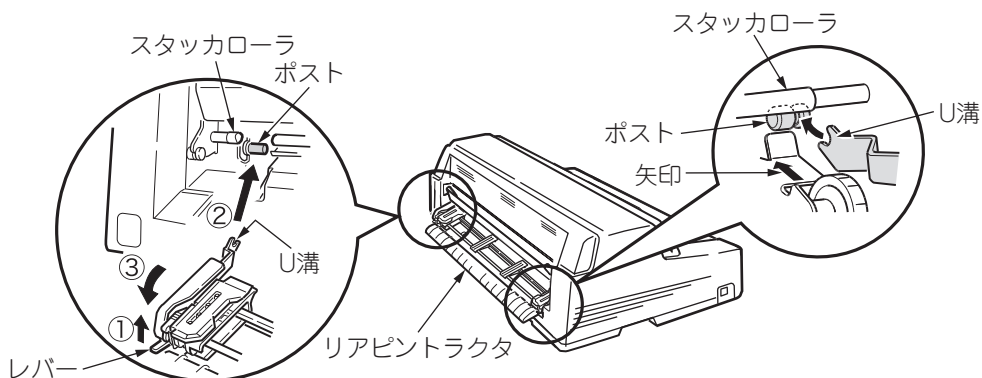
- リアピントラクタの取り付け, 取り外しは、必ずプリンタの電源を「OFF」にしてから行ってください。
- オプションのカットシートフィーダを、プリンタ後方に取り付けている場合は、リアピントラクタを取り付けられません。

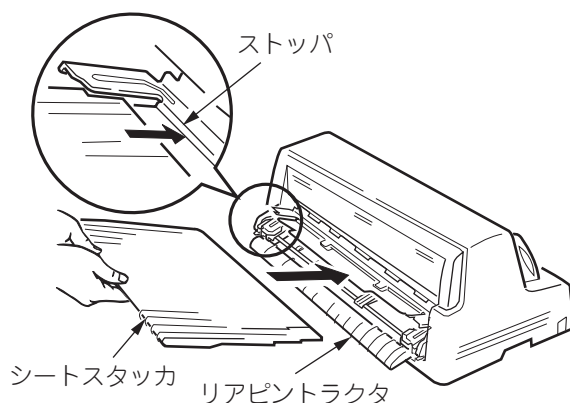
※ 説明をわかりやすくするため、シートスタッカをイラストから省いています。

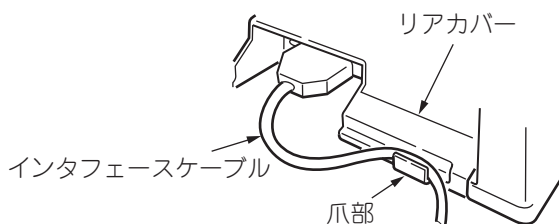
**1** プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にします。

**2** プリンタ後方のギアカバーを外します。

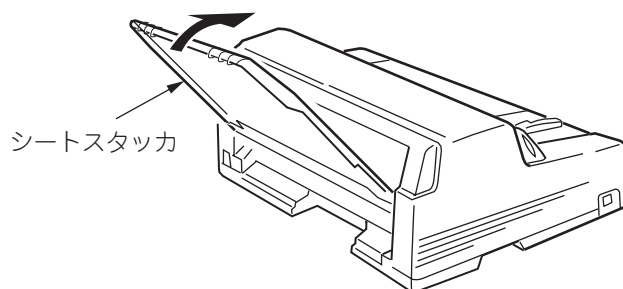
つまみを押し上げて回転させて外します。

注 ギアカバーは、手がギアに触れないためのカバーです。オプションを使用しないで外したときは、再度逆の手順で取り付けてください。

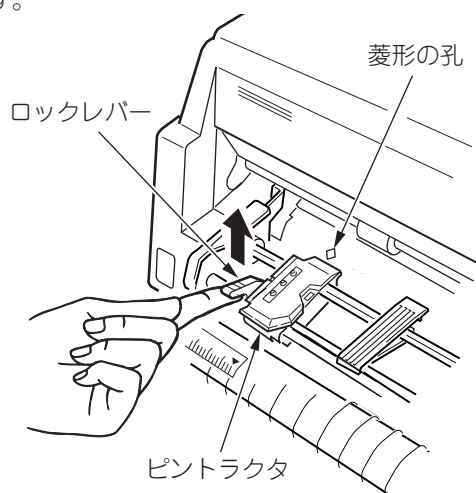
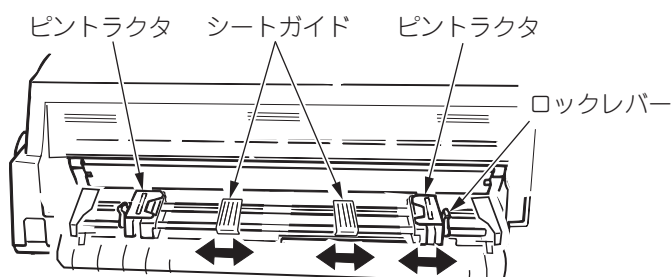
**3** シートスタッカを上方に持ち上げて固定します。または取り外してください。

**4** リアピントラクタは、シートスタッカの内側にセットします。リアピントラクタの両側のレバー①をつまみながら、リアピントラクタ先端のU溝をプリンタ後部のポスト②に差し込み、そのまま③方向に回転させるように下におろします。レバー①から手を離すと、リアピントラクタが固定されます。

注 リアピントラクタを上下に動かして固定されていることを確認してください。

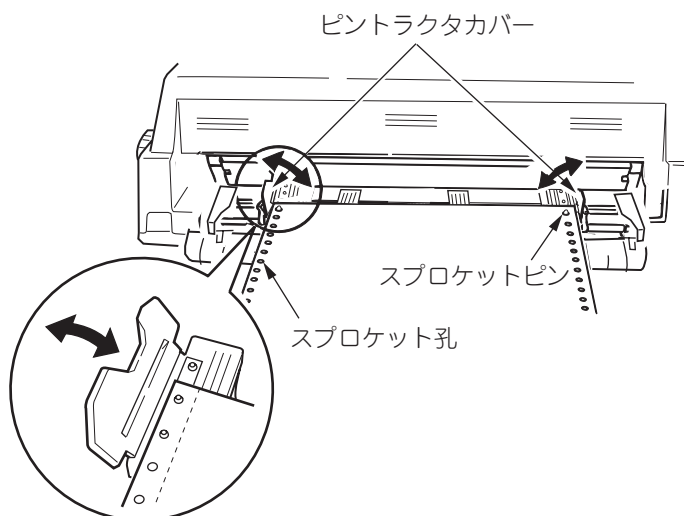
**5** シートスタッカを下げます。
またはリアピントラクタの左右外側に向けて取り付けます。

リアピントラクタの取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。

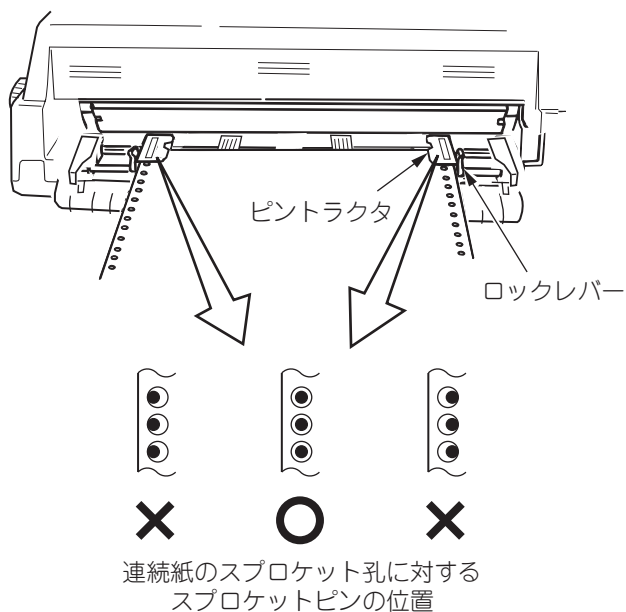
参考 インタフェースケーブルがリアピントラクタの妨げになるような場合はケーブルをリアカバーの爪部にはさみ込んでください。

注 インタフェースケーブルを接続するときは、リアピントラクタを外して接続し、その後でリアピントラクタを取り付けてください。

## ●連続紙のセット

**1** シートスタッカを上方に持ち上げて固定します。

**2** 左側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印字位置を合わせます。位置を合わせたら、ロックレバーを押し下げて固定します。

目盛上の「▼」および菱形の孔の中心が横方向の1文字目の中心になります。

**3** 右側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動します。
シートガイドは､左右のピントラクタの中央に移動します。

**4** 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないようにしてください。

**5** 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを押し下げて固定します。
その際に、連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。

連続紙のスプロケット孔に対する
スプロケットピンの位置

**6** シートスタッカを下げ、オフライン状態で「**用紙モード/高複写**」スイッチを押して“リアトラクタ”を選択します。

単票や、フロントトラクタから連続紙がセットされているときは、自動的に排出またはフロントトラクタ位置に退避します。

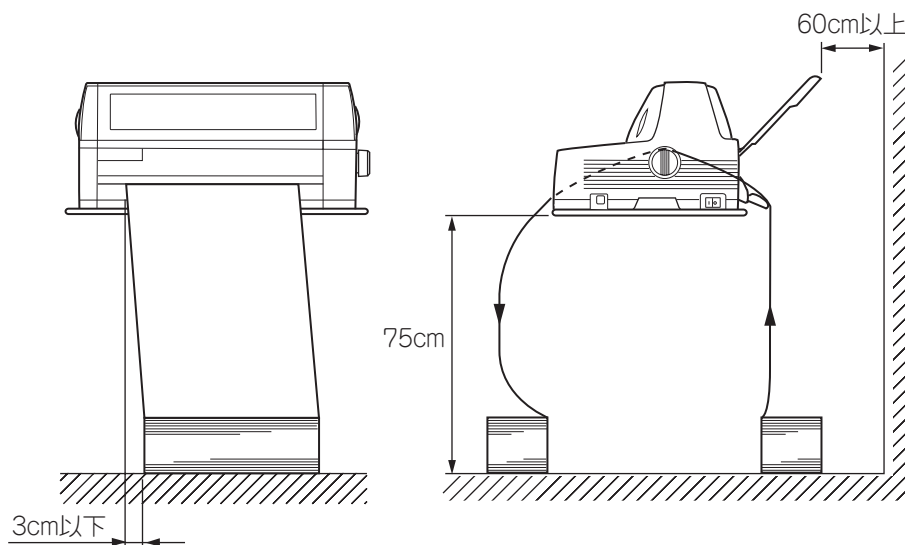
手動での排出方法は、「単票の排出方法」（114ページ）,「連続紙を外すとき」（120ページ）を参照してください。

1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。

連続紙が途中でつまってしまったときは、つまった連続紙を取り除き、再度セットし直してください。



連続紙の置き方

- プリンタを置く机の高さは、75cmを目安にしてください。
- 連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンタと平行に置いてください。左右方向のずれは、3cm以内にしてください。
- プリンタの後部と机の縁を合わせてください。
- プリンタの後部は、壁から60cm以上離してください。

## ●連続紙の排出方法

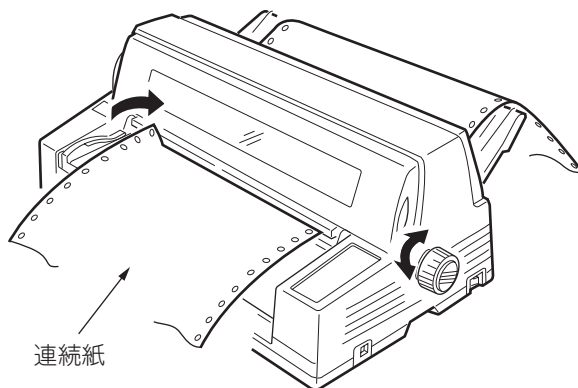
印刷が終わった連続紙は、次の手順で排出します。

### ◆印刷済の連続紙を切り取るとき

**1** 「印字可」ランプが点灯している状態で、「**機能切替/用紙カット**」スイッチを押します。（リアカットモード）

連続紙がテーブル側に繰り出されます。

6章

**2** 連続紙をミシン目から切り取ります。

注 いきおいよくカットすると、ミシン目以外から破れる場合があります。

**3** もう一度「**機能切替/用紙カット**」スイッチを押します。

連続紙が元の位置に戻ります。

用紙の種類によってミシン目位置がカバーのカッタと合わない場合は次の手順で補正します。

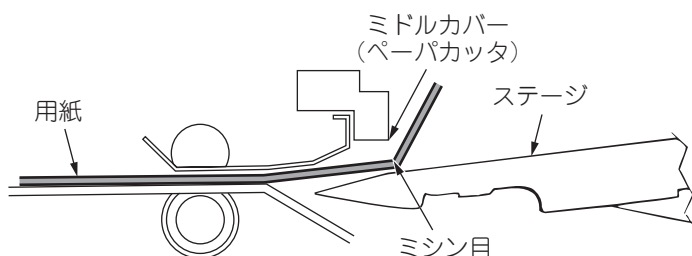
**1** 「印字可」ランプが点灯している状態で「**機能切替/用紙カット**」スイッチを押し、そのまま押し続けます。

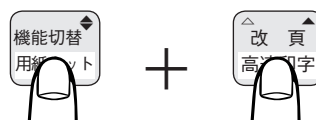
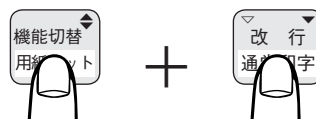
用紙のミシン目がカバーのカッタ位置まで送られます。

**2** 表示パネルに「カット　イチ　ホセイ」と表示されます。

注 用紙カット動作後も「機能切替/用紙カット」スイッチを押したままにしてください。

**3** カバーのカッタ位置にミシン目を合わせます。

①カッタとミシン目の位置を確認します。

②以下のスイッチを操作して、ミシン目を合わせます。

順方向に微少送り：「機能切替/用紙カット」スイッチを押したまま、「改頁/高速印字」スイッチを押します。

逆方向に微少送り：「機能切替/用紙カット」スイッチを押したまま、「改行/通常印字」スイッチを押します。

注 カバーオープン状態ではスイッチ操作できません。

**4** ミシン目がカッタに合ったらスイッチから指を離します。

表示パネルに

| カ | ッ | ト | | イ | チ | | ホ | セ | イ | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ホ | セ | イ | チ | | カ | キ | コ | ミ | チ | ュ | ウ | | | | |

と表示され、カット位置補正として記憶されます。

6章

◆連続紙を外すとき

**1** 印刷済みの連続紙を切り取ります。

前ページを参照してください。

**2** 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

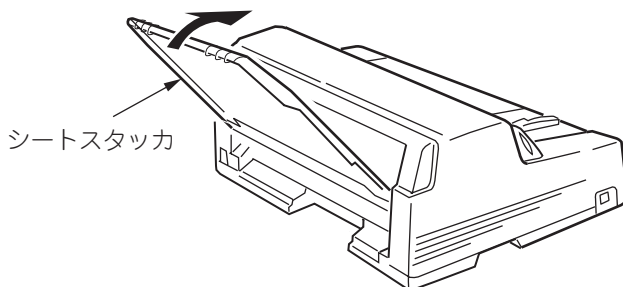
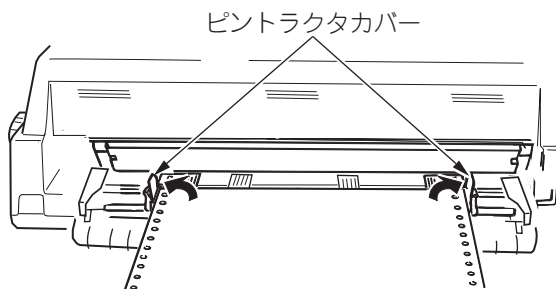
連続紙が元の位置に戻ります。

**3** 「**用紙ロード/排出方向**」スイッチを押します。

連続紙の先端がピントラクタまで後退します。

注

- 連続紙の後退量は最高558.8mm(22インチ)です。558.8mm(22インチ)後退しても連続紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
- 連続紙の後退動作は、2回[1117.6mm(44インチ)]以上連続して行わないでください。ジャムの原因になります。

**4** シートスタッカを上方に上げ、固定します。

**5** ピントラクタカバーを開き、連続紙を外します。

**6** ピントラクタカバーおよびシートスタッカを元に戻します。

参考

ピントラクタの手前で連続紙のミシン目を切り取った場合は、残りの連続紙はオフライン状態で「改頁/高速印字」スイッチを押して排出してください。

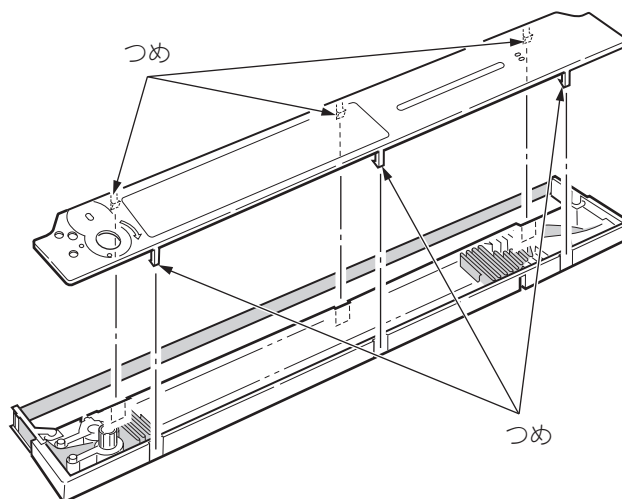
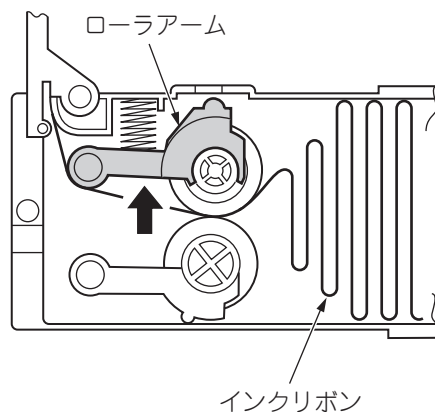
# 7　こんなときには

～インクリボンの交換、紙づまりしたとき、
印刷がおかしいとき、エラー表示がでたとき～

7
章

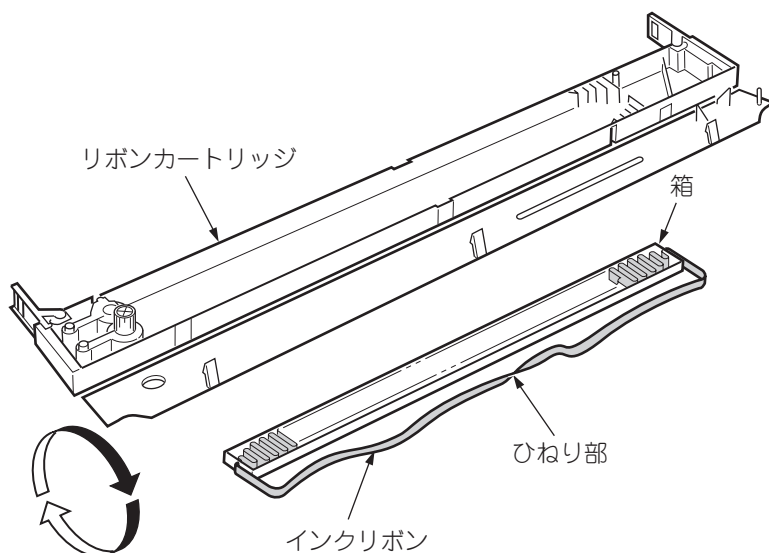
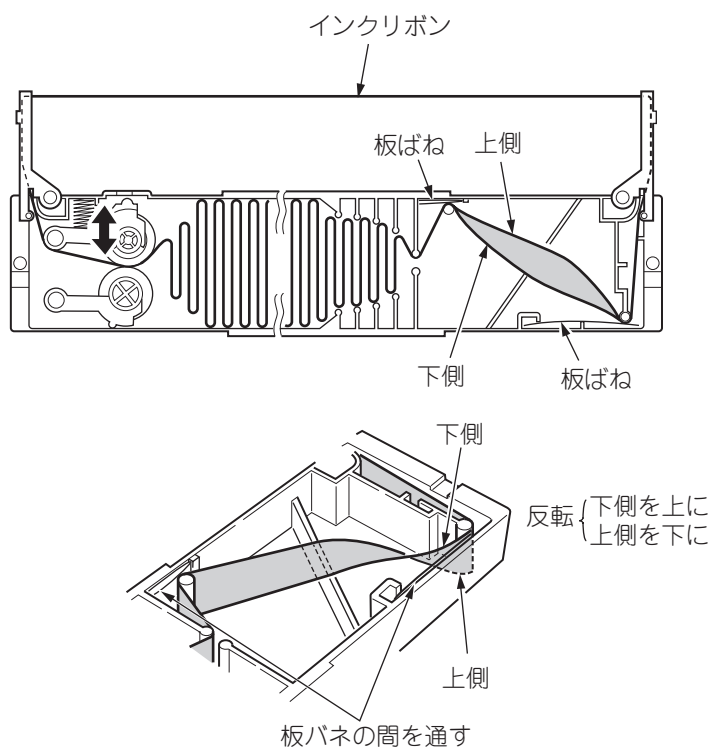
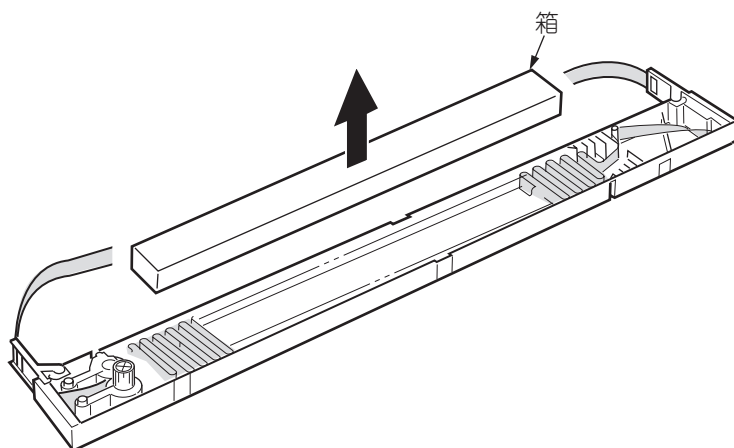
# リボンカートリッジ内のインクリボンの交換

印字が薄くなったときには、次の手順でリボンカートリッジ内のインクリボンを交換してください。

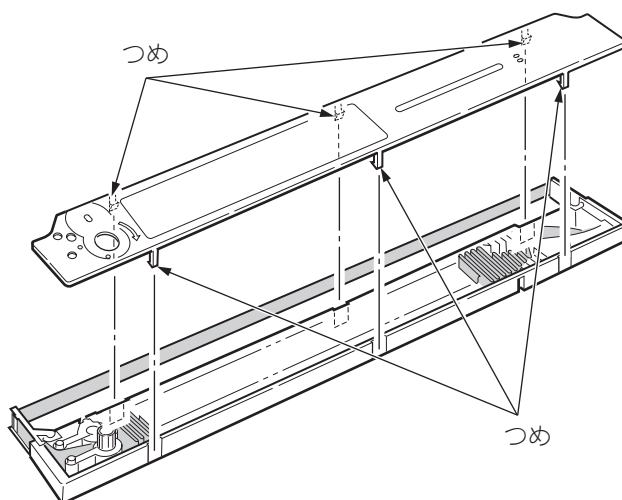
**1** リボンカートリッジのふたについているつめ（6か所）を外し、ふたを外します。

**2** ローラアームを図の矢印方向に押しながら使用済のインクリボンを取り出し、リボンカートリッジの中および周囲,ローラ周辺のリボンくず,繊維くずを取り除きます。

参考

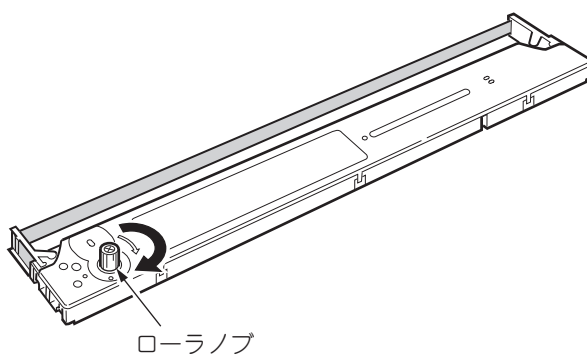
- 使用済みのインクリボンはナイロン製です。不燃物として処理してください。
- 使用済みのインクリボンの回収を行っています。詳細は「使用済み消耗品の回収について」（277ページ）をご覧ください。

**3** 新しいインクリボンの包装紙を取り除き、インクリボンを箱から20〜30cm程度引き出します。

**4** リボンカートリッジをインクリボンの箱にかぶせて、リボンカートリッジと箱をいっしょに裏返します。

**5** インクリボンを図の経路にセットします。

**6** リボンカートリッジからインクリボンが飛び出さないように、静かに箱を取り除きます。

**7** ローラアームを開き、ローラの間にインクリボンを通します。



**8** リボンカートリッジ内でインクリボンが折れたり、ねじれたりしていないか、また、ローラアームがフレームから浮き上がっていないか確認してからふたを閉じます。

**9** ローラノブを時計回り（矢印方向）に回してインクリボンのたるみを取ります。

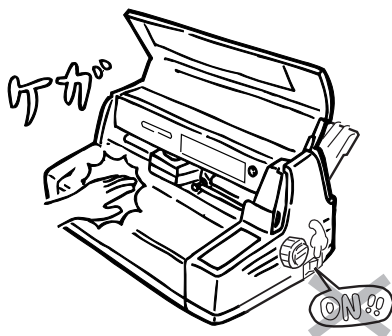
- ローラノブを回したとき、インクリボンが動かなかったり、異常に鈍いときは、再度ふたを開けてインクリボンの経路を確認してください。
- ローラノブを矢印の逆方向に回さないでください。リボンジャムの原因になります。
- インクリボンの交換は1つのリボンカートリッジに対して3回までです。インクリボンを3回交換したら、リボンカートリッジを交換してください。交換の手順は「リボンカートリッジを取り付ける」(27ページ)を参照してください。

- 使用済みのリボンカートリッジはナイロン製です。不燃物として処理してください。
- 使用済みのリボンカートリッジの回収を行っています。詳細は「使用済み消耗品の回収について」(277ページ) をご覧ください。

7章

# 紙づまりしたとき

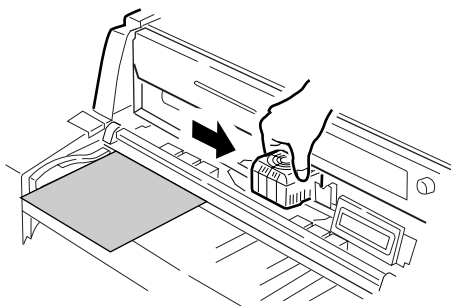
## ●単票の場合

### ◆単票がプリンタ内部でつまったとき

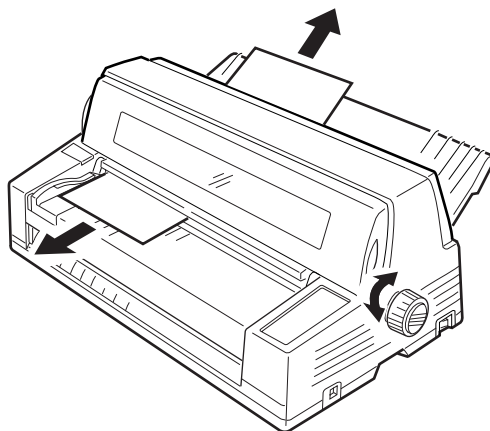
**1** 電源スイッチを「**OFF**」にします。

**⚠注意**　ケガをする恐れがあります。

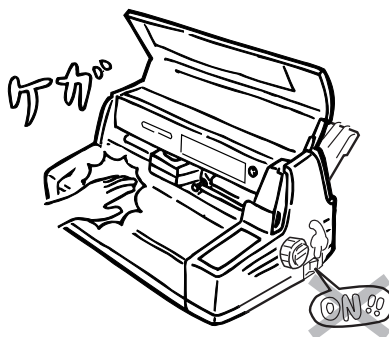
電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

**2** 印字ヘッドを用紙のないところへ移動させます。

**⚠注意**　やけどの恐れがあります。

印字直後は印字ヘッドやその周辺が高温になっていますので、印字ヘッドなどにはさわらないでください。
印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

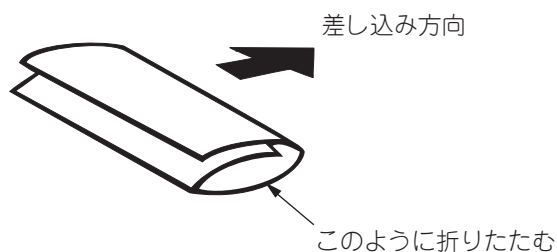
**3** プラテンノブを回し、単票を手前または後ろに引き出します。

7
章

◆破れた単票がプリンタ内部に残ったとき

**1** 電源スイッチを「**OFF**」にします。

| ⚠注意 | ケガをする恐れがあります。 |  |
|---|---|---|

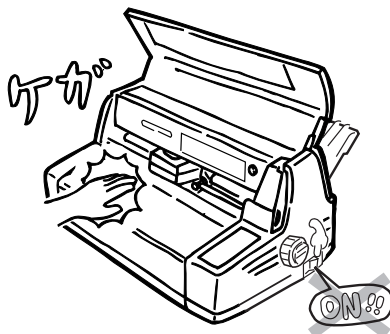
電源を入れたままカバーを開けて、作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

**2** 見えている紙くずをピンセットで取り除きます。

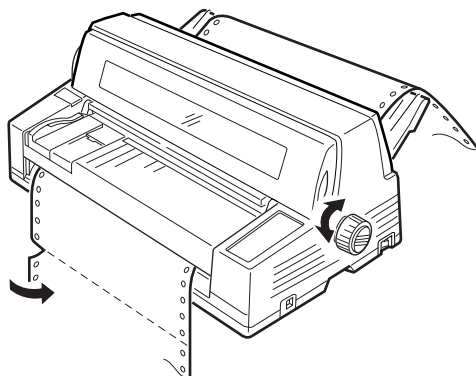
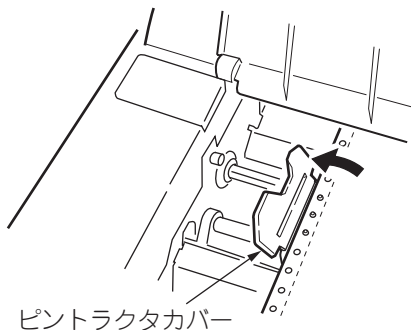
**3** 3つに折りたたんだ単票をテーブルから差し込みます。

**4** プラテンノブを回して単票を送り、つまった紙くずを押し出します。

## ●連続紙の場合

### ◆連続紙がプリンタ内部でつまったとき

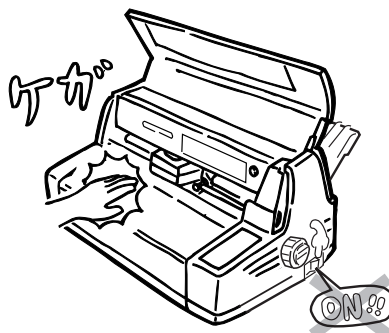
**1** 電源スイッチを「**OFF**」にします。

| ⚠注意 | ケガをする恐れがあります。 |  |
|---|---|---|

電源を入れたままカバーを開けて、作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

**2** 印字前の連続紙を切り取ります。

**3** テーブルを開き、ピントラクタから連続紙を外します。

**4** プラテンノブを回しながら、連続紙を手前側または後ろ側に引き出します。

破れた紙くずがプリンタ内部に残ったときは、連続紙を2〜3枚重ねてピントラクタにセットし、プラテンノブを回して、つまった紙くずを押し出してください。リアピントラクタの場合も同様に行ってください。

◆カットシートフィーダ（オプション）でつまったとき

## 1 電源スイッチを「OFF」にします。

| ⚠注意 | ケガをする恐れがあります。 |  |
|---|---|---|

電源を入れたままカバーを開けて、作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

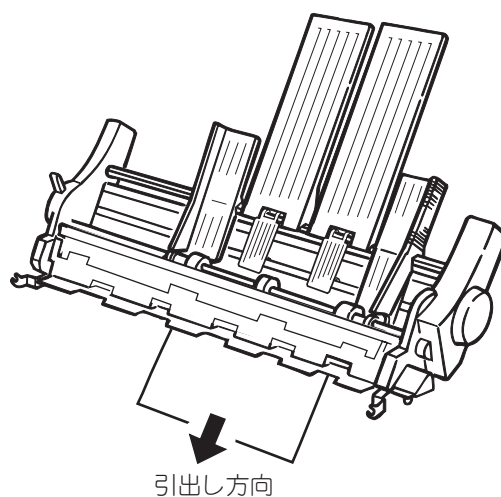
## 2 カットシートフィーダを取り外します。

「カットシートフィーダの取り付け/取り外し」（177～183ページ）を参照してください。

## 3 用紙を取り除きます。

紙の送られる方向へゆっくり引き出します。

注　逆方向への無理な用紙の引き出しは、機構部のダメージ原因となります。

7章

# アラーム表示がでたときは

操作パネルの表示と、その際に必要な操作パネルの操作を下表に示します。

●…点灯　◒…点滅　○…消灯

| ランプ | | 表示パネル | アラームの意味と対処方法 | ブザー鳴動有無 |
|---|---|---|---|---|
| 用紙 | 印字可 | | | |
| ● | ○ | ヨウシ　ナシ　XXX<br>ヨウシヲ　セットシテクダサイ<br>または<br>ヨウシヲ　ホキュウシテクダサイ | 用紙が終了しました。新しい用紙をセットし、「印字可」スイッチを押してください。 | 有<br>✎ |
| ● | ○ | ペーパージャム<br>ヨウシヲ　ヌキトッテクダサイ | 紙づまりです。つまった用紙を取り除き「印字可」スイッチを押してください。 | 有 |
| ◒ | ●<br>または<br>○ | タンピョウ　ヌキトリマチ<br>ヨウシヲ　ヌキトッテクダサイ | 単票抜き取り待ちです。テーブルの用紙を外してください。 | 有 |
| ◒ | ◒ | カバーオープン　アラーム<br>カバーヲ　トジテクダサイ | トップカバーが開いています。トップカバーを閉じてください。 | 有 |
| ●<br>または<br>○ | ◒ | データ／ドウサ　ホジチュウ<br>ヨウシヲ　セットシテクダサイ<br>または<br>オンラインニ　シテクダサイ | 用紙をセットするか、「印字可」スイッチを押すとアラームが解除されます。 | 有<br>✎✎ |
| ◒ | ○ | バイタイ　キリカエ　チュウ<br>タンピョウ　ヌキトリマチ<br>または<br>チョウヒョウ　ジョキョマチ | 用紙モード切替中です。<br>セット済みの用紙を取り除いてください。 | 有<br>✎✎✎ |
| ◒ | ○ | ヨウシヲ　カットシテクダサイ<br>カットゴ　ロードSWオウカ | 連続紙を切り取り、「用紙ロード/排出方向」スイッチを押してください。 | 有 |
| ○ | ● | インジＤＵＴＹ　アラーム<br>ブンカツインジチュウデス | 高密度印字のため、分割印字をしています。高密度印字が終了したらアラームは解除されます。 | 無 |
| ○ | ● | ヘッドサーマル<br>ブンカツインジチュウデス | 印字ヘッドが温度アラームになっています。印字ヘッドの温度が下がるとアラームは解除されます。 | 無 |
| ○ | ○ | ショシキ　サムチェック　アラーム<br>インジカSW　→　アラームOFF | 書式を登録している不揮発性メモリ内に異常が発生し、登録書式を削除しました。<br>全書式を登録し直してください。 | 無 |
| ○ | ○ | インジカイシイチ　セッテイ<br>セッテイハンイ　オーバー | 1文字目印字位置設定可能範囲を超えました。微少改行を行ってください。 | 無 |

XXXは給紙ルートを示しています。

● … 点灯　◒ … 点滅　○ … 消灯

| ランプ | | 表示パネル | アラームの意味と対処方法 | ブザー鳴動有無 |
|---|---|---|---|---|
| 用紙 | 印字可 | | | |
| ○<br>または<br>● | ○<br>または<br>● | パワーセーブ<br>XXX | 低消費電力モード中です。<br>アラーム表示ではありません。そのままお使いください。 | 無 |
| ｵｰﾄｷﾞｬｯﾌﾟ | 印字可 | ＭＧセッテイアラーム<br>サイセッテイ　シテクダサイ | マニュアルギャップのギャップ調整の設定が合っていません。用紙の紙厚に合った設定をしてください。 | 有 |
| ◒ | ○ | | | |
| 用紙 | 書式 | エラー　ｎｎｎｎ<br>パワーOFF　シテクダサイ | 復旧不可能アラームです。リボンカートリッジが正しく取り付けられているか確認し、インクリボンが外れていたり、リボンカートリッジの取り付けが正常でない場合、再度取り付け直してください。(27ページ参照)<br>その後、キャリッジ部がなめらかに移動することを確認し、電源を入れ直してください。<br>電源を入れ直しても再度エラーになる場合は、お客様相談センターにご連絡ください。 | 有<br>✐✐✐✐ |
| ◒ | ◒ | | | |

XXXは給紙ルートを示しています。

✐　連帳モード、CSFモードで印字中に用紙なしとなった場合にのみ、鳴動します。

✐✐　用紙なし状態でアラームが発生した場合に、鳴動します。

✐✐✐　用紙除去操作中に再度アラームが発生した場合は、鳴動しません。

✐✐✐✐　メニュー設定で、ブザー無効を選択されていても、ブザーは鳴動します。

メニュー設定で、ブザー有効を選択時のみ、ブザーは鳴動します。

7章

# こんなときには

プリンタが思うように動作しなかった場合は、ここに記載してある項目を探し、適切な処置を行ってください。

| 現　象 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| **電源が入らない** | | |
| 電源が入らない。 | 電源コードが正しく接続されていません。 | プリンタ側，コンセント側ともしっかりと差し込んでください。 |
| | 電源コンセントの異常または停電の可能性があります。 | 他の電気製品を同じコンセントに差し込んで、正常に動作するか確認してください。 |
| **印字しない** | | |
| 「印字可」ランプが消灯している。 | 印字停止の状態です。 | 「印字可」スイッチを押してください。 |
| | 用紙がセットされていません。 | 用紙をセットしてください。 |
| 「印字可」ランプは点灯しているが印字しない。 | I/Fケーブルが外れています。 | 正しく接続し直してください。 |
| | I/Fケーブルがコンピュータやプリンタと合っていません。 | 仕様に合ったケーブルをお使いください。 |
| 印字ヘッドは動いているが、印字しない。 | リボンカートリッジが取り付けられていません。 | リボンカートリッジを取り付けてください。 |
| **印字が遅くなった** | | |
| 突然印刷が遅くなったり、片方向印字、印刷動作の休止となった。 | 印字ヘッドが高温になると、温度を下げるために印字速度が遅くなったり、片方向印字、一定時間動作の休止を行うことがありますが、故障ではありません。 | 印字ヘッドの温度が下がると、自動的に元の動作に戻ります。この現象が頻繁に起こる場合には、プリンタの電源を切ってしばらく置いてから印刷を行ってください。 |
| **印字が鮮明でない** | | |
| 文字が薄い、文字の一部が欠ける。 | マニュアルギャップ調整のレンジ値が用紙に合っていません。 | マニュアルギャップ調整を適切なレンジ値に合わせてください。 |
| | 高速印字に設定されています。 | 通常印字にしてください。 |
| | インクリボンの寿命です。 | 新しいインクリボンに交換してください。 |
| | リボンカートリッジが正しくセットされていません。 | 正しくセットし直してください。 |
| | インクリボンが確実に巻き取られていません。 | 新しいリボンカートリッジに交換してください。 |
| | リボンフィード動作が行われていません。 | お客様相談センターへご相談ください。 |

| 現　象 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| 文字が、横一列に欠ける。 | 印字ヘッドのピンが折れています。 | お客様相談センターへご相談ください。 |
| **印字結果が画面と異なる** | | |
| カタカナがグラフィック文字になる。 | コード表が拡張グラフィックスになっています。 | ANKコード表をカタカナコードに設定してください。（135ページ参照） |
| グラフィックがカタカナ文字になる | コード表がカタカナになっています。 | ANKコード表をグラフィックコードに設定してください。（135ページ参照） |
| 全く違う文字や記号で印字される。 | ソフトウェアのプリンタ設定が間違っています。 | ソフトウェア上のプリンタ設定を優先順位に従って設定し直してください。 |
| | 前回印字したソフトウェアコントロールコードが有効になっています。 | プリンタを初期化してください。（156ページ参照） |
| | 送られたソフトウェアコントロールが間違っています。 | HEXダンプをとって、データの内容を確認します。（167ページ参照）<br>間違っている部分をソフトウェア上で直してください。 |
| | I/Fケーブルが外れています。 | 正しく接続し直してください。 |
| 用紙の頭出し量（印字開始位置）が上または下すぎる、変わってしまった。 | 印字開始位置の設定が正しくありません。 | プリンタを初期化してください。（156ページ参照） |
| | | 単票と連続紙の頭出し位置の設定を行ってください。（159ページ参照） |
| | | 1文字目印字位置の設定を行って、頭出し位置を調整してください。（163ページ参照） |
| | | ソフトウェア上で上マージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。 |
| | センサの上に紙粉などがたまっています。 | 綿棒や掃除機などで除去してください。（220ページ参照） |
| 左右の余白が多い、または少ない。 | 左右マージンの設定が正しくありません。 | シートガイドやピントラクタの位置が適当ではありません。印字形式に合わせてセットし直してください。 |
| | | ソフトウェア上で左右マージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。 |

7章

| 現　象 | 原　因 | 処　置 |
| --- | --- | --- |
| 連続紙を使用しているときに、1ページ分の印刷が2ページにわたって印字される。 | ソフトウェアのページ長と、実際に使用している用紙が合っていません。 | ソフトウェア上のページ長の設定と、使用する用紙のサイズを合わせてください。 |
| 単票を使用しているときに、1ページ分の印刷が2ページにわたって印字される。 | ソフトウェア上の用紙設定のサイズと、実際に使用している用紙サイズが合っていません。 | ソフトウェア上の用紙設定を、使用する用紙に合わせてください。 |
| | プリンタ側で自動測定されている1ページの印字可能行数と合っていません。 | ソフトウェア上で上下マージンを大きくとってください。 |
| | | 単票LFピッチを補正してください。（158ページ参照） |
| 1行に印字されるはずの文字などが、2行にわたって印字される。 | 左右のマージンの設定が正しくありません。 | ソフトウェア上で左右のマージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。 |
| 連続紙を使用しているときに、印字途中で数行分の空白行ができる。 | ミシン目スキップが設定されています。 | ミシン目スキップを解除してください。（140ページ参照） |
| 縦罫線がずれる、ガタガタになる。 | 両方向印字を行うと、ずれを生じることがあります。 | Windowsプリンタドライバの設定で片方向印字に設定してください。（41, 50, 59, 69, 82, 96, 102, 107ページ参照） |
| | | 調整モードの「PRINT REG」で調整してください。（158ページ参照） |
| 行間隔が広すぎる、または狭すぎる。 | 改行量の設定が正しくありません。 | ソフトウェア上で改行量が設定してある場合は、正しく設定し直してください。 |
| **イメージ印字、分割印字について** | | |
| イメージ印字で白抜けが入る。<br>白抜け | 用紙送りの誤差です。特に黒ベタ印字で目立ちます。 | 故障ではありません。 |
| 縦倍角などで、白抜けや文字つぶれがでる。<br>白抜け　つぶれ<br>8　8 | 1文字の途中で改行が入るため、用紙送りの誤差がでます。 | 故障ではありません。<br>重要な書類や伝票などは、プリンタ内蔵フォント（明朝または明朝倍角）を使用してください。 |

| 現　象 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| 単票で、うまく紙送りできない | | |
| 用紙を給紙しない。 | 用紙の挿入位置が、右に寄り過ぎています。 | シートガイドにそって、用紙をセットしてください。 |
| | 用紙が突き当たるところまで入っていません。 | 突き当たるところまで用紙を入れてください。 |
| | 用紙の裏が黒いか、プレプリントされています。 | プリンタの仕様に合った用紙を使用してください。<br>（255ページ参照） |
| プラテンは回るが、給紙できない。または、連続紙が給紙されてしまう。 | 用紙が突き当たるところまで入っていません。 | 突き当たるところまで用紙を入れてください。 |
| | プリンタが連続紙モードになっています。 | 連続紙を排出して、プリンタを単票モードにしてください。 |
| 用紙が曲がって給紙される。 | 用紙が突き当たるところまで入っていません。用紙がまっすぐ入っていません。 | 突き当たるところまで用紙を入れてください。 |
| | 用紙にしわや折り目など、問題があります。 | 新しい用紙を使用してください。 |
| | 用紙が仕様に合っていません。 | プリンタの仕様に合った用紙を使用してください。<br>（249ページ参照） |
| 用紙が排出できない。 | 「改行」スイッチを押しています。 | 「改頁」か、「用紙ロード」スイッチを押してください。 |
| 「用紙」ランプが点滅したままの状態、または給紙がうまくできない。 | センサの上に紙片や紙粉などがあります。 | 綿棒や掃除機などで除去してください。<br>（220ページ参照） |

7
章

| 現　象 | 原　因 | 処　置 |
| --- | --- | --- |
| **連続紙で、うまく紙送りできない** | | |
| 改行しない、用紙が送られない。 | 用紙がピントラクタから外れています。 | 用紙を正しくセットし直してください。 |
| | マニュアルギャップ調整のレンジ値が、用紙に合っていません。 | マニュアルギャップ調整を適切なレンジ値に合わせてください。 |
| 用紙が曲がって給紙される。または、プリンタの中で引っ掛かってしまう。 | 用紙の両端の穴が、左右ずれた状態でセットされています。 | 用紙の穴が左右平行になるようにセットしてください。 |
| | 左右のピントラクタの幅が狭すぎ、用紙がたるんでいます。 | ピントラクタの位置を調整して、用紙のたるみを取ってください。 |
| | 用紙がプリンタに対して、まっすぐ給紙されていません。 | まっすぐ給紙されるよう、用紙の位置を動かしてください。 |
| | 用紙が何かに引っ掛かっています。 | 引っ掛かっているものを取り除いてください。 |
| | 用紙の置いてある位置が遠すぎます。 | プリンタの近くへ用紙を動かしてください。 |
| | 用紙が仕様にあっていません。 | プリンタの仕様にあった用紙を使用してください。<br>（239ページ参照） |
| 印字の途中で、数行分の空白ができる。 | ミシン目スキップが設定されています。 | ミシン目スキップを解除してください。<br>（140ページ参照） |
| ミシン目スキップを設定したが、実際のミシン目とずれてしまう。 | ソフトウェアのページ長と、実際に使用している用紙が合っていません。 | ソフトウェア上のページ長の設定と、使用する用紙のサイズを合わせてください。<br>ソフトウェア上で、行単位に設定します。 |
| 「用紙」ランプが点滅したままの状態、または給紙がうまくできない。 | センサの上に紙片や紙粉などがあります。 | 綿棒や掃除機などで除去してください。<br>（220ページ参照） |
| **単票と連続紙の切り替えがうまくいかない** | | |
| 単票が給紙できない。 | プリンタが連続紙モードになっています。 | Windowsプリンタドライバの設定で、使用する印字用紙に合った給紙方法を設定してください。 |
| | | 「用紙モード」スイッチを押して単票モードにします。 |
| 連続紙が給紙できない。 | プリンタが単票モードになっています。 | Windowsプリンタドライバの設定で、使用する印字用紙に合った給紙方法を設定してください。 |
| | | 「用紙モード」スイッチを押して連続紙モードにします。 |
| 連続紙と一緒に単票も給紙されてしまう。 | 単票が排出されていません。 | 単票を排出してください。 |

| 現　象 | 原　因 | 処　置 |
|---|---|---|
| カットシートフィーダ（CSF）を使用して、うまく紙送りできない | | |
| CSFが動作しない。 | CSFが正しくセットされていません。 | CSFを正しくセットし直してください。 |
| | 連続紙モードになっています。 | Windowsプリンタドライバの設定で、使用する印字用紙に合った給紙方法を設定してください。 |
| | | 自動給紙モードにしてください。 |
| | 単票手差しモードになっています。 | Windowsプリンタドライバの設定で、使用する印字用紙に合った給紙方法を設定してください。 |
| | | 自動給紙モードにしてください。 |
| 用紙を給紙しない。 | 用紙がCSFにセットされていません。 | 用紙をセットしてください。 |
| | 用紙セットレバーが「補給」になっています。 | 用紙セットレバーを「印刷」にしてください。 |
| | CSFの左右の用紙ガイドの間隔が狭すぎます。 | 左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。 |
| | セットしている用紙が厚すぎます。 | 仕様に合った用紙を使用してください。 |
| | 最後の1枚は給紙できないことがあります。 | 用紙を補給してください。 |
| 一度に2枚以上給紙される。 | CSFにセットされている用紙が少なすぎるまたは、多すぎます。 | セットしている用紙を適量にしてください。 |
| | 用紙が密着しています。 | 用紙をよくさばいてから、セットしてください。 |
| | CSFの左右の用紙ガイドの間隔が、狭すぎます。 | 左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。 |
| | 大きさの違う用紙を入れています。 | 同じサイズの用紙だけをセットしてください。 |
| | 用紙が仕様に合っていません。 | 仕様に合った用紙を使用してください。 |
| 用紙が曲がって給紙される。 | 用紙に折り目やしわがあります。 | 新しい用紙にかえてください。 |
| | CSFの左右の用紙ガイドの間隔が、広すぎます。 | 左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。 |
| | 用紙が仕様に合っていません。 | 仕様に合った用紙を使用してください。 |
| | 用紙セットレバーが「補給」になっています。 | 用紙セットレバーを「印刷」にしてください。 |
| うまく排出できない。 | 排出した用紙が溜まりすぎています。 | 用紙を取り除いてください。 |

# 8　定期清掃のしかた

8章

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的または必要に応じて清掃をしてください。
汚れにより、本来の機能が損なわれることがあります。

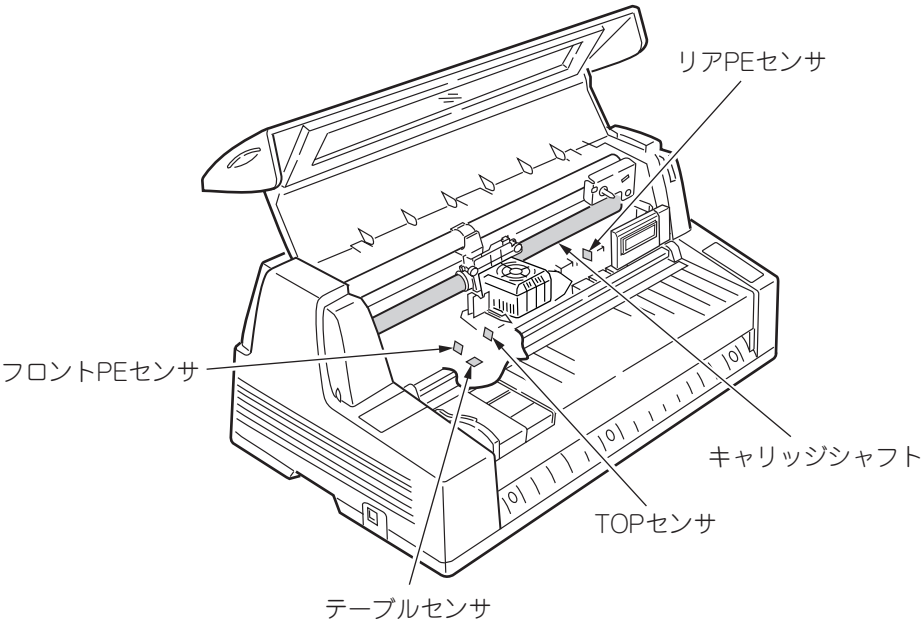
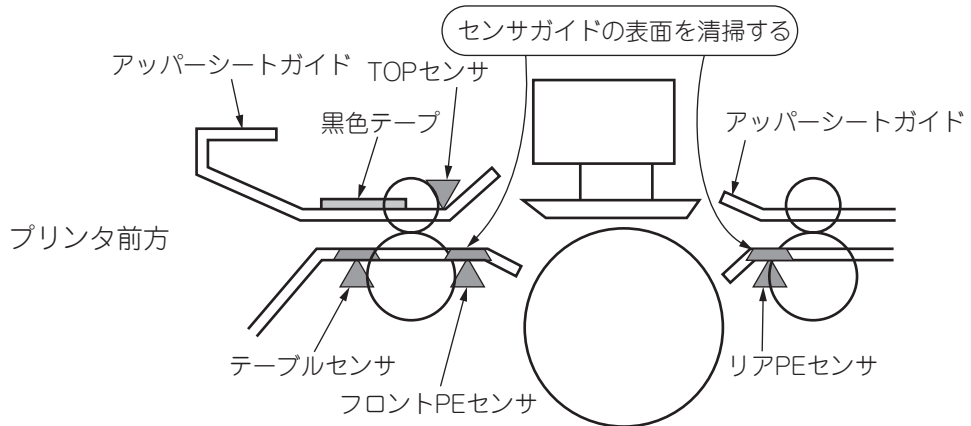
# プリンタの清掃のしかた

◆清掃

- 清掃は電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- 用紙くずなどは機構内部に入らないようにしてください。
- 印字直後は印字ヘッドおよびその周辺が高温になっていますので、印字直後の清掃は避けてください。

次表の項目にしたがって、定められた周期または必要に応じてプリンタの清掃を行ってください。
（その他のプリンタ内部の清掃についてはサービスマンにご依頼ください。）

実施周期 ： 稼働時間が6か月または300時間の中でいずれか早いほう
使用工具 ： ウエス（ガーゼなどの柔らかい布）、筆や綿棒、掃除機

| 清掃箇所 | 清掃内容 |
|---|---|
| キャリッジシャフトおよび周辺 | 用紙くずを取り去り、汚れ，ほこり，リボンくずなどをふき取る。 |
| 用紙走行面 | |
| フロントPEセンサ、TOPセンサ、リアPEセンサ、テーブルセンサ | センサに付着したほこりや紙粉を筆や綿棒、掃除機などで除去する。 |

○フロントPEセンサ, リアPEセンサ
筆や綿棒、掃除機などでセンサガイドの表面を清掃してください。

○テーブルセンサ
アッパシートガイドの黒色テープをめくって下方のセンサ面を清掃してください。

○TOPセンサ
掃除機などでプリンタ前方より清掃してください。



◆注油

プリンタへの潤滑油の注油は行わないでください。プリンタの故障の原因となることがあります。
（プリンタの注油、分解についてはサービスマンにご依頼ください。）

# ●カットシートフィーダの清掃のしかた

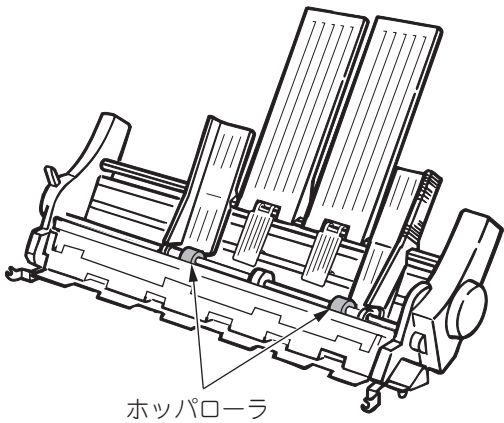
## ◆清掃

装置の設置環境/使用状況によりスキュー/ホッピングミスが発生する場合があります。その場合、以下の内容にてホッピングローラ汚れの清掃を行ってください。

- 清掃は電源スイッチをOFFにし、カットシートフィーダを本体から外してから行ってください。
- 用紙くずなどは機構内部に入らないようにしてください。

次表の項目にしたがって、カットシートフィーダの清掃を行ってください。
(本項目以外の清掃を行った場合には障害の発生する可能性がありますので行わないでください。なお､カットシートフィーダ内部の清掃についてはサービスマンにご依頼ください。)

使用工具 ： ウエス（ガーゼなどの柔らかい布）、アルコール（エタノール）

| 清掃箇所 | 清掃内容 |
|---|---|
| 左右一対のホッパローラ | 用紙くずを取り去り、油等の汚れ，ほこりなどをアルコール（エタノール）を軽く含ませたウエスで拭き取り、その後乾いたウエスでホッピングローラ面の乾拭きを行う。 |

# 付　　録

# プリンタ仕様

| 印字方式 | ドットマトリクスインパクト |
|---|---|
| ドットワイヤ径 | 0.2mm |
| ドットワイヤ数 | 24ピン |
| 印字方向 | 両方向印字 |
| 改行時間 | 4.23mm（1/6インチ）改行のとき … 1改行 約50ms |
| 改ページ速度 | 約254mm ／秒（10インチ／秒）… 最小ギャップレンジの場合<br>約152.4mm ／秒（6インチ／秒）… その他のギャップレンジの場合 |
| 紙送り制御 | フォームフィード　機能有り<br>垂直タブ　機能有り<br>ダイレクトスキップ　機能有り |
| 複写能力 | 通常印字モード時　: オリジナル＋5枚（用紙厚合計　0.36mm以下）<br>高複写印字モード時 : オリジナル＋7枚（用紙厚合計　0.48mm以下） |
| 紙送り方向 | フロントパス方式,リアパス方式（オプション） |
| 紙送り方式 | フリクションフィード方式<br>ピントラクタフィード方式 |
| 連続紙ペーパエンド検出方法 | メニュー設定によります。初期値は6.35mm（1/4インチ） |
| 媒体仕様 | 「用紙規格および印字範囲」（237ページ）を参照してください。 |
| インクリボン（沖データ純正品） | カートリッジ : 専用カートリッジ<br>インク　: 黒単色<br>寿　命　: パイカサイズ　高速度ANK 600万字 |
| 外形寸法 | 633mm(W)×611mm(D)×263mm(H)（プラテンノブ, シートスタッカ実装状態）<br>598mm(W)×387mm(D)×235mm(H)（本体のみ） |
| 重　量 | 約19kg |
| 入力電源 | 単相交流　100V±10%（50/60Hz±1Hz） |
| 消費電力 | 動作中 : 最大 約350W（漢字ローカルテスト印字時　約90W）<br>待機時 : 約25W以下（低消費電力モード時　15W以下） |
| 電源コード | 3極ACコード（2極変換プラグ付き）<br>長さ　約2.3m |
| 周囲温度・湿度 | 動作時 : 5℃〜40℃ , 30%〜85%RH<br>ただし、印字精度は測定条件が15℃〜30℃ , 40%〜70%RH<br>保存時 : −20℃〜60℃ , 5%〜95%RH<br>ただし、結露しない状態。保存時は、梱包状態とします。 |
| 塵埃・腐食性 | 一般事務室程度の環境で使用してください。 |
| インタフェース | IEEE-std1284-1994準拠双方向パラレルインタフェース<br>（コンパチブルモード, ニブルモード）<br>USB |
| 標準使用条件 | 平均電源オン時間　200H ／月<br>平均印字時間　50H ／月　（ページ文字密度35%） |
| 印字ヘッド寿命 | 平均3億ストローク（ドットあたり） |
| 装置寿命 | 5年 |
| 騒　音 | 60 dBA [ISO7779印字パターン]（高品位ANK） |

付録

# 書体のサンプル

●明朝

亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或
粟袷安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉囲夷委威尉惟意慰易椅為畏異移維緯
胃萎衣謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢逸稲茨芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤

●ローマン

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{¦}~

●サンセリフ

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{¦}~

●クーリエ

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{¦}~

●OCR-B相当

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{¦}~

●JAN（標準）

4 00123456789 2

●Code 39

* 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 *

●NW-7

a 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 b

●Interleaved 2 of 5

0012345678999

●JAN（短縮）

4012345 2

●カスタマバーコード

●Code 128

$ & ) \ A B C 1 2 C

# 印字仕様

## ●文字種類

### ◆ANK文字

| | |
|---|---|
| 英数字・記号（SP含む） | 95種 |
| カタカナ・記号 | 63種 |
| 罫線素片・符号・漢字 | 63種 |
| 特殊文字 | 79種 |
| 拡張グラフィックス | 48種 |
| 国際文字他 | 7種 |

カタカナ記号，罫線素片・符号・漢字は、スーパスクリプト／サブスクリプトモード，プロポーショナルモードおよび15CPIモードの場合は除きます。

### ◆漢字（JIS第1水準）

| | |
|---|---|
| 漢字 | 2965種 |
| 非漢字 | 524種 |
| 特殊文字 | 83種 |

### ◆漢字（JIS第2水準）

| | |
|---|---|
| 漢字 | 3390種 |

### ◆OCR-B（相当文字）

| | |
|---|---|
| 英数字・記号 | 64種 |

### ◆外字登録可能文字種

188種

### ◆ダウンロード文字登録可能文字種

96種

## ●文字の大きさ

| 文字種 | | 横寸法<br>[mm] | 縦寸法<br>[mm] |
|---|---|---|---|
| 高品位ANK 10CPI | 英数字 | 2.25 | 2.46 |
| | 特殊文字 | 2.25 | 3.45 |
| | カタカナ | 2.25 | 2.60 |
| | 罫線素片 | 2.67 | 2.60 |
| | 拡張グラフィックス | 2.67 | 4.29 |
| 高速度ANK 10CPI | 英数字 | 2.11 | 2.32 |
| | 特殊文字 | 2.11 | 3.45 |
| | カタカナ | 2.11 | 2.60 |
| | 罫線素片 | 2.53 | 2.46 |
| | 拡張グラフィックス | 2.53 | 4.29 |
| | プロポーショナルANK | 1.40〜3.09 | 3.45 |
| 漢字 | 全角・外字 | 3.45 | 3.45 |
| | 半　角 | 1.75 | 3.45 |

## ●印字間隔

| 文字種 | | 間　隔（インチ） |
|---|---|---|
| ANK | 高品位ANK | 1/10,1/12,1/15,1/17.1,1/20 |
| | 高品位スーパスクリプト／サブスクリプト | |
| | プロポーショナルANK | 1/8.6〜1/20 |
| | 縮小プロポーショナル | 1/17.1〜1/40 |
| | プロポーショナル<br>スーパスクリプト／サブスクリプト | 1/12.9〜1/30 |
| | 縮小プロポーショナル<br>スーパスクリプト／サブスクリプト | 1/25.7〜1/60 |
| | 高速度ANK | 1/10,1/12,1/15,1/17.1,1/20 |
| | 高速度スーパスクリプト／サブスクリプト | |
| 漢字 | 全角・外字 | 1/6.7 |
| | 半　角 | 1/13.8 |

## ●1行最大印字数（印字幅設定が136桁の場合）

| 文字種 | | 文字数（文字/行） |
|---|---|---|
| ANK | 高品位ANK | 136, 163, 204, 232, 272 |
| | 高品位スーパスクリプト／サブスクリプト | |
| | プロポーショナルANK | 116〜272 |
| | 縮小プロポーショナル | 233〜544 |
| | プロポーショナル<br>スーパスクリプト／サブスクリプト | 174〜408 |
| | 縮小プロポーショナル<br>スーパスクリプト／サブスクリプト | 349〜816 |
| | 高速度ANK | 136, 163, 204, 232, 272 |
| | 高速度スーパスクリプト／サブスクリプト | |
| 漢字 | 全角・外字 | 90 |
| | 半　角 | 188 |

## ●印字速度

| 文字種 | | 印字速度（文字/秒） | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 通常印字 | 高速印字 | 高複写印字（2パス） |
| 高品位ANK | 10CPI | 120 (108, 96, 84) | 240 (216, 192, 168) | 120 (108, 96, 84) |
| | 12CPI | 144 (129, 115, 100) | 288 (259, 230, 201) | 144 (129, 115, 100) |
| | 15CPI | 180 (162, 144, 126) | 360 (324, 288, 252) | 180 (162, 144, 126) |
| 高速度ANK | 10CPI | 360 (324, 288, 252) | 360 (324, 288, 252) | 360 (324, 288, 252) |
| | 12CPI | 432 (388, 345, 302) | 432 (388, 345, 302) | 432 (388, 345, 302) |
| | 15CPI | 540 (486, 432, 378) | 540 (486, 432, 378) | 540 (486, 432, 378) |
| 漢字(27dot) | | 80 (72, 64, 56) | 160 (144, 128, 112) | 80 (72, 64, 56) |

用紙の厚さによって、印字速度が変化します。
表中のA（B,C,D）は、A=レンジ1〜2, B=レンジ3〜4, C=レンジ5〜7, D=レンジ8以上のときを示しています。

## ●改行間隔

1改行　　1/6インチ、1/8インチ、n/180インチ、n/60インチ

# パラレルインタフェース

## ●コネクタおよびケーブル

### ◆コネクタ

プリンタ側　36極コネクタ（メス）
57RE-40360-730B-D29A（第一電子製）相当品
ケーブル側　36極コネクタ（オス）
57FE-30360-20N(D8)（第一電子製）相当品

### ◆ケーブル

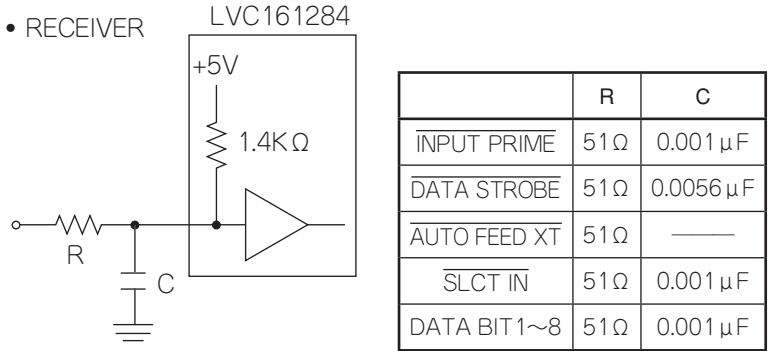
2.5m以下のIEEE Std1284-1994適合ケーブル（または相当品）ケーブルを使用してください。
（シールドされているケーブルを使用してください。）

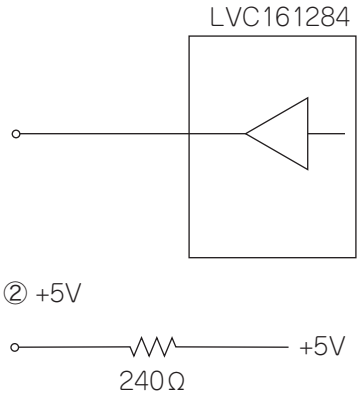
### ◆インタフェースレベル

ローレベル　0.0V～+0.8V
ハイレベル　+2.4V～+5.0V
+2.0V～+5.0V（DATA1～8, BUSY, ACK, SEL, PE, FAULT）
+2.3V～+5.0V（STB, ATFEED, I-PRIME, SLCTIN）

### ◆インタフェース回路

• RECEIVER

| | R | C |
|---|---|---|
| $\overline{\text{INPUT PRIME}}$ | 51Ω | 0.001μF |
| $\overline{\text{DATA STROBE}}$ | 51Ω | 0.0056μF |
| $\overline{\text{AUTO FEED XT}}$ | 51Ω | ——— |
| $\overline{\text{SLCT IN}}$ | 51Ω | 0.001μF |
| DATA BIT1～8 | 51Ω | 0.001μF |

• DRIVER
① BUSY, $\overline{\text{ACK}}$, SELECT, PE, $\overline{\text{FAULT}}$

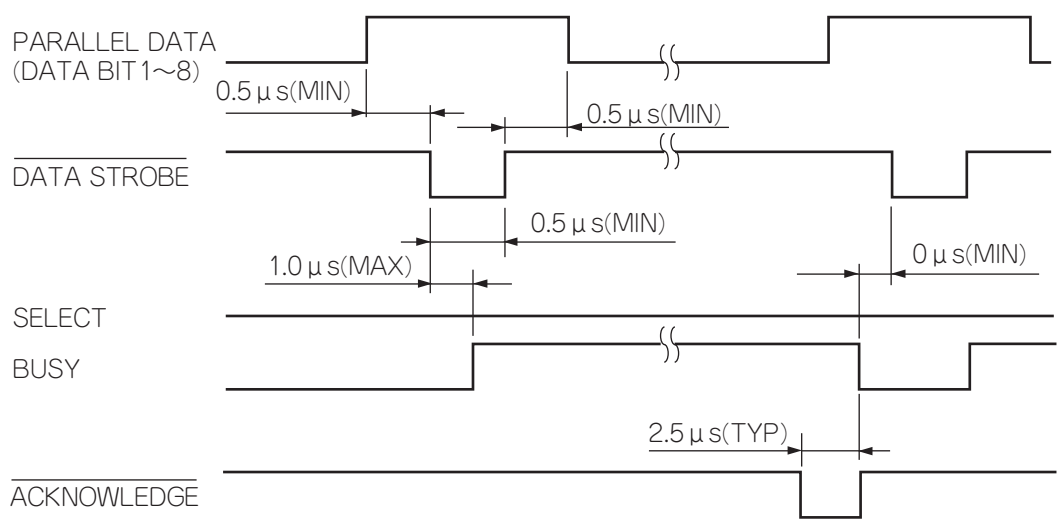
② +5V

## ●パラレルインタフェース信号

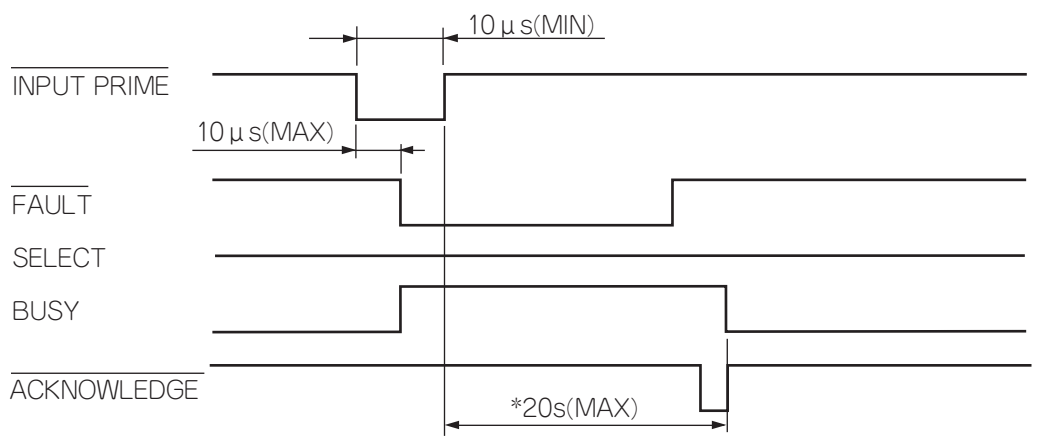
| ピンNo. | 信号名 | 方向 | 機能 |
|---|---|---|---|
| 1 | DATA STROBE | TO PRINTER | DATA BIT1〜8の読み込みパルス信号です。ハイレベルからローレベルに変化するとBUSY信号がハイレベルになり、入力データを読み込みます。 |
| 2 | DATA BIT1 | TO PRINTER | 入力データの1ビット目から8ビット目です。ハイレベルが論理"1", ローレベルが論理"0"を示します。<br>DATA BIT 1 がLSB, DATA BIT 8がMSBです。 |
| 3 | DATA BIT2 | | |
| 4 | DATA BIT3 | | |
| 5 | DATA BIT4 | | |
| 6 | DATA BIT5 | | |
| 7 | DATA BIT6 | | |
| 8 | DATA BIT7 | | |
| 9 | DATA BIT8 | | |
| 10 | ACKNOWLEDGE | FROM PRINTER | 入力データの受信処理完了を示す信号で、DATA STROBEに対する応答パルス信号です。<br>電源投入時は、BUSY信号を最初ローレベルにするときに1パルス出力します。 |
| 11 | BUSY | FROM PRINTER | プリンタがデータ受信可能かどうかを示す信号で、ハイレベル時はデータ受信不可能、ローレベル時はデータ受信可能です。以下の条件でハイレベルになります。<br>①ストローブパルスを受信してから受信データの処理を終了するまで<br>②オフライン状態の間<br>③INPUT PRIME信号の受信または、電源投入時のイニシャル処理を行う間<br>④アラームになった場合 |
| 12 | PAPER END | FROM PRINTER | 用紙終了を検出するとハイレベルになります。ただし、1行の受信途中ではその場でハイレベルにならず、行受信を完了した時点でハイレベルになります。<br>用紙をセットするとローレベルになります。 |
| 13 | SELECT | FROM PRINTER | 常時ハイレベルです。 |

付録

| ピンNo. | 信号名 | 方向 | 機能 |
|---|---|---|---|
| 14 | AUTO FEED XT | TO PRINTER | 電源投入時、この信号がローレベルの場合はCRコードの受信で復帰改行を行います。有効/無効はメニュー設定に従います。 |
| 15 | NC | | 未接続 |
| 16 | 0V | | 信号用アース |
| 17 | CHASSIS GROUND | | プリンタシャーシのグラウンド |
| 18 | ＋5V | | 240Ωの抵抗で+5Vにプルアップされます。 |
| 19～30 | 0V | | ツイストペアリターン用グラウンド（ピンNo.1～12に対応した信号用アース） |
| 31 | INPUT PRIME | TO PRINTER | ローレベルになるとプリンタの制御部が初期状態になります。ローレベルは10μs以上にしてください。なお、本信号は10μs以下でも有効になる事があります。 |
| 32 | FAULT | FROM PRINTER | ローレベルのとき、エラー状態であることを示します。<br>以下の場合にローレベルになります。<br>①オフライン状態の間<br>②アラームになった場合<br>③電源投入時のイニシャル処理を行う間 |
| 33 | 0V | | 信号用アース |
| 34 | ＋5V | | 常時ハイレベル、3.3kΩ抵抗で＋5Vにプルアップされています。 |
| 35 | ＋5V | | |
| 36 | SLCT IN | TO PRINTER | 電源投入時、この信号がローレベルの場合は、DC1/DC3コードは受け捨てます。<br>DC1/DC3コードの有効/無効は、メニュー設定に従います。 |

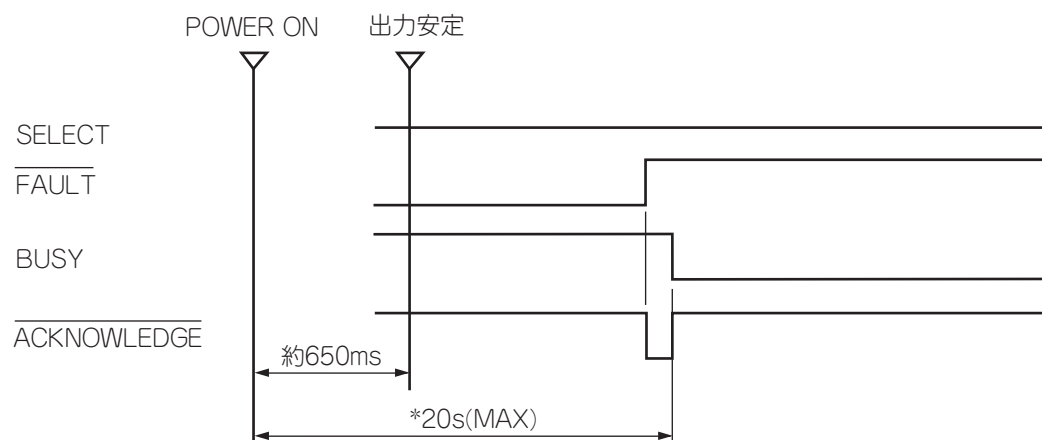
## ●パラレルインタフェースタイムチャート

### ◆データ受信

（ハードウェア設定メニュー「I/Fタイミング：A ー B」の場合）

### ◆INPUT PRIME受信

＊　カットシートフィーダをセットした場合は約25sec(MAX)になります。

◆POWER ON

＊　カットシートフィーダをセットした場合は約25sec(MAX)になります。

付録

# USBインタフェース

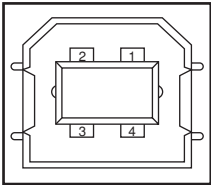
## ●コネクタおよびケーブル

### ◆コネクタ

プリンタ側　type Bレセプタクル（メス）
アップストリームポート
UBB-4R-D14T-1（日本圧着端子製造株式会社）相当品
ケーブル側　type Bプラグ（オス）

### ◆ケーブル

5m以下のUSB2.0仕様のケーブル
（シールドされているケーブル線を使用してください。）

### ◆コネクタピン配列

## ●USBインタフェース信号

| | 信号名 | 機　能 |
|---|---|---|
| 1 | Vbus | 電源（＋5V） |
| 2 | D- | データ転送用 |
| 3 | D+ | データ転送用 |
| 4 | GND | 信号グランド |
| Shell | Shield | |

## ●仕様

### ◆基本仕様

USB

注　すべてのUSBデバイスとの接続を保証するものではありません。

### ◆電力制御

セルフパワーデバイス

### ◆伝送モード

フルスピード（最大12Mbps+0.25%）

# プリンタの初期状態

電源投入時, ソフトウェアリセットコマンド受信、パラレルインタフェースのINPUT PRIME信号または、USBインタフェース接続時SOFT_RESET要求受信により、プリンタは以下に示す初期状態になります。

※印はメニュー設定の項目に従います。

| 項目 | 初期状態 |
|---|---|
| 印字ヘッド位置 | センタリング位置 |
| MSBコントロール | 解除 |
| 上位側コントロールコード指定 | 解除 |
| 印字方向 | 両方向印字 |
| 印字色 | 黒色のみ |
| ホリゾンタルタブ位置 | 左端より8文字毎に設定 |
| ライトマージン位置 | ※ |
| レフトマージン位置 | 0桁目に設定 |
| 印字位置そろえ設定 | 左そろえに設定 |
| 1改行量 | 1/6インチ |
| 連続紙フォーマットページ長 | ※ |
| TOF位置 | 現在の印字位置をTOF位置にします。 |
| ミシン目スキップ長 | ※ |
| VFUタブ位置設定 | 設定位置なし |
| VFUチャネル選択 | チャネル0を選択 |
| ANK文字モード | 10CPIモード。プロポーショナルおよびスーパスクリプト/サブスクリプトモードは解除 |
| 国際文字選択 | 日本語 |
| ダウンロード文字セットの指定 | 解除 |
| 内蔵文字セットの選択 | ※ |
| ANK文字の書体 | ※ |
| 漢字モード | ※ |

※印はメニュー設定の項目に従います。

| 項目 | 初期状態 |
|---|---|
| ANK縮小印字 | 解除 |
| ANK文字間スペース量 | 0ドット |
| ANKアンダライン印字 | 解除 |
| ANK文字品位 | ※ |
| ANK ／漢字印字モード | 自動解除付横2倍拡張<br>横2倍拡張印字<br>縦2倍拡張印字<br>イタリック印字<br>強調印字<br>2度打ちモード<br>特殊装飾文字<br>（以上）解除 |
| 漢字全角文字間スペース量 | 左：0ドット、右：3ドット |
| 半角文字間スペース量 | 左：0ドット、右：2ドット |
| 半角文字間スペース量補正 | 解除 |
| 漢字アンダライン印字 | 解除 |
| 漢字高速印字モード | 解除 |
| 漢字縦書き／横書き | 横書き |
| 半角縦書き組み文字 | 解除 |
| ダウンロード文字 | オールクリア（ただし、I-PRIME、SOFT_RESET要求［USB 接続時］、ソフトウェアリセットコマンドによる初期化の場合は変化しません） |
| 文字セットコピー | 無し（ただし、I-PRIME、SOFT_RESET要求［USB 接続時］、ソフトウェアリセットコマンドによる初期化の場合は変化しません） |
| 外字 | オールクリア（ただし、I-PRIME、SOFT_RESET要求［USB 接続時］、ソフトウェアリセットコマンドによる初期化の場合は変化しません） |
| イメージ転送コマンド変換 | 変換なし |
| 書式モード | ※ |

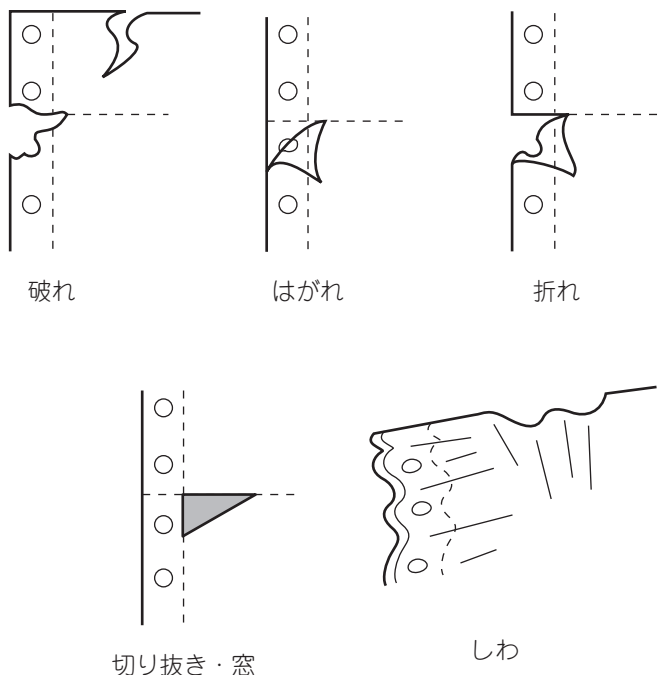
# 用紙規格および印字範囲

## ●用紙に関する注意

### 使用禁止の用紙

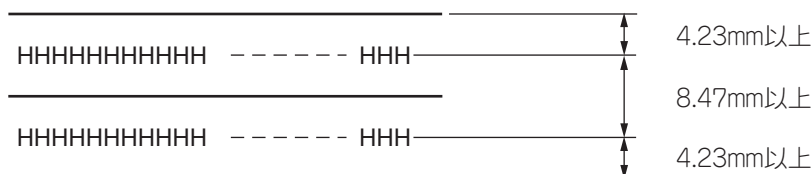
次のような用紙を使用すると、紙送りが不安定になり、紙づまりや紙折れ，印字ずれ、また、最悪の場合はワイヤドットのピン折れを起こす場合があるため、使用しないでください。

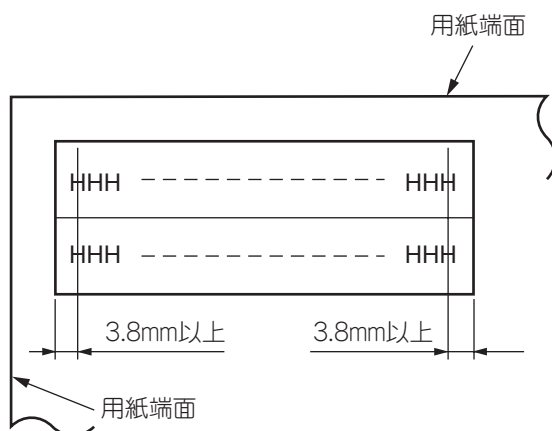
- 極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- 小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- 切り抜き部分や窓のある紙
- ピン，クリップ，ホッチキスの針などの金属の付いている紙
- のり付け面が露出しているもの，波打っているもの，はがれているもの
- 浮き彫りのあるもの
- 連続用紙の横ミシン目以外で折りたたんだもの
- 複写紙においてオリジナルと複写紙で大きさの異なるもの、または部分的に複写枚数が異なるもの
- 端または角が破れていたり折れている紙
- 切手、シールなどを貼り付けたはがきや封筒

付録

## ●プレプリント用紙

罫線や表などが入った用紙に印刷すると、用紙送り精度や用紙セットのばらつきにより、罫線や表の枠からはみ出して印刷されることがあります。このようなプレプリント用紙を設計する場合は次の点に注意してください。

- 事前印刷する場合は、あらかじめ十分なテストを行い、印刷品質について問題のないことを確認してください。
  （事前印刷部分が印刷禁止領域内にある場合、特に注意が必要です。印字部の反射率が60%以下になりますと、（特に黒色系）プリンタ内の用紙検出センサが検出しない場合があります。）
- 事前印刷用紙に印刷インクのべとつきがあったり、インクの乾燥が不完全であったために、用紙どうしが付着しているようなことがあってはなりません。
- 事前印刷する場合、最大印字可能範囲ぎりぎりに印字位置がくるような用紙設計は避けてください。

### ◆横罫線について

- 文字の行間隔は8.47mm（1/3インチ）以上とってください。
- 文字中心から罫線まで上下とも4.23mm以上とってください。

### ◆縦罫線について

- 縦罫線は文字中心から3.8mm以上とってください。

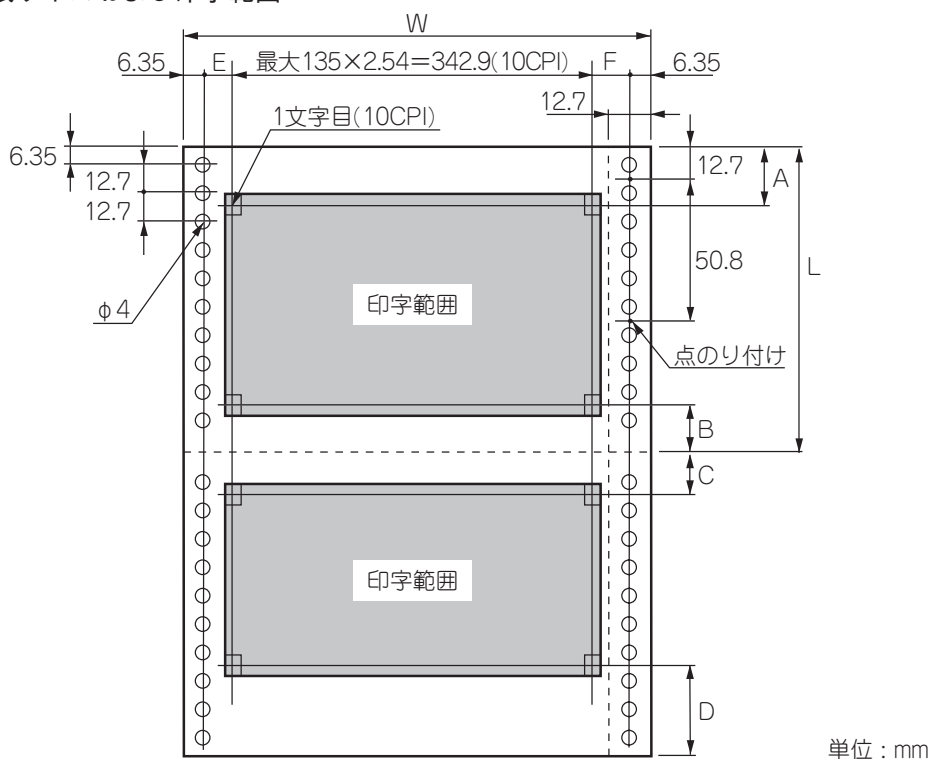
罫線のプレ印刷は用紙の端面を基準とし平行度0.1°以下にしてください。

## ●用紙の保管条件（JIS X 6195による）

用紙は温度10〜30℃，相対湿度30〜70%の環境条件で保管してください。
また、保管場所と使用場所との間で環境条件に差がある場合は、使用場所の環境になじませてから使用してください。

## ●連続紙（スプロケット紙）

連続紙はスプロケット孔付きの折りたたみ用紙です。

### ◆用紙サイズおよび印字範囲

| 記号 | 名称 | 規格値 |
|---|---|---|
| W | 用紙幅 | 101.6～406.4mm(4～16インチ) |
| L | 用紙長さ | 76.2～355.6mm(3～14インチ)<br>ただし、25.4mm(1インチ)の整数倍で、279.4mm(11インチ)を標準にします。 |
| A | 頭出し位置 | 6.35mm(1/4インチ)以上　メニュー設定によります。 ✎ |
| B | 印字禁止範囲 | 6.35mm(1/4インチ) ✎ |
| C | 印字禁止範囲 | 6.35mm(1/4インチ) ✎ |
| D | 用紙終了検出範囲 | 6.35mm(1/4インチ)　メニュー設定によります。 |
| E | 1文字目印字位置 | 12.7～25.4mm(1/2～1インチ)<br>用紙幅16インチのときは25.4mm(1インチ) |
| F | 印字禁止範囲 | 12.7mm(1/2インチ) |

✎ 印字精度保証は19.05mm(3/4インチ)以上です。（メニュー設定項目を参照してください）

- 印字範囲を超えて印字した場合、印字品質を損ねたり、装置に悪影響を及ぼすことがありますので、印字フォーマットを設定する際は注意してください。
- 横ミシン目は必ずスプロケット孔間の中央に設けてください。横ミシン目をスプロケット孔の近くに設けると用紙がはがれやすくなり、キャリッジ部が引っ掛かることがあります。
- 用紙の裏面は白色（反射率60%以上）とします。
- 用紙残120mm以下の場合は、用紙退避できません。
- 最終ページの印字精度は保証しません。
- とじ孔，コーナカットのある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100秒（JIS P 8119）以下とします。

### ◆用紙連量

○単　紙

- 用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）です。
- 通常印字モードのとき、用紙連量45〜110kg（52〜128g/m$^2$）の用紙が使用可能です。
- 高複写印字モードのとき、70〜110kg（81〜128g/m$^2$）の用紙が使用可能です。
  薄紙を高複写印字モードで印字すると、印字によるカールや波打ちが発生し、印字汚れや，横罫線印字で破れが発生する場合があります。

○複写紙

- 用紙の種類は、感圧紙, 裏カーボン紙, インタリーブ紙です。
- 複写紙の用紙連量は、34kg（40g/m$^2$）を標準とし、インタリーブ紙に使用するカーボン紙の厚さは0.03mm以下です。
- 通常印字モードのとき、複写紙の用紙連量は、34kg（40g/m$^2$）を標準とし、インタリーブ紙に使用するカーボン紙の厚さは0.03mm以下です。
  複写枚数は、最大6枚（オリジナル＋5枚）です。ただし、インタリーブ紙を使用する場合は、最大5枚（オリジナル＋4枚）です。また、全体の用紙厚さは0.36mmを超えないようにしてください。
- 高複写印字モードのとき、複写枚数は最大8枚（オリジナル+7枚）です。ただしインタリーブ紙を使用する場合は、最大6枚（オリジナル+5枚）です。また、全体の用紙厚さは、0.48mmを超えないようにしてください。
  オプションのリアピントラクタの場合は、通常印字モード, 高複写印字モードとも最大6枚（オリジナル＋5枚）です。全体の用紙厚さは0.36mmを超えないようにしてください。

用紙連量は、単位面積（788×1091mm）の大きさに換算して、1000枚分の重量をkgで表わしたものです。

### ◆最大用紙厚さ

0.36mm（高複写印字モードのとき　0.48mm）
オプションのリアピントラクタは0.36mm

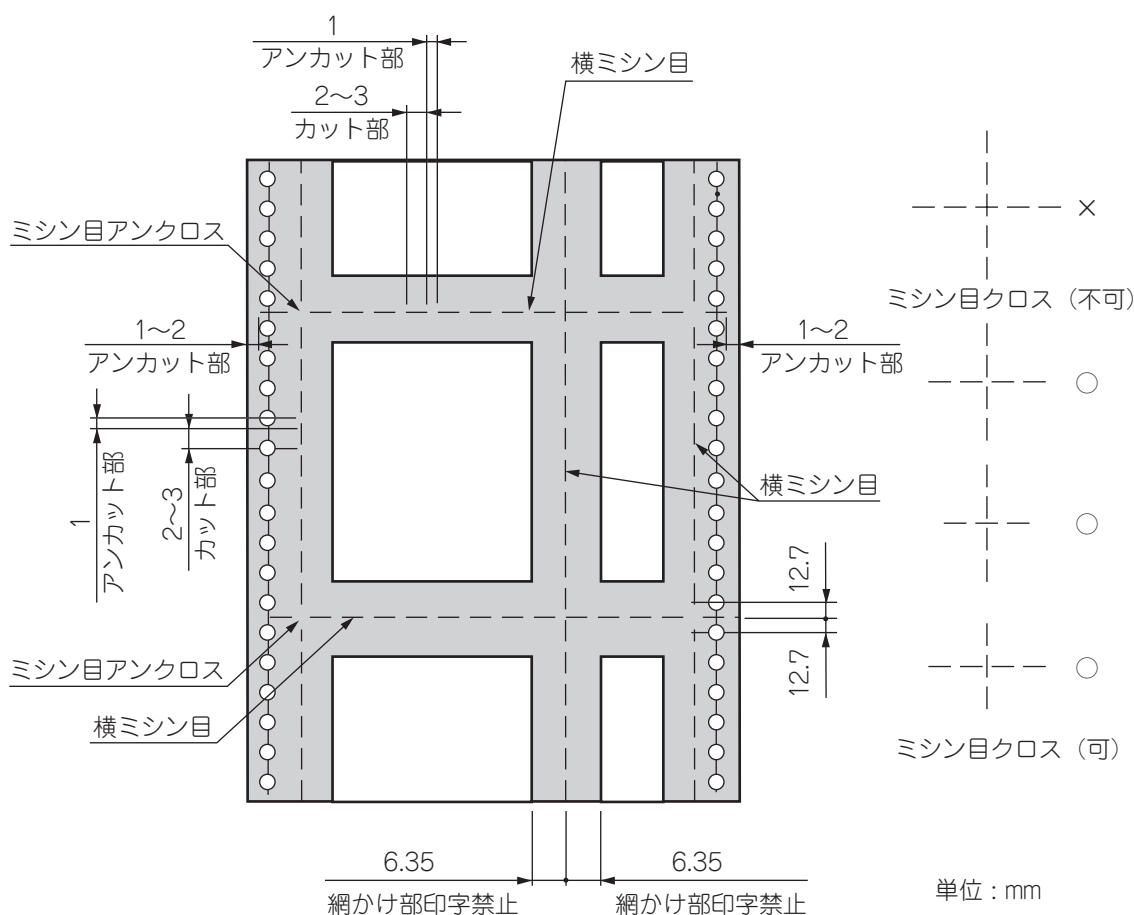
付録

### ◆ミシン目

- ミシン目の寸法は、最高速度の用紙送りに耐え、かつ容易に切断できるものを使用してください。
- ミシン目のアンカット部は確実につながっていて、すべての箇所で破れていないことが必要です。特に、用紙折り曲げ部は破れやすいので、注意してください。
- ミシン目のカット寸法の比率は、紙質, 用紙連量, 複写枚数などによって適当な値が選ばれますが、下記の値を推奨します。

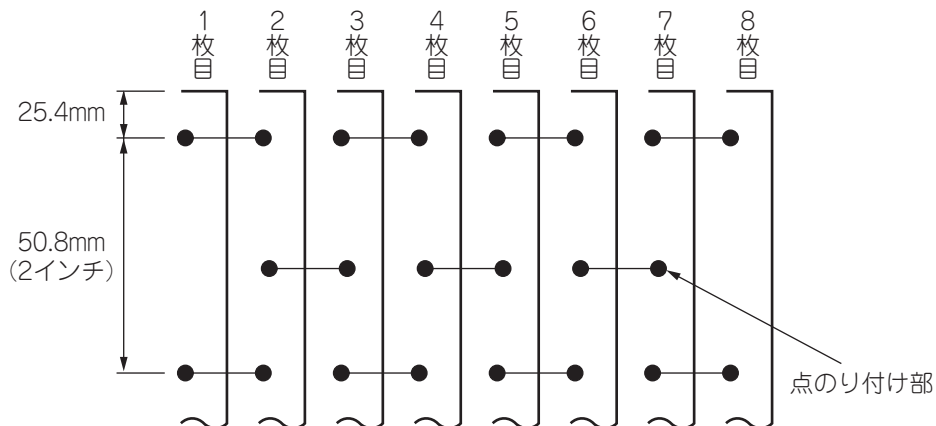
| | 複写枚数 | カット部の長さ | アンカット部の長さ |
|---|---|---|---|
| 横ミシン目 | 1～6枚 | 2～3mm | 1mm |
| 縦ミシン目 | 1～6枚 | 3mm | 1mm |

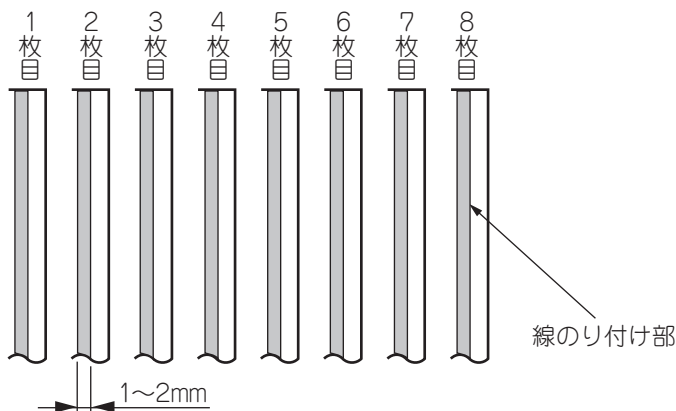
- 横ミシン目　用紙の両端1～2mmには、カット部を入れないでください。
  上下6.35mm（1/4インチ）以内は、印字しないでください。
  横ミシン目は必ずスプロケット孔間の中央に設けてください。
- 縦ミシン目　印字範囲内に縦ミシン目が入る場合は､その左右6.35mm（1/4インチ）以内は印字しないでください。
  横ミシン目との交差部は用紙のはがれを防ぐため、カット部どうしを交差させないでください。

付録

◆複写紙の重ね合わせの固定方法

複写紙の重ね合わせの固定方法は、点のり付け、線のり付け、または紙ホッチキスとし、両端ともに同じとじ方とします。
ただし、層間ずれ（1枚目と最下層の印字ずれ）を防止したいときは、点のり付け、または線のり付けとします。（紙ホッチキスの場合、層間ずれが3mm程度発生する場合があります）
金属ホッチキスの使用は厳禁です。

○点のり付け

- 点のり付けは両端点のり付けとし、片端とじは不可とします。
- 点のり付けは均一であり、その大きさはφ3～φ5mmとします。
- 点のり付け部は必ずプレスを行い、浮き上がりを防いでください。また、著しいしわのあるものは使用しないでください。用紙送り精度の乱れの原因になります。
- 点のり付けの位置は、図のとおりにしてください。
- 横ミシン目と1つ目の点のり位置は25.4mm以下とします。
- 点のり付けは、用紙ごとに千鳥状にしてください。

○線のり付け

- 線のり付け部は均一であり、幅は1～2mmとします。
- 線のり付け部は必ずプレスを行い、浮き上がりを防いでください。また、著しいしわのあるものは使用しないでください。
- のりは用紙端よりはみ出ないようにしてください。
- のり付け部が固い場合、用紙送り精度の乱れなど発生しやすくなりますので注意してください。

○紙ホッチキス

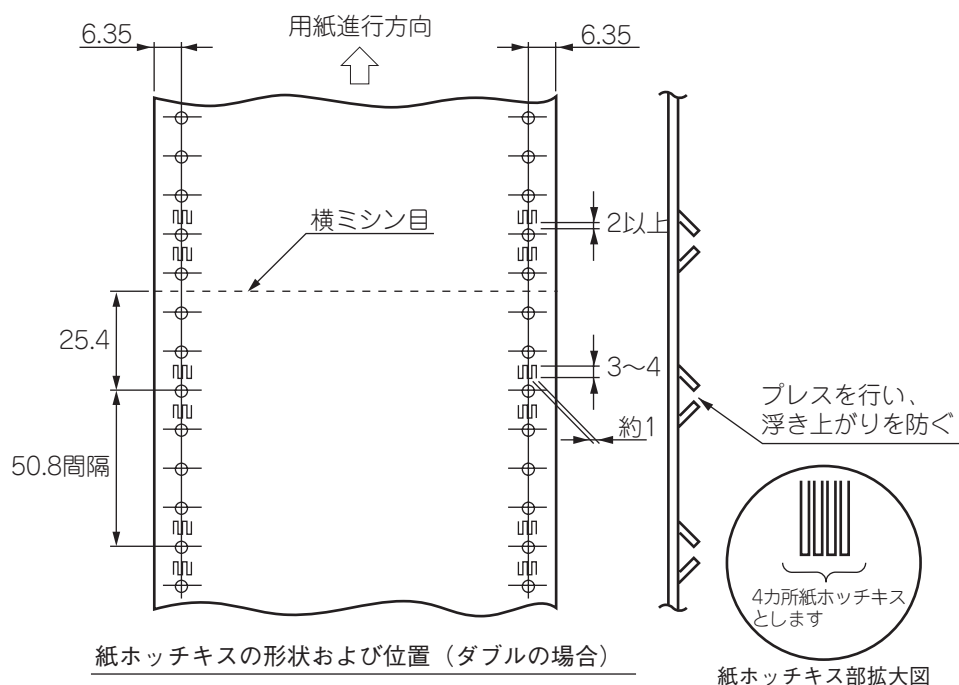
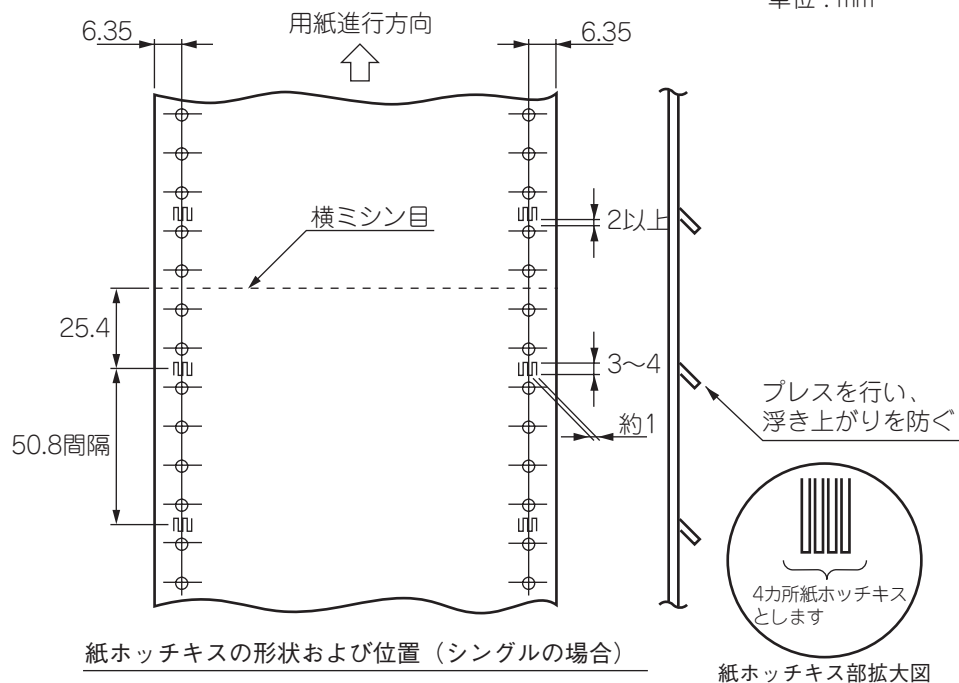
- 紙ホッチキスは両端紙ホッチキスとし、片端とじは不可とします。
- 紙ホッチキスは必ず用紙の表側から行い、表面には何も出ないようにしてください。
- 紙ホッチキス部は確実にかみ合っていて、浮き上がりなどのないようにしてください。
- 紙ホッチキス後プレスを行い、浮き上がりを防いでください。
- 紙ホッチキスは、ダブルホッチキスを推奨します。シングルホッチキスは使用可能ですが層間ズレが発生する場合があります。

単位：mm

紙ホッチキスの形状および位置（シングルの場合）

紙ホッチキス部拡大図

紙ホッチキスの形状および位置（ダブルの場合）

紙ホッチキス部拡大図

### ◆複写紙の組み合わせ

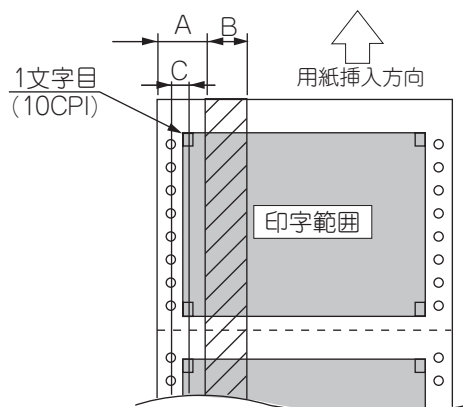
複写紙における使用可能な用紙連量の組み合わせを下表に示します。
ベース紙（いちばん下側の用紙）は、他の用紙より厚いか、もしくは同等の厚さの用紙を使用した組み合わせとします。
表に示した連量の範囲以外も使用可能ですが、用紙送り精度が悪くなるため、保証外とします。

| | 通常印字モード（リアピントラクタ） | | | | | 高複写モード（フロントトラクタ） | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 最大複写枚数 | 2枚 | 3枚 | 4枚 | 5枚 | 6枚 | 7枚 | 8枚 |
| 1枚目 | 34～55kg | 34～43kg | 34kg | 34kg | 34kg | 34kg | 34kg |
| 2枚目 | 34～55kg | 34～43kg | 34kg | 34kg | 34kg | 34kg | 34kg |
| 3枚目 | | 34～43kg | 34kg | 34kg | 34kg | 34kg | 34kg |
| 4枚目 | | | 34～43kg | 34kg | 34kg | 34kg | 34kg |
| 5枚目 | | | | 34～43kg | 34kg | 34kg | 34kg |
| 6枚目 | | | | | 34～43kg | 34kg | 34kg |
| 7枚目 | | | | | | 34～43kg | 34kg |
| 8枚目 | | | | | | | 34～43kg |

付
録

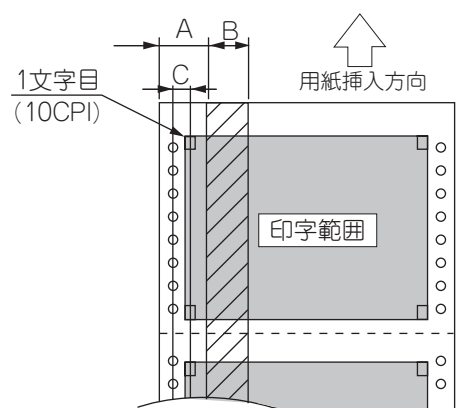
## ◆プレプリント禁止範囲

事前印刷された用紙に印字するときは、印刷済の部分が下記のプレプリント禁止範囲にかからないよう注意してください。
プレプリント禁止範囲内の反射率は60%以上とします。

○フロントトラクタの裏面印刷禁止範囲

単位：mm

| A | B | C |
|---|---|---|
| 33 | 44 | — |
| 43 | 14 | 12.7のとき |

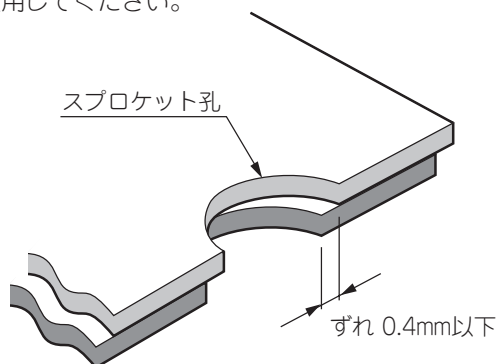
▨：プレプリント禁止領域

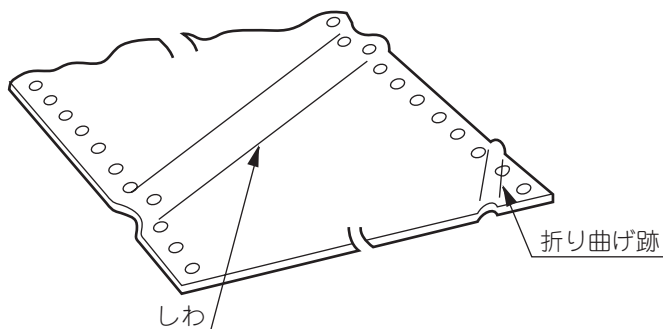
○リアピントラクタの裏面印刷禁止範囲

単位：mm

| A | B | C |
|---|---|---|
| 42 | 44 | — |
| 52 | 14 | 12.7のとき |

▨：プレプリント禁止範囲

## ◆スプロケット孔

スプロケット孔の形状は真円とし、孔の縁は歯状でも可とします。ただし、切口はだれていないことが必要です。
複写紙重ね合わせ時のずれによるスプロケット孔の層間ずれは0.4mm以下のものを使用してください。

◆しわ, 折り曲げ跡

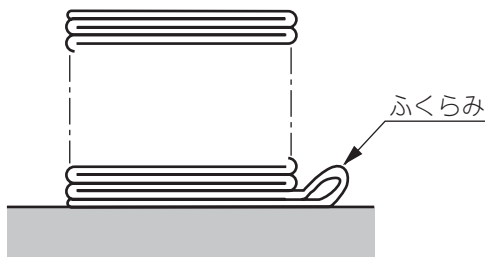
用紙には、しわや折り曲げ跡のないことが必要です。特に新しい用紙の場合、最初と最後の数ページは、しわや折り曲げ跡が発生しやすいので、使用しないようにしてください。用紙送り精度の乱れ, カールやジャム発生の原因になります。

◆用紙先端, 下端のしわ, カール, 折れ, めくれ

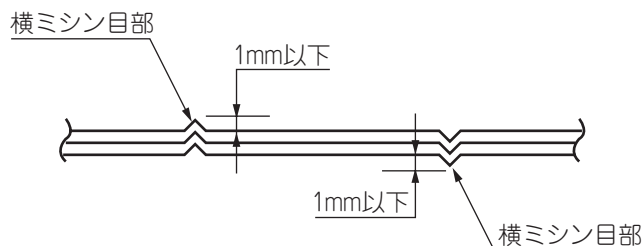
用紙先端、下端にしわ、カール、折れ、めくれがある場合は、印字品質の低下や紙づまりが発生しやすいので使用しないでください。特に新しい用紙の場合、最初の数ページ〜十数ページはカール等が発生している場合があるので使用しないようにしてください。

カール, 折れ, 曲がりの規定は257ページを参照ください。



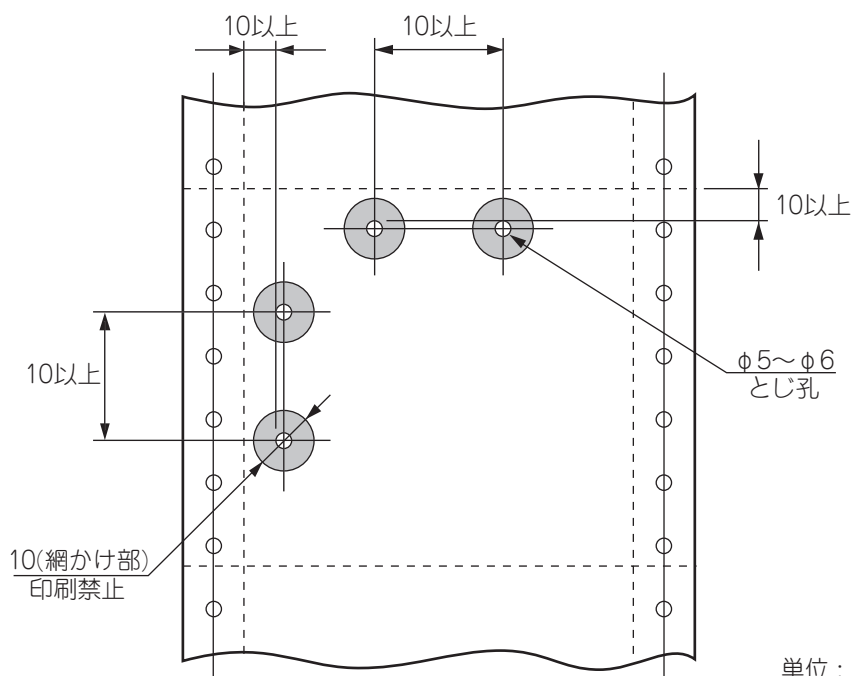
◆用紙折り曲げ部

用紙は横ミシン目を用いて、交互に折りたたまれていることが必要です。用紙折り曲げ部が下の図のようにふくらんでいるものは、用紙送りに悪影響を与えるので使用しないでください。

◆横ミシン目部の盛り上がり

複写紙において、横ミシン目部に盛り上がりがある場合は、印字品質が低下したり、紙づまりが発生しやすくなります。
盛り上がり高さは1mm以下になるようにしてください。

◆とじ孔

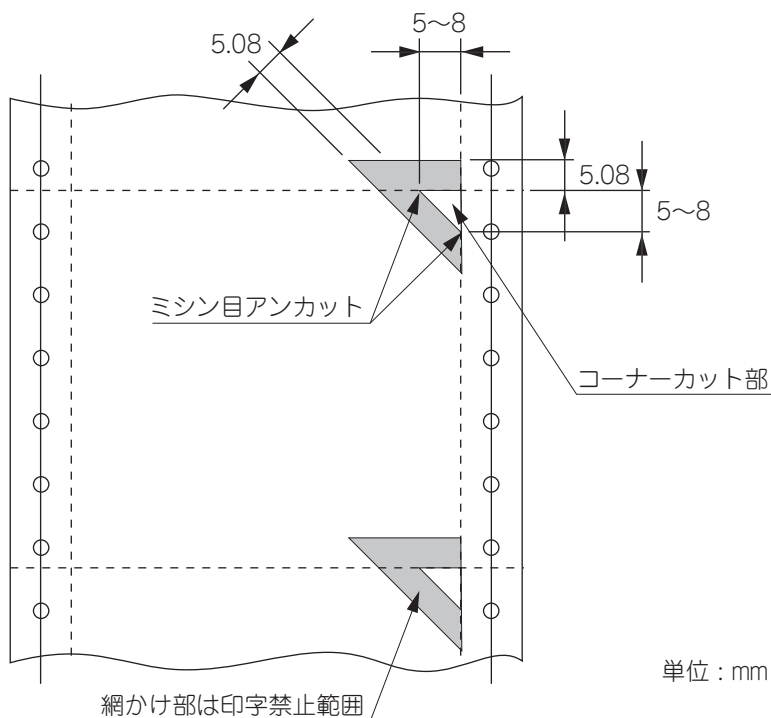
注 とじ孔のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にとじ孔のある用紙の使用時の注意点を示します。

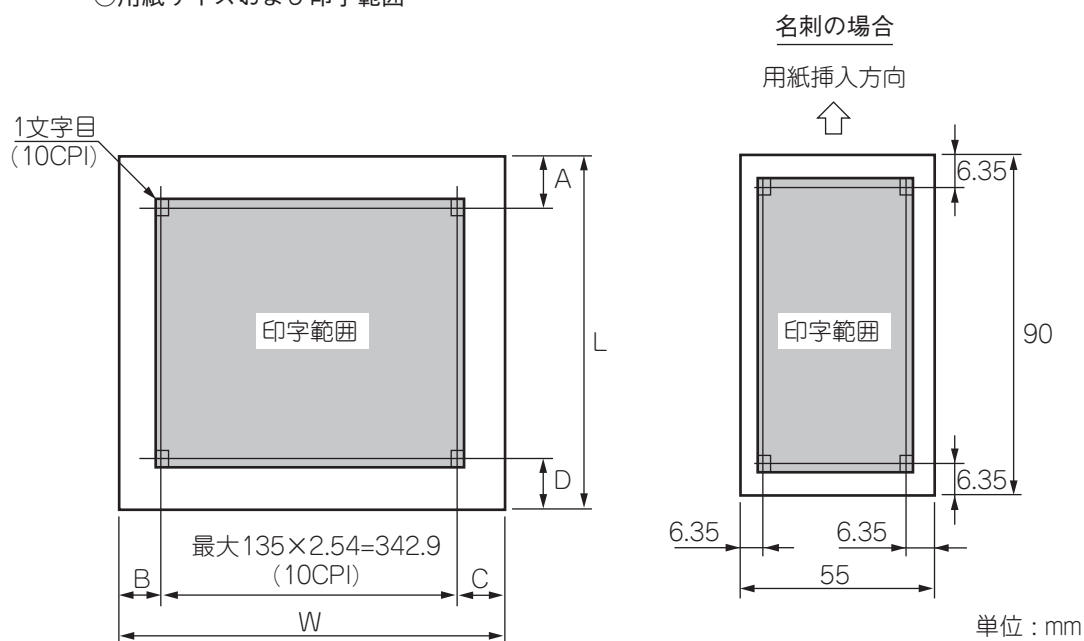
- とじ孔の周囲5mm以内は印字しないでください。
- とじ孔のパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- とじ孔が用紙検出センサにかかると用紙終了と判断するため、注意してください。また、紙厚測定エラーになることがあります。
- とじ孔の縁は盛り上がっていないことを確認してください。
  盛り上がっている場合は、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- とじ孔の位置は、下図によります。

◆コーナーカット

コーナーカットのある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にコーナーカットのある用紙の使用時の注意点を示します。

- コーナーカット部の下図網かけ部範囲内には印字しないでください。
- コーナーカットのパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- コーナーカット部周囲には用紙のはがれを防ぐため、縦／横ミシン目のカット部を接続しないでください（アンカット）。用紙はがれの原因となり、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- コーナーカット部が用紙検出スイッチにかかると、用紙終了あるいは用紙ジャムと判断するため注意してください。また、紙厚測定エラーになることもあります。
- コーナーカットの位置は、下図によります。

## ●単票

### ◆単紙

○用紙サイズおよび印字範囲

用紙サイズはB5, B4, A4を標準とします。

| 記号 | 名称 | 規格値 |
|---|---|---|
| W | 用紙幅 | 55〜420mm(2.2〜16.5インチ)<br>オプションのカットシートフィーダを使用した場合<br>100〜364mm(3.9〜14.3インチ) |
| L | 用紙長さ | 70〜420mm(2.8〜16.5インチ) ✎<br>テーブル排出の場合、用紙長さ297mm以下とします。<br>オプションのカットシートフィーダを使用した場合<br>前方取り付け時　90〜364mm(3.5〜14.3インチ)<br>後方取り付け時　100〜364mm(3.9〜14.3インチ) |
| A | 頭出し位置 | 6.35mm(1/4インチ)以上　メニュー設定によります。 ✎✎ |
| B | 1文字目印字位置 | 6.35mm(1/4インチ)以上<br>ただし、A3横の場合31mm以上です。 |
| C | 印字禁止範囲 | 6.35mm(1/4インチ) |
| D | 印字禁止範囲 | 6.35mm(1/4インチ) |

✎　A4縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

✎✎　印字精度保証は6.35mm（1/4インチ）以上です。（メニュー設定項目を参照してください）

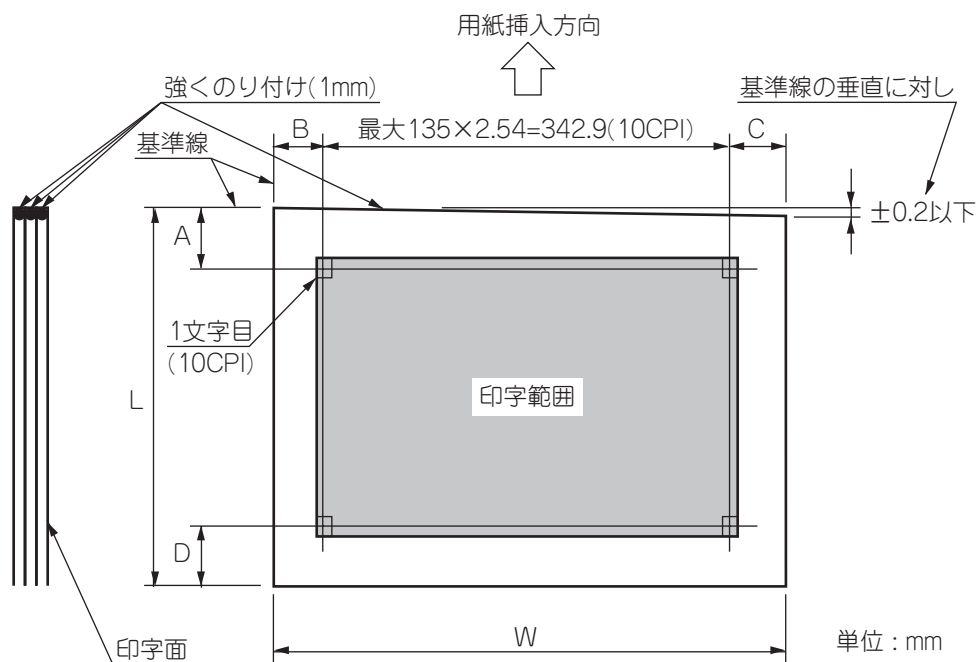
○用紙連量

- 用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）です。
- 通常印字モードのとき、用紙連量45～180kg（52～209g/$m^2$）の用紙が使用できます。
- 高複写印字モードのとき，70～180kg（81～209g/$m^2$）の用紙が使用できます。
  薄紙を高複写印字モードで印字すると、印字によるカールや波打ちが発生し、印字汚れや横罫線印字で破れが発生する場合があります。

- カットシートフィーダでは用紙連量55～135kg（64～156g/$m^2$）の用紙が使用できます。
- カットシートフィーダで高複写印字モードのとき、70～135kg（81～156g/$m^2$）の用紙の利用ができます。

- 45kg（52g/$m^2$）の用紙は剛性が少ないため、スタッキングは保証しません。
- 用紙の縦横比は、1：2／3～2とします。
- 用紙の表面, 裏面は白色（反射率60%以上）とします。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- とじ孔のある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100秒（JIS P 8119）以下とします。

### ◆複写紙

○用紙サイズおよび印字範囲

用紙サイズはB5, B4, A4を標準とします。

| 記号 | 名称 | 規格値 |
|---|---|---|
| W | 用紙幅 | 90～420mm(3.5～16.5インチ)<br>オプションのカットシートフィーダを使用した場合<br>　100～364mm(3.9～14.3インチ) |
| L | 用紙長さ | 70～420mm(2.8～16.5インチ) ✎<br>テーブル排出の場合、用紙長さ297mm以下とします。<br>オプションのカットシートフィーダを使用した場合<br>　前方取り付け時　90～364mm(3.5～14.3インチ)<br>　後方取り付け時　100～364mm(3.9～14.3インチ) |
| A | 頭出し位置 | 6.35mm(1/4インチ)以上　メニュー設定によります。✎✎ |
| B | 1文字目印字位置 | 6.35mm(1/4インチ)以上<br>ただし、A3横の場合は31mm以上です。 |
| C | 印字禁止範囲 | 6.35mm(1/4インチ) |
| D | 印字禁止範囲 | 6.35mm(1/4インチ) |

✎　A4縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

✎✎　印字精度保証は、6.35mm（1/4インチ）以上です。（メニュー設定項目を参照してください）

○用紙連量

- 用紙連量34kg（40g/m²）の裏カーボン紙、または感圧紙を標準とします。
- 通常印字モードのとき、複写枚数は、最大6枚（オリジナル＋5枚）です。また、全体の用紙厚さは0.36mmを超えないようにしてください。
- 高複写印字モードのとき、複写枚数は、最大8枚（オリジナル+7枚）です。また、全体の用紙厚は0.48mmを超えないようにしてください。
- カットシートフィーダでは、通常印字モード，高複写印字モードとも複写枚数は最大5枚（オリジナル+4枚）です。また、全体の用紙厚さは0.325mmを超えないようにしてください。

- 用紙の縦横比は、1：2／3〜2とします。
- テーブルから挿入した用紙はシートスタッカに排出してください。カットシートフィーダから吸入した場合は
  前方取り付け時　シートスタッカに排出してください。
  後方取り付け時　テーブルに排出してください。
  逆の場合、用紙の種類、印字の内容によりカールしやすく、用紙の折れやジャムになる可能性があります。
- 用紙の表面，裏面は白色（反射率60％以上）とします。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- 挿入方向の上端にのり付けしてください。
- とじ孔のある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100秒（JIS P 8119）以下とします。

### ◆複写紙の組み合わせ

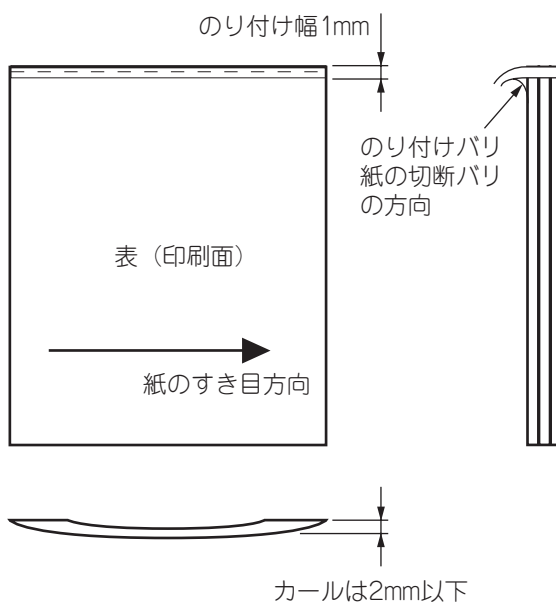
複写紙における使用可能な用紙連量の組み合わせを下表に示します。
1枚目とベース紙（いちばん下側の用紙）は、他の用紙より厚いか、もしくは同等の厚さの用紙を使用した組み合わせとします。
**表に示した連量の範囲以外も使用可能ですが、用紙送り精度が悪くなるため、保証外とします。**

| 最大複写枚数 | テーブル挿入通常印字モード | | | | | テーブル挿入<br>高複写モード | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | カットシートフィーダ | | | | | | |
| | 2枚 | 3枚 | 4枚 | 5枚 | 6枚 | 7枚 | 8枚 |
| 1枚目 | 43〜55kg<br>(34kg) | 43〜55kg<br>(34kg) | 43〜55kg<br>(34kg) | 43〜55kg<br>(34kg) | 43〜55kg<br>(34kg) | 43〜55kg<br>(34kg) | 43〜55kg<br>(34kg) |
| 2枚目 | 43〜55kg<br>(34kg) | 34kg | 34kg | 34kg | 34kg | 34kg | 34kg |
| 3枚目 | | 43〜55kg<br>(34kg) | 34kg | 34kg | 34kg | 34kg | 34kg |
| 4枚目 | | | 43〜55kg<br>(34kg) | 34kg | 34kg | 34kg | 34kg |
| 5枚目 | | | | 43〜55kg<br>(34kg) | 34kg | 34kg | 34kg |
| 6枚目 | | | | | 43〜55kg<br>(34kg) | 34kg | 34kg |
| 7枚目 | | | | | | 43〜55kg<br>(34kg) | 34kg |
| 8枚目 | | | | | | | 43〜55kg<br>(34kg) |

(　)内の用紙も使用可能です

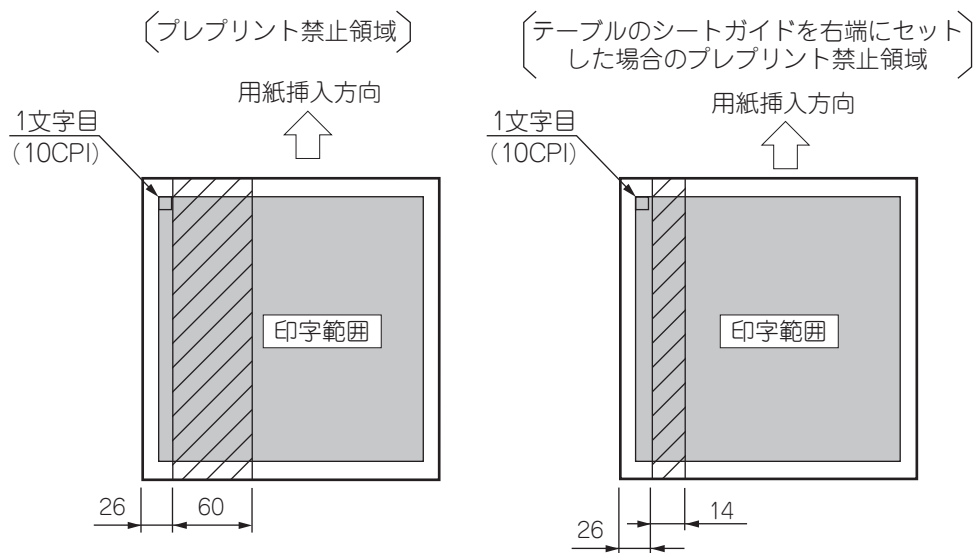
付
録

### ◆複写紙の重ね合わせの固定方法

- 複写紙の重ね合わせ固定方法は用紙挿入方向の先端側に幅1mmの線のり付けとします。（天のり）
- のり付け部は強くのり付けし、必ずプレスを行い、浮き上がりを防止してください。
- のりは、用紙端よりはみ出さないようにしてください。
- のり付け部には著しいしわやばりがあってはなりません。

- すき目方向とのり付け方向が垂直になった場合、のり付け部の波うちが多く発生します。
- のり付けバリおよび紙の切断バリは極力少なく押さえてください。バリの方向は表面方向としてください。
- カールを防ぐため、保管方法に注意してください。
  カールは2mm以下とします。
- のり付け幅は基本的に1mmとしてください。
- 印字領域内には、とじ孔は開けないでください。

## ◆裏面プレプリント禁止範囲

事前印刷された用紙に印字するときは、下記のプレプリント禁止範囲にかからないよう注意してください。
プレプリント禁止範囲内の反射率は60％以上とします。

### 手差しの場合

裏面プレプリント禁止範囲

単位：mm

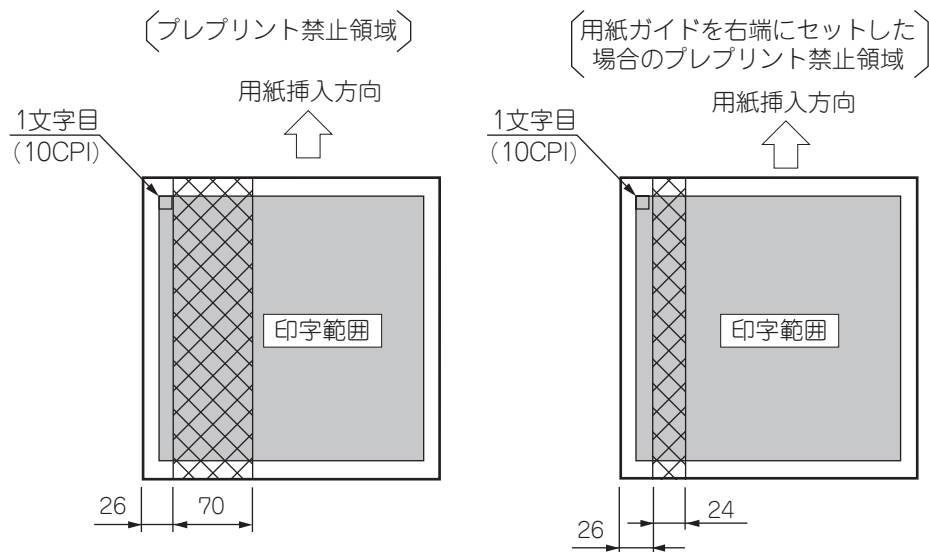
### カットシートフィーダの場合

プレプリント禁止領域

用紙挿入方向

1文字目
(10CPI)

印字範囲

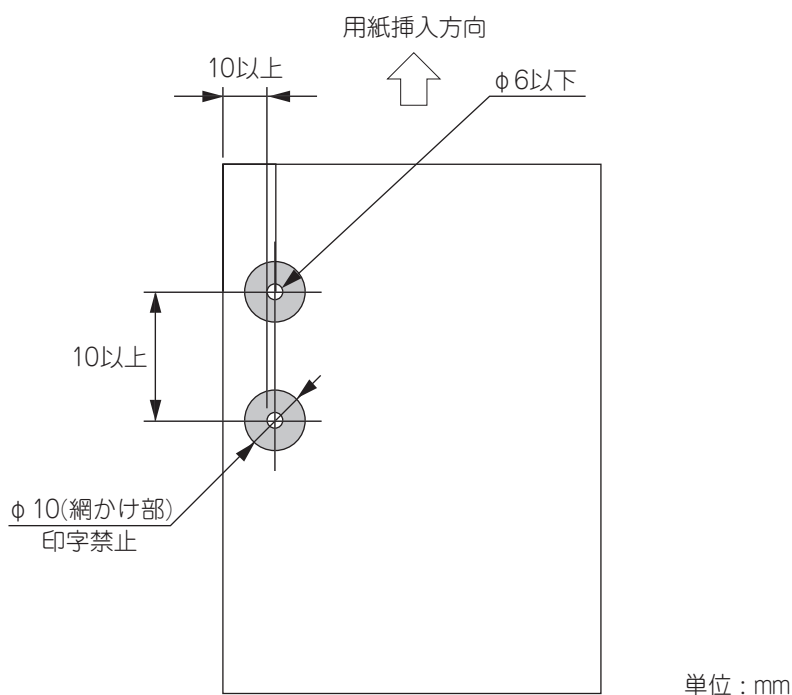
26　70

両面プレプリント禁止範囲

単位：mm

◆とじ孔

とじ孔のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にとじ孔のある用紙の使用時の注意点を示します。

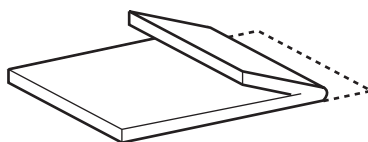
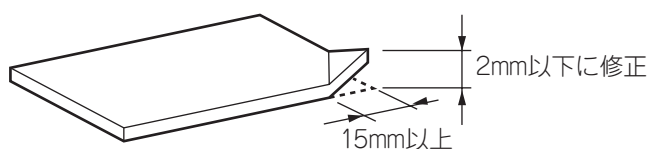
- とじ孔の周囲5mm以内は印字しないでください。
- とじ孔のパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- とじ孔が用紙検出センサにかかると用紙終了と判断するため、注意してください。
- とじ孔の縁は表面側に盛り上がっていないことを確認してください。盛り上がっている場合は、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- とじ孔の位置は、下図によります。

◆ミシン目

ミシン目のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にミシン目のある用紙の使用時の注意点を示します。

- ミシン目の仕様は連続紙のミシン目の項目に準じます。
- ミシン目の周囲5.08mm以内は印字しないでください。

◆折れ（単票・連続紙）

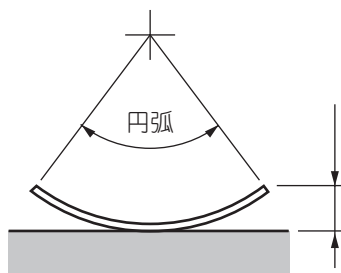
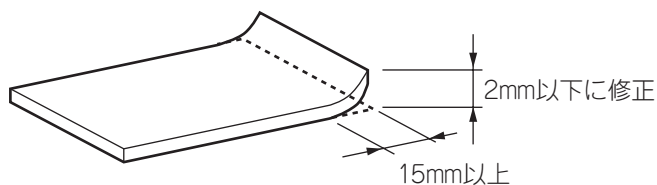
- 全幅に渡って折れたものは使用不可です。
- 隅の折れについては2mm以下に修正してください。
  ただし、カットシートフィーダの場合（単票）は修正しても使用不可です。

全幅に渡って折れたものは使用不可

隅の折れ

◆カール, 曲がり（単票・連続紙）

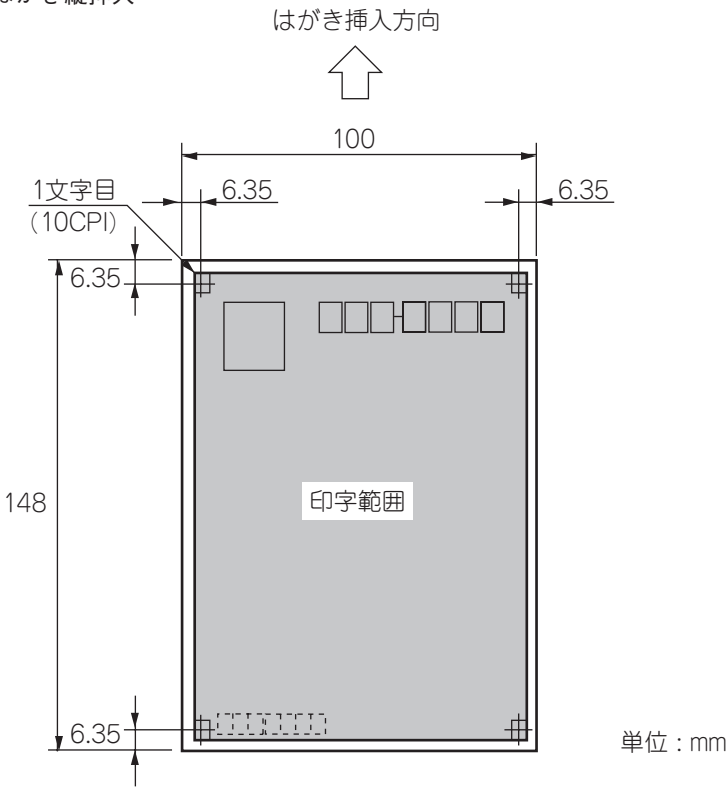
- 全面的なカールは5mm以下, カットシートフィーダの場合（単票）は2mm以下なら使用可です。
- 用紙端から15mm以内で2mm以上の曲がりは使用不可です。

全面的なカール

曲がり

付録

## ●はがき

### ◆用紙サイズおよび印字範囲

○通常はがき縦挿入

○通常はがき横挿入

○往復はがき縦挿入

○往復はがき横挿入

はがき挿入方向

200

1文字目
(10CPI)

6.35

6.35

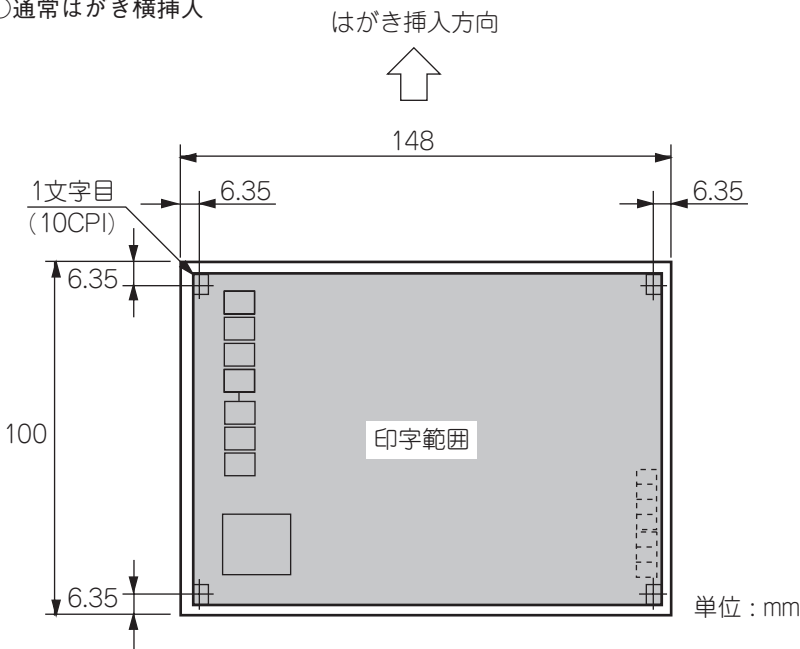
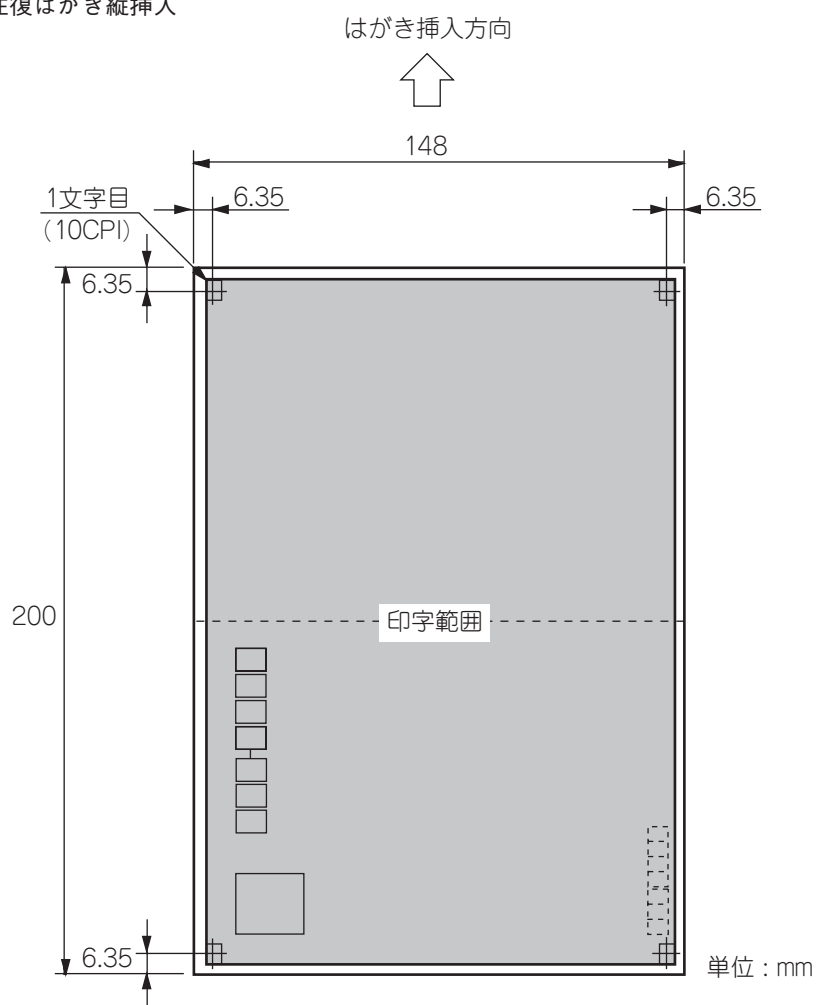
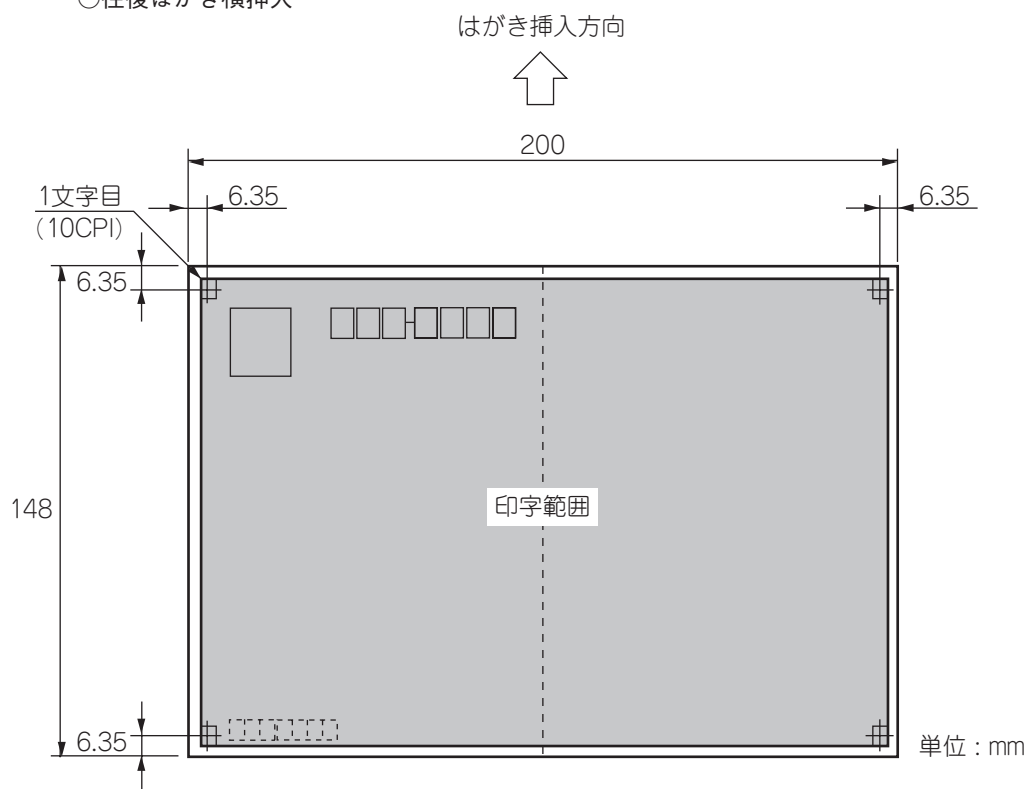
6.35

148

印字範囲

6.35

単位：mm

付録

◆使用はがき

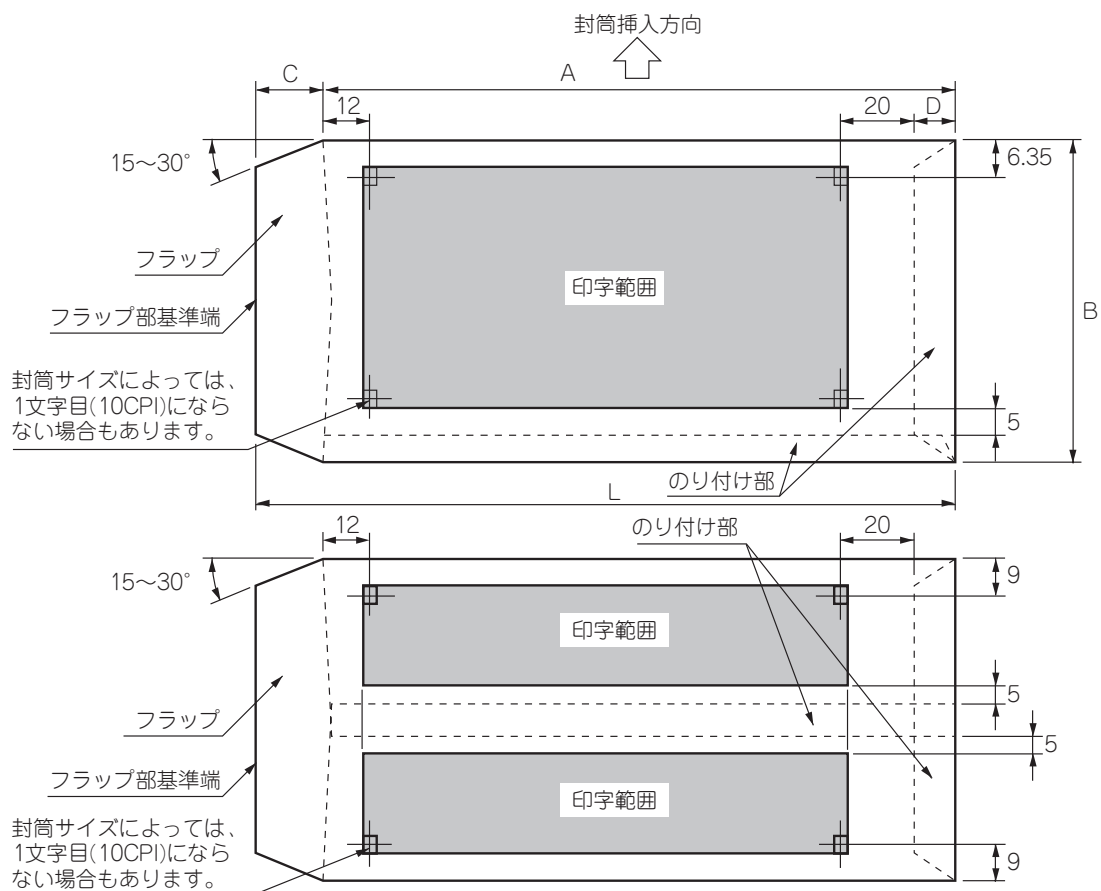
官製はがき

坪量　190g/$m^2$（連量163kg相当）

厚さ　0.23mm

- 折れたり、曲がったりしていないものを使用してください。
- はがきの反りは2mm以下とします。ただし、下向きの反りは使用できません。

- 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
- はがきの表面・裏面は、白色（反射率60%以上）とします。
- 郵便番号枠などの印刷は除きます。
  プレプリントの印刷禁止領域は単票用紙に準じます。

## ●封筒

| 型＼寸法 | A | B | C | D | L |
|---|---|---|---|---|---|
| 長形4号 | 205 | 90 | 15〜20 | 8〜20 | 220〜225 |
| 長形3号 | 235 | 120 | 15〜25 | 8〜20 | 250〜260 |
| 角形3号 | 277 | 216 | 15〜35 | 10〜20 | 292〜312 |
| 角形2号 | 332 | 240 | 15〜40 | 10〜25 | 347〜372 |

- 封筒は、JIS S 5502「封筒」に準拠した一重封筒とします。
- マニュァルギャップ調整で最大紙厚（中央重ね合わせ部）に合ったレンジを設定してください。（使用可能な封筒の最大紙厚は0.36mmです。）
- フラップ部基準端を有する形状のものを使用してください。
- 表面, 裏面に印刷されていない白色（反射率60%以上）の封筒を使用してください。
- 上端または下端でのり付けされている場合は、その面および前後各5mm以内での印字はさけてください。
- 破線部のくい込みが封筒肩より12mm以上の場合は、破線部の右側で印字を行ってください。
- 次のような封筒の使用は禁止します。
  - ・窓付きの封筒
  - ・フラップ部が折り返されている封筒
  - ・フラップ部にのり付け加工処理されている封筒
  - ・二重封筒
- 封筒ののり付け部近くまで印字した場合、印字範囲であってものり付け部の状態（特にエッジ部の折れ, ふくらみ）によっては印字汚れがつく場合があります。
- 角形2号は、カットシートフィーダでは使用できません。
- 用紙厚の調整をする場合、用紙厚は最大の箇所（中央重ね合わせ部）にマニュアルギャップモードで合わせてください。（「用紙の厚さに応じた調整方法」123ページ参照）（例：クラフト紙封筒70, 80g/m$^2$の場合、レンジ6）

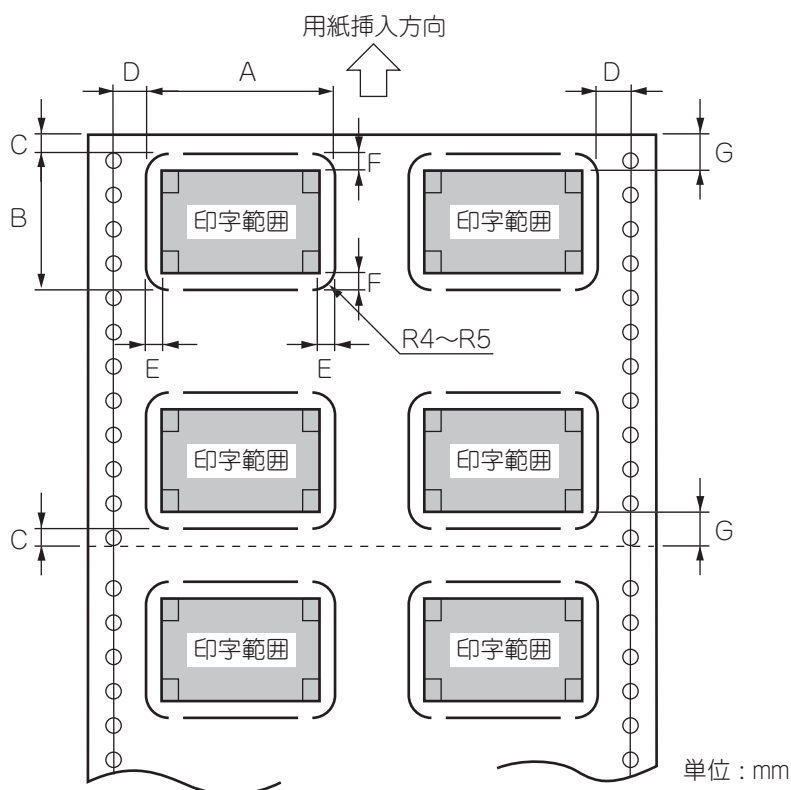
付録

## ●ラベル紙

ラベル紙を使用する場合は以下の基準に合ったものを使用してください。基準から外れたラベル紙は印字品位に悪影響をおよぼすだけでなく、粘着材の付着によって故障の原因になります。

注 ラベル紙を使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。

### ◆用紙サイズおよび印字範囲

「連続紙」(239ページ)の規格に準じますが、下記にラベル紙固有の条件を示します。

| 記号 | 名称 | 規格値 |
|---|---|---|
| A | ラベル幅 | 50mm以上 |
| B | ラベル長さ | 25mm以上 |
| C | ラベル禁止範囲 | 6.35mm(1/4インチ)以上　12.7mm(1/2インチ)以上を推奨 |
| D | ラベル禁止範囲 | 6.35mm(1/4インチ)以上 |
| E | 印字禁止範囲 | 3.81mm以上 |
| F | 印字禁止範囲 | 4mm以上 |
| G | 印字禁止範囲 | 10.58mm(5/12インチ)以上<br>印字精度保証は25.4mm(1インチ)以上 |

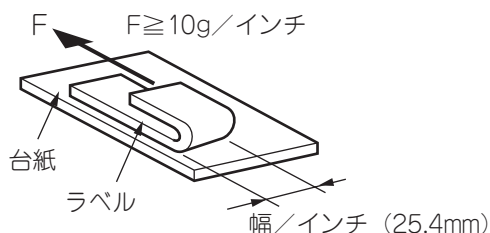
◆用紙連量

ラベルは上質紙で連量55kg、厚さ0.1mm以下。台紙ははくり紙で厚さ0.06〜0.08mm以下です。

◆最大用紙厚さ

0.2mm

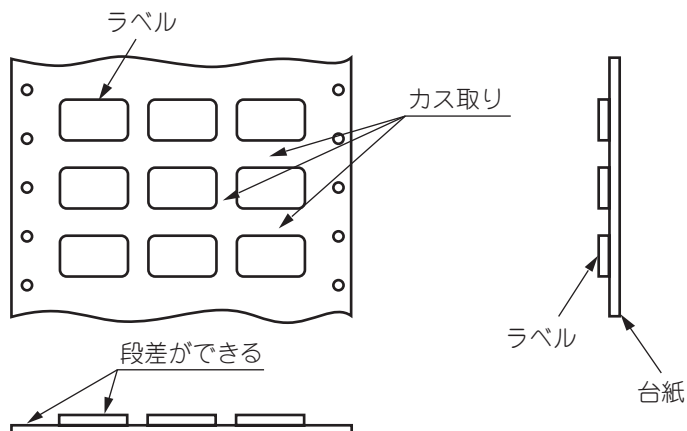
◆粘着剤

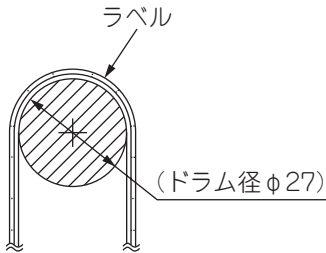
- はくり強度10g/インチ以上。
- 直径27mmの円筒に巻き付けたとき、ラベルが台紙からはがれないこと。
- 印字中や用紙走行中にラベルがはがれない状態に保たれた用紙を使用してください。
  粘着剤が表面にはみ出さないようにしてください。

◆カット

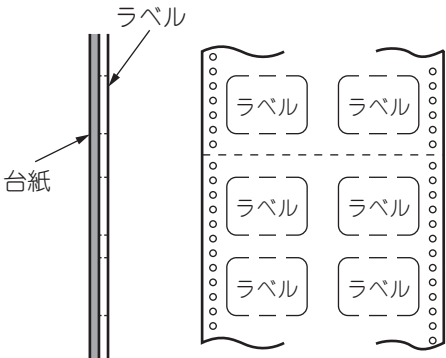
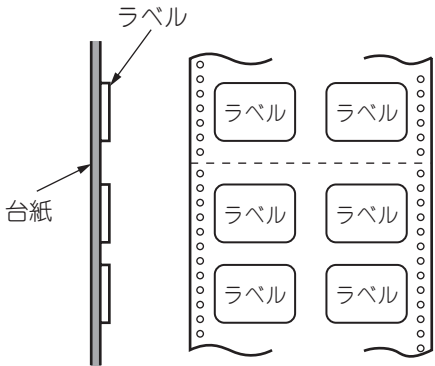
- カットはラベル（表面基紙）のみに入れてください。
- 台紙の横ミシン目に対応するラベルのカットは、横ミシン目と同一とし、両端1〜2mmにはアンカット部を設けてください。
- ラベル上方の左右コーナ付近に0.5〜1mm程度のアンカット部を設けてください。



◆ラベルのカス取りについて

ラベルのカス取りは行わないでください。
〔ラベルをはがしたときに残るラベル以外の部分（カス）が取り除かれていないこと〕
下図のようにカス取りのしてあるラベル紙は、段差ができるため、使用禁止です。

- ラベル紙と台紙の厚さは、合計0.2mm以下とします。ただし、ラベル紙および台紙の厚さはどちらも0.1mm以下とします。
- 直径27mmの円筒にラベル紙を表にして巻き付けたとき、ラベル紙が台紙からめくれたり、はがれたりしないものを使用してください。
  ラベルの貼付強度
  次の条件でめくれないラベルを使用してください。

| 巻付ドラム径 | φ27mm |
|---|---|
| 巻付角度 | 180° |
| 巻付時間 | 24時間 |
| 周囲温度 | 40℃ |
| 周囲湿度 | 30% |

- かすとり（ラベル以外の粘着シールをはぎ取ること）をしていないラベル紙を使用してください。

かすとりをしていないラベル紙

かすとりをしているラベル紙（使用しないでください）

## ●再生紙

- 再生紙は紙粉が発生しやすいため、清掃を短い周期で行ってください。
- 再生紙は湿度の影響を受けやすいため、高湿度での使用は避けてください。

## ●宅配伝票

宅配伝票を使用する場合の注意点を示します。

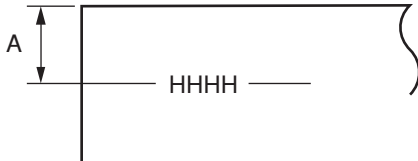
- 用紙サイズおよび印字範囲は、連続紙および単票の規格に準じます。
- 宅配伝票とは複写枚数5〜13枚（オリジナルを含む）で、厚さ0.3〜0.78mmの伝票のことです。

- 複写能力, 印字精度は保証外です。
- 厚さが不均一な伝票は、印字汚れやスキューの原因になりますので使用しないでください。
- 紙厚調整は、厚さ0.5mm以上の場合、オートギャップで使用してください。

## ●印字規格

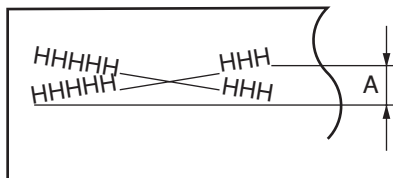
### ◆用紙の頭出し位置

自動給紙した時の用紙上端から1行目中心までの位置精度。

単位：mm

- 印字行の傾きは除く
- 用紙セットが正確であること

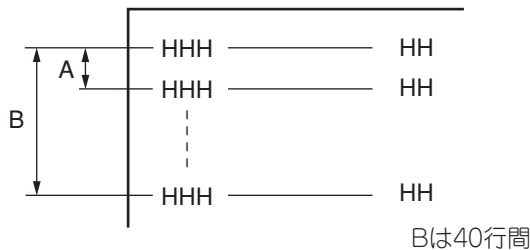
| 用　紙 | | A |
|---|---|---|
| 連続紙 | 単紙（連量55Kg） | ±1 |
| | その他の用紙 | ±2 |
| 単票 | 単紙（連量55Kg） | ±1 |
| | その他の用紙 | ±2 |

### ◆印字行の傾き

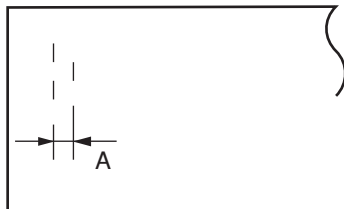
単位：mm

| 用　紙 | 文字数 | A |
|---|---|---|
| 連続紙 | 136 | 1.0以下 |
| 単票 | 60 | 1.5以下 |
| 官製はがき | 36 | 1.5以下 |

### ◆改行精度

単位：mm

Bは40行間

| 用　紙 | | A=4.23 | B=165.1 |
|---|---|---|---|
| 連続紙 | 単紙 | ±0.5 | ±1.0 |
| | 複写紙 | ±0.8 | ——— |
| 単票 | 単紙 | ±0.5 | ±2.0 |
| 官製はがき | | ±0.5 | ——— |

### ◆縦罫線のずれ

単位：mm

| 印刷方向 | A |
|---|---|
| 片方向 | 0.15以下 |
| 両方向 | 0.3以下 |

### ◆連続複写紙の層間ずれ

5枚複写紙の1枚目と5枚目の印字ずれは2mm以下

# Windowsプリンタドライバの印字範囲

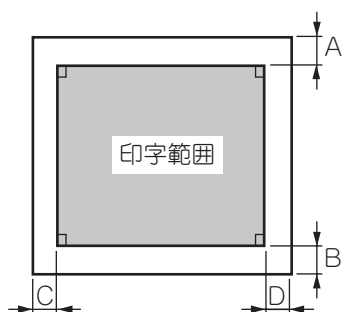
Windowsプリンタドライバでは次に示す用紙サイズおよび印字範囲をサポートしています。

単位（mm）

| 用　紙 | 用紙幅 | 用紙長 | ﾄｯﾌﾟﾏｰｼﾞﾝ(A) | ﾎﾞﾄﾑﾏｰｼﾞﾝ(B) | ﾚﾌﾄﾏｰｼﾞﾝ(C) | ﾗｲﾄﾏｰｼﾞﾝ(D) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| A4 | 210.00 | 297.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| A4 横 | 297.00 | 210.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| A3 | 297.00 | 420.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| A3 横 | 420.00 | 297.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 69.71 |
| A5 | 148.00 | 210.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| A5 横 | 210.00 | 148.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| A6 | 105.00 | 148.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| A6 横 | 148.00 | 105.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| B4 | 257.00 | 364.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| B4 横 | 364.00 | 257.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 13.62 |
| B5 | 182.00 | 257.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| B5 横 | 257.00 | 182.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| Letter | 215.90 | 279.40 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| Legal | 215.90 | 355.60 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| はがき | 100.00 | 148.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| はがき 横 | 148.00 | 100.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| 往復はがき | 200.00 | 148.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| 往復はがき 横 | 148.00 | 200.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| 封筒 長形4号 横 | 205.00 | 90.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| 封筒 長形3号 横 | 235.00 | 120.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| 封筒 角形3号 横 | 277.00 | 216.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| 封筒 角形2号 横 | 332.00 | 240.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| 名刺 | 55.00 | 90.00 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |
| 10×11 ｲﾝﾁ | 254.00 | 279.40 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 12×11 ｲﾝﾁ | 304.80 | 279.40 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×11 ｲﾝﾁ | 381.00 | 279.40 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 10×5 ｲﾝﾁ | 254.00 | 127.00 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 10.1×5 ｲﾝﾁ | 256.54 | 127.00 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 10.5×5 ｲﾝﾁ | 266.70 | 127.00 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 11×5 ｲﾝﾁ | 279.40 | 127.00 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 12×5 ｲﾝﾁ | 304.80 | 127.00 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 12×6 ｲﾝﾁ | 304.80 | 152.40 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 12×10 ｲﾝﾁ | 304.80 | 254.00 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×1 5/6 ｲﾝﾁ | 381.00 | 46.57 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |

単位（mm）

| 用　紙 | 用紙幅 | 用紙長 | ﾄｯﾌﾟﾏｰｼﾞﾝ(A) | ﾎﾞﾄﾑﾏｰｼﾞﾝ(B) | ﾚﾌﾄﾏｰｼﾞﾝ(C) | ﾗｲﾄﾏｰｼﾞﾝ(D) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 15×2 1/5 ｲﾝﾁ | 381.00 | 55.88 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×2 1/2 ｲﾝﾁ | 381.00 | 63.50 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×2 3/4 ｲﾝﾁ | 381.00 | 69.85 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×3 ｲﾝﾁ | 381.00 | 76.20 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×3 1/4 ｲﾝﾁ | 381.00 | 82.55 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×3 1/3 ｲﾝﾁ | 381.00 | 84.67 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×3 1/2 ｲﾝﾁ | 381.00 | 88.90 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×3 2/3 ｲﾝﾁ | 381.00 | 93.13 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×4 ｲﾝﾁ | 381.00 | 101.60 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×4 1/2 ｲﾝﾁ | 381.00 | 114.30 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×4 2/3 ｲﾝﾁ | 381.00 | 118.53 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×5 ｲﾝﾁ | 381.00 | 127.00 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×5 1/2 ｲﾝﾁ | 381.00 | 139.70 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×5 2/3 ｲﾝﾁ | 381.00 | 143.93 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×6 ｲﾝﾁ | 381.00 | 152.40 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×6 1/2 ｲﾝﾁ | 381.00 | 165.10 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×6 2/3 ｲﾝﾁ | 381.00 | 169.33 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×7 ｲﾝﾁ | 381.00 | 177.80 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×7 1/2 ｲﾝﾁ | 381.00 | 190.50 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×8 ｲﾝﾁ | 381.00 | 203.20 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×8 1/4 ｲﾝﾁ | 381.00 | 209.55 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×8 1/2 ｲﾝﾁ | 381.00 | 215.90 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×9 ｲﾝﾁ | 381.00 | 228.60 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×10 ｲﾝﾁ | 381.00 | 254.00 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×10 1/2 ｲﾝﾁ | 381.00 | 266.70 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×11 1/2 ｲﾝﾁ | 381.00 | 292.10 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×11 2/3 ｲﾝﾁ | 381.00 | 296.33 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×12 ｲﾝﾁ | 381.00 | 304.80 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×13 ｲﾝﾁ | 381.00 | 330.20 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| 15×14 ｲﾝﾁ | 381.00 | 355.60 | 4.66 | 0.00 | 17.78 | 17.78 |
| ﾕｰｻﾞｰ定義ｻｲｽﾞ　*1 | 55.00 | 25.40 | 4.66 | 4.66 | 4.94 | 4.94 |

- *1の用紙はWindowsNT4.0/2000/XP/Server2003/Vistaにはありません。サーバのプロパティで作成してください。
- ユーザー定義サイズの寸法はデフォルト値です。用紙長25.40〜420.00mm, 用紙幅55.00〜420.00mmの間で設定可能です。
- ユーザー定義サイズとサーバのプロパティで、用紙サイズを自由に指定できますが、「用紙規格および印字範囲」（237ページ）の範囲内で使用してください。
- 用紙長検出のバラツキにより、ボトムマージンに誤差を生じる場合があります。各アプリケーションソフトウェアにおけるボトムマージン値の設定においては、9mm以上を推奨します。
- 封筒を使用する場合のマージン値については、「用紙規格および印字範囲」（237ページ）に合わせて調整してください。
- 封筒角形２号横はカットシートフィーダに対応しておりません。
  詳しくは「封筒角形２号横のご使用について」（109 ページ）をご覧ください。

# 文字コード表、コントロールコマンド一覧表について

ANK文字コード表、漢字コード表、コントロールコマンド一覧表、拡張コントロールコマンドの仕様については、プリンタソフトウェアCD-ROM内にPDFファイルで格納されております。
詳しくは、プリンタソフトウェアCD-ROM内の「Readme」をご覧ください。

# 消耗品およびオプション品の紹介

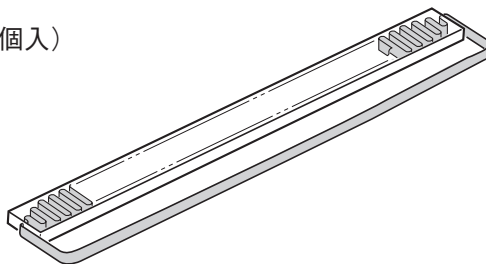
これらの消耗品およびオプション品は、販売店にて、型名を指定の上お求めください。

## ●消耗品

### ◆インクリボン

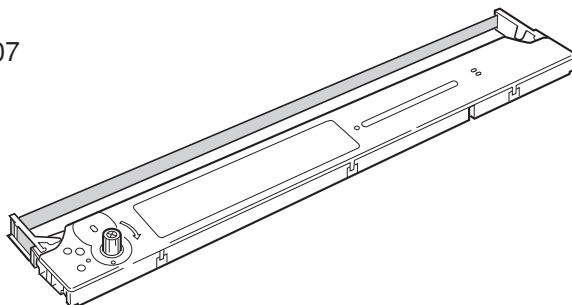
インクリボンは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)

インクリボンの寿命は、約600万字（高速度ANK）です。ただし、包装を解いたり、長時間放置していると短くなります。また、印字が薄くなったり、ほつれたりした場合は、早めに交換してください。インクリボンは製造年月1年以内に使用してください。

型名 : RN6-00-007（6個入）

### ◆リボンカートリッジ

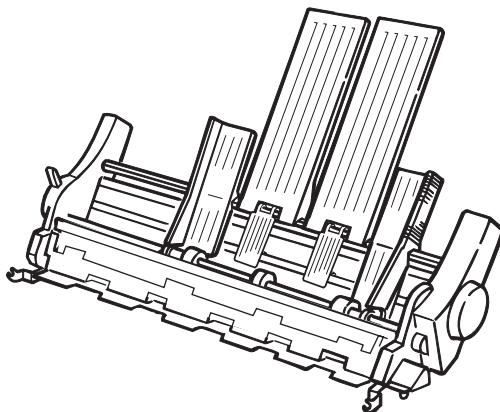
リボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)

リボンカートリッジにはインクリボンが入っています。
インクリボンを3回交換したら、リボンカートリッジを交換してください。

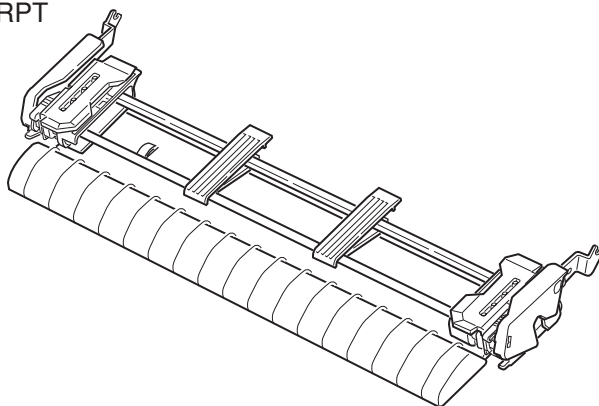
型名 :　RBN-00-007

## ●オプション品

### ◆カットシートフィーダ（CSF）

単票, はがきおよび複写紙を自動給紙します。

型名 : ML8480SCSF

### ◆リアピントラクタ

連続紙をプリンタ後方から給紙します。

型名 : ML8480SRPT

# ユーザサポートサービスについて

## ●保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保証期間中あるいは保守期間中であっても有償になります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください）
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

## ●最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。
http://www.okidata.co.jp



## ●プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど､プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。なお、内容確認のため、録音させていただいております。

**お客様相談センター　　0120-654-632**

（携帯電話からは03-5833-5710）

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00 月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00 土曜日
（但し　祝日を除く）

※ 月曜日～金曜日の17:30～20:00及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。

※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは（株）沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

## ●個人情報の取り扱いについて

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号などの保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。

b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。

c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社提携会社より、サービス提供、アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。

d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

**— お問い合わせに回答できない場合について —**

1. UNIX環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5. プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

### お問い合わせチェックシート

**具体的な症状**

**プリンタ環境**

機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿購入日:＿＿＿年＿＿＿月

追加オプション：　なし　あり（　　　　　　　　　　）

**コンピュータ環境**

☐ Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

☐ MacOS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

**接続方法**

☐ パラレル　☐ USB　☐ RS232C　☐ ネットワーク

☐ TCP/IP　☐ IPX/SPX　☐ Ethertalk　☐ NetBEUI

**プリンタドライバ**

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

**アプリケーション**

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿＿

**エラー表示（正確に）**

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿

**その他**

他のアプリケーションからの印刷　：☐ 正常　☐ 印刷できない

他のコンピュータからの印刷　：☐ 正常　☐ 印刷できない

付録

## ●消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店よりご購入ください。

## ●プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

## ●使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのMICROLINEプリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
下の用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ1本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

---

受付 No.　：
* 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

**FAX 0120-107995**

沖データ回収センタ　宛

西暦　　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：

ご担当者名　：

ご住所　：

お電話番号　：

回収ご希望日　：　　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

| 品目 | 数量 |
|---|---|
| イメージドラムカートリッジ | 個 |
| トナーカートリッジ | 個 |
| 定着器オイルローラ | 個 |
| 廃棄トナーボックス | 個 |
| 転写ベルトユニット | 個 |
| 定着器ユニット | 個 |
| インクリボンカートリッジ | 個 |
| その他マイクロライン消耗品 | 個 |

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】

まとめた箱の荷姿で合計　：　　　個口

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185　又は、フリーダイヤル0120-640991
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

# 索　引

## 【1】



## 【C】



## 【D】



## 【H】



## 【M】



## 【U】



## 【W】



## 【あ】



## 【い】



## 【お】



## 【か】



## 【こ】

## 【し】



## 【す】



## 【せ】



## 【た】



## 【ち】



## 【つ】



## 【て】



## 【は】



## 【ふ】



## 【ほ】



## 【め】



## 【も】



## 【や】



## 【よ】

## 【ら】



## 【り】



## 【れ】

株式会社 沖データ

お客様相談センター

0120-654-632

(携帯電話からは03-5833-5710)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し 祝日を除く）